建築と社會

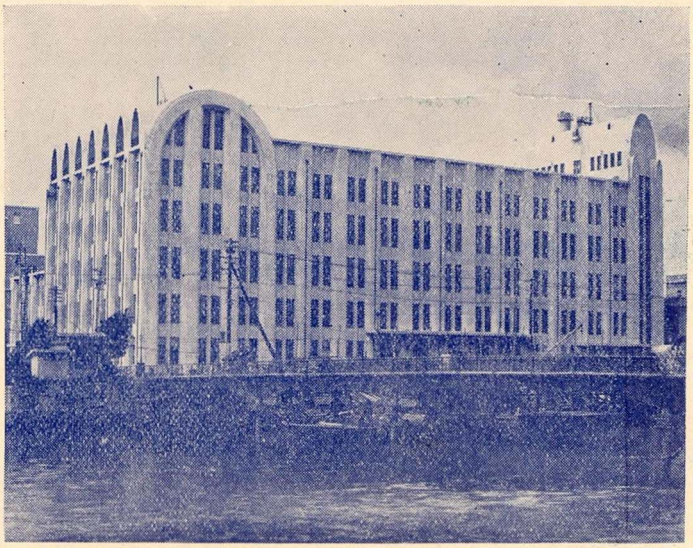
昭和三年八月一日・第十一輯第八號



日本建築協會

寫眞は下記三種御使用の光榮に浴したる大阪中央電話局

三機工業!! 販賣



東京建鐵!! 製造

御使用

田島式上ゲ下ゲスチールサッシ
田島式スチールドアー
田島式スチールエレベーターードアー

東京建鐵株式會社
東京鋼板工業株式會社

總代理店

三機工業株式會社

本　店　東京市麹町區內幸町一ノ三(大阪ビル內)
支　店　大阪市東區備後町二ノ二一(野村ビル內)
電話本町1166・1525

取扱店　各地三井物產株式會社支店機械部

會告

建築知識普及展覽會開催

本協會ハ我國方今ノ時勢ニ鑑ミ一般社會ニ汎ク建築界ノ現狀ヲ紹介シ以テ建築知識ノ普及ヲ圖ラム爲今秋左記ノ通建築知識普及展覽會ヲ開催セムトス冀クハ本協會員諸彦ノ熱誠ナル御後援ト懇切ナル御贊助ニ依リ本展覽會ヲシテ有意義ナル事業タラシメムコトヲ切望ス

一、會　場　市內心齋橋大丸五階六階

一、會　期　九月自十一日至十六日六日間

一、開場時間　每日自午前八時半至午後九時

一、陳列種目
- 第一室　圖面、寫眞、模型
- 第二室　現代ノ建築設備
- 第三室　災害ト其ノ豫防
- 第四室　住宅ト庭園
- 第五室　建築材料

昭和三年八月

社團法人　日本建築協會

會告

建築設計圖案出品勸誘

別項會告の通建築知識普及展覽會開催に伴ひ本協會員諸君の作品を公開陳列致したいのでありますて御出品を切望いたします

昭和三年八月

社團法人日本建築協會

出品者注意事項

一、出品ハ昭和三年八月三十日迄ニ本協會事務所ニ到達スル樣提出セラレタシ

一、出品ハ會場ノ都合等ニ依リ其ノ全部ヲ陳列セサルコトアルヘシ

一、本協會ハ出品ノ保管ニ付テハ最善ノ注意ヲ拂フト雖火災其ノ他ノ場合ニ於ケル出品ノ紛失又ハ損害ニ對シ一切其ノ責ニ任セス

特許第七九三五號（延長許可）外十數件併用

大野式防火捲上ヶ戸

（特許大野式シヤッター）

這般の大震火災に於て兼て御定評を蒙り居り候日常開閉の至便、防火耐熱力優秀にして内外國同種類品中最も御安心相願はれ得可きものなることは左記事實に依り能く之を證明致候

一捲上ケ戸の閉鎖が咄嗟の間に完全に行はれたること

一戸鈑の連鎹堅牢にして烈火に面したる場所に於ても戸鈑各個の脱落、鎹の破壊を來したるものなかりしこと

一戸鈑と戸鈑との間、戸鈑と溝金との間、上方捲込口煙返し等の密着充分にして間隙を生じたるものなく能く火炎熱風の浸入を阻止し防火の効を奏したること

以上數多の實蹟に徴し更に一段の注意を拂ひ御期待に副ひ可申確信の下に努力罷在候處幸ひ御承認を辱ふし他製品取換の御注文を始め有數建築物の復興工事新建築物防火設備等着々御採用を蒙り居候、何卒多少に拘らず御用命被仰付度奉希候

合資會社 大野製作所

東京市芝區三田四國町二番地　電話高輪 二二三三 七七五五 番

取付員詰所・大阪北区花上幅島中二　電話土佐堀二七二五番

建築と社會
第十一輯
第八號

寫眞

△京都ホテル●外觀……
△京都ホテル●正面玄關……
△京都ホテル●屋上フウンテン……
△京都ホテル●大廣間……
△京都ホテル●待合室●グリルルーム……
△京都ホテル●宴會塲—ルイ式—桃山式……
△京都ホテル●洋式寢室●和式寢室……
△京都ホテル●屋上●七階社交室……
△京都ホテル●平面圖……

本文

△新版大阪圖繪……淀屋橋畔……
△木接竹之類……佳山生
▲木造建築の保存……工學士松室重光……二—八

▲防空演習觀戰記……K Y 生…九—一四
▲日本住宅の禮讃……工學士 石井 勇…二五—三三
□死線を越へて
△地上の天國……大須賀 巖…三五—四四
△地所賣りそこないの記……呑 鑿 生…四五—四七
□テント村
▲ラスキンと建築……S I 生…四九—五五
□モボタタル
▲建築の實施明細と建坪の比……會 員 白石 登喜男…五七—六三
【誌上講座】建築工事實施方法……大林組工務監督 渡部 圭吾…六四—七〇
△京都ホテル新築工事概要……七一—七五
△日本建築協會々報……

建築と社會
第十一輯
第八號

小野田ポルトランドセメント

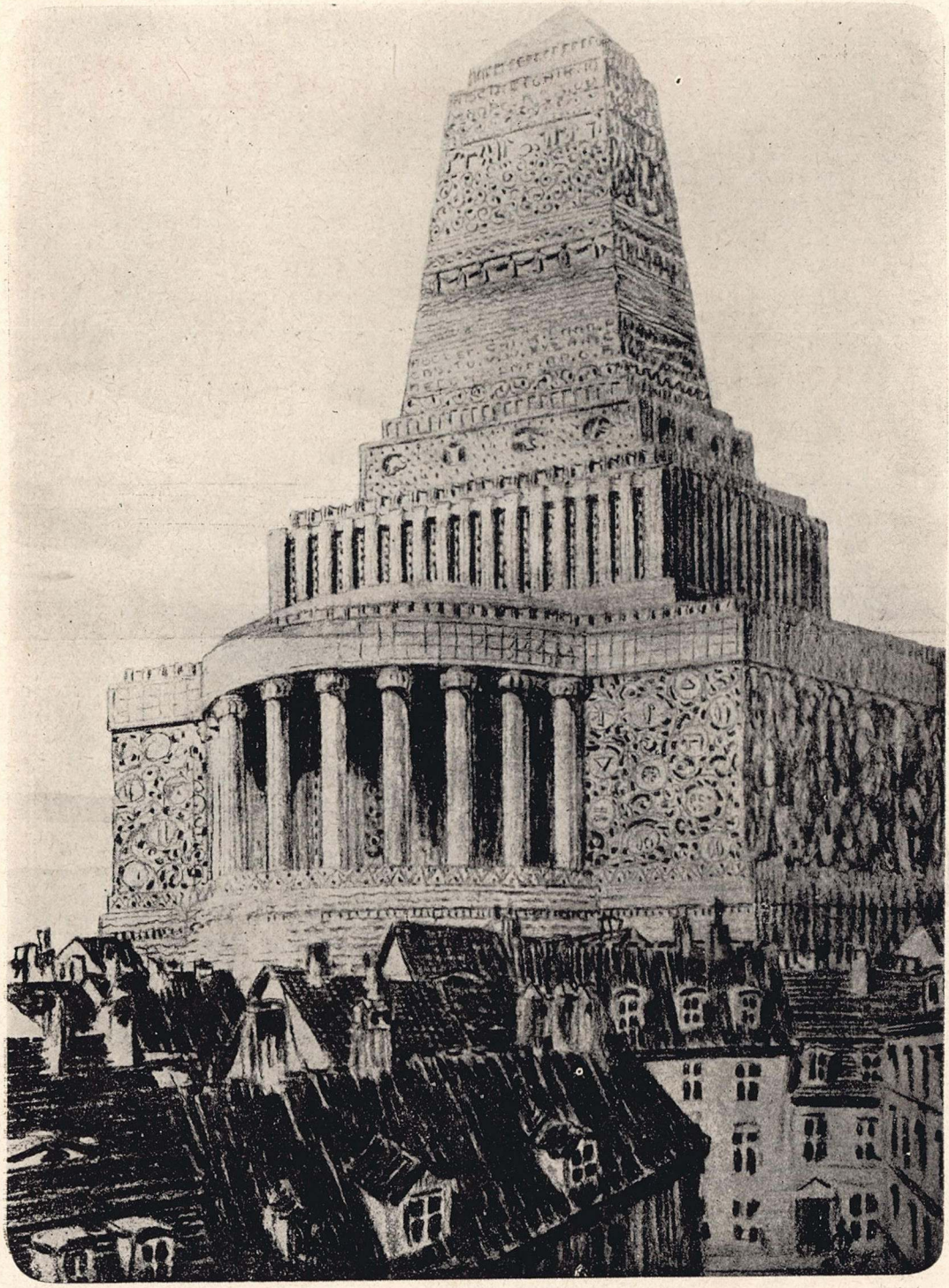
製品均斉・品質高級

小野田白色ポルトランドセメント

東洋唯一・純白優良

製造元 小野田セメント製造株式會社

一手販賣 三井物産株式會社





京都ホテル　・　外　　觀



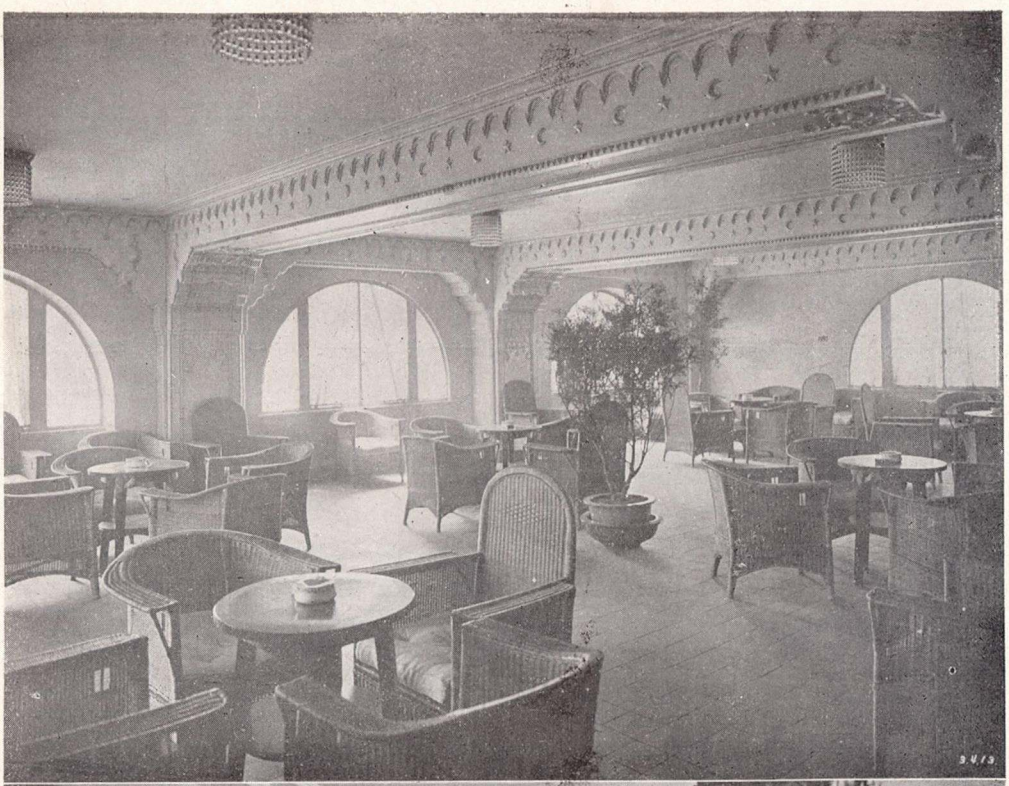
京都ホテル・正面玄關



京都ホテル　・　屋上フヮウンテン



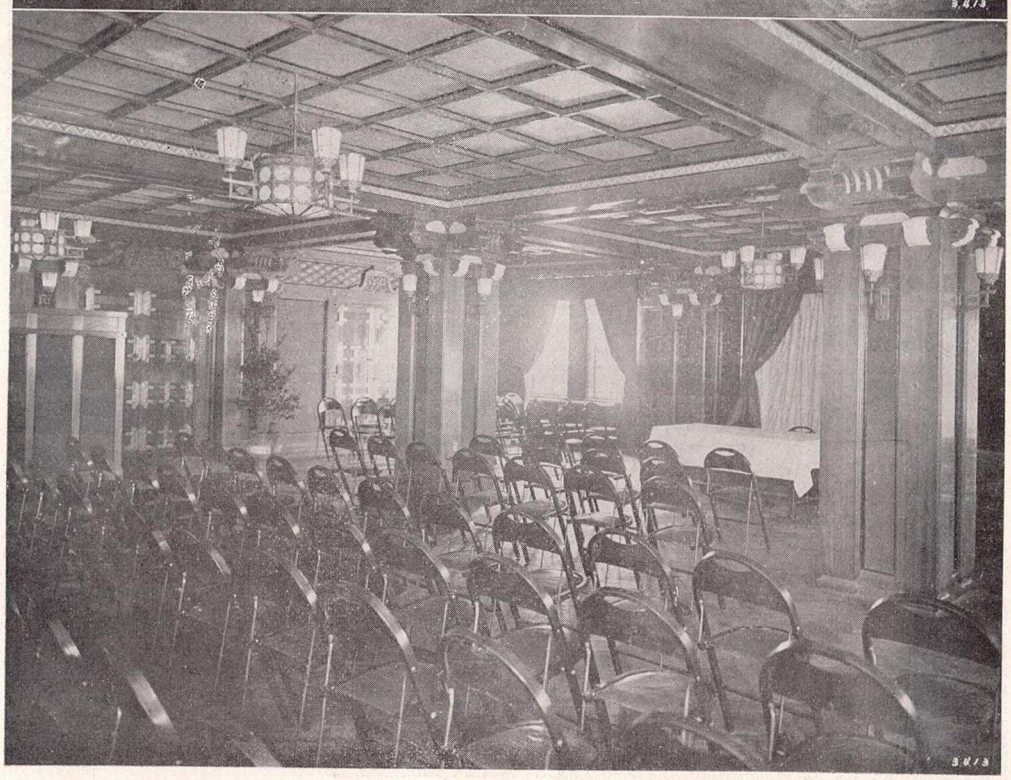
京都ホテル・大廣間





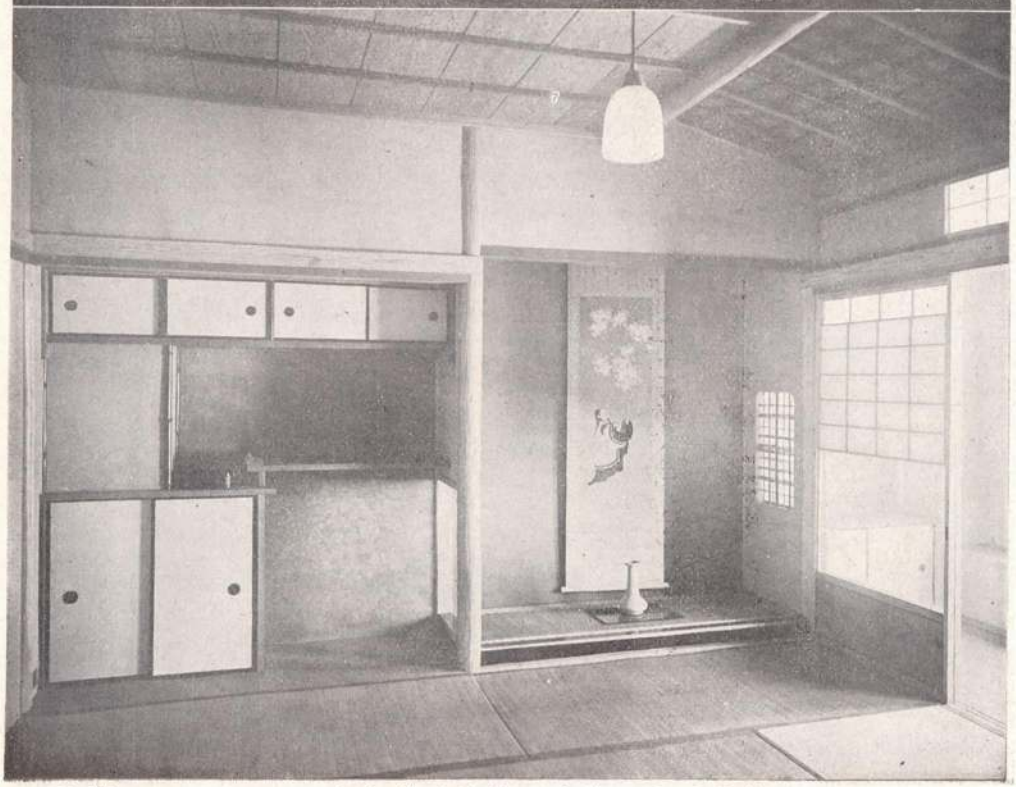
京都ホテル・（上）待合室（下）グリルルーム



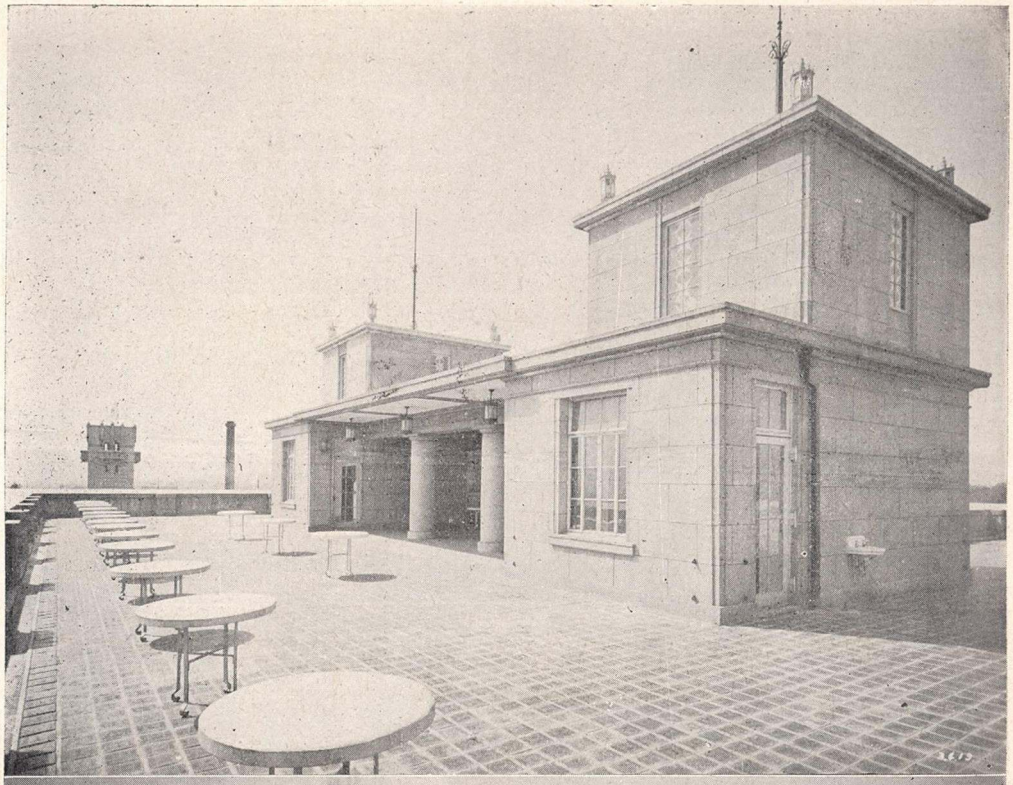


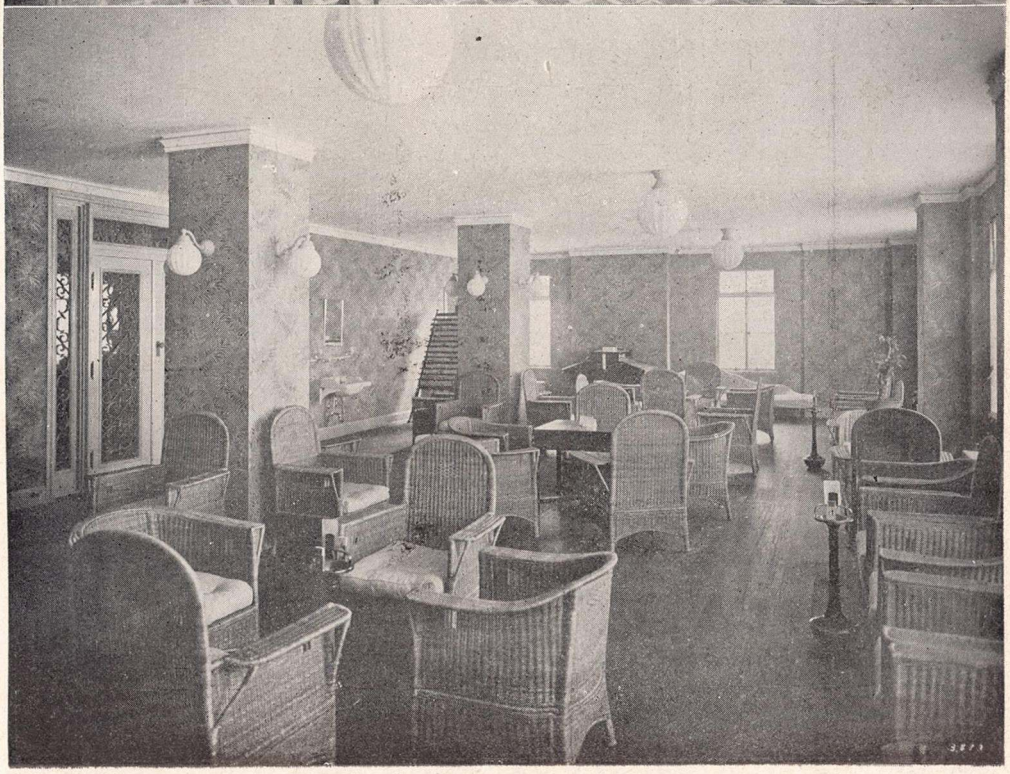
京都ホテル　（上）宴會場―ルイ式　（下）宴會場―桃山式



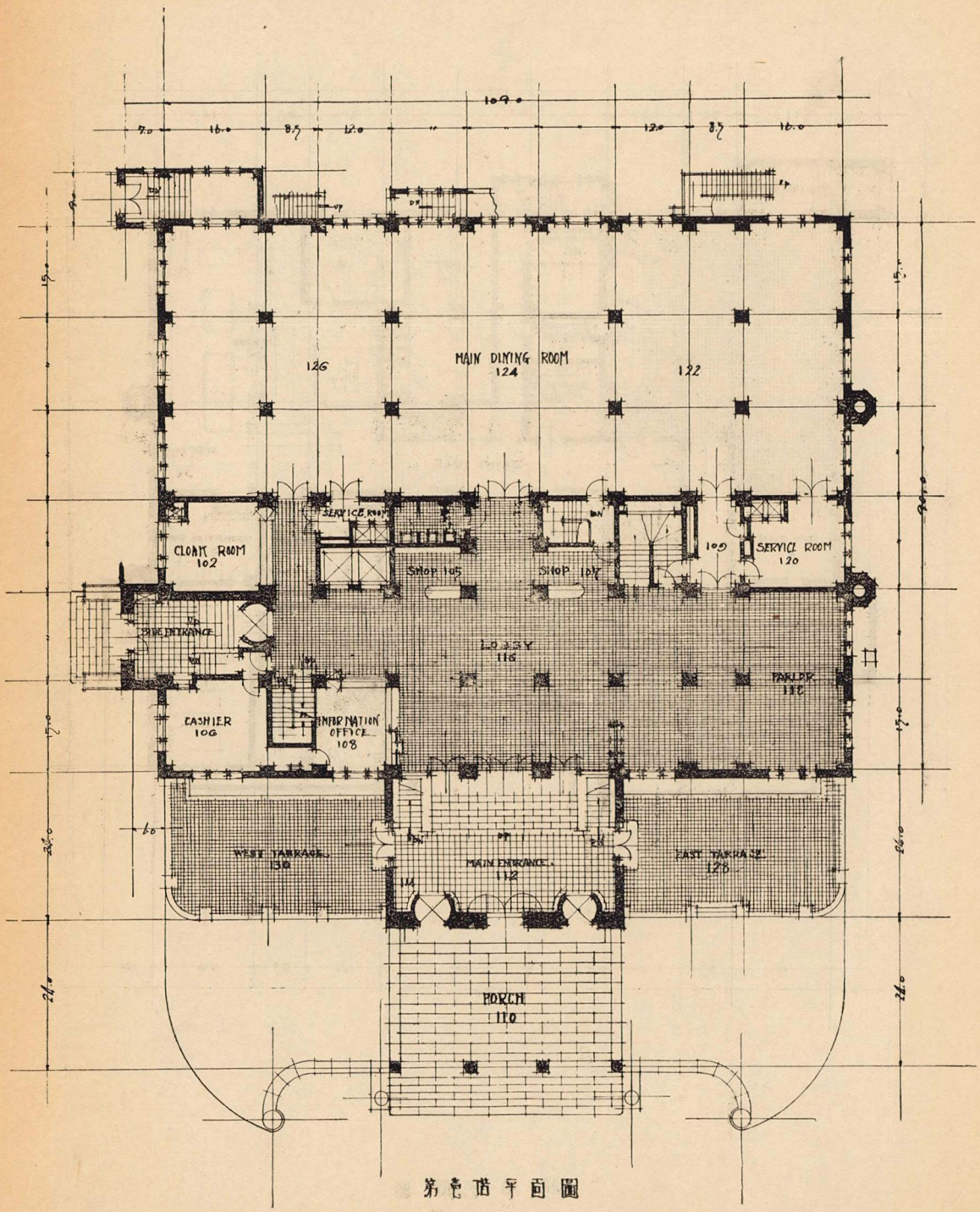


京都ホテル　洋式寝室（上）　日本式寝室（下）

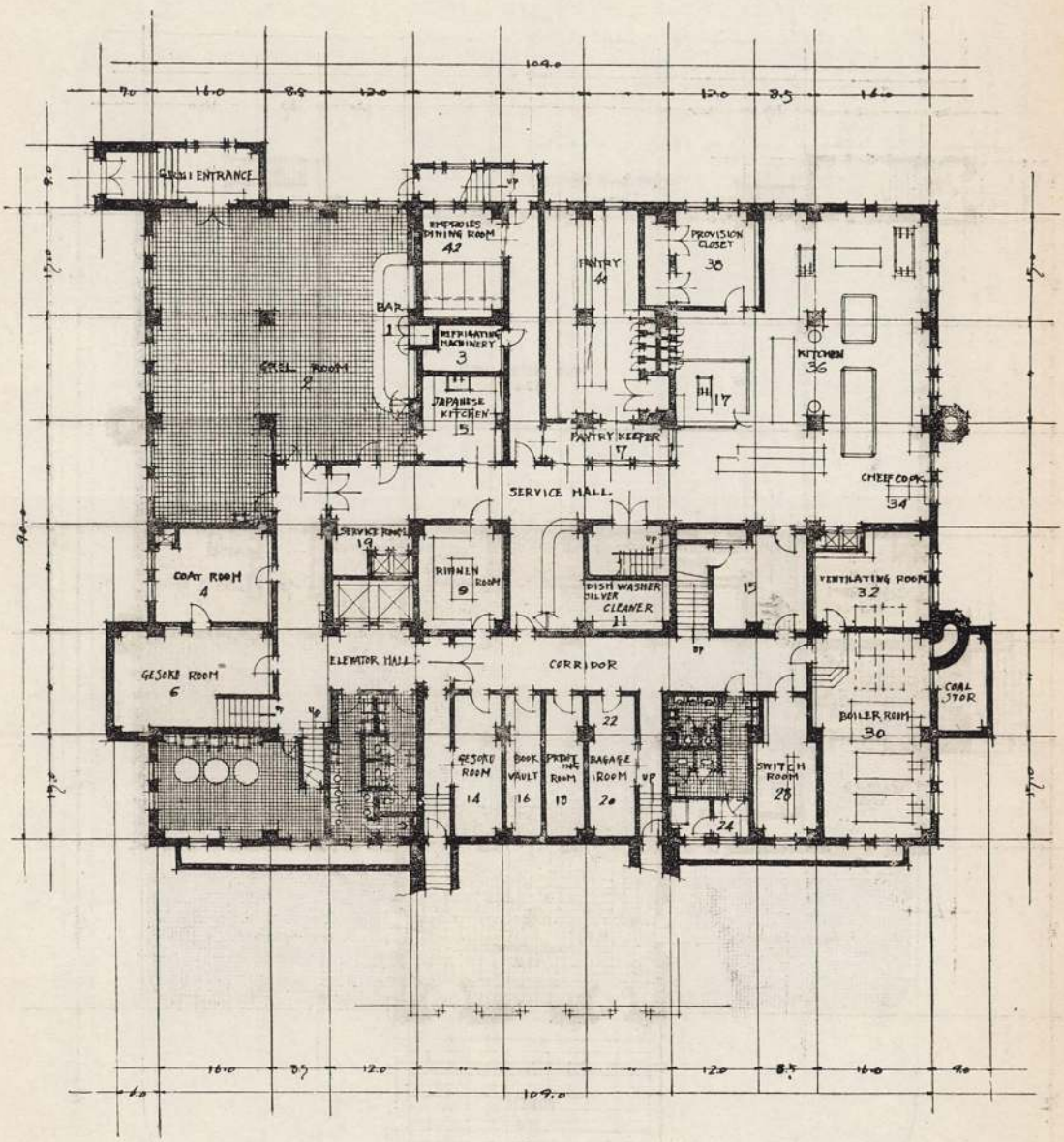




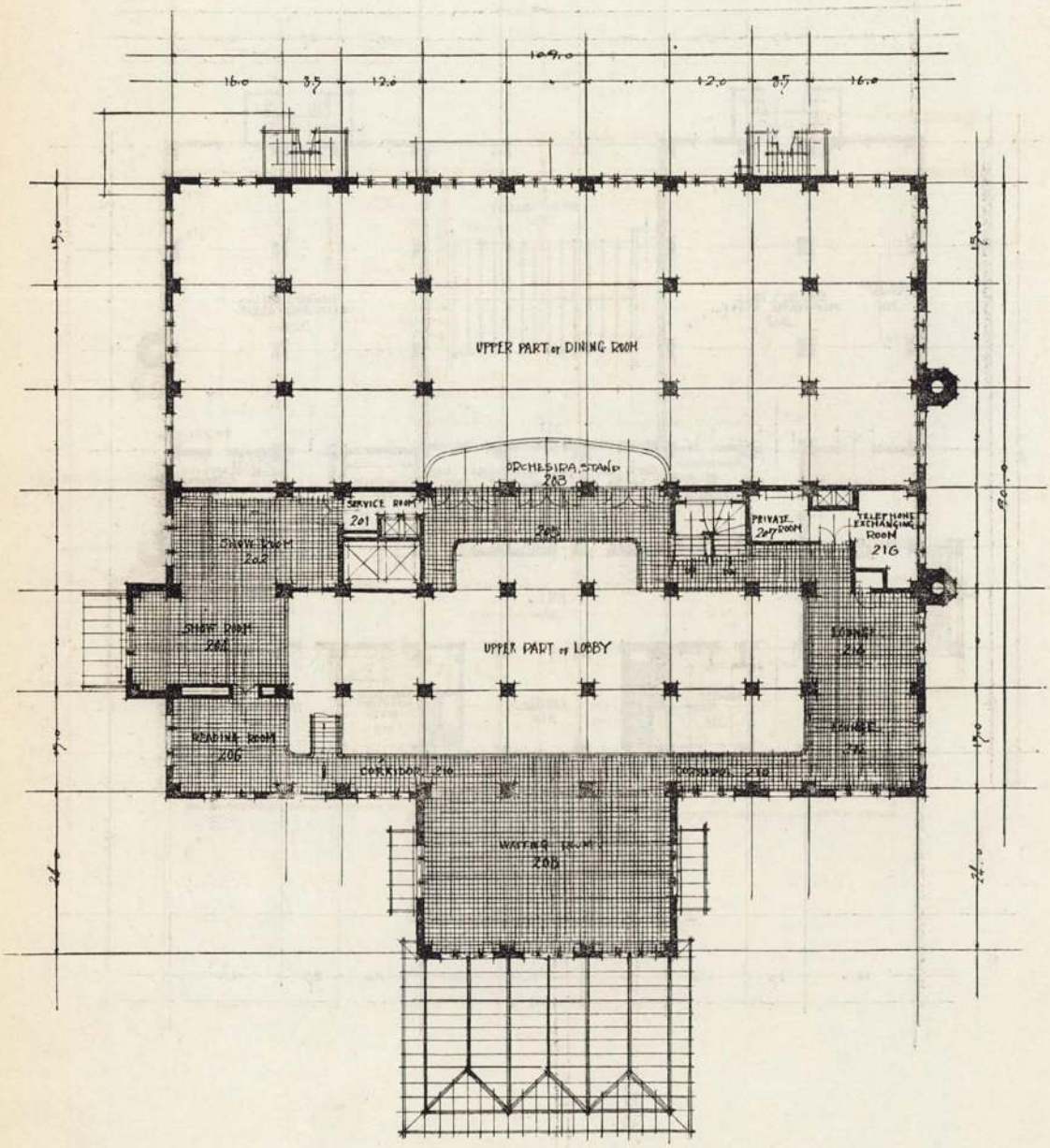
京都ホテル　屋上（上）　七階社交室（下）


MAIN DINING ROOM
124
126
122
SERVICE ROOM
CLOAK ROOM
102
SHOP 105
SHOP 107
109
SERVICE ROOM
120
SIDE ENTRANCE
LOBBY
116
PARLOR
118
CASHIER
106
INFORMATION
OFFICE
108
WEST TARRACE
130
MAIN ENTRANCE
112
EAST TARRACE
128
PORCH
110

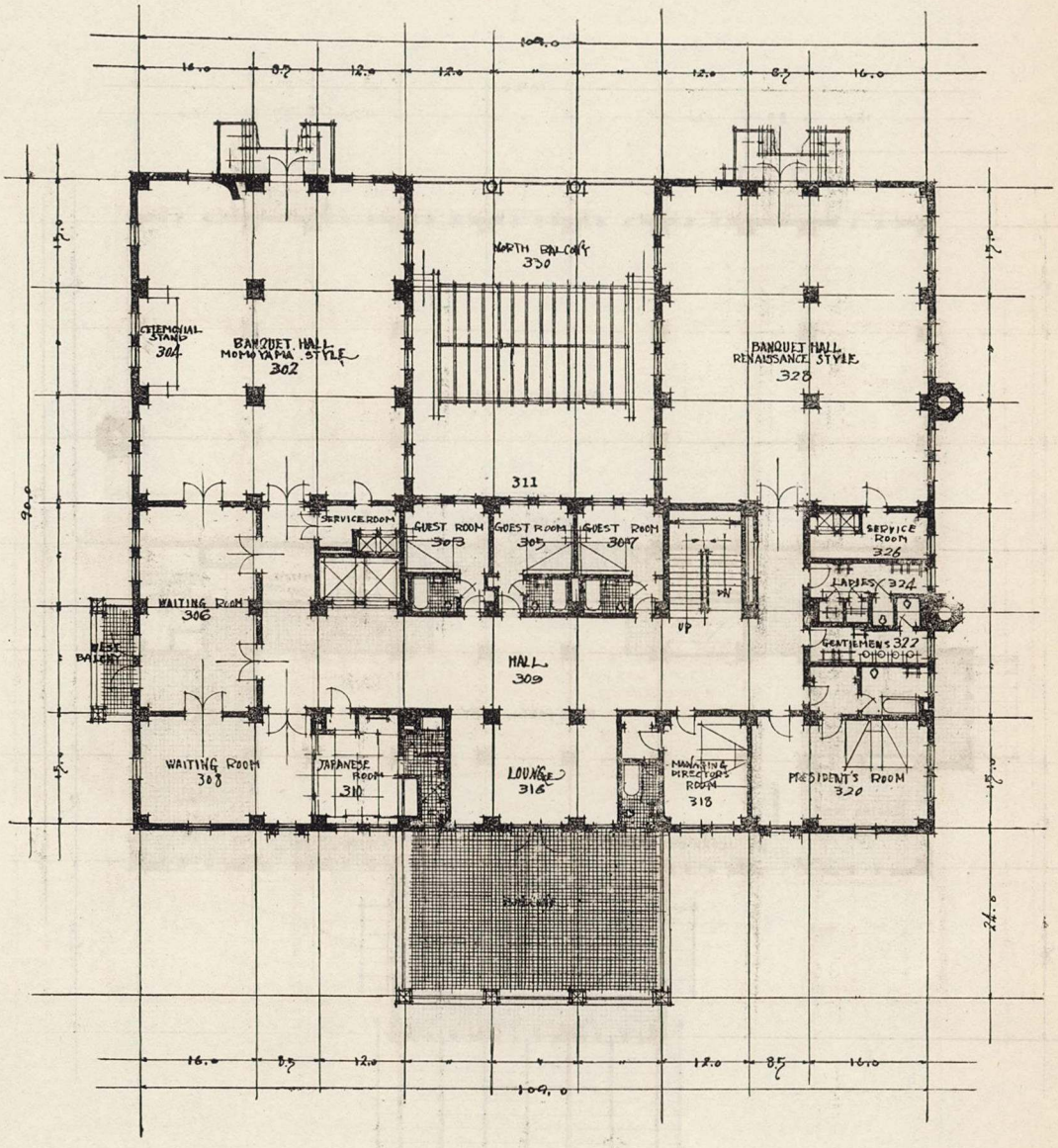
第壹號平面圖


GENL ENTRANCE
EMPRESSES DINING ROOM 43
BAR 1
REFRIGERATING MACHINERY 3
JAPANESE KITCHEN 5
GENL ROOM 2
PANTRY 44
PROVISION CLOSET 38
KITCHEN 36
17
PANTRY KEEPER 17
CHIEF COOK 34
SERVICE HALL
SERVICE ROOM 19
RINNEN ROOM 9
DISH WASHER SILVER CLEANER 11
15
VENTILATING ROOM 32
COAT ROOM 4
ELEVATOR HALL
CORRIDOR
GESOKU ROOM 6
COAL STOR
BOILER ROOM 30
GESOKU ROOM 14
BOOK VAULT 16
EXPRESS ROOM 18
BAGAGE ROOM 20
22
SWITCH ROOM 28
24
109.0

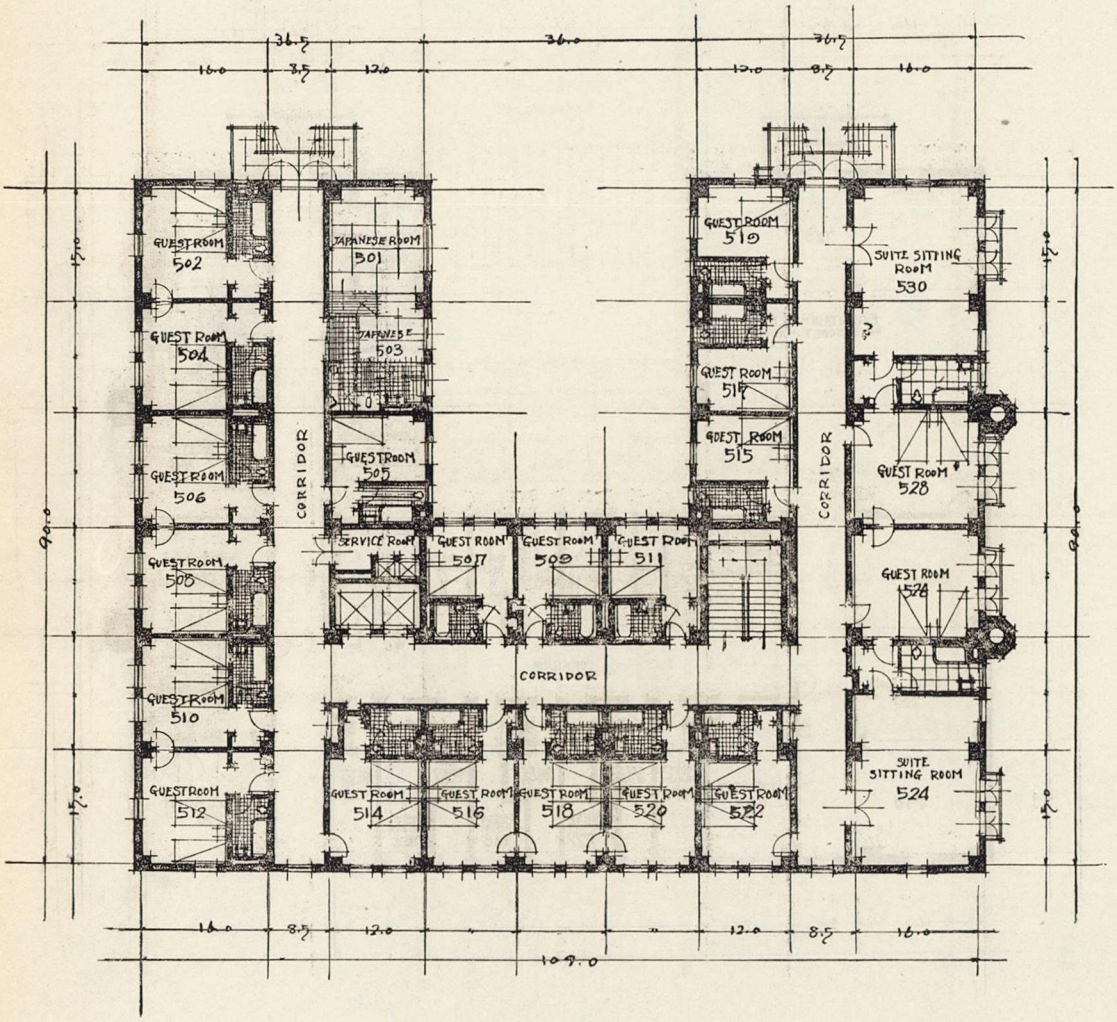
正殿平面圖


16.0
35
12.0
109.0
12.0
35
16.0
UPPER PART of DINING ROOM
ORCHESTRA STAND
203
SERVICE ROOM
201
PRIVATE
207 ROOM
TELEPHONE
EXCHANGING
ROOM
216
SMOKE ROOM
202
SHORT PART
204
UPPER PART of LOBBY
LOUNGE
214
READING ROOM
206
CORRIDOR 210
CORRIDOR 210
LOUNGE
214
WAITERS ROOM
208

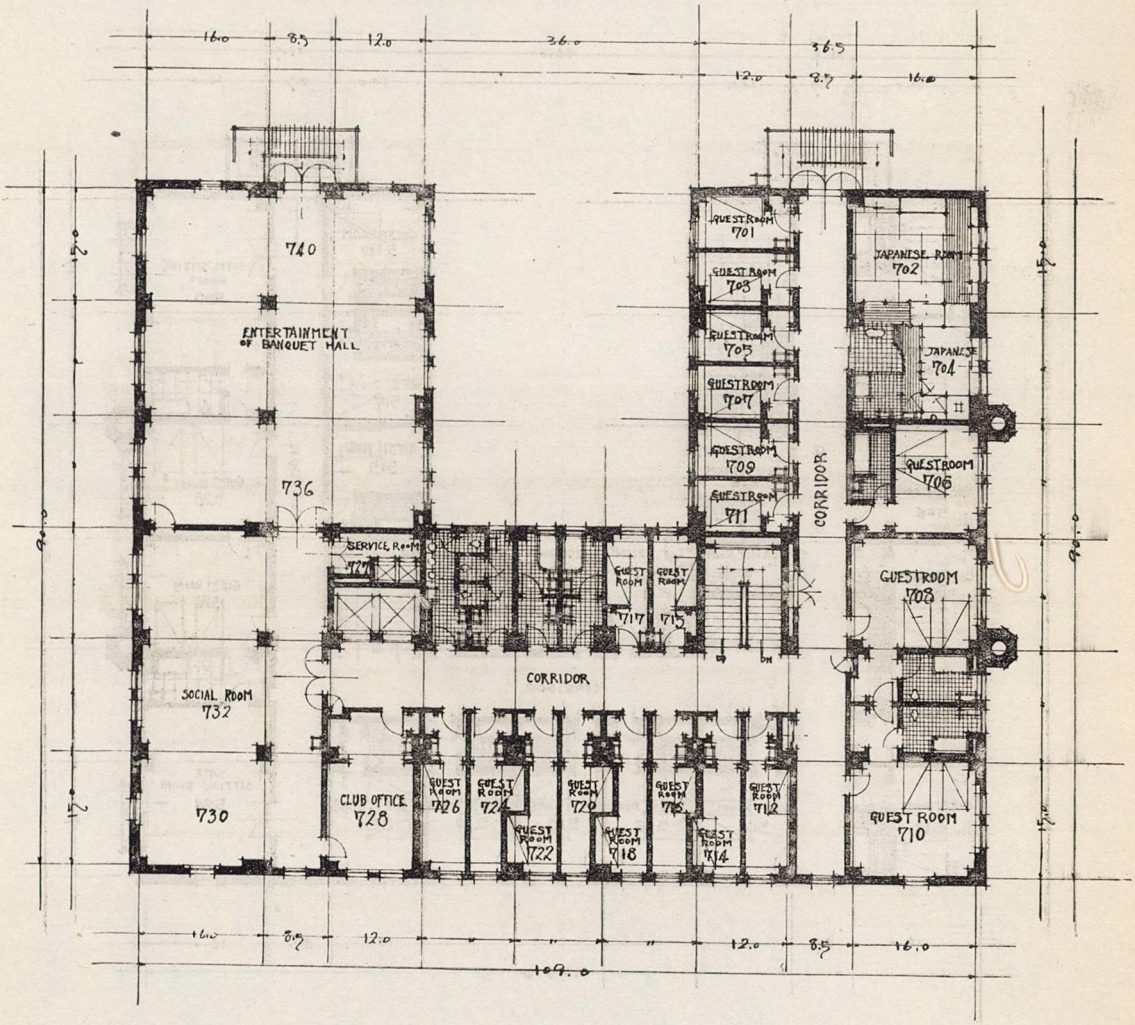
第貳階平面圖


CEREMONIAL STAND 304
BANQUET HALL MOMOYAMA STYLE 302
NORTH BALCONY 330
BANQUET HALL RENAISSANCE STYLE 328
311
SERVICE ROOM
GUEST ROOM 305
GUEST ROOM 307
GUEST ROOM 309
SERVICE ROOM 326
LADIES 324
GENTLEMENS 322
WAITING ROOM 306
WEST BALCONY
HALL 309
WAITING ROOM 303
JAPANESE ROOM 310
LOUNGE 316
MANAGING & DIRECTORS ROOM 318
PRESIDENT'S ROOM 320
ENTRANCE
109.0
90.0

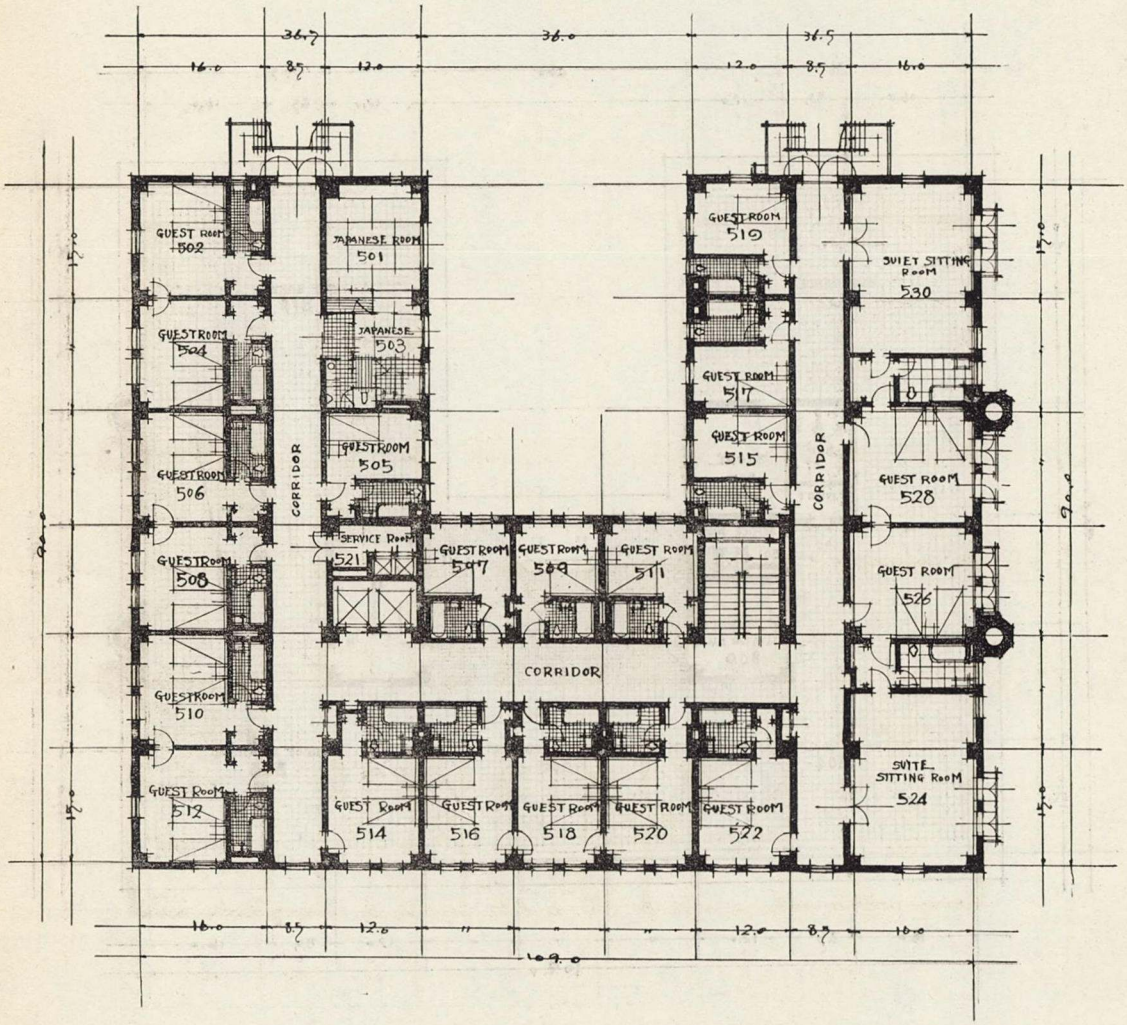
第參階平面圖


36.5
36.0
36.5
16.0
3.5
12.0
12.0
8.5
16.0
GUEST ROOM 502
JAPANESE ROOM 501
JAPANESE 503
GUEST ROOM 504
GUEST ROOM 505
GUEST ROOM 506
CORRIDOR
SERVICE ROOM
GUEST ROOM 507
GUEST ROOM 509
GUEST ROOM 511
GUEST ROOM 508
GUEST ROOM 510
CORRIDOR
GUEST ROOM 512
GUEST ROOM 514
GUEST ROOM 516
GUEST ROOM 518
GUEST ROOM 520
GUEST ROOM 522
GUEST ROOM 519
GUEST ROOM 517
GUEST ROOM 515
CORRIDOR
SUITE SITTING ROOM 530
GUEST ROOM 528
GUEST ROOM 526
SUITE SITTING ROOM 524
15.0
90.0
15.0
16.0
8.5
12.0
12.0
8.5
16.0
109.0

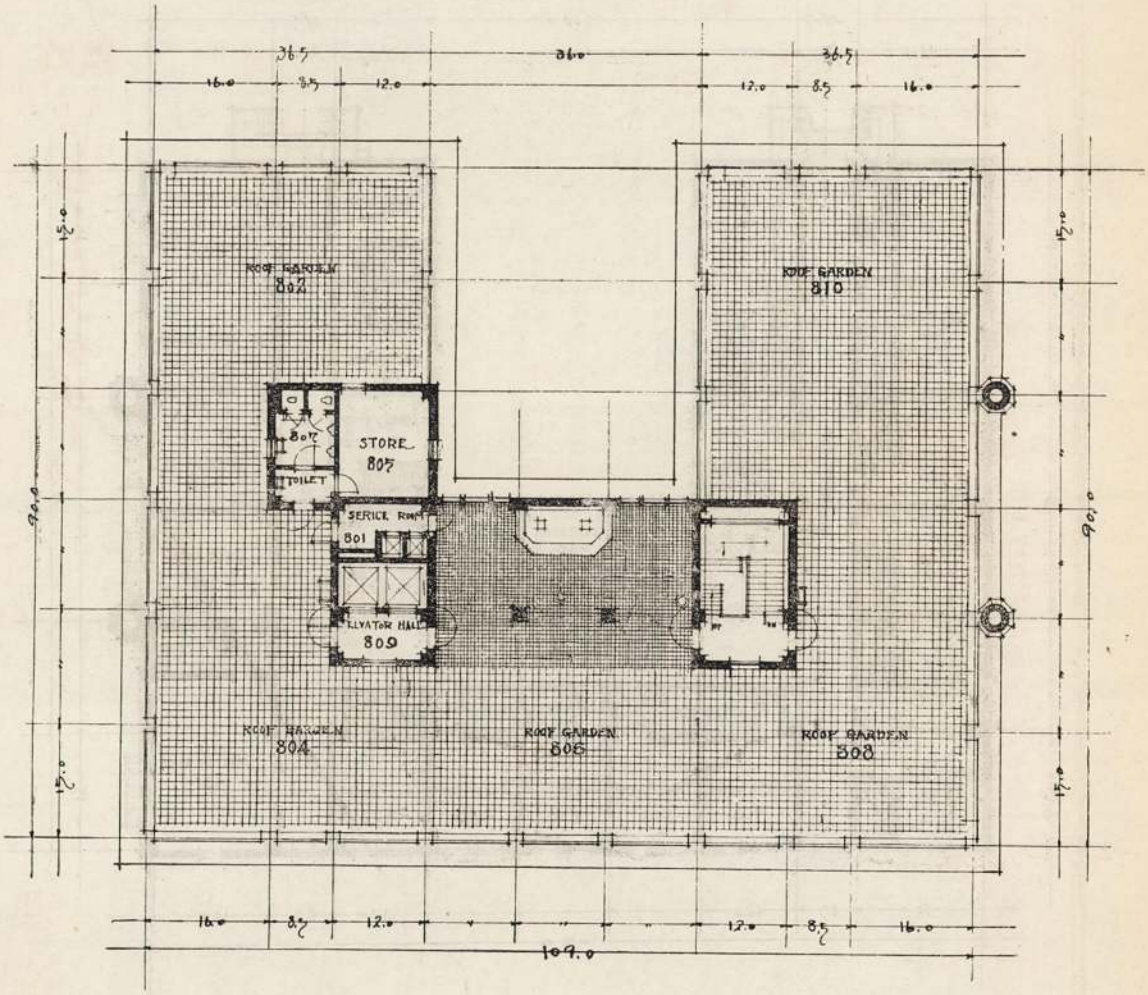
第四階平面圖


740
ENTERTAINMENT OF BANQUET HALL
736
SERVICE ROOM
737
SOCIAL ROOM
732
730
CLUB OFFICE
728
GUEST ROOM
726
GUEST ROOM
724
GUEST ROOM
722
GUEST ROOM
720
GUEST ROOM
718
GUEST ROOM
716
GUEST ROOM
714
GUEST ROOM
712
GUEST ROOM
710
GUEST ROOM
717
GUEST ROOM
715
CORRIDOR
GUESTROOM
701
GUEST ROOM
703
GUESTROOM
705
GUESTROOM
707
GUESTROOM
709
GUESTROOM
711
CORRIDOR
JAPANESE ROOM
702
JAPANESE
704
GUESTROOM
706
GUESTROOM
708
16.0
8.5
12.0
36.0
109.0
90.0
15.0

第七階平面圖


GUEST ROOM 502
JAPANESE ROOM 501
JAPANESE 503
GUESTROOM 504
GUESTROOM 505
GUESTROOM 506
GUESTROOM 508
GUESTROOM 510
GUEST ROOM 512
CORRIDOR
SERVICE ROOM 521
GUESTROOM 507
GUESTROOM 509
GUEST ROOM 511
CORRIDOR
GUEST ROOM 514
GUEST ROOM 516
GUEST ROOM 518
GUEST ROOM 520
GUEST ROOM 522
GUESTROOM 519
GUEST ROOM 517
GUEST ROOM 515
CORRIDOR
SUIET SITTING ROOM 530
GUEST ROOM 528
GUEST ROOM 526
SUITE SITTING ROOM 524
36.7
36.0
36.5
16.0
8.5
12.0
12.0
8.5
16.0
17.0
90.0
109.0

第五六階平面圖


36.5
36.0
36.5
16.0
8.5
12.0
12.0
8.5
16.0
ROOF GARDEN
802
ROOF GARDEN
810
STORE
807
802
TOILET
SERICE Room
801
ELEVATOR HALL
809
ROOF GARDEN
804
ROOF GARDEN
806
ROOF GARDEN
808
109.0

屋頂平面圖

Rolscreens
The Ideal Screen For Casements

夏ノ蚊蟲ノ
ロールスクリーン



（型錄贈呈）

日本總代理店

島貿易株式會社建材部

本店　大阪市東區高麗橋四丁目
電話本局自五〇四〇—至五〇四七番

支店　東京市日本橋區平松町
電話日本橋　二二四番　三一六九番
　　三一六八番

書は蠅、夜は蚊と

夏は閑靜な郊外の住宅に在つても中々に快よき休息は出來かねます。これ我が優美輕便なロールスクリーンの御使用を切に御薦めする所以であります。

從來病院や郊外住宅や又は料理場などで、窓の設備中最も苦心して來たものは實にスクリーンの問題であります。凡そ傳染病の豫防とか、夏期蠅や蚊や、其他色々の虫類が飛込んで來るのを防いだり、又工場地帶で煤煙防止の必要な場所などには、是非共此のスクリーンの用意をして置かねばなりません。

然るに此迄のものは、何れも取扱上の不便や、不體裁の點や或は又、不經濟などの點で、其必要を生ずる都度、頭痛の種となつて居たものであります。

此の久しい間の、難問解決の使命を果たすものこそ、實に我がロースクリーンの出現及び提供であります

小野田セメント専用
セメントタイル
セメントモザ井ックタイル
コンクリートタイル
ストンブロック
模造ゼンタームム
塀用ホーローブロック
其他各種人造石製造

大阪市港區大正通一丁目六三

創業明治三十六年　合名會社　田中タイリング商會

電話櫻川二〇四七番

分工場　大阪市東成區鴫野町五一一

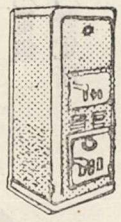
電話鯰江二六八番

東京工場　東京市深川區東平井町一ノ一

電話本所四六六二番

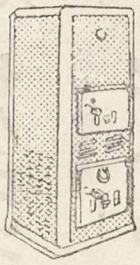
AMERICAN RADIATOR COMPANY

New IDEAL Vecto



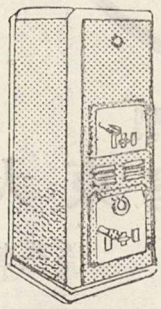
No3C

Heats 2 to 3 Rooms



No5C

Heats 3 to 5 Rooms



No8C

Heats 5 to 8 Rooms

重ナル寸法

型	高サ	間口	奥行
No3C	33″	15″	14″
No5C	43″	18″	17″
No8C	48″	21″	21″

日本總代理店

大倉商事株式會社

東京銀座　　大阪北濱

最近御用命先

南滿鐵道　適當に溶解したる塗料
阪神國道西成大橋高欄　にして塗布面の強靱と
阪神國道佐門殿川橋梁　色澤の優秀なる事既に

陸軍運輸部
大阪市電氣局
大阪市役所
大林組
清水組
大阪商船
富島倉庫
陸軍造兵廠
名古屋工廠
千種機器製作所
宇治川電氣
木津川發電所
住友伸銅鋼管株式會社　定評あり
日本絹綿紡織高槻工場　塗工部の設けあり實費
日本電力柳河原發電所　にて貴需に應ず



製造元

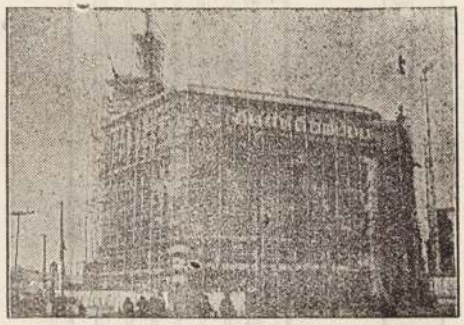
大東塗料株式會社

營業所　本工社及場　大阪市北區中ノ島大阪ビル八一四號室　電話土佐堀一八三二番
尼崎市外　小田村長ス　電話尼崎二三七番

出張所　橫濱市林町一番地　神戸市榮町三丁目三十五　東京市京橋區南大工町十一

製品目錄

△船底塗料　鐵鋼船底塗料
△水線塗料　鐵鋼船塗料
△ホールドペトント　同
△コツパーペイント　木船底塗料
△セクロン　鐵材裝飾防腐
△ハウスセクロン　木材裝飾防腐
△グラフアイトペイント　鐵材防蝕專用
△シーゲル　殺蟲液
△セトラ　木材防蟲防腐液



東都數寄屋橋々畔の偉觀

東京京橋區數寄屋橋々畔ニ新築サレタ東京朝日ノ新館ハ其ノ建材外觀總テ新ラシキモノデアルガ下部外側の水色は

東亞コンクリート塗料

ストンコート

ヲ以テ美裝シ上部外側の人造石面は

東亞の防水液

ダムタイト

ヲ以テ防水ニ備へ更に外部各所の蛇腹は

東亞の

トア・スパーワニス

ヲ以テ美麗堅固ノ塗裝ヲ施シ識者ヲシテアット云ハセツツアリ

古河經營

東亞ペイント株式會社

ヤマイチ印

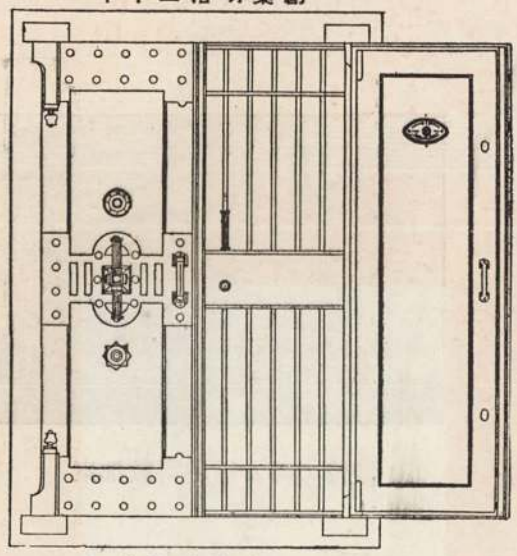
ペン印

寶劍印

眞マーク

大塚製金庫扉の特色は

防火的理想の完成したる
昭和參年新案特許第壹壹五七〇號
瀧村式防火裝置（自働アスベストパッキング）



金庫室防火扉

金庫室は完全なる扉と
内部什器（書棚及書函）の
鋼鐵化に因り始めて絶對的
災害防止の効果を實現す

御一報次第型錄差出申候
應貴意設計圖面調製提出
可仕候

營業科目

金庫室入口防火扉
マンホール幷ニ窓扉
倉庫出入口防火扉
鋼鐵製書函並ニ書棚
美術建築用金物一式

御用命を蒙り納入せる尊名

三十四銀行	吉備貯蓄銀行	奈良信託株式會社	武田長兵衛商店		
三井銀行	蘇原銀行	三井信託大阪支店	八馬邸		
名古屋銀行	灘商業銀行	三井物産名古屋支店	竹内邸		
名古屋貯蓄銀行	西海商業銀行	岡谷本邸	池田商店	名古屋	
加島銀行	大阪貯蓄銀行	岡谷合資東京金物部	安藤商店	名古屋	
明治銀行	内國貯金銀行	三菱電氣鋼鐵作所	平瀬邸	京都	
野村銀行	山口銀行	萩町信用組合	西郷邸	京都	
野村證券株式會社	久美濱銀行	松坂屋呉服店	三宅邸	名古屋	其市
濱松銀行	大垣貯蓄銀行	東邦瓦斯株式會社	大垣共立銀行		
中埜銀行	武庫銀行	大日本人造肥料株式會社	日本銀行	名古屋支店	
濃飛農工銀行	大野銀行	墟野義商店	岩津邸	名古屋	

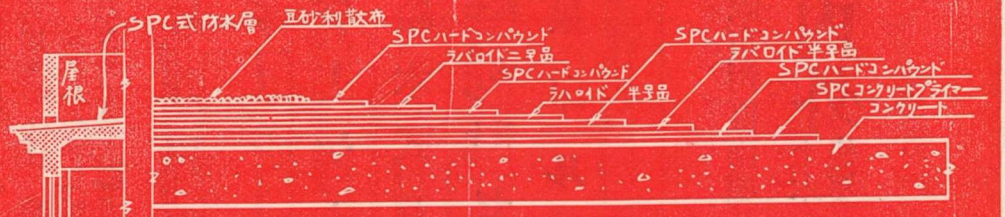
大阪市港區九條南通一丁目一三〇番地

大塚鐵工所金庫部

所主 瀧村松之助

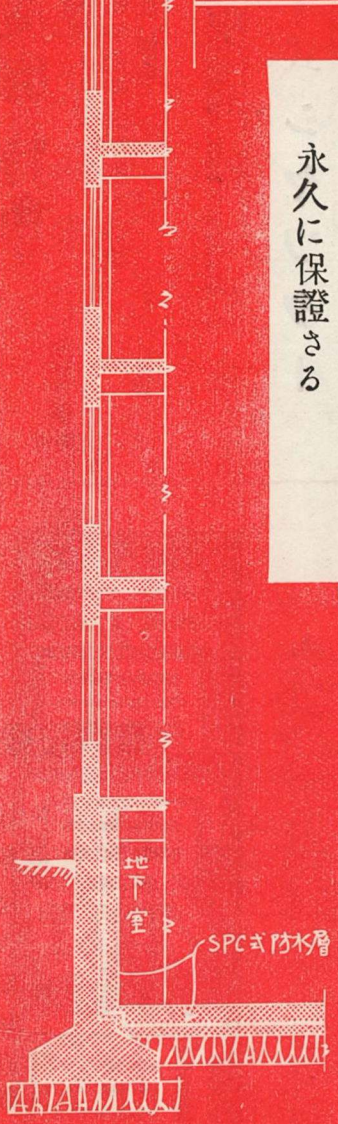
電話西五〇一七番

工場	九條南通一丁目	三軒家上之町	北境川町



SPC式 ラバロイド防水層

防水工事は
建築の生命である
防水の生命は
SPC式
ラバロイド防水層に依て
永久に保證さる



大阪市西區江戸堀北通一丁目二〇番地
株式會社 **ラバロイド商會**
電話土佐堀（長八五二番 三三三〇番）
門司市東本町二丁目
合資會社 **明正社**
電話門司（長 三七八番 六九〇番 一五六〇番）

◆特許山添式防水工事
◆タービヤ鋪裝工事
◆特許田中式硝子屋根
◆デーケー式シヤツター
◆デーケー式サツシユ
◆鈴木式及デーケーラス
◆セメント防水料セレシツト
◆星印ルーフヒング

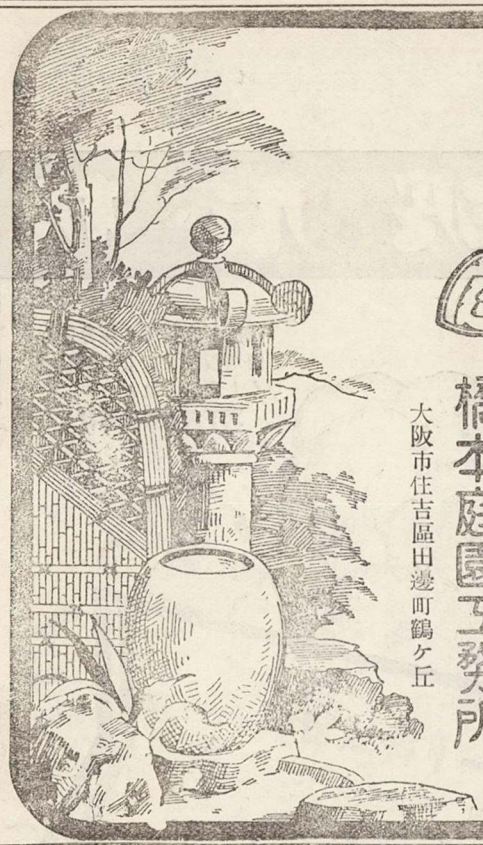
大阪市西區南堀江下通二丁目
内外土木建築材料合資會社
電話阿櫻川一六一〇番

青寫眞

▲晴雨を不論夜間にても燒付得る
▲燒付に乾燥凡てを電氣應用
▲集配は最も敏速を期す

青寫眞
トレース
書類複寫
感光紙販賣

大阪市此花區今開町二丁目四九
河村青寫眞調製所
電話長土(ナヨノ)三七四二



庭園

設計と施工

造庭學上の新智識を實地に應用して經驗を積むこと十年
獨特の技術と從業職人の訓練と優秀な設計と完備せる施工

和洋庭園築造請負專門
創業大正五年我國唯一　設計と施工案内進呈

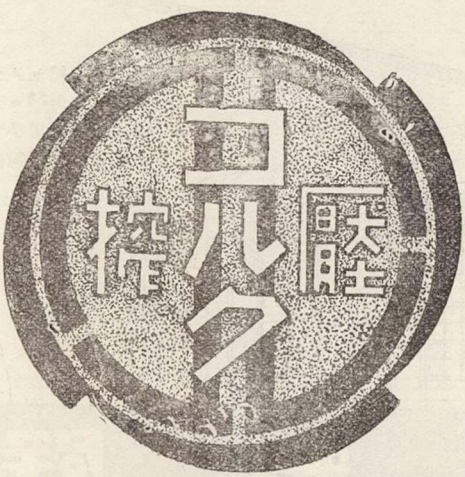
橋本庭園工務所

大阪市住吉區田邊町鶴ヶ丘

冷藏防熱用（製産高工場設備）**東洋第一位!!**

住宅敷物用、リノリユーム下敷用

炭化コルク

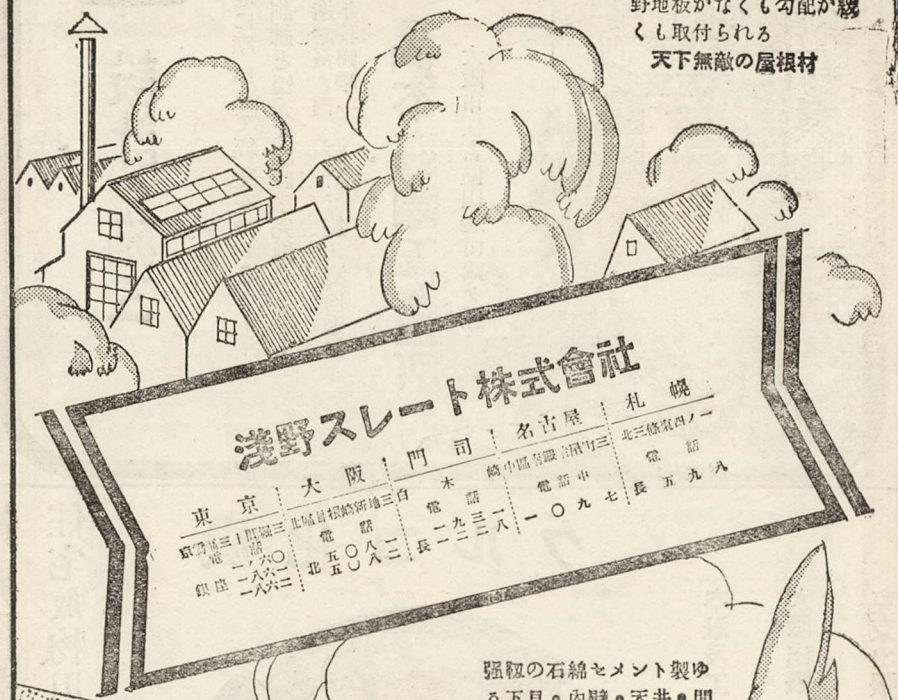


東洋工業株式會社
コルク部

本社及工場　廣島市吉島町　電特長一七九二
大阪出張所　大阪市北區堂島濱通一丁目百十番地　電話北一三八九
東京出張所　東京市神田區豐島町七番地　電浪花八五三番

淺野波形板

母屋が木質でも鐵骨でも
野地板がなくも勾配が緩
くも取付られる
天下無敵の屋根材



淺野スレート株式會社

東京	大阪	門司	名古屋	札幌
取扱店三十間堀三丁目 電話 銀座 二八六〇 二八六二	北區曾根崎新地三丁目 電話 北五〇八二	白木 電話 長一九二三一八	中區萬屋町三丁目 電話中 一〇九七	北三條東八丁目 電話 長五九八

強靱の石綿セメント製ゆ
ゑ下見・内壁・天井・間
仕切壁等に用ひて
比類なき最敵品

淺野壁板

日本ペイント

萬歳號

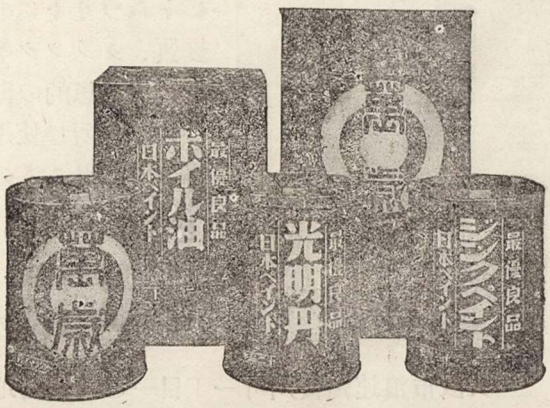
創業明治十四年

資本金五百萬圓

萬歳號　出現の二大理由

一、御大典の年に方り恰も創立滿三十年に達した弊社は　この機會を以てあらゆる華主各位の多年の恩顧に酬ゐんが爲め　新製品「萬歳號」を通じて特別の奉仕を爲さんとするものであります　其方法は弊社本支店　出張所　代理店　特約店に御聞合せを願ひます。

二、萬歳號は多年研究の成果であり塗料としての凡有條件を具へた最優良品でありまして「萬歳」といふ登錄商標により「萬歳即一等品たることを示し凡そ一號等の通有最上級品を濫用して不正競爭の行はれつゝある我業界を廓清せんとするものであります。



大阪　東京

家具ト室内裝飾

設計施工

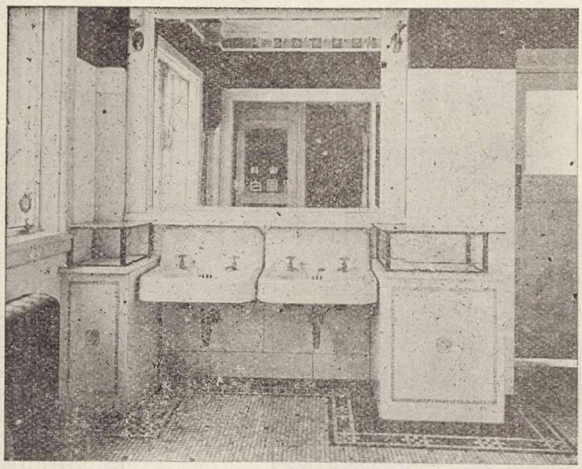
創業明治三十五年

松安洋家具商會

會主　安川熊吉
　　安川梅太郎

大阪市西區南堀江上通リ三丁目
市電立花通リ停留所東入ル南側
電話櫻川二四七〇番

●各建築設計施工者ニ御依頼
●備品家具ノ下請負仕ル可ク候



便所…化粧室…湯殿

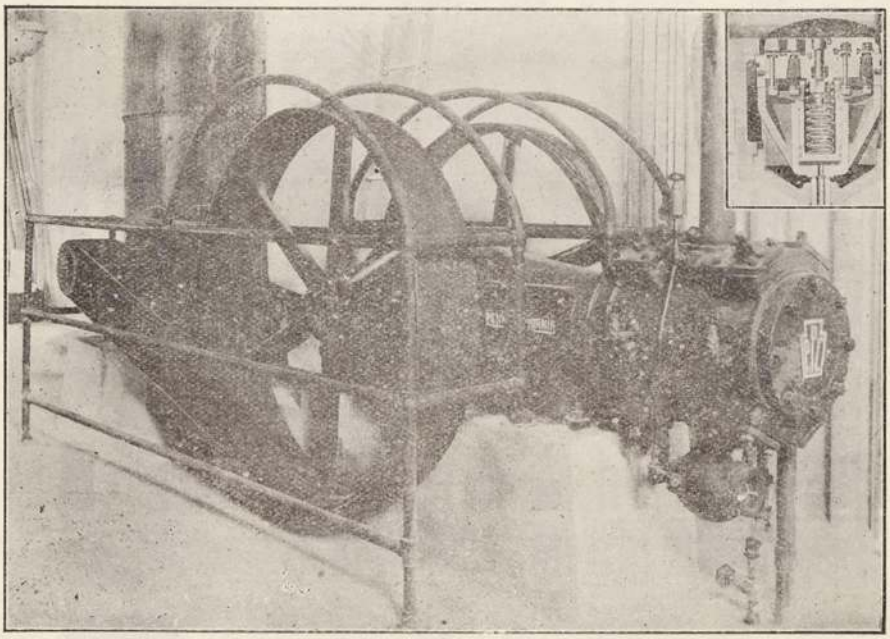
ビトロライトは永久に、汚染、腐蝕變質、クラック等の憂は絶對にないと云ふ理想的の貼瓦材であります。これを便所に使用してはじめて衛生的と云ひ得るものではないでせうか

ビトロライトの大きさ
3尺×6尺
色合…白、黒、アイボリー、ジエイト

大阪市浪速區櫻川町一丁目一〇五四番地
大阪ビトロライト工事合資會社
電話櫻川二二一四番
出張所　東京市京橋區本材木町一丁目二三　電話日本橋(24)〇九六九番

PENNSYLVANIA

空氣壓縮機



一定不變の優秀能力

獨特の構造を有する本機は機構極めて堅牢、一定不變の優秀なる能力を永年持續し得て、而かも維持費僅少なる點に於て本機は絶體に他の追隨を許さぬものである。各種型大小あり詳細御照會を乞ふ。

Pennsylvania Pump & Compressor. Co.

東洋總代理店

株式會社 アンドリュウス商會

本社 東京市芝區芝公園五號地二ノ五
支店 大阪市西區江戸堀南通三丁目一八

名古屋・小倉・札幌・京城・臺北・大連・紐育

理想的
床敷材
リノリユーム



東洋リノリユーム株式會社

營業所　大阪市東區五町二山口ビル四階
電話本局二〇六〇番
三九一〇〇番

年額百五十萬平方碼

TRADE MARK

富士印

大阪高等工業學校教授

横内榮作先生御推奨

セメント防水劑

エキタイト

現今セメント防水劑も同種類のものも相當ありますが何れも用途に依つて多少の適不適があり且價格が一般に高價でありますから使用量を手控へらるゝ爲充分な防水能力を認められない場合も見受けます弊店では多年防水劑の製造に從事し其研究になる製品を以て各建築物各業者の御使用を願ひ優秀なる品質は已に實績により認めて頂いて居りますが今回價格に對し大量生産に依る統一せるより良き製品をより安く提供す可く防水劑界の革命的安價で需要家諸彦の御引立を御願する次第であります。

◇外に急結エキタイト塗布エキタイトあり見本進呈

TRADE MARK

富士印

セメント着色劑（絕對變色セヌ）

英國製 パーフェクチン

本劑はセメント及石灰の着色劑にして在來の顏料又は黃土其他の着色物と異り配合量少なき爲セメントの効力を弱めず且つ日光風雨の爲變色する虞れなく左記の場合の着色劑として最も適當した辭新なる材料ですから御試驗の上多少に不拘御用命願います。

ソレヂット、ドロマイト、プラスターの着色用

一般コンクリートの上塗……目下黃色又は橙色を一番多く御使用になります

室內又は陳列臺の腰張……綠、青、黃、褐色が適當してゐます

浴場便所等のタイルの代用……綠、小豆色が喜ばれます

リノリウーム代用床漆喰の着色……赤、黑、小豆色が歡迎されます

辨柄の代用として……少量の赤色にして鮮麗なる赤が出來ます

寒水石、サヒ石、瀧山等の洗出仕上、研出し又は人造石

セメント瓦及タイル着色用……としては特に適當した格安品が有ります

見本及型錄進呈

地方特約店募集

元賣發輸入「パーフエクチン」着色劑

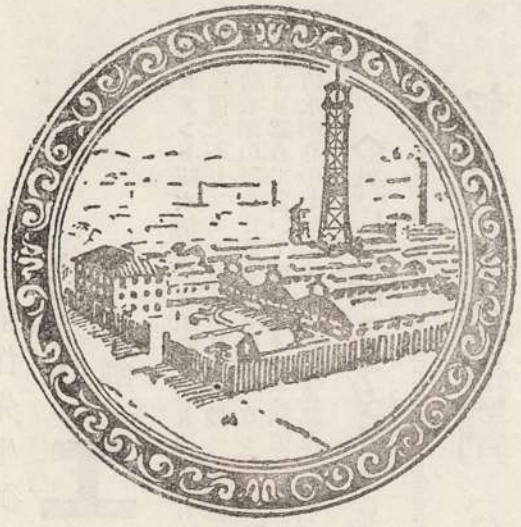
元賣發造製「エキタイト」防水劑

大阪市東區備後町一丁目

灰久本店

電話南二百五十三番

NIPPON ELEVATOR CO.



營業科目

一般輸送機械
ホイスト
エロープホーレージ
エスカレーター
ケーブルカー
コンベヤー各種
エレベーター各種
設計製作

大阪市東區中道川西町

日本エレベーター製造株式會社

電話東 2367 . 3805 . 5642 番

取締役社長 工學博士 片岡安

專務取締役 工學博士 堀覺太郎

東京支店

東京驛前丸ノ内ビルディング四階

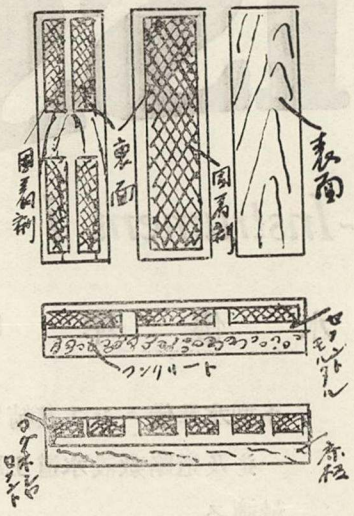
電話丸ノ内 (23) 3073 . 3074 番

專賣特許 東松式外二拾四件

コンクリート上に根太を用ひずタイルを張るご同様セメントモルタルを以てリソード床板を張るものなり床板上に張る場合は特種セメントを以て張るものご存じます。

理想的根太無床板　専賣特許願第一二四五一號
同　右第一二五一五號
新案特許第二七二八七號

丸上式 リソード床板



特長

價格低廉、耐久性絶大、彈方性ニ富ム保溫性快感
衛生的、伸縮浮上リノ憂ナシ無音響、修繕容易
水性、耐火性

専賣特許 練革床

特許ピトリウム床
特許ピトチック内外壁
丸上式リソード床板

實刹 檜床板

特許葵式淨化裝置
水道、衛生工事
タイル、衛生陶器

衛生工事

葵式フロリングブロック
各種寄木床張
乾燥材挽立
乾燥木堅

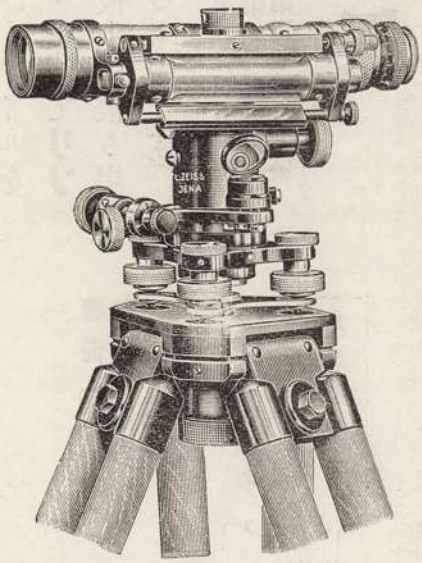
葵商會

大阪市港區境川町四丁目四十番地　電西〔長〕四一九六
東京營業所　東京市京橋區木挽町一ノ一三　電話銀座三九五・九三二

ZEISS

Nivellier-Instrument 1

ツアイス　水　儀　準　I



小型水準儀ニシテ其精密度ハ住宅建築並及道路敷設水道工事測量ノ所用ニ最適ス

反轉水準器ニ依リ一ノ立場ヨリ容易ニ調整スルヲ得

望遠廓大倍數　20×

標尺糎分割ハ 250m ノ距離ニ到ルマデ讀取リ得

型錄　Nivil/2　御報次第進呈

其他　經緯儀、水準式距離測量儀、化成距離測量儀、ウインケルプリズマ落下杖アリ。

（弊社測量儀全體ニ亘リ詳細說明アル邦文ノ型錄ガアリマスカラ御通知アリ次第無料デ差上ゲマス）

カールツァイス株式會社

東京丸ノ内郵船ビルデイング七階

電話丸ノ内(23)　三〇六五番　三〇六六番

CARLZEISS TOKYO KABUSHIKI KAISHA

SPECIAL BORING

ボーリング 鑿井

○明治十八年創業 斯界之権威 ｛古キ歴史ト経験 特許ノ機械器具 猶特ノ優秀ナル技術｝＝他ノ追従ヲ許サズ

○標語 ｛岩盤、玉石、土質ノ硬軟水壁ノ別ナク 工事ノ多少ニ不拘迅速正確低廉

○特長 ｛鑿井 ｛掘工開始 水潜混ゼズ 任意ノ水層掘鑿ニ随水 鑽管内厚栓子ソケット継合 井側鑽管ト同径ノ砂利 装置ノ「ストレーナー」 漏水不浸 挿入安全 土質ニヨル鑽管破壊ノ憂ナシ 生命永久 ボーリング ｛粒土ヲ用ヒズ 地層ノ区別完全 標本土正確 地質ノ硬軟 土質 水位 フレシャー フレクション モ鮮明 副形モボーリング表ニテ明瞭ス

○光栄 ｛請官衙 技術大家 諮會社ヨリ多数ノ成績証明ヲ賜ル 宮内省特ニ御用命ヲ拝ス 大阪東京両市電気局高速度鉄道課 東京地下鉄道株式會社御用命ヲ受ク

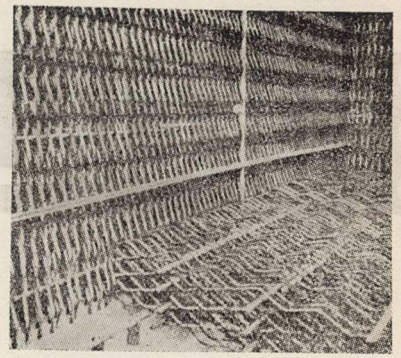
○推奨 ｛基礎工事竪ヲ縦ジ 漏害豫防ニ 費用僅少定評アル森川ノ各種ボーリング 水ノ解決ノ為メニ 合理的ナル森川式鑿井

地質調査ボーリング
コーアー式ボーリング
特許 森川式大鑿井
特許 森川式井側装置
揚水装置
杭打試験
載荷力試験

森川組

店主 森川鴻爾

本店 大阪市西区幸町一丁目 電話川 長四四一 三〇一
支店 東京市神田区金沢町 電下谷 五五三二



（スチールクリートメッシュ配列圖）

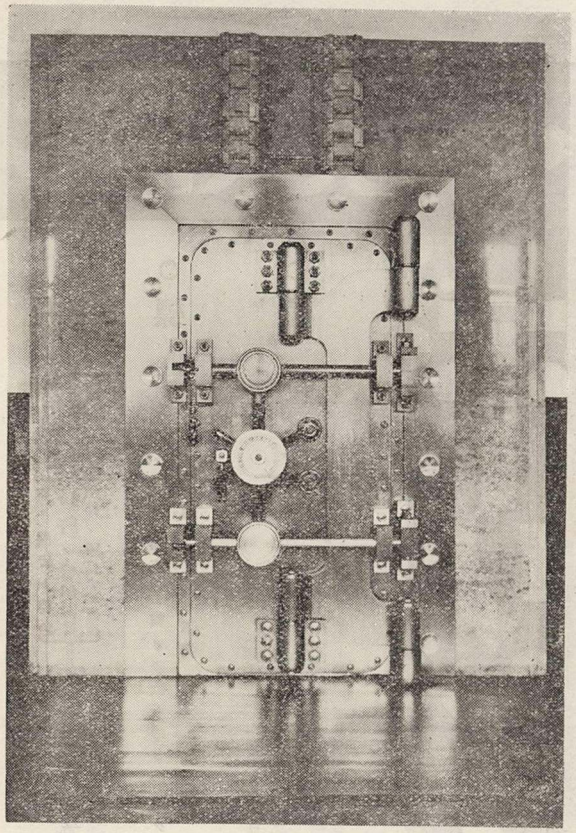
▼理想的金庫室ヲ造ルニハ▲

スチールクリートメッシュ

ヲ以テ壁床天井ヲ造リ

モスラー金庫室設備

ヲ施スニ在リ!!



（織田信託會社モスラー金庫室）

總代理店

三井物産株式會社機械部

賣販設計据付工事請負

三機工業株式會社

本店　東京市京橋區幸町二丁目（大ビル内）

電話銀座三五〇三・三五四（五）

支店　大阪市東區備後町三丁目（野村ビル内）

電話本町一一六六・一五二五

取扱店　三井物産株式會社機械部各地支店



新版大阪圖繪　大江橋畔

木接竹之類

世に物のつり合はざることを稱して木に竹を接ぐの類と云ふ、即ち個々の特性を無視するの謂ならん、人間の心は絶えず異れる境地に對して向ふことによつて興味を覺える。ノビレ少將の極地探險等も此種に屬する、ソコに人類の向上進歩の力も培はれ行く譯ではある、然れども、此心理は一歩を過ぎれば只奇をのみ好むの結果となり返つて人類の向上發展に益なきことゝなり易い。

記者は某日某郊外電車上の人となつた其際一外國婦人が現今彼等仲間に於て流行しつゝあるハッピーコート（法被）なるものを着用してゐるのを見た、チナンド色に秋の七草を下半分に配し蜻蛉の所に一抱大の胡蝶を染出したる實に目も覺むる計りのあでやかなものであつた、さながら芝居のドン帳を偲ばせる程の大紋所である、スカートの上に着流したる所奇と云はんか狂と云はんか其そぐはざる處實に木に竹を接ぎたる有樣であつた、外人が日本趣味を取入れてくれることは一種の親善味を覺えるには相違ない、けれども變に取入れてくれることは返つて迷惑と不快とを感じる、特種婦人を透して解された日本婦人の迷惑は大なるものである樣に……之を反對に彼等外人から我國の現に取入れつゝある歐米文化を見る時果して如何であらうか、或は風俗に或は建築に其他總ゆる方面に於いて苟しくも歐米文化の輸入せらる所此不權衡を見出さゞるか、吾人は歐米文化の輸入に對して今一段と眞重なる態度を以て臨むの要なきか。（三、八、一）

佳山生

木造建築の保存

工學士　松室重光

（一）

建築の進歩を期すれば、現在の都市と村落とに論なく、其對破壞力的建造であるが、之よりも遙かに根本的に重大事なりと思はるゝのは人心の建造であらねばならぬ。

人心の建造と云ふことは口で云ふ程平易なことではないが、之を度外視しては如何なる建築も其意義なき筈で、社會改善の第一階梯は何としても先づ人間心の正しき基礎を築くことである。

此人心建造の一つの對照として、我等は我等の先祖が遺して置いた各種の建築物を見つめ、之が保存の極めて重大であることを思ひ浮べる。

（二）

國家的に木造建築の保存が行はれつゝあるのは、古社寺保存會の事業が其一つである。

此事業は、國家が其歴史生命表現の所生物である古神社古寺院の代表的建造物の一部を保存し、且つ保存せんとしつゝある計畫であるが其範圍が甚だ狹く、又此目的達成の爲に用ひられている經費は頗る少額であつて、大なる効力を擧ぐる迄には至らない樣である。

されば國家が有價値として認定したるもの、外の建造物は悉く無價値の物であるかと云ふに決して左樣ではない。

現在に於て、國家の保存の計畫中に入るものは主として宗教藝術的な作品で、云はゞ一種の貴族的作品の保存であつてそれが國家の歴史證徴としての絶大なる價値あることは勿論であるが、其他の物にありても、等しく日本民族の史的證徴として立派に保存せらるべき充分なる價値を有するのである。

それの行はれないのは種々の理由もあらうけれども、結局は國家が此等をも共に滿足に保存するに足るだけの充分なる財政上の餘力を持たないからであらう。

斯くして國家が保存すべき物ですら、力其處に及ばぬ前に於て種々なる災厄の爲に滅失損催の害を脫れ得ぬものも澤山ある。

（三）

そこで我等は國家以外の公共團體、法人、個人等に於て此等の國家の保存に漏れたる物の保存を計ることの急務なりと認むる。

國家の力茲に及ばぬ時、我等國民が其能力に相應して之に當るべきは、國民としては必要なる義務であり、又其矜であると思ふ。

（四）

單に木造とはいふが、日本ほど史的に見て此種の特殊なる文化資料を澤山に持つている國は世界に於て他に求められぬのであるから、蓋し我國家が其名聲維持よりするも、慥に最も有意義有益の事業である

此木造建築は今日に於ても猶生々新々、更生しつゝありて、如何に鐵筋『コンクリート』造が全盛を極めても、又は火事や地震が燒亡破壞せしめても、なか〳〵急に絶滅する樣な心配はないと思ふのであるがたゞ其表現する意義に於て、今後の所生のそれが克々今日迄のそれと同一であり得るや否やは疑問である。

我等が現代建築界の大勢に反抗して、此木造建築を保存せよと支持主張する理由は澤山ある。

（五）

木造建築は我國粹生命の一部を表現している。

建築が此國粹的表現の一種である間は、此保存は國家生命の永遠を計る上より見るも必要である。

何が此木造建築に其國粹的として表現せられているかと云ふと、種々なる意義解釋を附與することは出來るが、其一つは我國民の清き公明なる心の表現である。

木造建築は主として骨ばかりから成立つて、それが餘計な衣をきぬだけに、其一つ〳〵が眞である。よしや其組立構造が現代的な科學的方法と一致せぬ點はあつても、二千五百年間を傳えてきたものに其保存持續的生命がないとは云はれない。

其骨骼組立が實用以上に出でぬのは事實である。此事實は飜て日本國民の精神を語つているのである。

木造建築は開放的である。之を住宅について見るに其一つ一つの室を他の西洋建築のそれの樣に全く獨立して私的に使用せぬのが主體となつている。之れで歐米人の樣な全くの自我、個人的な生命は此中からは生れて來ぬ。

協同的集團的な生命の源泉となつているのが此木造建築である。何事をも隱さないと云ふ點に眞がある。國民の公明な心の表現がある。其僞りなき所に實に日本國民の神的表現がある。

今此等の價値表現を有する木造建築の一切を破壞して都市と村落とを論ぜず建築の西洋化を計るのは甚だ愚かしき限りと云はねばならぬ

（六）

さて、木造建築の保存を要するものの第一は何と云ふても社寺である。即ち古社寺保存會に於て現在なしつゝある事業以外の猶多々の建造物を保存するのを必要とする。

社寺の規模（茲には單なる建造物ばかりでなく一般的に）保存に關しては今日之を取卷く氏子や信徒の負擔は相當に重るものがある。彼等は其傳統的な信仰精神と因習から、敢て之を辭さないのであるか、現今の樣に人心の歸向に光明指針の立たぬ時には隨分之を迷惑がり、且つ無意義と思ふているものが尠なくなる。

從つて此等の保存には積極的方法を講ずるのは勿論であるが、又消極的の方法を根本的にもよく研究して然る後に實施することを必要と信ずる。

で、此消極的方法の第一は保存目的物の限定である、何々の建造物に限る、何の庭園の何の部分を維持すると云ふ樣に明確に目的物を限定して、其保存の範圍を示すことのである、即ち其保存の極限を示すである。

而して其必要と認められぬ建造物は、社寺乃至は其環境に立つ人々の餘力なき限り、之を自然の推移に委して其運命の展開に別段の方法を講ぜぬことゝする。

斯様にしてゆくと、今日我等の見る社寺の建造物は其數量に於て蓋し非常に減少してゆくであらう。而してそこに殘存する建物に對して全力を盡して保存する、しかし此限定については相當に議論もあらうそれは建造物の藝術的方面の價値批判からでなく、信仰方面からの反對意見もあることと信ずるが、茲に我等の信仰とは純眞なる信仰を意味するから此限定は相當の根據あるものとして出來ることと信ずる。

（七）

第二にはそれ等の建造物の保存に最も少なき金額で出來る方案の研究である。建造物の破損を最少限度に止むる樣になすことが出來れば其結果として維持修理の經費が餘程減少せられるのは云ふ迄もないことである。

此一例として云へば木材の防腐方法を講ずることである、其形貌に差支えを生ぜざる限り藥液の注入若くは塗布をなすことがそれである基礎工事に補强するのも其一つである。左官材料中に『セメント』等を加ふるのも又一つである。併しながらそれ等の附加施設をなすは全く必要なる範圍に限らるゝは勿論、之によりて後の研究調査に疑義の發生を見ざる樣、其證跡を文獻其他の上に明確に留め置くことは無論である。

（八）

木造建築の最大なる短所は其耐火的でないことである。獨り社寺に限らず我國の建築が年々火災の爲燒燼滅亡する損害は實に多大である此損害を最も少なくし、必要なる建築の運命持續のために防火設備をなすことは最も急要な事業である。

我國に於て、古建造物に防火の施設の出來ているのは恐らくは法隆寺位のものであらう、其他の奈良京都乃至は全國の社寺建築には、何等積極的な火災防禦の方法は講ぜられて居らぬ。

此火災防禦の方法を速やかに講じて置くことは社寺及其周圍の人々の第一の義務であらう。特にそれ等の建築物が市内に存在して家屋櫛比の間に伍している處に於ては最も緊要なことである。

市街の繁榮殷盛の中に置かれてある神社寺院は、自ら失火の變事を發生させぬ迄も、何時他からの火災の影響を蒙らぬとは云はれなる。左樣な危險地帶に置かれてある社寺建造物の防火的施設は極めて重大性のものであることを知らねばならぬ。

社寺自身ば左して急要でもない神苑の建設や何かに力を用ひるよりも先づ其社殿堂塔の防火施設をなすべきである。

それから、京都や奈良の如き都市は其都市の生命である此等のものの保存の爲に速やかに防火地帶を設定し、附近の家屋道路を整理し、如何なる場合に於てもそれが安全を期せねばならぬ。

勿論之には莫大の經費を要することである。且つ一朝一夕の仕事として出來得べきものではないが、それだけ之を眞劍とする古都市に於ては、他よりの災厄に危害を蒙らしめぬ爲他の道路の擴張や何かよりも最初に着手せねばならぬ事である。

御大典を紀念する事業として、京都市が美術館を建設せんとするのは悪いことではなる。無論有益な事業に相違なる、それが市民や其他の有志の寄附金で出來る上に於て社寺は直接の交涉を持たぬ。たゞ一

の美術館が建てられて、一若くは多くの社寺建築の失はるゝ樣な場合が出現したらどんなものであらう。若し東山一帶の社寺に危害の生じた場合を想像したら何と感ずる。事の大小輕重はよく〳〵考究してかゝらねばならぬのである。

某々の神社や寺院に寶物殿を建造する事も又美事ではある。が、若し其社殿伽籃に難事發生せば、一の寶物殿は果して其社寺と其美術と其歷史傳統の全部を救ひ得るであらうか。

（九）

我等は社寺の建造物を制限して保存せよと云ふ。此社寺建造物の最少限度の制限保存は古社寺保存會の事業がそれである。それは餘りに極端であるから我等は其餘の幾多の建築をも共に保存すべしと主張する。而して其範圍を可なり擴張し、其制限の區域を大ならしめよと言ふたのである。

そこで此主旨の徹底を期する爲に、其保存に何等の必要もなく又價値のない、而して將來に於ても價値を生じないと思はるゝ樣な幾多の附帶施設を局限し、それ等の建築を禁ずべきことを主張する。

（十）

社寺は其純眞なる信仰、歷史傳說によりて其建築其規模が極めてよく其環境の自然と調化してゐる、而して其處に大和民族の精神生活を如實に表明言說してゐるのである。

其建築其規模に餘り多くの人爲的技巧を加へぬ處に妙味を發揮してゐる。

今此等の社寺に於て其通路を石敷としたり、あるが上にも鳥居を增し燈籠を立てるのは、參拜者の便利の爲か信仰の表現かは知らぬが、傳統的な社寺の景觀を俗惡ならしむる外何の價値もなのである。

然るに、近頃斯種の施設の可なり增加しつゝあるのを見るのは聊か意外とする處である。京都の平安神宮に『コンクリート』造の鳥居を建設しつゝある、此御宮は其特殊な規模が既に平安神宮の一切を完全に表現していて今更鳥居を建設するも何等神宮の價値に加へぬ筈であるそれを敢てするのは一種の信仰遊戲であつて神に奉仕する純淨心の發露ではない。

寄附者の氏名を麗々しく刻した石柵を繞らすなども又其一例である幸にして官國幣社などには斯る醜惡の施設は餘りないが、低級なる神社や寺院には此例が尠なくない。

京都東山一帶の景觀が其或部分に於て此施設によりて俗化して見るも嫌はしめのは甚だ遺憾である。伏見の稻荷神社や北野の天滿宮が此一例であることは悲しむべきことである。

名もなき村社や小祠と雖も民族信仰の儀表としては或程度迄純眞神嚴であつてほしい。それが斯樣に醜くくも累はされていることは獨り無智蒙昧の下層民の迷信として觀過すべきことではない、やがてそれが眞に必要なる物の保存維持の邪魔となることを注意すべきである。

此意味を擴張して我等は彼の天然紀念物や史蹟の保存事業に於ても最も切實にして必要なる事以外力めて何等の附加施設なき事を希望して置く。

（十一）

次には民衆建築の保存である。

社寺と雖も其全部が決して貴族的のものばかりではない、貴族富豪

の閑日月遊戯性滿足の爲に形を信仰に假りたものばかりである。

それ等は我等が保存すべく既に主張した通りである。

茲に言ふ民衆的建築とは、住宅、店舗、それに附隨して、現に我等の國民生活の源泉となつて居る種々なる建築の保存である。之れを或程度迄保存すべしと言ふのである。

之は震災で滅却した東京の町の眞中では起らぬ議論である。鐵筋コンクリート構造に沒頭する人々の腦裡には閃めかぬ議論である。東京の町の眞中には曹早純眞なる日本の民衆的な建物は見ることが出來なゐ。隨つてそれの價値批判をなす念が發生せぬ。

今の東京は新たらしき日本の表現である。大正以後の日本の一面は之で見られやう、併し三百年の歷史を有する東京を語り得ない。之は止むことを得ぬ。

左りながら日本の建築を悉く歐米の風に寫しかえることは出來まいし、又其必要もないことである。

即ち日本の歷史を語り、日本人の日本らしく生くる方法として、木造建築が今後に於ても持續性あることを知ることきそれのよき手本を保存するは甚だ肝要な事である。

（十二）

種々なる形貌を有する西洋建築や、橋や、交通機關や、兎角神經衰弱の因をなす現代の都市に猶舊來の生命の存在することを面白いと見て、それの研究が廻て新らしき東洋を生むものと見て其保存を提唱するのである。

試みに獨逸や佛蘭西の最新の建築が如何なる形貌で何を語るかを思へ、其窓障子や、家具や、それ等に曾て西洋人の想像しなかつた純東洋風の或物がないとは言はれまい。而して之な最新建築として模寫する日本人は何を考へねばならぬか。

文化の東西交換はよい、たゞ文化の逆輸入を受くることは我等の恥辱ではないか、負ふた子に教えらるゝこと、何時迄も我等の堪ゆべきことであらうか。

（十三）

進歩か、發展か、日日に其形體を變へゆきつゝある大阪の市内に於てすら、我等は幾多の傳統日本の眞建築を見得ることを幸福と思ふ。

其店舗たるものに就て言へば、其『プラン』と其外觀とは無論利便一方誘惑百端な現代的のものとは比較にならぬ。それは餘りに守久的である、餘りに陰氣である、しかし其處には極めて地味な落つきと靜さがある、安らかさがある。時と金との乘子因子の函數として日も夜も拘束せられて居る都市民に如何に一服の清涼味を與へつゝあるかを思へ。

（十四）

京都に一つの俗謠がある。

『三條室町きいて極樂見て地獄、お粥かくしの長暖簾』とは京都の町人を侮辱した意味もある、言ふ處の三條室町京都の問屋仲買人等所謂『御店』の中心である、資力ある商人の中樞である、そこの店頭の陰氣にして細かき格子の外に低き軒から下げ懸けられた曇染の長暖簾で、さらでだに陰氣な室内を一層陰氣にする、其處に番頭丁稚が店頭に坐し或ものは算盤をかゝえ、或者は煙草をかんで客と應對して居る有樣は如何にも悠長である、餘りに靜かであつて且つ寂しる、用事あつて

丁稚を呼ぶ、小供の聲が細く長く語尾をひく、一々の商品を土藏から持出し持歸る。

主客共に悠々としている、何時商談が成立つのやらと言ふ體たらくである。

外觀の（舊式に言ふのであるが）堂々と立派な斯様な構えや商賣で相當古き歴史を持たる物持たるお店も、一旦内部に立入つて見るとお粥をすゝつて暮らす質素さを少々貧乏染みたものとしての嘲罵の意味はさてをき、我等は其處に堅實なる都市商賣の一種の氣分を感得しうるのである、それが今段々と減少している。茲處には舞臺幕の昔ばゆる光はない、しかし相當な深味がある。

（十五）

今之を三條四條烏丸から寺町邊迄の堂々たる現代式の銀行建築に見よ。それが如何に京都を語るか、此等の銀行は質素なる京都人から巨億の預金を吸收している、而して之を他に轉送利用している、その京都の爲に投資せられて居るものは幾何もない。即ち斯様の堂々たる現代建築は其様式は兎に角、其結構に於て火に耐え震に堪えて全く堅固安全たり得るが、實は内容空である、空の金庫である。

こんな看方をすると、歐米風建築による都市の改善は畢竟改惡である。京都の特質はかうして破壞せられている。

（十六）

都市が目まぐろしき迄に繁昌殷盛なるべきは果して其當然の運命であらうか、而して町村が次第に同じ様な形に變遷しつゝあるこゝは果して又當然の歸決であらうか、斯くしては人間は日夜に活動せしめらるる以外に遂に何處に休養すべき場所を見出すのであらう。

今日の事情は都市の舊式日本の店舖など到底容れられないかも知れむ。しかし都市の全部が商店であるのでない以上我等は在來日本のそれを出來る限り或範圍に殘存せしめたく思ふ。

幾百の七階八階の宏壯なる『ビルヂング』を併せても、遂に一個の大阪城の櫓に及ばぬことを敎えらるゝ時、我等は建築の將來を如何に考ふべきであらうか。

（十七）

十七住宅建築となれば更に一層の妙味がある。

我國の住宅は其都市に在るものゝ村落にあるものゝに論なく、其地震火事に破壞滅却せられるものなるにも係らず生々更新して三千年の歴史を有し現に二三百年の壽命を持つたものも尠なくはなゐ。

たゞ此一事のみよりするも世界的に保存の價値は充分である。

倫敦や紐育の眞中にも極めて稀であるが木造建築が殘されている、これは單に珍らしいから殘されて居ると云ふのではない、其歴史尊重の意味から保存せられているのである。

我都市の木造建築は只今の所では絶對多數である、多きが故に國民は之を珍重せぬ。新奇なものゝして西洋のそれに眼を注ぐ、そこえ耐震耐火で鐵筋『コンクリート』建築が奬勵せられる、段々其破却が多くなつてゆく。若し幾十年の後に於て之が全滅することを見るならば、我等國民はまことに不幸である、蓋し我等は其傳統的な國民精神を喪失することに於て非常な不幸に遭遇せねばならぬことと思ふ。

（十八）

木造草葺の家屋の一朝の火災で一時に數十數百棟失はれつゝあるのは我等建築界の年中行事の一つである。木造なるが故に耐火的でない之は改造すべきものであると言ふのは一理である、しかし火災は其發生する原因を除去することによりて防遏出來る、地震は其構造を注意する事によりて避け得られる。

若しよく木造建築を保存維持し得られる方法あらば、此住宅建築なごまだ〳〵發展を遂げ世界唯一の建築風を發揮し得られやうと思ふ。

要するに都市と村落の改善は、我等をして其傳統的な日本建築に、唯僅なる變更を加ふるのみにして將來も永く使用し得らる、生命あらしむるものたらしめ得られやう。現在の所謂文化施設だけを以て木造建築を危險なりとして排斥するは甚だしき短見と言はねばならぬ。

（十九）

我等が木造建築の保存を唱導するのは獨り史的日本の顯揚と云ふだけではない、舊日本の遺物としての考古學的價値から出發しての言ではなる。日本を形成する其精神要素の一として、自然と最も多く調化したる簡素趣致の此等の木造建築に重大なる特性を認むるからである

我等が日本人として存在し生活する間、我等の文化に一轉期を劃して別に新らしき文化の發生表現を見ぬ限りは、從來の日本文化を保存してゆくのは我等當然の義務である。

木造建築の長所は其材料の眞生命を發揮してゐる點である。それは石造や鐵骨造では一寸模倣出來ぬのである。今迄隨分之を模造したものもあるが、それは依然として模造の範疇を脫却せぬのである、この眞を傳えて、日本の建築が西洋のそれとは全く異なつた一種の東洋的形體で生るゝ迄、之を保存することを要する。

米國の都市をあるいては我等は歷史と云ふ感じを起さぬ、若し幾分にても其ひらめきを見るのは坡土敦か費拉泥費帝位のものである。從つて國民の傳統的精神と云ふものに接觸せぬ、それが英國へゆくと隅から隅迄歷史を以て色ごられて居る。佛國へはいつても、獨逸へ渡つても又同じである。羅馬へ行くと都市其物が一の歷史を語りつくしている。

其處に銘々の國民性が發揮されて各自獨立の民族國家の守持に力をいれている。

我等に祖國にはそれ以上の歷史がある、而して日本は東洋である、その東京大阪は日本の東京大阪である、其處に傳統的な立派な築建の巖として存在することを忘れて只表相の西洋を模倣する、追隨する、遂に日本神精を沒却する、我等はそれをとらぬ。

（昭和三年六月十八日）

追に大佛さんのお住居

鬼瓦一枚が三十貫

柱一本の重みが二千百四十貫とは!!!

南大門の修理から調べた日本一

我國の古建築として珍しい建築の樣式を備へてゐる奈良の大佛さんの南大門は一昨年落雷のため破損を來したので東大寺では昭和二年十月から同五年一月までの豫定で經費十二萬圓を投じて之が修理にとりかゝり昨今漸く解體を終了して今日まで不明であつた明細な數字が現はれたが、何分日本一の大佛さんの門だけあつて總て大きいものづくめで、門の高さ八丈五尺之に使用してある瓦の總四百七千枚で一番大きい鬼瓦一枚の重さ三十貫、唐草瓦三貫五百、普通のものでも二貫匁あるので全部で十萬貫のものが乘つて居る譯である、又桁行は九丈五尺、梁行三丈五尺六寸柱の長さ六丈三尺、直徑三尺三寸といふから周圍一丈の大きいもので、柱一本の目方は二千百四十貫大紅樓と云ふ一番上にある柱の長さは四丈三尺徑二尺七寸棟木の長さ三丈二尺である奈良朝時代の建築の特色である柱の上に段になつて重なつて居る竹型と稱するもので大きなものは七十間位ゞ之は柱一本に約六箇と小さいもの百十六づつあり、これ丈けでも全部三百箇ある今新しく之を作るとすれば約五萬圓を要するものである。

防空演習觀戰記

K Y 生

昭和三月七月上旬我が大阪市に於て本邦最初の防空演習が大規模に擧行せられ、しかも空前の好成績を以て終始されたと云ふ事は、我々當市在住の者こそ全く千載の一遇を以て觀戰する機を摑み得たと云ふてもよい事ではあるまいか。

我輩の如く徴兵檢査で第二乙種の輪輪徴集免除で第二國民軍にあつさり方付けられた者には、自ら演習の如きものは何等の興味も出なければ、軍事といふものに何等の理解をも持たず頗る冷淡にあるべく見ゆるかもしれないが、事實は却つて全くの素人であるが故に觀る事には熱心となつてくるのかも知れない。而し乍らこれでも中學時代にはその時代としては頗る變つた頭の持主である名校長（今は一躍高等學校長になつてゐる）の骨折りで、第一聯隊の機動演習に參加して大山街道を三晝夜演習しつゝ、行軍して、多摩川の徒渉突擊、某村に於ける壯烈なる騎兵突擊の掩護射擊、某山に於ける勇敢なる大隊の突擊の觀戰、某原に於ける戰鬪（我が學生中隊の爲めに特に計劃されたもの）の豫備隊としての强行軍と白兵戰に參加するの光榮を有したものだ。

銃口蓋を飛ばして叱られた事や、傳騎や傳令が明瞭な口調と不動の姿勢で我々に向つて中隊長殿援隊は前進すべしと云はれて喜んだ事や空彈を打ち切らない中に打方止めと云はれて殘り惜しかつた事等も覺えて居る。（此の我校の誇とする一聯隊參加演習は間もなく學生を加へると兵卒が多少規律を亂す心配があるとかの理由で間もなく廢止となつた）。それから大森八景園裏の射擊場で二百米突の伏射で五發四十二點といふその時の最高點をとつた上、中央に置かれた懸賞標的の最も中心に近い當りをやつて標的を取つて歸つた所が、森川といふ軍人志願の同級生（現騎兵大尉洋行中）に賴まれて遣つて仕舞つた事等から考へればこれでも一廉良兵たるの素質があるのかも知れない。

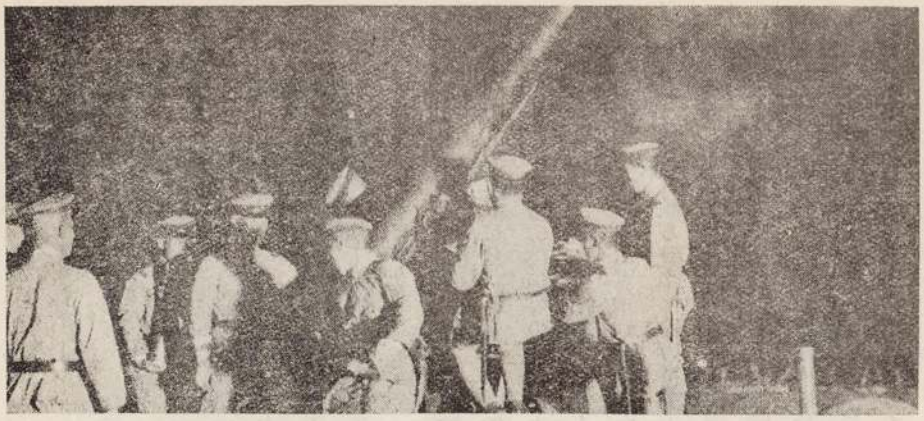
防空といふ問題は我々に密接なる關係があるもので、軍人のみに任せられない誠に厄介なものだけに充分考へなければならない事である

世界に於ける如何なる國に比べても劣つて居る建築によつて出來てゐる都市を持つてゐる事に於いて、日清、日露、日獨といふ敵地の成功に醉うてゐる過去の歷史を持つてゐる事に於いて、軍隊の必要を認めない等といふ魔の手の尻馬に乘つてゐる樣な馬鹿者が散見せらるゝ樣な時代に於て、空襲なるものが攻むるに易く守るに難いといふ事を目の前に實驗した事に於て、我輩は一層深刻に考へさせられてならないのである。

如何に民俗風土に適すればとて木造の焚物然としてゐるバラックで永久に生活せねばならぬといふ理由が存在せぬとしたならば、現在の如き空襲に對しては何等の抵抗力もない建物を、建てもし、見もして居る建築家といふものは、偉さうな事を云つても一樣に無力低能の集

合に過ぎないものではあるまいか。

六月三十日



南海沿線高師の濱南の海岸に砲列を布いた、野戰砲兵學校の高射砲隊の高射砲三門によつて、午后一時大防空演習の序幕は開かれた。それは南の方から大阪を襲ふ敵機撃攘の假想のもとに、代用彈によつて目標となるべき爆煙を海上千二百米突の高さに造つて、それが風のまにまに北東に流れつゝ斜に上昇するのを、觀測班がその高度航速、航路角を計りつゝ砲手に傳へる、ミカムフラージュを施した大砲が目標を追うて砲口を動かしつゝ猛烈な速度で打ちまくるのであつた。

目標が取りとめもない爆煙で飛行機程の早さがないものだから何となく物足りないには相違ないが大砲の射撃が忙しいのと手間がかかるのには實戰であつたならごうだらう位の想像はつけられる餘地がありさうだ。

午後八時には照空燈を利用して砲撃の演習を行つたが、あんな猛烈な光線で照らされては特別な眼鏡でもかけて居ない限りは、いくら勇敢なる飛行士でも目が眩みはしないかと考へられ、更に若しも特別の眼鏡がないとしたならば、照空燈が自由に飛行機を追ひ廻すことが出來るから、是こそ飛んで火に入る夏の虫ではあるまいかとも考へて見た。

七月一日、二日



高師の濱の海岸で飛行機の吹流、目標彈、有孔彈に對する高射砲の實彈射撃を行つた。實彈の目標に對する爆裂は極めて密接に行はれた樣に見えたが的中させなかつたのか、事更に目標の廻りを撃つたから

不思議と思つたが、成程一彈の有効範圍が三百米突四方であるならばそうするのが當然と思つて大いに感心した次第である。

又同所に於て水面高さ一尺の浮標に對する飛行機上からの機關銃の實彈射擊を行つたが、これこそ素人には最も面白い見物であつた。急角度の下げ舵による下降とプロペラーの間を通してする機關銃の射擊と急角度の上げ舵による上昇とは僅かに一瞬間の出來事でしかも正確に命中するのは、丁度『こんぼ』が飛んで來て水中に產卵するのと少しも變りがない。



一分間に何百發と飛び出す機關銃彈が一分間に何百回轉もする樣なプロペラーの間から飛び出す等と云ふ事は夢にも想像しなかつた事柄である。

防空機關とその配置

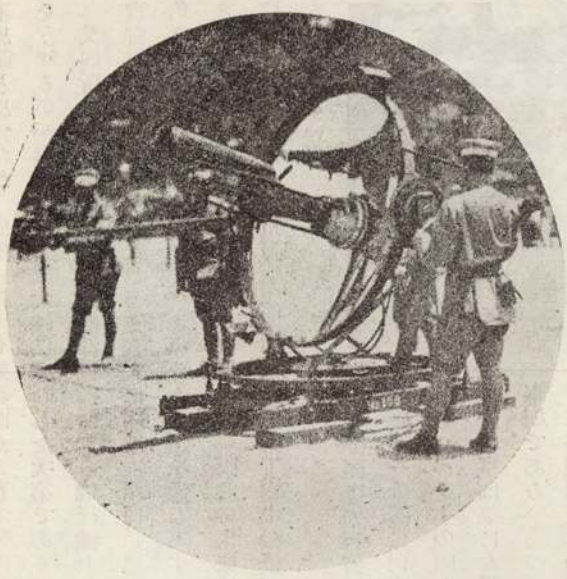
防空機關

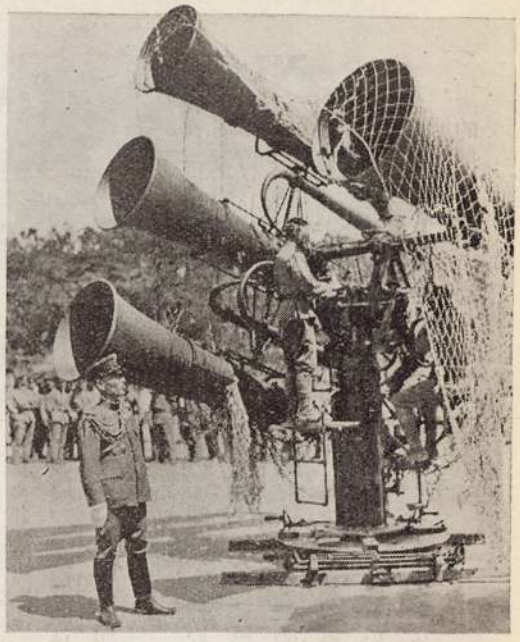
我國の防空機關は歐米のそれに比べれば甚だ幼稚なものだときいてゐるが、それでもいつの間にやら偉いものが出來上つて居るには驚いた。

測遠機、速度觀測機、聽音機、照空燈、繫留氣球、觀測機等が地味であるが最も重要にしてデリケートな役目を持つ積極的補助機關であるらしい。



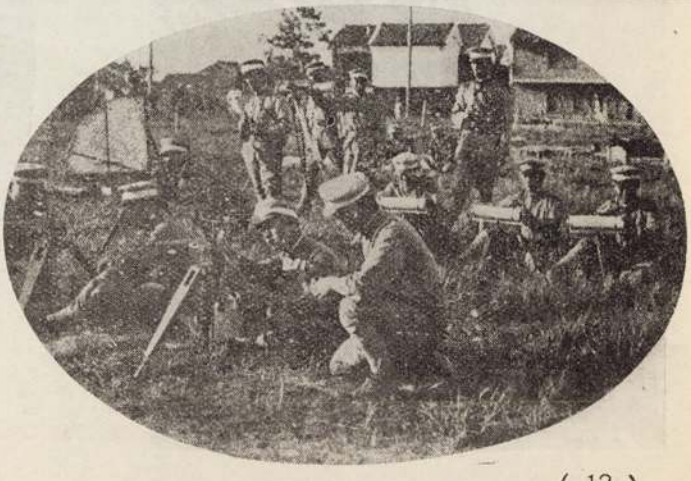












高射砲、高射機關銃等は素人向きの振手な積極的防空機關であるやうに考へられる。

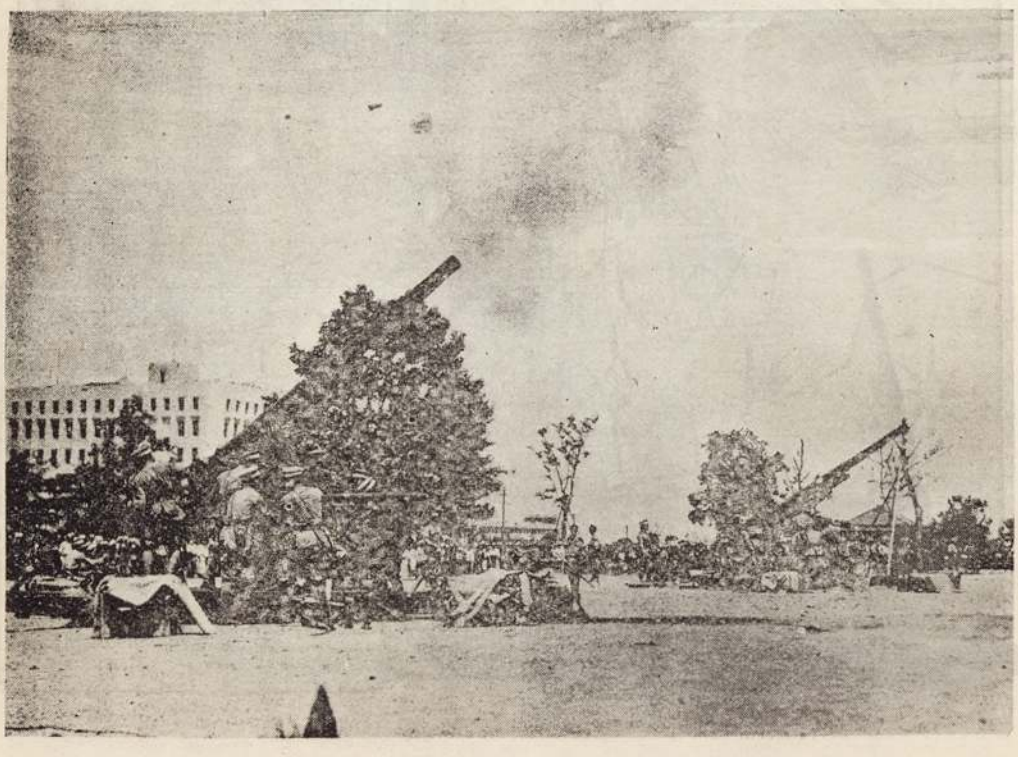
防毒覆面、消火ポンプ等が消極的防空機關であつたらしい。

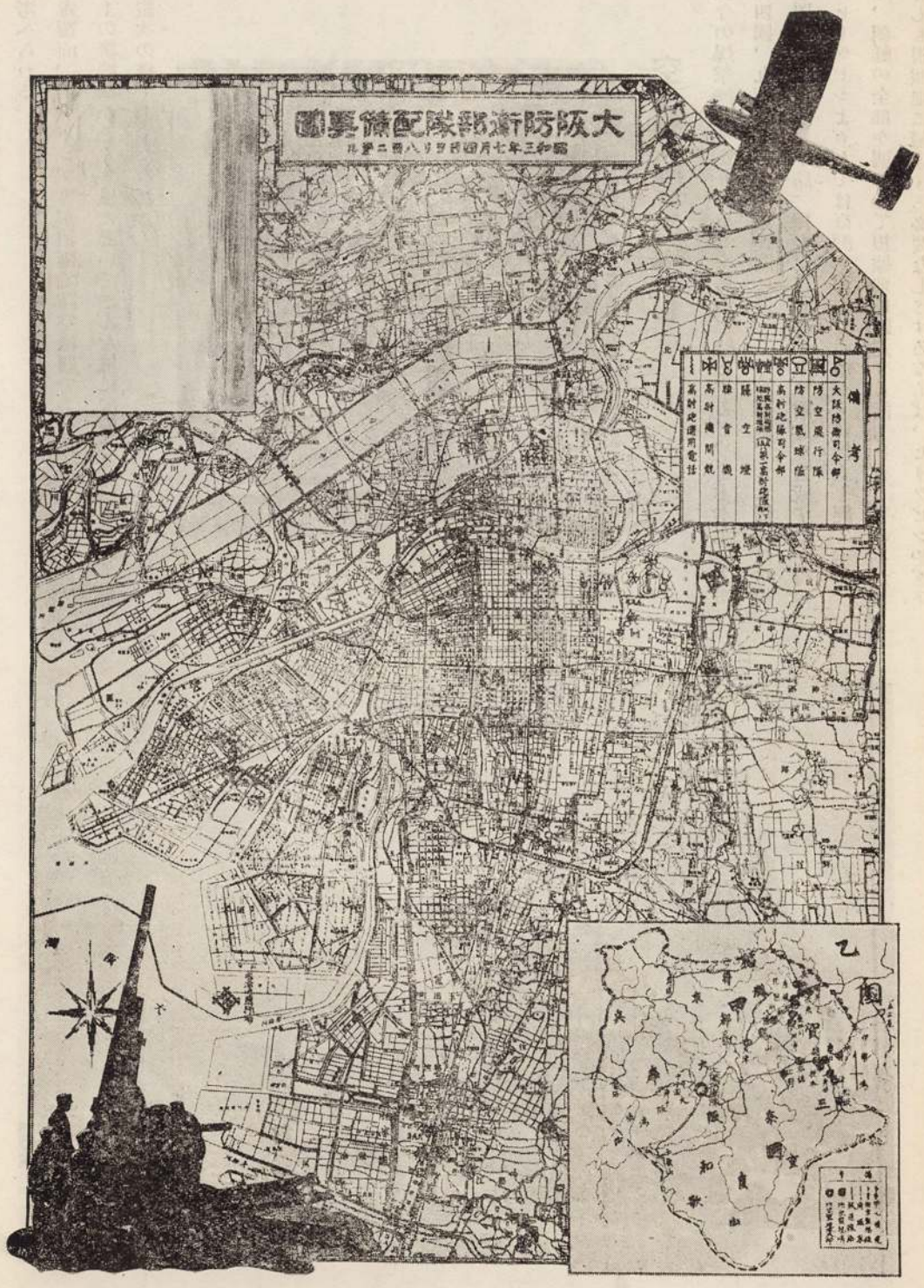
以上の諸機關がごんな風に働いてごんな風に配備されたかといふ事は大體次の樣であつたのだ



空襲恐るべし

現今の爆撃機が今かりに小笠原島を根據とするも、日本本土の大部分、四國、九州をもその爆撃範圍に置くことが出來、また擇捉島に根據を置くとすれば、千島、樺太、北海道及東京附近を脅威するを得べく、ヒリツピンよりしては臺灣、沖繩、浦鹽からは樺太を經て本州、九州、朝鮮の全部を襲撃して根據地に歸還する能力を有してゐるが、今若しも根據地に歸還する必要なしとするならば、ヒリツピンやグア




大阪防衛部隊配備要圖
昭和三年七月四日ヨリ八日ニ至ル
備考
乙圖

ム位から又はその附近に遊戈する航空母艦よりして悠々我國土を脅威して後自滅する事が容易であるこ云ふ國は充分考へて置かねばならないこ思ふ。そして二千斤の搭載量は、五斤の燒夷彈四百個であるから一飛行機は見る間に四百個所の火災を起す。歐洲大戰中英國が四年間にドイツの空襲をうけたこと百十六回、九千個の爆彈下に三千四百人の負傷者こ千四百十三名の人命を失ひ首都ロンドンは非常な脅威をうけ、パリは防禦に全力をつくしても尙三十五回、死傷八百六十九名を出した。(我國の如き可燃性建築物を以て出來てゐる場合はその慘禍が數百倍數千倍にもなるだらうこ云ふことは想像するに難くない。恐らく全滅こなるだらう。)

試に我大阪市を空襲するものとして敵の攻撃を考へるこ全面積約八十一平方粁に對し三百發の燒夷彈を投下し、その中の三分の一が効力を現すこして全市に亘り百個所より同時に火災を起すこことなる。この三百發の總量は六千斤で大型爆撃機三臺あればこの慘禍を來すこが出來るのである。それに毒ガス彈、爆彈の雨が降る。關東の大震災時の東京こどちらが困るだらうか

防　備

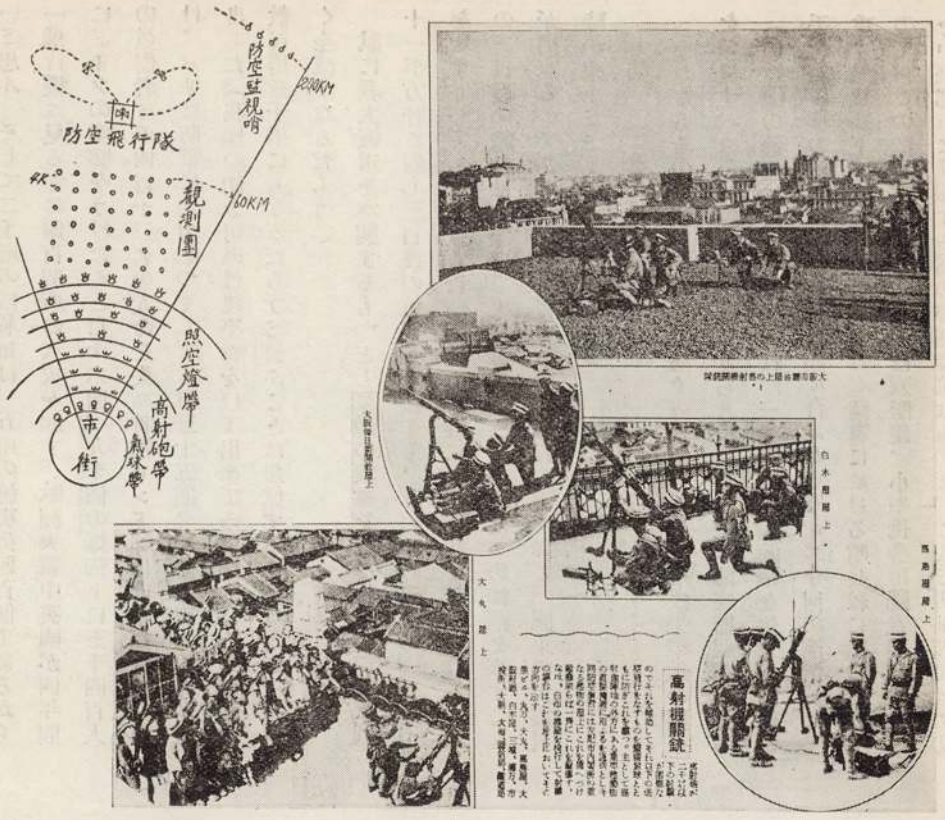
それならその慘禍をどうして防ぐのだらうかこ云へば先づ敵の襲來を發見すべき第一線こして都市から凡二百粁附近に防空監視哨を張る(飛行機の速度は百六十粁こすれば一時間以上の餘裕を生じ、防備の手配戰闘機の上昇にはこれでも間に合ふかどうか)今回の演習では三重、滋賀縣下にこの線が設けられ、陸戰に於ける哨兵線に該當するもので、この監視哨の兵器こしては双眼鏡、小型携帶用聽音機及敵機來を中央都市に速報する爲の警報器位なもので、こんどの演習にはこの速報は電話線を以てしたが頗る好成績であつた。この監視哨の後方に航空飛行隊が控へるこの飛行隊は聽音機こ照空燈こを以て敵機を迎撃するのであるが、演習では防禦飛行隊は城東練兵場、木津川尻にあつた。次は觀測團である、これは通常飛行隊の後部へ都市から五六十粁のこころから初め、四乃至六粁位の間隔を置いて碁盤の目のやうに數線配置される。こゝでは双鏡と聽音機こを用ひ、敵機來襲の方向、速度なごを觀測する。その後端に接し都市を離るゝ約三十粁から都市の外周までの間に照空燈地帶並に高射砲地帶が相ついで設けられ、觀測團こ同樣、碁盤の目のやうに數線に分れて照空燈並に高射砲が配置される。かくていよ〳〵都市の外周に達するこそこには阻塞氣球こいつて數十の氣球を浮揚させて作つたかすみ網が張られ都市の内に一歩も入れまいこする。また最後に都市の外方若くは市内の要地に高射砲機關砲乃至高射機關銃が陣地を布いて上空に飛來せる敵機に射撃を浴せることは實演の通である。これでも來るものは來る實に厄介な話である。

照　空　燈

敵機を照射して飛行機や高射砲の戰闘に協力するもので、その照射距離は電力やその中徑によつて異り、また目標の種類光澤なごによる外天候の關係にもより一定することが出來ぬが、暗夜では飛行機に對し最大八粁、實用六粁を普通とする。實戰に於てはその照射を三方より交叉させその中に飛行機を照し出して機に追隨移動させながら高射砲で射つが數分にして敵機操縦士は目が晦んで操縦を誤る。柴島水源地、十三西之町、大阪城、天王寺公園、泉尾永樂橋、住吉公園、甲子園に備へ付けた。

聽　音　機

照空隊に附屬し照空燈一基に一乃至三個の聽音機を有し先づ之で飛



行機の位置を爆音により聽測し照空燈に射照線を附與するもので、これらの聽音機は大都市の防空では一つの觀測圖を編成して幾何學的に精密に敵機の高度、速度、前進方向等を求めて高射砲隊の射撃や照空隊の照射を正確にさせるもので、風速八米突以下の靜穩な時には熟練した聽音手だつたら有効距離八粁内外でその角度の誤差に左右半度か一度位であるデリケートなものだが、風雨荒天さか飛行機が音がせぬ樣になれば何さか考へなければならない面倒なものである。

前記照空燈を配置した個所の中泉尾を除いた全部に配置された。

高　射　砲

飛行隊と共に防空の主體で防空戰闘に任じ敵機を撃墜、撃退するにある。その重なる目的は撃退するにある。そうして敵機がその陣地上空有効射程に飛來せねば効力を現はし得ない不利がある。それで都市の防空にはその外周に陣地を設けて敵機の侵入を防ぐやうに彈丸の柵を築く任務を持つ。目下新式の高射砲は高度一萬米突を制空し得るが最も有効なのは六千米突前後であつて、二千米突以下では飛行機の動くのが早いのと砲の回轉裝彈が面倒なのとで文字通過ぎたるは及ばざるが如しなのだ。

柴島水源地、十三西之町、大阪城、泉尾永樂橋、天王寺公園、住吉公園に配置された。

高　射　機　關　銃

二千米突以下の低空飛行機を射撃するに有効なもので取扱輕妙なると射出彈の豐富なのとで甚だ偉力があるらしいが、全くの低空飛行を喰つた時は飛行機の方が早いらしいから二千米突前後で偉力が現はれる。新京阪ビル、扇町公園、大阪鐵道局、朝日新聞社、市役所、遞信局、毎日新聞社、灘萬、三越、白木屋、府廳、大丸、高島屋、丸萬、

泉尾ビル、市岡パラダイス、湊屋町に配置された。

繋留氣球

敵襲の恐ある都市の外周または重要な建物の周圍に二百乃至三百米突の間隔をおいて昇騰せしめ空中柵を作り、その鋼索に敵機がひつかかり墜落するやうにしたもので、これが阻塞氣球といひドイツが之を用ひて奇効を奏しイタリーもヴェニスの名刹を保護した。現今は風速十二米突以下では、四千五百米突の高さまで昇騰し得る。一度各國が利用するやうになつてから飛行機はこの氣球を恐れてこの氣球上昇高度以下は飛ばぬ樣になつた程面白いものであるが、大風の時は餘り有効でないのと上昇高度が飛行機に比し低いので大した期待は得られぬらしい。同氣球上では偵察者二人が乘り網には電話線二線を裝置し機上から偵察の度毎に地面に報告する樣になつてゐる。繋留自動車の動力で頗る早く上下し得る樣になつてゐる二三分間で相當の高さ迄上昇するのには驚いた。

扇町公園、市岡パラダイスに配置された。

投下爆彈と燒夷彈

投下爆彈は現今十斤、二十五斤、五十斤、百斤、二百斤、五百斤、千斤などがあつて最近更に二千斤のものも製作中である。歐洲大戰中は爆彈の大さは最大三百斤位であつた。三百斤以上のものなら大阪市役所や三越位の建物はこれを貫通し、百斤のものでも土地を八米突位貫きその震盪力に於ては、五千斤で五米突位の家屋の堅固な石壁を破り、三百斤のものは十五米突以內の厚五十糎の石壁を破つた余力で尙附近を滅茶々々にし、五百斤では附近に落下したのみで大家屋を紛粹し、集團家屋をコッパ微塵にする。千斤のものとなると正にこの二倍以上の偉力で爆彈の大さでも直徑一尺五寸長九尺位とは驚くの外はない。兎に角我々の取扱つてゐる屋根の鐵筋スラブなんと云ふものはごんな方法だつて防ぎ樣がない事は確實であるらしい。

燒夷彈は敵軍の宿營地軍需品集積地、都市、村落を燒き拂ひ敵の企圖を挫折せしめるに用ふるもので、二十斤の燒夷彈は三十平方米突以內の如何なる物體をも燒き百平方米突內にその効果を及す。我國の如き木造建築物では爆彈よりこの方が恐しい。毒瓦斯彈で人間を脅威し爆彈でもつて水源を絶ち燒夷彈を集注すればすれば大地こそ振へないが大震災以上の慘禍を蒙るだらうと云ふ事はよくわかる。

毒ガス

毒ガスは歐洲大戰で威力を示した新兵器で空襲では毒ガス入りの投下ガス彈を落すのが普通だが時によつては持久性の液體毒物を雨のやうに撒布することもある。投下ガス彈は普通の投下爆彈より破裂の音響が小さく、その破壞作用も細く、附近や風下に臭氣がプンと鼻をつくのですぐ判る。これは投下するとその附近からだんだん風下に擴がつて長時間に亘るので害が大きく空氣よりも重いので地下室へも遠慮なく這入り込む。毒ガス量六噸で東京市民を三十分で全滅せしめる力を持つてゐる。六噸の毒ガス搭載には普通の爆撃機が十二臺なれば足りる。この防毒の方法としては一般に防毒面をつけることまた持久性の液體毒物にはゴム長靴やゴム手袋をつけ晒粉などで消毒する。所が科學の進歩は日新月歩だ、ごんな猛烈なものが飛び出すかわからない無色無臭絕對持久なんて毒物楮は病菌等と考へると最も恐しいやうな氣がする、幸にして大人は難を免れても弱き子供等は全滅の外はないだらう。鳥籠のやうな陰間だらけの建築に這入つて居て防毒を考へるなど云ふ事は思ふだにぞつとする。

サイレン

敵機襲來を報ずるサイレンは全市に於いて二十三個所に設置された

演習の配備

演習の配備此度の演習は性質が一般的なものだから、軍隊のみならず官公吏、地方自治體員、青少年團、婦女子迄も共同動作を採つて活動したことは特筆に値する。

統監部

第四師團長及參謀長以下の人々と府廳關係課長以下の人々により成つてゐる。直屬飛行機は朝日新聞社ドルニエー、メルクウル旅客機BMW六〇〇馬力等。

攻撃軍

飛行第一、二、三、七の各聯隊及明野飛行學校の約三十機を以て編成され、根據地を各務ケ原、三方ケ原、明野ケ原に置き、參加飛行機左の如し。

一、甲式四型戰鬪機(ニューポール二十九型)イスパノ、スイザ三〇〇馬力

一、乙式一型偵察機(サルムソンニA二型)二三〇馬力

一、丁式二型重爆撃機(エフ六〇型)ローレーヌ四〇〇馬力

一、八七式重爆撃機(ドルニー、ドン)BMW六〇〇馬力

此れは精悍無比の御自慢のものらしい。

防禦軍

飛行第三聯隊の陸軍機六機受愛國飛行隊として朝日のサルムソン三機、毎日の三菱十年式戰鬪機三機、西田飛行研究所のニューポール二機、乘池飛行場のサルムソン一機の十五機で根據地を城東練兵場及木津川飛行場の二ケ所に置いたのである。

演習日程

七月三日　集合

七月四日　展開

七月五日　敵襲と訓練、燈火管制一回

七月六日　空襲、燈火管制

七月七日　空襲、同

扨右の日程により觀戰した有樣を記して見る。

七月五日

四日展開を終つた各隊の操作訓練と敵機の偵察とに終つたらしいのだが、景氣のよい高射砲の音と忙しい機關銃の音とはすつかり演習氣分を漂はせて、何人にも空を仰がせる。防衛軍は午前五時戰鬪行動を開始し敵に備へる一方最後の訓練を始めた。午前十時赤の吹流をつけた愛國飛行隊石野飛行士操縱のニューポール、獨立飛行隊の能登少尉の戰鬪機が先づ先頭を擧つて、前者は木津川の根據地、後者は城東練兵場を發し市の上空を飛ぶ。之を敵機と假想せる防衛軍各陣地は一齊に射撃を始め殷々たる砲聲、豆をいるが如き機關銃の音は物凄く、續いて愛國(民間)獨立(軍隊)飛行隊の各戰鬪機が市の上空に飛來、空中地上の連絡訓練を行ひ、砲聲銃聲は斷續してひゞく、やがて最後の獨立飛行隊の阪口機が引揚げると間もなく、大津の第二防空監視隊本部から『敵機遂に前線を突破西飛す、大阪に向ふものの如し』といふ警報が來た。訓練終らざる中に對敵行爲をする誠に忙しい樣だが筋書が巧いと思はれた。午前十時半敵偵察機は東より櫻宮上空を經て城東練兵場の獨立飛行隊の根據地を偵察し、大阪城上空に飛來、大手前陣地そ

の他の高射砲、高射機關銃の猛射をうけつゝ勇敢にも司令部を窺ひつゝある時、急を聞いて離陸した愛國飛行隊の十年式戰機の姿を認めて亂射亂撃の中を恰惶退却したのである。警報と敵機來、油斷大敵、防衛機出動遲延の廣を遺憾なく筋書通に演じて少しも無理がない。

午後一時から城東練兵場等市内四ケ所で防毒操練を行つた。

午後四時再び監視哨の警報傳はり敵機一機襲來せるも防禦配置の安定及銃砲の猛射旺盛を極めたのを見たものか、市の中心に侵入せずして去つたのである。

敵の乙國(主都を東京とし長良川以東)は目下長良川左岸に野戰軍を集中し飛行隊は國境附近に度々侵入する有樣でその重爆撃機を主とする特種飛行隊は續々明野ケ原及三方ケ原の根據地に集中中であるから今夜あたりから大阪は空襲を受ける危險性があると思つて居た所、果然午後八時彼我期せずして開戰の布告をすることの已むを得ざることとなり、市民は熱狂して空の守を高唱した。

長良川右岸地區にあつた我野戰軍は宣戰とともに國境を突破し續々乙國に侵入、敵は同川左岸地區に防禦工事中でその大部隊は名古屋附近にあり、我飛行隊は名古屋、三方ケ原の敵飛行機根據地及び東京(乙國首都)の空襲をつゞけ、また敵飛行隊はしば〳〵大阪を襲はんとし、戰機やうやく熟し、海軍は東京灣内の敵艦を奇襲して大損害を與へたが長良川附近に於ける兩軍主力の決戰は數日の後と思はれる、大阪防衛軍司令部では五日夜『特に戰闘準備を嚴にし空の夜襲に備へよ』と命じ、非常を戒む。午後八時宣戰以前に敵飛行隊は月の出ぬ間に暗夜に乘じて國境を越え大空襲を企てた。之を發見した監視隊は『敵到る』の警報を司令部に致し、照空燈を利用して高度、航速、航路角を報ずる茲に於て我が防衛司令官は敵機の來襲を知るとともに我國空前の大規模の燈火管制を令し、午後八時全市の電燈は一齊に消され第一回の燈火管制の訓練が始まつた。訓練は僅に五分間に過ぎなかつたが、官民一致の努力は確かに有効なる結果を得たに相違ない。ツエツペリンの無音の襲撃(風に乘つてロンドンを襲つた)とロンドンの眠るが如き沈默、所謂無言の應酬が偉大なる効果を收めた過去の名譽は我大阪市にも與へられたに相違ないのだ。

午後八時三長音のサイレンを合圖に待ち構へて居た市電野江開閉所では時を移さず全市二十二ケ所の變電所へ直通電話を以て命令を傳達し、京阪、南海、阪神、阪急、大軌を始め各郊外電車の變電所また同じくスキツチを切り、茲に四萬七千キロワツトの大電流はスッカリ喰止められてしまつた。直前一分間の合圖消燈をして直に正八時から二百五十萬の全市夜間線の電燈は悉くその光を失ひ、市内電車は何れも速力を半減し、ヘツドライトの上半はブリキのカバーを着せ、車内は電燈を半分乃至三分の一に減じ、殘りの電球も青色燈に代へ、左右の窓は鎧戸を閉ぢ、市内を疾走する自動車は悉く室内燈を消し、前燈は光力を減殺した上に光を遮斷して徐行した。又大阪市域に入つた汽車郊外車電も市電同樣消燈乃至は覆燈し、大阪港内諸船舶も檣燈を掩ふ外支障ない光は全部消してしまつた。朝野官民一致の燈火管制は見事に行はれ、大大阪は夕暗の奥深く沈んで行く。市内の各辻々には獨立警備歩兵二個大隊、憲兵、警官隊、在鄉軍人の保警隊、青年團員、青年訓練所員等でいづれも手にした提燈を消して警備に任じ消防隊救護隊みな各部省につく。暗の中に白衣の看護婦が健氣にも萬一に備へて居るのも面白い。斯くて二百三十萬の市民は自宅で晝夜線に黑布を被せ暑さをいとはず戸を締め、カーテンブラインドをひき、大戰末期に獨機の横行に任ぜるの外なかつたロンドン市民の苦境に想倒しつゝ演

習の目的を達し午後八時五分『消燈終り』の命令とともに四萬七千キロワットの電力は再び力強く全市に隈なく流れ出した。此の尊い演習は消燈區域の計劃に資する所多く、都市と郊外との關係を明かにしたといふ事でも邦家の爲甚だ有意義のものだつた。

七月六日

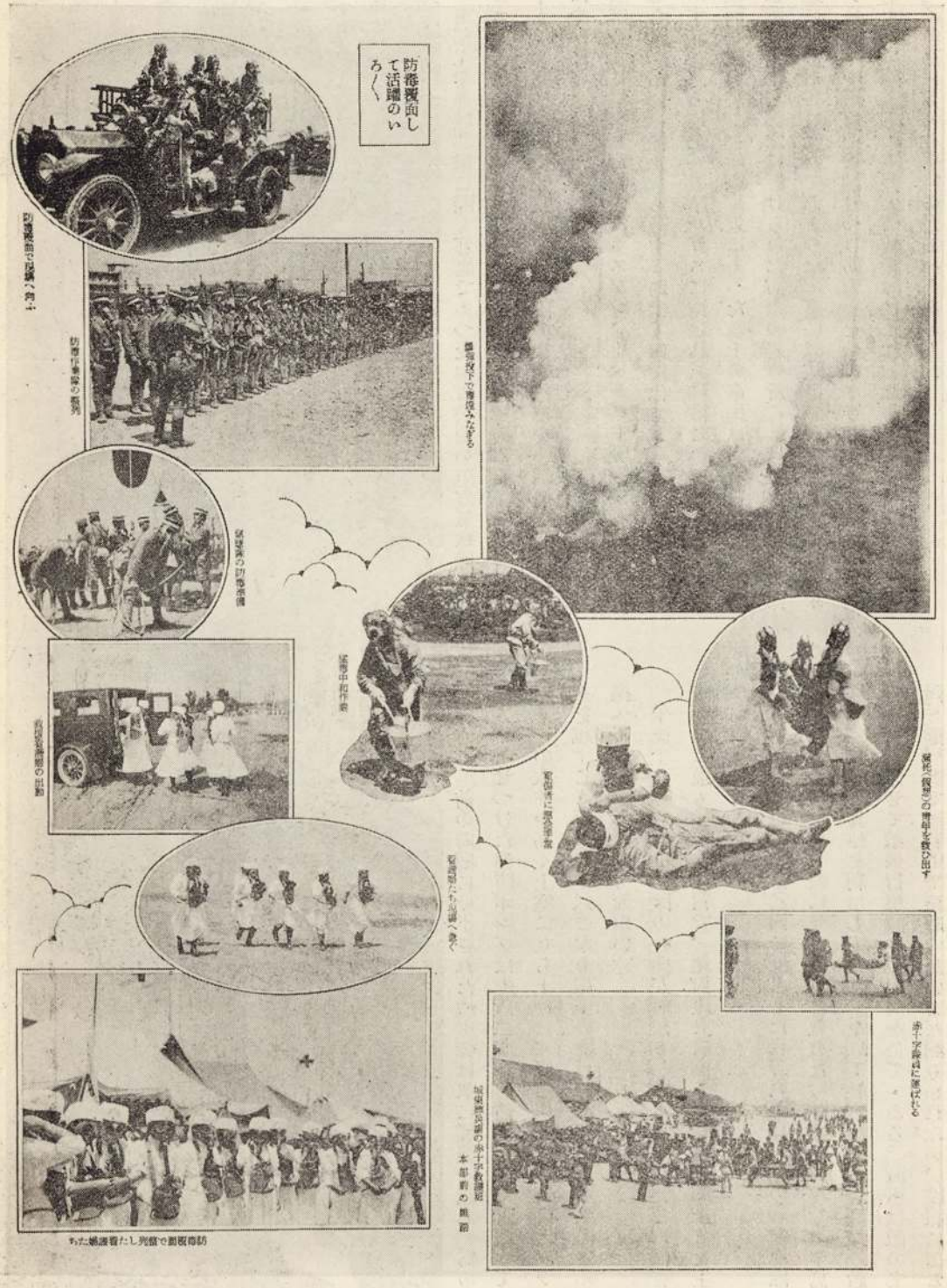
午前六時八日市聯隊の五機が第一回の空襲を行つて曉の夢を驚かした。これは大阪の中央中之島を襲ふと同時に空中の一機打を行ふべき豫定であつたらしい。

敵飛行隊拂曉勢力を倍加して大擧襲はんとし、先づ八日市の根據地を發して朝靄を幸潛入を企てた。午前五時二十八分滋賀縣八幡町の我監視哨から敵通過の報あり。五時三十六分大津市を飛ぶころには防衛軍は全く準備を完了した。果然六時敵は淀川に沿うて襲來して來た。柴島、十三、大手前川筋近ひ高射砲隊は上空に機影を見るや殷々砲撃を始め、一分間二十發の高速度で釣瓶打に打出す、高射機關銃も打出した。扇町の阻塞氣球はゆるく左右にゆれて行手を遮る。敵機は二千五百米突の高度で突破し中之島の中樞地區をめがけて侵入を企てたが阻塞氣球に阻まれて左に折れ商業地區を飛廻つた。この時敵襲と共に根據地を飛上つた味方の獨立飛行隊の二機は之を迎へて追ひつ追はれつ壯烈な空中戰を交へ地上部隊と協力して、やうやく十五分ののち之を撃退し、敵は草津の上空を經て退却した。此の演習は誠に胸のすく樣な壯烈なものであつた。追つかけて行つて下から上に宙返りをすると同時に射撃する方法と、上より急角度に下りつゝ射撃する方法と、電光形の急角度の旋回運動とはよく頭の内に殘つたものであるが、橫轉宙返等と云ふ事は興行飛行であると思つて居た我々は誠に不思議に思はれる位久しく見とれて居た。それもその筈固定機關銃でプロペラーの間から射撃する戰法では宙返でもしなければ何等戰鬪力がない譯で最もよい方法と思はれるのは、敵に追尾して後下の死角から上に宙返しつゝ射撃すれば全く敵に見られないで有効だらうと考へられる。私は之を見て夜間はいざ知らず晝間の防禦では飛行機は飛行機で行く戰法が最も有効であると考へられる。何とすれば乾坤一擲の勝敗は第一回の正面衝突で決するもので、敵機をば幸に追尾する事が出來たとするならば逃ぐる方と云ふものは全く空中戰の敗者に外ならぬものとなり、而も自分の都市の上空では應援を送る事必ずしも困難でないからだ。

午前十時半各ケ務原聯隊の三機が空襲した。これは造兵廠、大阪工廠を目掛けて更に練兵場に毒ガス彈を投下する目的であつたらしい。國境方面より滋賀縣監視哨を突破して午前十時半三機編隊でまつしぐらに西飛一氣に大阪に廻り味方の戰鬪機の緩漫なる攻撃をうけつゝ地上部隊の猛撃を尻目にかけて造兵廠大阪工廠その他大工場の櫛比する東部工業地區を爆破して生産能力を奪はんとし、一機は分れて氣球を攻撃すべく高く扇町に向ひ櫻島、天滿、片町等の工業地域を盛に襲撃し、他の一機は防衛機其他地上防衛隊員の眼を巧に拂ふべく牽制的飛行を行ひ居る隙に、僚機をして電光石火橫合より甚だしき低空飛行を以て大手前陣地を潰滅せしめて瞬くまに城東練兵場にホスゲン、イペリット等の猛毒ガス彈を投下せしめて、筋書通味方防備の手薄に乘じて約三十分間思ふまゝに脅威して悠々東飛し去つた。

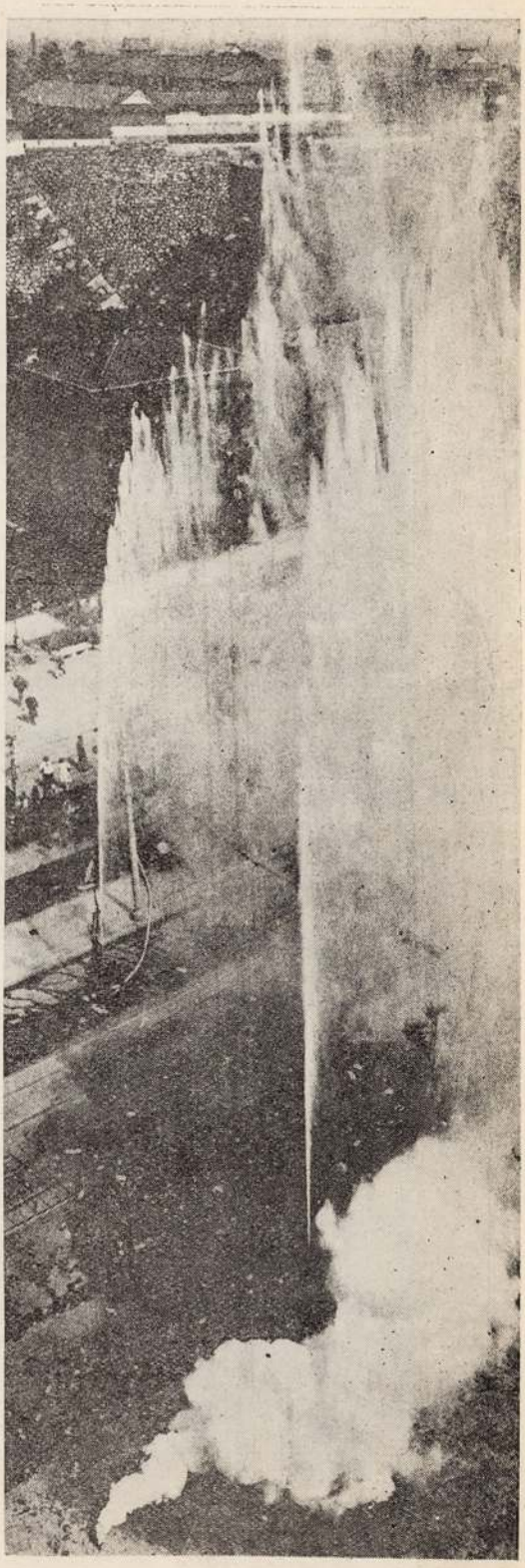
防毒演習は流石入念に訓練したものか、頗る機敏に一糸亂れず實施されたのは愉快の極であつた。

午後三時八日市聯隊二機、各務ケ原聯隊三機で空襲した。これは前


防毒覆面して活躍のいろ〳〵
防毒覆面の活躍
防毒訓練の開始
防毒訓練の訓示
防毒訓練の出動
防毒訓練中の作業
防毒訓練の出動
防毒訓練の出動
防毒訓練の出動

回の東部工業地域襲撃に際し邪魔であつた扇町公園の阻塞氣球隊をば毒ガス彈によつて全滅をはかり、更に監督官廳である府廳に燒夷彈を投下して、防衛機の出動以前に甲子園の模擬都市を一氣に壞滅せんとしたやうだ。

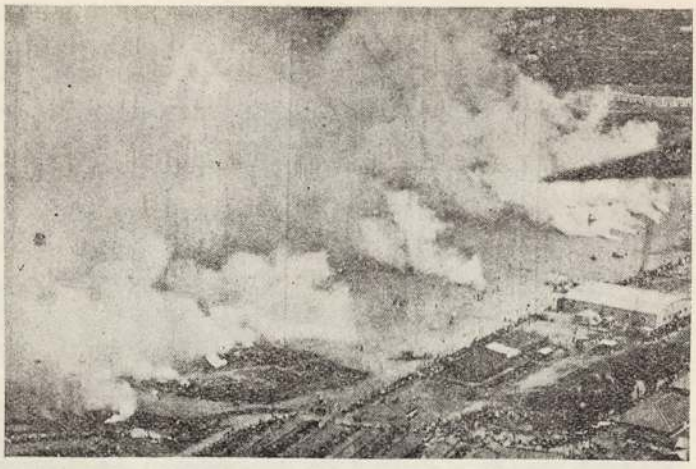
扇町公園は襲來した敵機にホスゲン、イペリツト等の猛毒ガス彈を投ぜられ（吊彈を機上から落すと地上で四鹽化チタニュームの煙幕で代用する）忽ち地上は濃厚なガスに掩はれ氣球隊これを掩護すべき高射機關銃隊の將士を始め附近にあつた數千の市民はガスに襲はれ大部分は濟美小學校講堂に設けられた防毒の避難所に逃げ込んだが、一部は遂に死傷して打倒れてしまつた。直に消防手の編成せる防毒隊はポンプ自働車を飛ばして馳せつけ防毒衣をつけてガスの中に飛込み漂白粉をまいて除毒し大阪醫大の救護隊はこれまた防毒衣をつけて甲斐々々しく救護に努め化學戰の恐るべきを示した。



一方大手前の府廳に投下された燒夷彈は忽に延燒を起した爲め時を移さず馳せつけた消防ポンプは附近二個所の消火栓より直結して五百ガロンの水柱を高く上空に立ち上げた。揚る揚る忽に府廳のパラペットを越すこと優に二十尺となり屋上の廳員は麥稈帽子の新品を小脇に抱へて逃げ出したのも面白い。

午後十一時八日市聯隊の一機が假想として空襲した。これは夜間の防衛には最も重要な演習で、絶對燈火管制と照空燈の訓練とを主としたものであるらしい。

六日國境を越えて敵乙國に侵入した我野戰軍は、敵の前進部隊を驅逐しながら長良川の線にせまり更に有力な枝隊は六日夜知多半島に上陸し、自働車其他を利用して强行軍を以て名古屋東方地區なる敵の側背を脅し併せて敵飛行根據地の占領を企てゝゐる。海軍は敵の主力艦隊と熊野灘で激戰中で勝敗の數いまだ測り知れない、諜報によると我

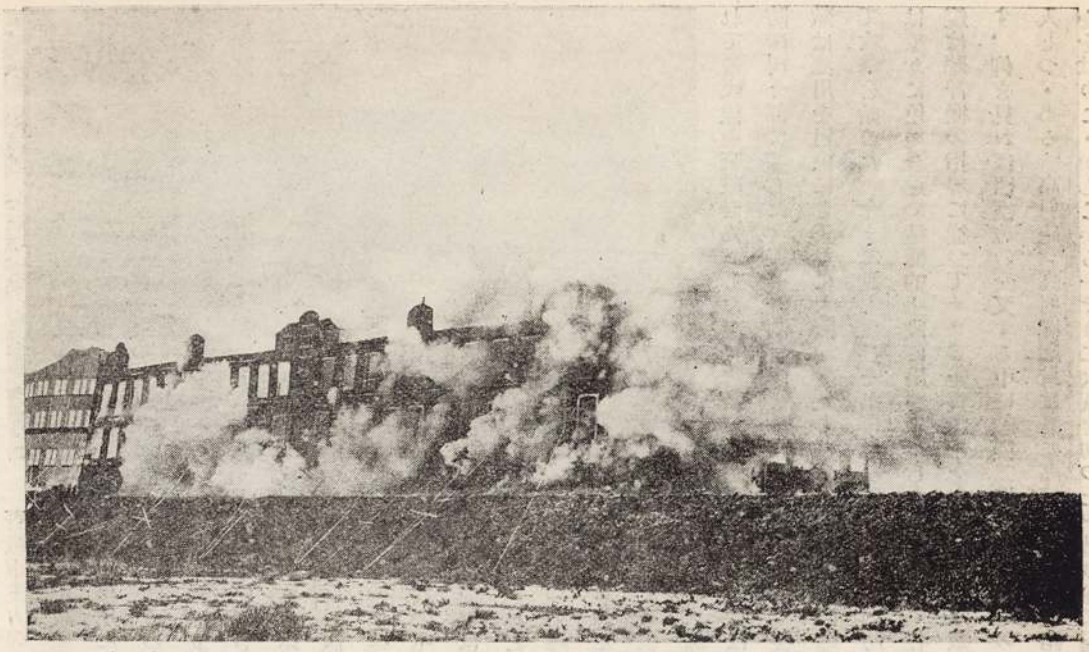


野戰軍主力の猛烈なひた押しの攻撃を工事未完の長良川に沿ふ防禦陣地に防ぐの不利さ、知多半島よりする枝隊の急迫に驚き、七日中には各務ヶ原、八日市等の飛行根據地を撤し總退却の模樣があつて全軍動搖の兆があるさいふ。されば六日夜を最終の攻撃と覺悟し、午後十時半爆撃二機（雨につき想定）に爆彈を滿載して彼我主力の戰線を越え斷雲にかくれて監視線を突破せんさしたが、聽音機に感受され、警報は直に大阪防衛司令部に達した。燈火管制は命ぜられ、サイレン高く警報を傳ふ敵は淀川を目標にして遂に大阪を發見したらしい赤や綠の爆彈を投じて攻撃を始めた。今まで默してひそかに敵を監視してゐた防衛軍陣地は俄かに色めき遂に積極的手段に出づの已むなきに至り、各所の照空燈は聽音機の指導に從つてサツさ一齊に光を大空高く投げ敵機をさがす、仰ぎ見れば照空燈の交叉する中に敵機二機（想定）は市の上空に侵入しつゝある。高射砲、高射機關銃は既に高度、航速、航路角の測定をはりこゝかしこから一ざきに火蓋を切つた。敵は遂に編隊をこつて照空燈の光芒を逃れ出でんともがく、照空燈の意地惡く追ひかけて射落すまではさ照射する。敵も死物狂ひの爆撃をはじめ、ガス彈燒夷彈を投下して遠く東方へと退却し燈火はもさの如く輝き何事もなかつたやうな靜けさに歸つた。敵もこのまゝ止むさも思れなかつたが、果然七日午前零時半ごろ敵襲の警報に再び市街を暗黑にして待つたが姿を見せず約二十分間の後に市街はもさの明るさに歸つた。防衛軍は統監以下徹宵警戒姿勢をさつて拂曉を待つこさゝなつた。

七月七日

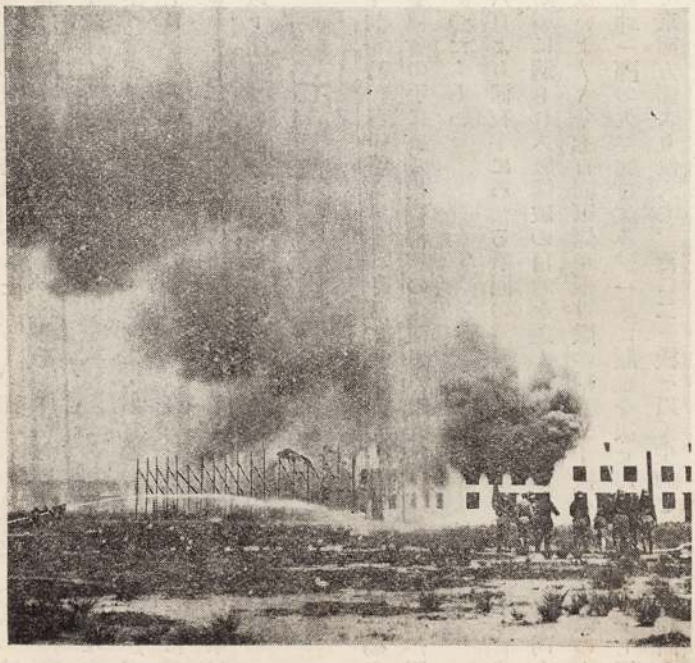
午前十時、三十機の重輕爆撃機の空襲があつた。これは練兵場の我建築協會の手に成る模擬都市の爆破と八七式重輕爆撃機の活動が眼目であつたらしい。

六日より同夜半にわたる數回の空襲も近代科學の粋をつくした必死の防戰に遮られ大阪爆破の目的を達し得なかつたものか、敵軍司令部ではいよ／＼今七日同軍爆撃飛行隊の精鋭三十機をもつて大阪の上空に乾坤一擲の大空襲を試み、一擧に雌雄を決せんさし、約二十七機を以て京都方面より侵入し、更に二三機を以て生駒を迂廻して側面より盧をつかんさす。午前十時愛國飛行隊に出動命令が下るや相ついで離陸、一氣に大阪の東郊をさして驀進する、これより先敵の機先を制せんとして出動せる我獨立飛行中隊は若干の敵小型爆撃機を遠く京都方面に壓迫せるも、巧みに所在を晦ましたる敵の輕爆撃機四機は退路を絶たれたるにも拘らず勇敢にも愛國飛行隊を目がけて決死の挑戰を試み、その間敵の重爆破機二機（ドルニエー、ドン型B・M・W六百馬力發動機二基裝備）をして悠々城東練兵場の模擬都市に燒夷彈を投下せしめた。茲に於て愛國飛行隊は目標をこの恐るべき強敵に向け一齊に追撃を開始した。敵はその偉力を信賴してか彼等の僚機は殆んご退却したのも知らぬ顏に低空を飛翔しつゝシヴイックセンータ附近にしきり



に爆彈投下の目標探しつゝ或は高く或は低く巧に高度を變じつゝ愛國飛行隊の追擊を一向恐るゝところもなく中之島上空より九條、築港より遙に大阪南郊を巡つて再び練兵場の上空に到り味方の急追擊地上からの殷々たる高射砲機關銃の猛擊を受けながら圖々しくもまたもや爆彈を投下して戰闘約三十分の後午前十時五十分生駒を越えて退却した。

以上は大體の經過であるけれどもその外消防の演習、水道鐵管爆破の修理演習等苟くも空襲に關係するものは細大漏らさず官民一致の努力を以て實施され成功裡に幕を閉ぢた。而して我等の頭に殘るものは何か、職業的に考へれば現在の如き建築は何等役に立たぬといふ事をはつきり意識したに過ぎない。耐火構造なるものも投下爆彈の偉力の前には炎天に曝されたる氷塊に外ならぬ。いつその事現在のやうな不徹底な耐火建築を建て、喜ぶ位なら、鐵骨鐵板張りの不燃性バラックを推奨する方が遙に妥當で實用的ではあるまいか。（了）



日本住宅の禮讃

工學士　石井勇

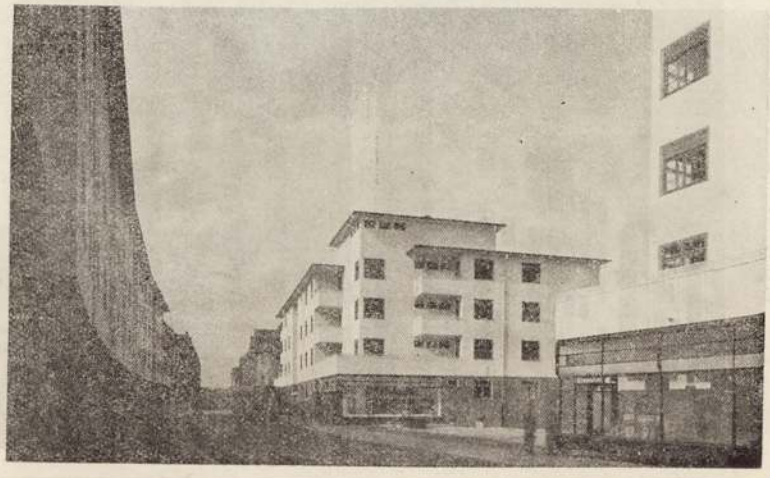
今の日本の都會は、ジヤズの中に踊つてゐる樣なものである。

上田敏博士が悲しい樣な、嬉しい樣な、そして胸を掻きむしられる樣な心持になつたと云ふ機械文明のアメリカが放散する所の物質とエネルギーを、譯も無く吸收して踊つてゐるのだ。そこには、ブロードウエイの三十四街から四十六街にかけて見られる樣な、あの旋風的な速度や變化や廻轉はないけれど、點滅交錯する廣告燈とピツチをあげた歩行速度とアレグロに始りアレグロに了る絹査下の狂亂がある。

試にトロトアールを誇らげに歩く青年を見るがよい。ルディーを眞似した樣な顔や眼瞼の括約作用や太いセーラパンツ。宛然街上の道化役者にして輕薄そのものではないか。其のアインドルツクは穿き違へられたるチアーリーの藝術でありアウスドルツクはジヤズである。サキソホーン、トロンボン、コルネツト、ドラム、カスタネツト、トライアングル等ならまだしも、石油罐、バケツ、擂聲樂器まで入つた一大喧騒曲だ。こゝに、われらは、近代日本の廢頽した世相を見出すのである。

これが如實の反映は今の住宅であつて伊藤忠太博士が曾て、百鬼夜行の觀があると述べられた夫れである。何所に日本の住宅があらう。何所に建築家のオリヂナリティがあらう。唯、あるものは外國の住宅と巧妙な摸倣とだけである。見樣に依れば日本は世界各國住宅の展覽會々場である。

日本の現在の住宅が斯くの如く云ひなされ文化住宅なる侮蔑的抽象名詞を以て



ケルン市の某アパート（其一）

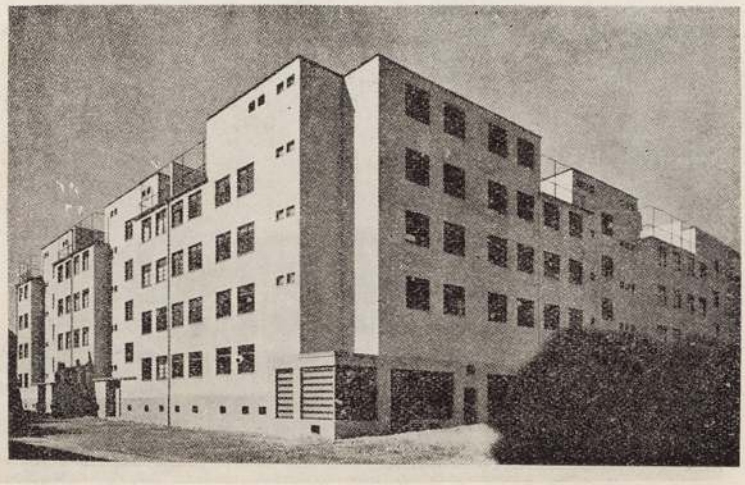


呼ばれて居る罪の大半は、日本の歴史か、地理かを考へず、一も二もなく外國の住宅を紹介した當時の建築家に存する。

建國以來溫室に於ける花の如く東海の一孤島に平和に成長した日本人は、アブラハムリンカンの所謂機會均等を要求したり、ハーバートフーバーの云ふ樣な『階級別の凍結』を否定する事も無く、よく協調的精神に訓練されて來てゐる。簡素を愛し自然を愛する國民性は科學の洗禮を經ざる純日本住宅が最も雄辯に、日本住宅たるべき大原則として、是を證據だてゝゐる。この故にプライヴェシーを保持し家庭内に秘密の影を投ける樣な、所謂文化住宅がうすつぺらなのだ。この故に求心的な、獸の巢の樣な文化住宅が笑はれるのだ。自然を愛するが故に兼好の徒然草が生れる。中心を外に移し、林間酒をあたゝめる遠心的生活を要求するのである。椅子式がよいか坐式がよいかと云つた樣な、些々たる事實を論ずるものはあつたが、もつと根幹的な、日本的建築の眞相に觸れたものは無い。ボップや顎ひけを論ずるのでは無く、其の裡に流れる精神を論ずべきである。

ライトはその多くを日本に學んだと云ふてゐる。日本の建築家は浮世繪の轍を踏んだのだ。精神文明を捨てゝ物質文明を取つた。そして更に惡い事には、住宅の要素を考察することなしに、尙も、從來の眠を續けようとしてゐる。外國が今や、虛飾を嘲笑しつゝ眞實の美を求めて進行しつゝある事に目覺める樣子も無くコルビュシエ一派の、機械そのものゝ如き、直角式コンクリート住宅を、今度は取り入れようとする人々さへある。

オウトは技術と建築藝術に關し、こうした機能主義的住宅に對して鋭い批評を加へて云つてゐる。『私は勞働に愛なき時代でも構造、外觀共完全なるものを作り得る事を喜ぶものである。然し、こうした特長を讃美する建築家の大多數が實にわざとらしい、皮相的なものを作ることに慣をおぼえるのである。私は藝術破壞時代に釣合の取れぬ容姿が突進することを理解してはゐるけれど、建設的藝術時代が何故に釣合の取れた形を表現してならなかつたかを明かにする事が出來ない



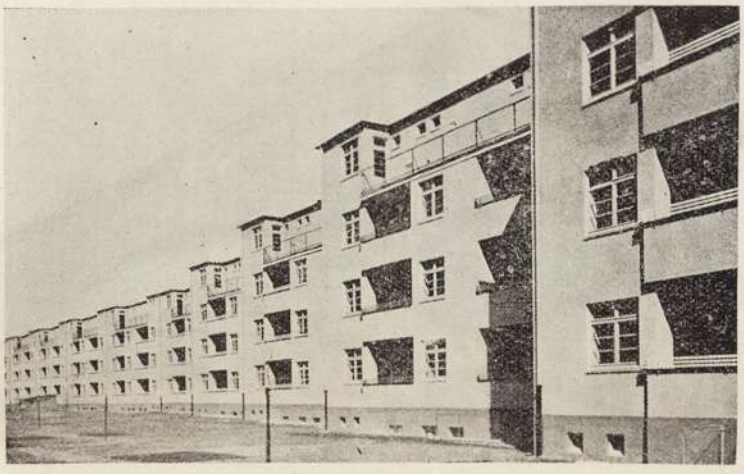
ケルン市の某アパート（其二）

のだ。私は建築に於ける色彩を復興させようと努力してゐる。だが矢鱈らに彩色するのでなく、華かに彩色することに賛成するものである。私は藝術家は機械使用の爲にあるべきだと思ふ。と云ふのは、私は機械は藝術の下女であるべきであると信じるからである。私は快適（ケンヅトウヒカイツローベ）を求める全要求を充してくれる住宅にあこがれる。然し或る種の住宅は私に取つては正に住宅機械である！』（"Von Technik und Baukunst." Innendecoration. August Heft. 1925)

機能主義を難じ機械的を排するものは彼許りではない。ライトも其の一人であることは勿論である。『機械は要するに建築の道具にして、まご〳〵すると反對に機械が人間を使配する。機械？機械とは何だ？人が特種の仕事を機能的、自動的に、巧々と且つ安價に行はうとして頭から創造したファクターに過ぎない。機械は自身で制御する事が出來ないから、人間が與へる方向と制動に從ふ奴隷である機能の中には最初の意志と云ふものが無い。人間がその背後にある。彼が創造した怪物は彼なしには動かぬのである。私は怪物と云つた。救世主とは云はない。何故なら其れはそれを運轉し、止めようとする心に劣るものだからだ』（"In the causeof Architecture." The western architectMay, 1927)

然し、これら著名の建築家の言葉などには無頓着に、既に有力なる建築家にして、其の自宅に、是をそつくり採用したものもある。然し乍ら日本の建築家の凡てがかくの如く無頓着、無關心に現在より將來にかけて在り得られるものかどうかは頗る疑はしい事と云はねばなるまい。夫れはルナンが『過去の藝術（クンストデヤフエルガンゲンハイト）が屈眼する時代が來て藝術家は無用の長物となるであらう』と云つた樣に（"Die Kommende Kunst." von Ozenfant Innendecoration August heft. 1925)

そして事實、十九世紀中葉以後の鐵及鐵筋コンクリートなる材料の發見と産業革命に從つて起つた都市の膨脹、工場、公共諸建築の發現等に直面して、時代に適應せざりし建築家が自身の無力に失望した樣に、ジヤズ的無定見に生きる彼等は來るべき日本の建築界に儼然たる大勢力を張るであらう青年建築家に其の地位を



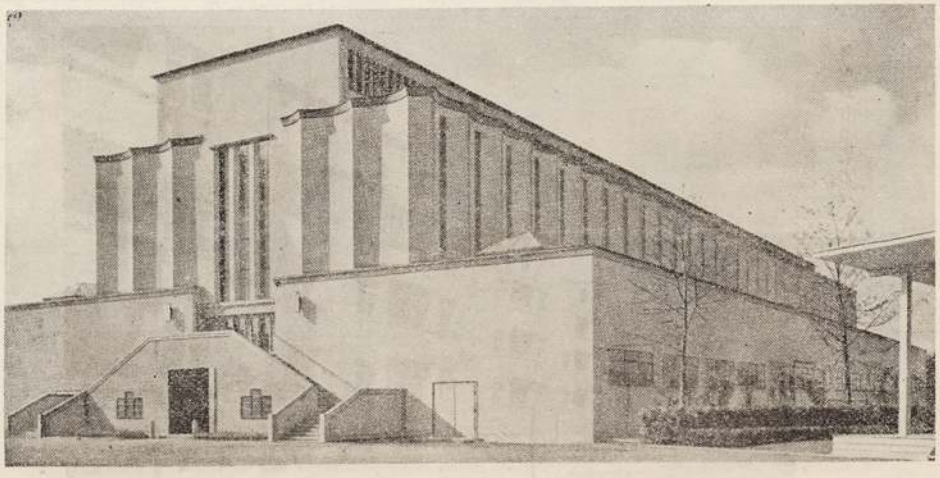
ケルン市の某アパート（其三）



譲るべく餘儀なくされるに相違ない、そうして日本は今、各方面に於て、そうした人物を渇望して居るのだ。日本の都會はジャズの中に踊つてゐると始めに云つた。その中に、一方に於て、勃然として醗酵しつゝあるに相違ない。この故に私は日本の住居が將來現在あるものゝは善き意味に於て全然異つた。日本人の日本住居として出現すべき事を信じるものである。

然らば云ふ所の將來の住居は如何なる内容と外觀を以て現れて來るであらうか

其れは自然を好愛すると云ふ、質實にして簡素な、國民性を反映すると同時に從來屢々云はれて來た、經濟、衛生、快適なる三要素を滿足すべきものであらねばならぬ。更に、日本の地質的特異性たる地震國であると、云ふ事實と、又國際的特異性たるプロ國であると云ふ事實とが、夫々、外國以上に耐震材料の使用と規格統一的經濟を要求するであらう事も想像に難くない。夫故、將來の住宅が先づ材料として、鐵筋コンクリートに依る事は確定的のことである。既に、建築樣式が材料に依つて制肘を受ける以上、木材に代つた鐵筋コンクリートが新らしい樣式を求めるのは當然と云はねばならない。即ち、日本人の好愛する自然との密接なる交涉は、材料が木材、又は煉瓦や石であつた場合には、ライトの云ふ樣な地から生れ出た樣な感じのする安樂な、水平的容姿の裡に見出されるけれど、コンクリートに於ては、梁や柱を作つても、各々が別個の存在にあらずして、全體が混然たる一つのマツスであるから、構造理論に從へばパラボラアーチを最も經濟的とし、其の爲に前者とは全く正反對な地に落ちる樣な感じのするカテナリー(Catenary)の中に見出されるであらう。それは重力の作用する柳の枝の描く曲線であり、ナイアガラ瀑布の表現する曲面である。かやうな推定は相當に奇異に感じられるけれど、インダードンク(F.S. Inderdonk)もパラボラアーチを讃美し、技師はコンクリートの橋梁を建築家は崇嚴なホールをパラボラアーチを選ぶことに依つて、實に自然の中に『聞入つて』デザインしたと云ひ、英國の"Cat-Ar System"住宅の壁が下より屋根に向つて次第にカーヴン、其の爲全體がパ



エツセン市に於ける展覽會場（其一）

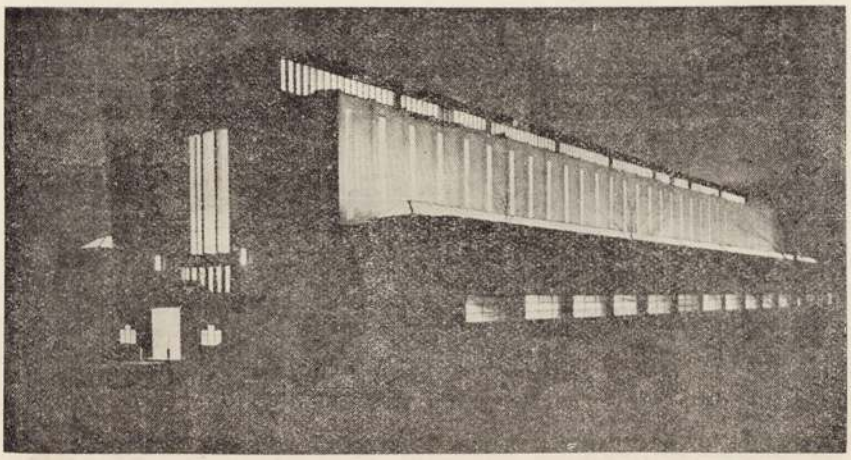


ラボラヴオールトを形作つてゐることを指摘し、ヨンクリート住宅の將來を早くも暗示してゐる。("The Ferro Concrete style." The western architect July 1927)

こうした、地に流れる樣なバラボラヴオールトの住居が、その背景に應じて適當に彩色されるならば、このやうにわれらの心をコンクリート特有の灰色の鈍重さから救ひ、活氣に滿ちた生氣の中におくことであらう。

住宅に關する色彩の問題は、前に引用した言葉の中にも見出される樣にオウトも研究して居り、ブルノウタウトもそうである。ドウースブールは色彩を、裝飾的趣味の要素と見ないで建築の組織的要素と見てゐる。われらの意見も亦これであつて、住宅を彩色する事は、少しも冥想的美しさを審美的美しさに還元することにはならないと思つてゐる。かつてローマの光輝であり、ラヴエンナやヴエニスや、コンスタンチノープルの榮光でありしモザイツクの樣な、高價な猥雜な材料に依らうとするのでは無く、コンクリート自身を生地から彩色しようと云ふのである。氏の問題を今、熱心に研究してゐる人はアメリカのアーレイであつて、(John J.Early)レックスフオードニユウコンブ(Rexford Newcomb(は、彼が"Shrine of theSacred Heart"に於て石や砂やグラスなどを Colored aggregate として試み非常に成功したと云ひ『この粘著性と、これが可能とする驚くべきポリクロミイを十分に了解するならば、コンクリートこそ形と色の表現に對し最も適當せるものなることが解るに相違ない。特に其れの持つ經濟的と云ふ事は最小のアウトレイにより最大のエフエツトを得ねばならぬ建築家の一考を要するところである』と述べてゐる。("Color in Architecture." The western architect, Aug. 1927)

こうゆう次第であるから、美しいコンクリートの建築が出現することは、最早や時の問題であつて、われらが將來の、このコンクリート住居を、滴る樣な綠の樹木の中に、美しきバラボラアーチと和やかな色彩とに於いて想像する事は、決



エッセン市に於ける展覽會場（其二）

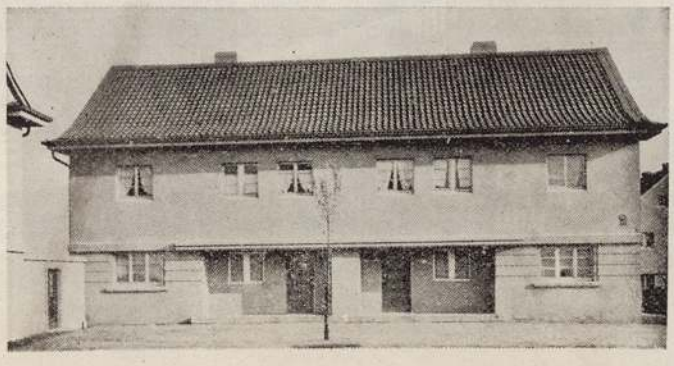


して架空的な思索からでは無いのである。

そのプランは永久的間仕切壁の代りに簡單なカーテン若しくは衝立の様なもので分割され、自然との握手の爲にグラスが十分に利用せられる。この明瞭なるプランと純合理的なる構造様式、及びその力強いカテナリーの中に、われらは、開放的にして遠心的な、大自然の裡に全く融け込んだ實實的な美しさを認めるのである。

若し何等かの事情で在來の架構様式が採用されるものとしても、最近既に四邊單に支持せられた床版に於て、今まで行はれてゐた獨逸や瑞西の一尺巾の梁と見る近似解法に比し最大七割の利益のある簡單な精算法が見出されてゐる位であるから、將來に於ては、架構様式であつても全體がマッスとして取扱はれ、從つてずつと小さな斷面にてより經濟的に求められる事であらう。それ故、パラボラヴオールト式よりは不經濟ではあるが現在のものよりは細い、薄い、小さなものとなるに違ひない(H. Marcus:—"Die Theorie elastischer Gewebe und ihre Anwendung auf die Berechnung biegsamer Platten")

次に將來の住居に就ての位置と種別との事である。是を一般の住宅と勞働者の住宅、並に農村の住宅とに種別し一般の住宅がどう云ふ位置に集團するであらうかと云ふ事を一言したいのである、夫れは餘りに解りきつた事であるが、今日既に行はれる田園生活が徹底し、一般住宅は都市を中心とする近郊の田園に集團してこゝに田園都市が成長することである。單一社會より複合社會へ、ヴントの所謂、トーテミズム的社會よりフマニテートへ、人類は進化の階段を登つて來たが近代都市の消費が引率する動力や機械の騒音や繁雜な、自然を解し簡素を貴ぶ土の日本人の住み得る場所ではないからである。是と同時に都市の勞働者の爲に共同住宅が提供されることであらう、これは都市の住宅であるから、都市美觀上架構式となるべく、然し其の表現は日本の特異性を滿足する所の簡素にして強剛なものでなければならないであらう。同じ様に、農村や漁村の住宅も改良される筈



獨逸の某村落に建てられたる小住宅

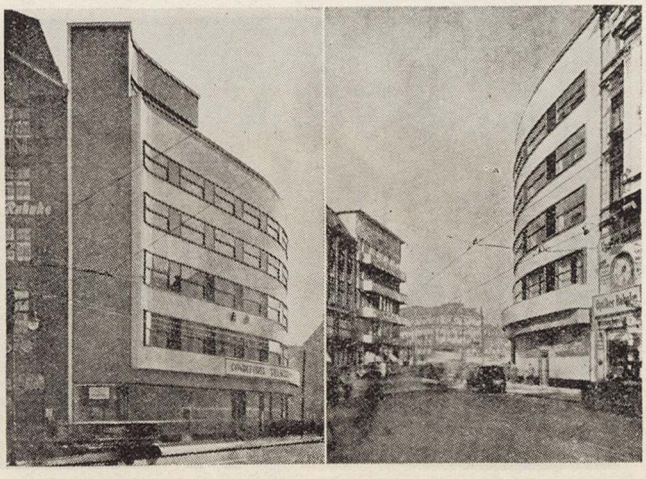


である。

住宅の三要素なる、經濟、衛生、快適と云ふ事は、現在、外國に於ける二三の先行的建築家に依つても主張されてゐるけれど、バラボラヴオールトが理論的に最も經濟であると云ふことと、快適を自然との融合に求めると云ふことには誰も氣付いて居ない樣である。オスワルトによつて『現代のドクメンテにして且つ全フランス建築家の精神を表現する』と呼ばれたリュルサが夫れである（"André Lurcat, Paris." Oswald Haerdtl, Wien. Moderne Bauformen. März-Heft 1927）ガストンヴアーランヌによつて『全情緒を純粋なるプロポルシオン・ド・レスパースに導かんとし、『物（りユマニテ）を考へる全人類（パンサント）』の要求を全的に表出せんとする』と呼ばれたドゥースブールが夫れである。

アンドレリュルサやジュアンマルニやモロー等の人々をコルビュシエで代表させ、コルビュシエ一派と云ふ人もあるが、この一派の、極端に單調な不自然な住宅に對しヴアーランヌが、是を非難する人々の言葉をかりて、次の樣に述べてゐる事は、亦われらの云はうとする事である。『この刑務所の窓の樣な明採りを穿つ眞つ平な正面。これもこれも決つてヴオレや、寒氣、太陽、雨に對する設備の無いこと。テラスを形づくる平屋根の四角な立方體。其のモノトニーを破る、くりかた一つ無き平滑なる壁。こうしたものは時としてわれらの論理を狂はせ、趣味を目茶々々にする。鐵筋コンクリートは果してかくの如き嚴格さを、命令的に要求するのであるか』（"Le Salon d'Automne, L'Artdécoratif et l'art Unbains." L'amour de L'art. 1927）實際其れは、その主張する通り簡單、明瞭で、灰色のコンクリートの生地をそのまゝあらはした、立方體である。時間と空間のある場合にあつては、コンクリートの灰色も清楚なをこなしい澁い味を出して成功することがあるであらうが、われらの住宅としては嚴格に失し、物的經濟を偏重する嫌がある。タウトの云つた住宅機械が即ち是である。

是に反し、ドゥースブールは、住居の經濟化、簡單化、秩序化を主張する點は

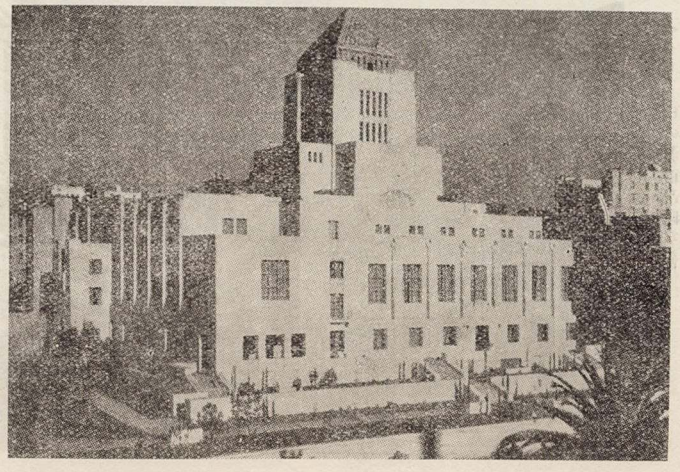


ベーリン市の某商品陳列館

同樣であるが、彼のは所謂創造的構造に重きをく。即ち精神的要求を二元論的立場に於て求めず、之を四次元的立場に於て表現しようといふのである。ラッセルの所謂創造的衝動を綜合的、演譯的に充滿させ樣とするのである。だから彼は住宅をモノトニーから救ひ出す點に於ては成功してゐるけれど、經濟と云ふことに於ては其の複雜なる空間的構成が示す如くコルビュシエ一派に一歩をゆづらなければならぬ。しかもその空間のプロポルシオンが尙、ライトの作品に比べて、不調和の感じのする事は否めぬところである。

このやうな、住居の快適を自然との融合に於て見出さうとしない、國民性に反する住居を、そのまゝそつくり日本に移植することはパルテノンが美しいからと云つて其れを大阪に持つて來るのと同じ愚しさである。夫れにも拘らずこの種の住居が、恰も、將來の日本住居を暗示でもするかの如く、指道的立場にある、老大家により、既に述べたやうに、建設されてゐるのである。コンクリートを在來の架構式によつて處理しようとする、理論的シャムコンストラクションが何で日本の將來の住宅として許されよう。若し架構式を余儀なくされるならば、日本の風土、氣候に影響され、生地から彩色されたコンクリートを利用し、もつと雅味のある、大地に根を張つたやうな、住居として出現しなければならぬ。

人がルースレのデフオールマシオンを見るならば、メトード●ド●ウィリオの一般論に於て、小屋組の變形に關して述べられた簡單な記述を見るに相違ない、それは、小屋組が豫期せざりし二次應力又は自重に依つて組立の後にフレーシュを起すから、永久的に希望通りの形を保持せしめる爲には右、と等しいコントルフレーシュを始から見込んで製作すべきであると云ふ事である (L. Rousselet A. Pettitet:"Deformations des constructions usuelles) この樣にして製作された小屋組は、殊更にコシトルフレーシュを持つ、曲つた形となつて市場に出て來る。われらをして云はせれば、一見、今までの文化住宅に反抗した、將來の日本の住居の如く見へるコルビュシエやドウースブール的住居の直譯が、即

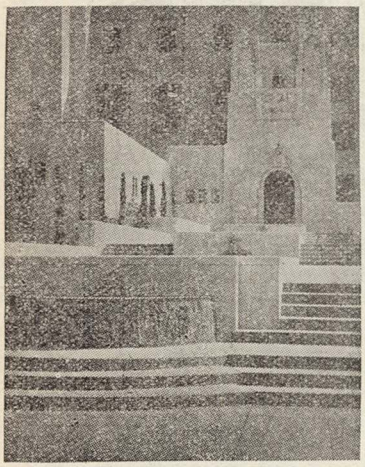


ロスアンゼルス公立圖書舘 (其一)

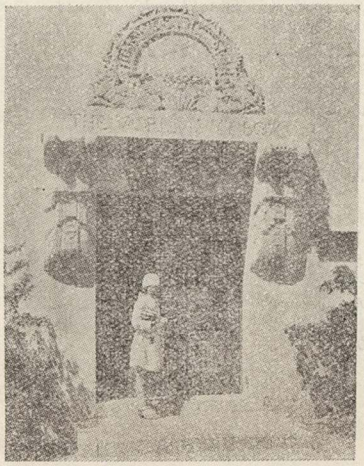
ちこのコントルフレーシュを持つた小屋組であつて、是等の猿真似的住居を自然の大潮流におとし込もうとする青年建築家が、即ちこの二次應力であり又この自重に外ならない。

私は始めに、現在の日本住居の惡流が、來るべき建築家によつて必ず改革されることの可能性について論じ、次に、云ふ所の將來の日本住居が、如何なる內容を持つものであるかを潛在的にも顯在的にも述べて彼等の目標を示し、今、こゝに、彼等の、その目標に向つて進むべき道に關し、既存大家による大きな障害のよつて來る源を明かにした。われらは、彼等がこの二次應力又はポアプロブルミして作用し、ジャズ的喧騷曲を反映する輕薄な住宅やそうした主張を雜作も無く片附けて『葦原千五百秋瑞穗國、是吾子孫可王之地也、宜爾皇孫就而治焉、行矣寶祚之隆、當與天壤無窮者矣』なる、われらが皇祖の、豪邁無比なる斷定と確信を、そのまゝ反映する日本人の日本住居を建設することを望むものである。（完）

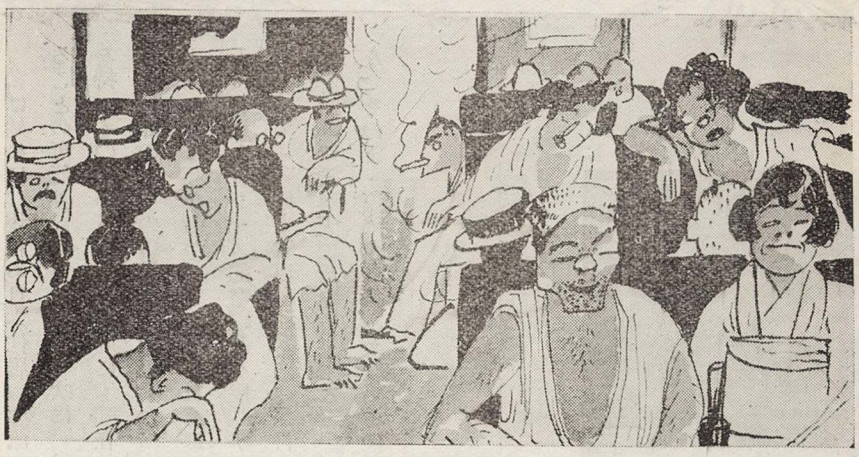
（昭和二年十月九日）



ロスアンセルス公立圖書館（其二）



ロスアンセルス公立圖書館
子供專用の出入口（其三）



死線を越へて

蘇牛作

旅行！と言ふ言葉には實に深刻な意味が存在する、卽ち運命の流れ移動である。

樂しいホネムンの旅行者、心中者の道行、商人、悲しい報せに急ぐ人箱乘り、逃がれてゆく人達、賣られてゆく小娘、尋ねてゆく男これ等を引つくるめて氣笛一聲プラットホームを列車が離れると、その各々は一つの列車内にお互に不知不識の内に定めた席についてどんなに急いでもゆるめても時が過ぎれば目的地へは行かないのである、所謂感念のほぞをきめ込んで落ち着くより仕方のない人間運命の小舞臺である。

時にはすいた同志同席する事にもならう、又敵同志が向ひ會つて席をとられねばならないかも知れないし思はぬシヤンのお隣りへ座す事にもならふではないか、是れが又人生不知の走馬燈である、見よお互は一つの引つくるめた運命に支配されてゆく隣人である。隣人同志である、吾等は人間愛に目醒めてお互に助け合ふではないか。

其處で先づ煙突そふじに等しい夏の旅行者の最も苦しむトンネルだが此奴を何んとかせなくちやたまらネいや、大體面白い御面相になるよ、汗と油と油煙でネ實にトンネルは人生行路の死線である。

吾輩等は是れあるが爲めに旅行をしぶる事はま・あるのである。此の死線を越えて思はずフフト吹き出し度くなるのは可愛そふにモがざんのあざらし面である。

地上の天國

丸龜市　大須賀巖

（一）

新しい歌でもつくらう、歌を
友よ私はあなた方につくらう
この地上にこそ我々は
天國を建てやう

我々はこの地上の幸福を望む
それは天上の幸福ではない
一生懸命働いて獲たものを
馬鹿な胃袋の勝手氣儘は許さない

之は詩人ハイネの歌つたものだと或文學者から教へられましたハイネが何處で何ういふ意味で之を歌つたかは私は知りませぬが私共は實際地上に天國を建てたいと希望して居るものであります唯物史觀を信條とする學徒とか闘士とかいふ人々が種々の問題と行動を私共に示して呉れます又先覺者とか稱する宗教家政治家諸士の唯心論とでも可申愛國愛民的說明も可なり承はりました。又或文豪の『中庸の道』の卓說も拜讀したのでありますが要するに私共は此地上に天國を建つることが目的でなければならぬと考へます、詩人は詩によつて政治家は政策によつて建築家は建築によつて各々地上の天國の建設に盡力すべきでありませう、而してソレは遂に到達すべからざる青い鳥でもなく、又一度建設せられたる時を以て永久に時と空間の比較的多少の下に廢滅を待つのみのものであつてはなりませぬ。

（二）

フト或新聞紙の一面にあらはれたる記事？の題目を追ふて眼を通した時數個の記事が何れもいひ合せた樣に建築に關する事柄許りで何か今日の建築と社會を小さい紙面の上に展開して居るかの如くに私をして思はしめました。

外國新建築グラフ



此建築物は最近獨逸に於いて竣工いたしました病氣保險會の外觀であります。
構造は鐵筋コンクリート造でありまして外部裝飾は藍色の濃い色彩を有つたタイル張りを以て施されてあります。

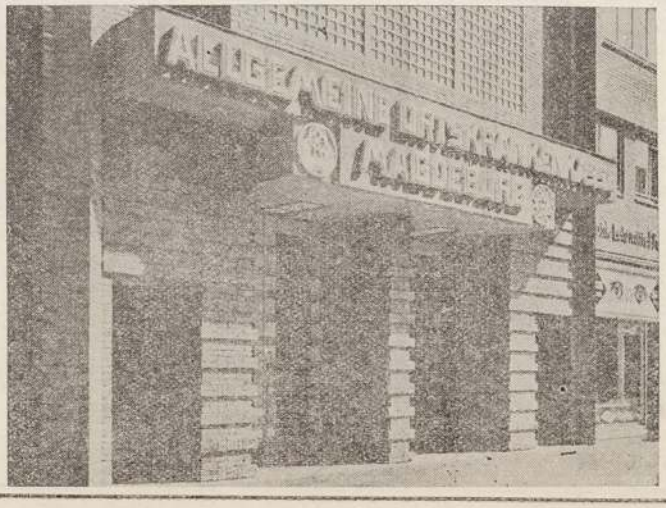
（1）その一は石中象治氏の藝術に於ける技術的なるものゝ題して其一節の中に『機械はヨリ大なる自由への道より大なる可能性への道をひらく』といふパウル・ステファンの句を引用し『機械は一技師が社會から獨立に發明するものでない』といふ示唆に富む名句を私共の頭の中へ放送して居ります。亞米利加の南北戰爭が北軍の勝利となつて南部地方が奴隷を開放せなければならなくなり、從つて綿の採取に勞銀が高くなり不得止行詰りの打開の方法として紡績機械が發明せられ、紡績機械の發明が大量生産を産み曾て我國の閨老をして『之は紅毛人より渡來の綿糸なれば假令寸分なりとも大切にして他の用にせられよ』と一寸か二寸の糸屑を用人に手交せられた當時より遂に我國にも産せし綿の栽培の絶滅となり印度一億民衆の輿望を荷ふガンヂーをして手紡車の歌を叫ばしめたる社會的事象は機械は一技師が社會より獨立に發明するものでもなければ發明されたる機械は社會から獨立に存するものでもないことを深く思はしむるでありませう。

一物の動く時に必ずや千波萬波の影響が宇宙の間に生ずることは哲學論としても物理論としてもヨク説かれるところでありますが、之と同時に私共は或物が變革に從はぬ限りは建設の其時より時間の多少の相違はあり、或は空間の相違もありませうが必ずやデマンボーズされる運命の途上に其物があることも鐵則として認めてよからうと思ひます、石中氏の論鋒はこの方向から其結論を導いて居ります。

『進展し變革して行く内容の要求に應じて如何に技術なるもの（手段）を藝術の中により入れ消化して行くかは重要な而して難しい問題である唯藝術は技術的なるものを無撰生に飽食してはいけない、この限度を超ゆる時に機械は結局手段以上のものではあり得ない、人間がそれを必要に應じてとり入れて進み行く生産力が藝術に於ても亦壓倒的にまで見えた所の機械の威力や理學の新産物を必要とする』

御家の改革は罷り成らぬと威張つて『昔は昔は』を切實的に糊口の資にせようといふ或國粋論者と飛び上り者のおハネとは何れの世にも存するのは免かれない私は外面イカにも強さうな山の花崗石が自然に壞はれて行く樣に生活することを丈けは御免蒙らなければならぬ、春が來て新芽を生じ冬が來て葉を落す樹木は之によつて生成して居るのである花を開き實を結ぶことによつて假令それは一年限りの花瓣であつても子孫によつて生命は永久である筈である。

（2）次に眼に入り來つたものは松村武雄氏の



獨逸・病氣保險會社

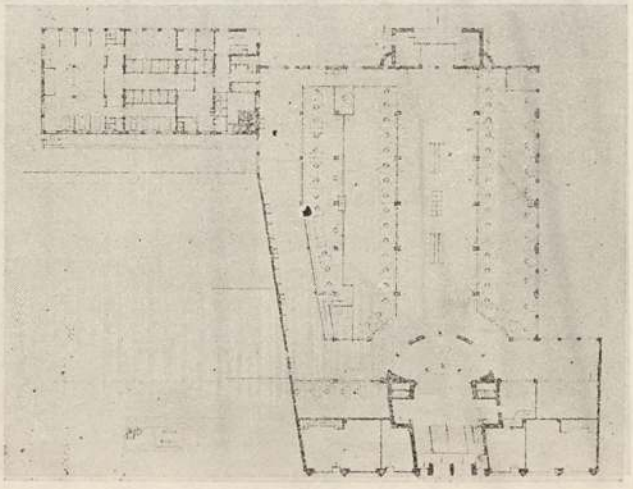
玄關

羅馬博物館を訪ふの記事である、氏のこれを訪ふた時の印象と氏獨自の感想とは書かれたる同氏の文字によつて直接に該書に傳ふにことにしませう。

『しかしローマ帝國の生活や文化をそのまゝにウィンに持ち込んだ人々も自國の空と新住地の空との著しい違ひにはさすがに心を動かしたであらうボローニュあたりによく見受けられるあの拱廊はイタリーのやうな明るい世界『お、わが太陽』『オーソレシオの世界でこそ結構であるがウィンの様な陰鬱な空の下にある日の多いところに其れを持ち込んだとき慘憺たる失敗となつた、それくらゐ異つた環境に自分を見出したローマ人は定めし時をり故國の空を仰いで大きな吐息をしたことであらう』

日本人には日本人特有の建築なかるべからずといふ愛國家たる叫びをよく聞きます、併し私はその都度考ふるのです『此叫びは無條件に受入れることは出來ない』と何となれば南は亞熱帶から北は寒帶に渉る我日本帝國の領土に單一なる建築を以てすることは到底出來得べからざることである、臺灣は臺灣に樣太は樣太に適する建築を要することは寒暖を身に感ずる生きてる私共には無理な押つけであります、殊にヨク聞く話として我國人が折角滿洲なり北海道なりへ移住しながらも内地式の建物に納まらうとして呼吸氣病に斃れ、或は南洋から事業半ばにして引上げて來るといふ意久地のない國民振りは考へない譯にはいかぬ事であります、日本人が造り日本人が住む以下は日本人の建築に相違ない筈である、日本人に特有の建築とは要するに心の問題であると思ひます。即ち日本人としての心を以て建築した其所産は假令形式に於て亞米利加に似たる處があり、北歐に摸したる所があるにもせよ、心迄アメリカナイズされてしまひ北歐人になつてしまはぬ以上は矢張り爭はれぬ氏素性として日本式建築が構成されずには居れぬと考へます、而して鐵筋コンクリートの如きは要するに今世紀に世界人共通の所用として生れた構造であつて歐のものでもなく、亞米利加のものでもなく、從つて日本のものでないとは勿論云はれぬ事と信じます、序に申しますが私は餘り近付がありませんが新渡戶稻造先生です西洋人を夫人として此間歸朝するまで九時から午後の五時迄日本語を使はずに國際聯盟局に御勤めになつたが彼は日本人です　明治大帝の勅語を西洋人に譯すべからざる壯重の語として紹介してゐます、此點をお考を願度い。

（3）次は大熊喜氏の建築行脚と題するッゞキ



獨逸・病氣保險會社

平面圖

もの建築に對する論說の中で『厭味のない分離派住宅』であります、埼玉縣蕨附近に建てられた堀口氏の建築に對する同情と敬虔の念を以ての推賞文でありますが其中に分離派殊に日本の其派の人々に對する氏の見解を伺ふに足る一節を拔萃すると『ウィンのセセッションの速中は其創作的能力に於いては決して大したものではないが實に宣傳が達者であつていづれも筆の立つ人々であつたセセッション運動は大半筆の力によつてなされたと考へても大なる過ちは無い樣である、其の影響を受けた爲めでは無からうが日本の分離派の運動にもこの傾向がある樣に思はれてならない、然かし建築の堅實なる進歩は決して宣傳や筆のカのみでは不可である、地味な落着いた歩みをする堀口氏の樣な人が望ましい、然しかゝる人々の少いのは現代といふ惡い時代の罪なのかも知れない』

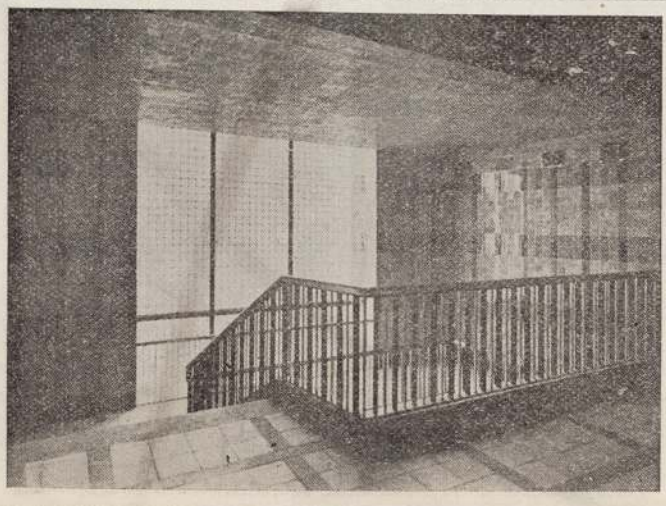
(4)次に此一ページの紹介に餘り長くなるを恐れて此項を擱筆すべく簡單に加へるものとして『反射鏡』と題する此新聞の記者の隨筆欄であります。

プロ文藝はいつまでも古い形式のなかゝら反抗してゐるわけにもゆかないハツキリと古い形式からはなれてそれ自身の形式をもたねばなるまい

敢て建築に就いて考へていふたのではありますまいが、之も當分の流れを示す文藝評論の言葉として建築に關する記事の多かつた一面の片端に書かれてゐた文學として因緣のある心地のするまゝに書き加へたのであります。

(三)

ヨク議論を爲される人々は我國特有の建築物を創造せよと呼ばるゝ一方衛生的或は必要を主としての建築を主張せらるゝ此事は御尤千萬と考ふるのでありますが他の批評家がいはるゝ通り日光と空氣と水さへ備はればソレで私共の建築は四角たらうが三角だらうが赤だらうが無關心であるものではありません。人々各趣味好尙もあるものであり環境もあることであります。而してソクラテスの古い言葉『唯生活するのみが尊いものでない善良なる生活を營むものが尊いのである』といふ事を考へずに居られないと思ひます。則ち如何に同一國民であるからとて劃一的建築は複雜な今日の實際生活に各人に强いらるべきものでないと同時に如何に富めるからとて權利の濫用の範圍に及んで建築の特權が特殊人に與へらるべきものでなく又惠まれざる人とても當然に人類の棲家として見るにも聞くにも堪へざる程度に放置するべきで

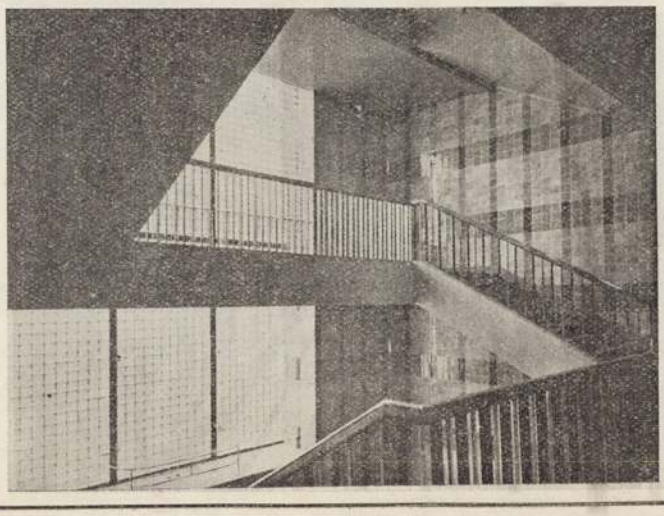


獨逸・病氣保險會社

階段室の一　風呂場入口

ないと考へます。之に就て私共は今日世界的に二大展覽會を眼の前に見せられて居ると思ふ、其一は露國で他の一は埃及であります。露國は誰も知る如くマルクス主義を忠實に遵奉すると主張して居るレニン氏の主義の下に建てられて世界各國の間に特殊の立場を有するものであります。埃及は英傑ザークルパシヤに率ゐられて其祖國愛の熱情から英國の羈絆を脫した新興國であります。ソノ新興國の點に於ては二國とも土耳其であるとか、或は北伐を完成した支那とか、又或意味に於て伊太利とかも之に加へることが出來るかも知れませんが、露西亞の建國精神と埃及の立國とは之等新興國とは選を別にして後者に稍似たるものとしては波斯アフガニスタンを指摘することも出來るかも知れませんが之が代表としても他の新興國と類を異にするものとして見られませう。今此二特殊國の現狀に就て考ふる時露國は人類の平等な幸福を目的として世界の無產者に呼びかけて居るのでありますが其今日の實情として窺ふべきものに我山中大使が首都を一言にして評したる言葉があります。『モスコー』の名物は乞食と蠅と本屋であるとの言葉であります。一方に私共日本人には奇妙と見られた幹部の生活——先般日本へ見えたヨッフェ氏又同じ頃に見えた共產黨の首領諸氏は無產者らしい生活といふよりは我國の貴族階級以上のものであつたこと又現今の露國外交官でない幹部の人々といへども貧しからぬ生活にありながら多數の乞食と蠅を同胞中にあらしめ而して本屋のみが繁昌するといふ現象は人類の共同の幸福を理想とする社會として甚だ面白いことでありませぬが更らに埃及に就ては最近彼地を視察した者の言によれば埃及は英國より離れてフウーアツト一世を其王樣として持つたザークルパシヤを總理大臣に有した、而して是等の人々は嘗に四千年の文化を有する埃及王國としてフサはしい宮殿邸宅を有し出入の美々しい行列は昔時の埃及の繁榮を偲ばしむる程の立派さであるが眼を轉じてカイロ府の一隅埃及市民を見るときは襤褸赤跣の群を見、ナイル河畔の土人部落の生活は悲慘其者として今日も昔時と變化がない、而して之等貧しき者の如何に多きかは女奴隷としての蓄妾が月三圓以內で容易に得られ少しく收入ある者は數人を蓄へる則ち一方は貧民の大衆として其女を少數國民の娛樂に獻じ少數者は平氣で不義の快樂を擅にして居る社會現象は善良なる生活を爲しつゝある國民といひ得るであらうか。

共產主義を奉ずる國に乞食の大群と豪奢なる階級あり祖國の主權を回復し國權を張りしこと



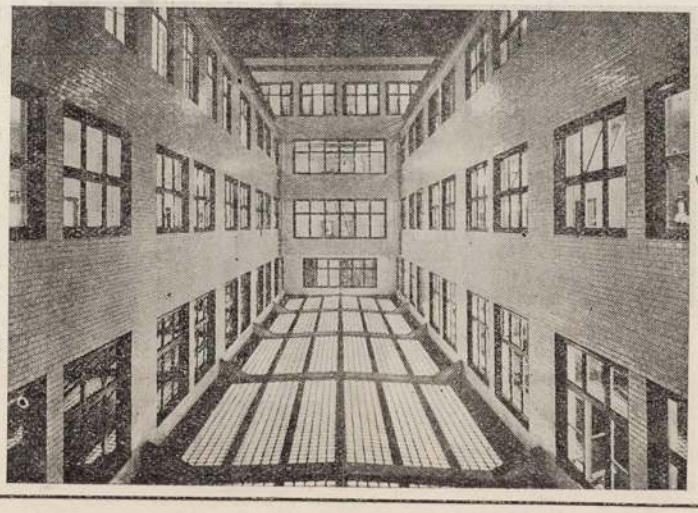
獨逸・病氣保險會社　階段

を中外に宣揚する國に於て貧富の差如斯とすれば私共が善良なる生産を營む尊いものゝ爲るが爲めには之等の主義主張によつてのみ得らるべきものでない事は明らかである、乍併如何に考へても此世の中に與へらるゝものは限りがある五つのパンと二尾の魚で五千人を飽食せしめた話を神の子の仕業とのみ見て行はざらんとするは罪の子たるを免れない、我々も亦神の子である。天國を此地に現出せしめんとする事ソレが人としての道でなければならぬ、徒らに萬物の靈長と口筆上で威張る許りではお話にもならぬ

（四）

幸ひなことに我國でも是迄タツタ五つのパンと二尾の魚で五千人を饗應せんと試みた所謂神の子は少なからずありましたが其の多くの内には錦襴の法衣を纏ふて飽飲せしむべき五千人の前に法悦を說いて五千人が飽食せぬ内に自分丈けは倉裡で美妾美酒に醉つてしまひ、大衆から飽かれてしまつた者もありました。又新知識を眞向にふりかざして五千人に飽かしむべく講壇上に眞妙な祈りを捧げつゝ信徒の誰よりも饒かに而して其娘達迄も奪つて得意がつた者もありました。更らに五千人にも一萬人にも飽食せしむること號して會社組合の利を說いて自分丈けがイヽ子になつた人も少なからずありました今日に於て產業組合の組織と都市計畫の制度とは尊い人の生活を爲さしめんが爲めには良い者であることは疑ひのないことであり、之が眞に行はれたならば眞に五千人の飽食は出來る筈である然るに最近其筋の調査なりとて新聞紙上報ずるところによれば產業組合の美名の下に五千人を餓えしめて一人のみが飽食する手段として使はれて居るものが甚だ多いとの事である。茲に至つて私共は制度や組織其者も大切であろうが先以つて人其者が大切であることを眞に五千人を飽かしむるの自覺が國民の胸奥に芽生へるのでなければ要すると猿芝居の幕の代り合ひであつて矢張り同じ物が繰り反し々々される以上何にもならぬことであります。私は田舍に引込んで浮世の刺戟は都會生活者よりは薄いのでありますが此悲しい社會現象を見まいとしても事實眼前に見せつけられて怒るまいと思ひつゝ怒り悲しむまいと思ひつゝツイ悲しい思ひをします。

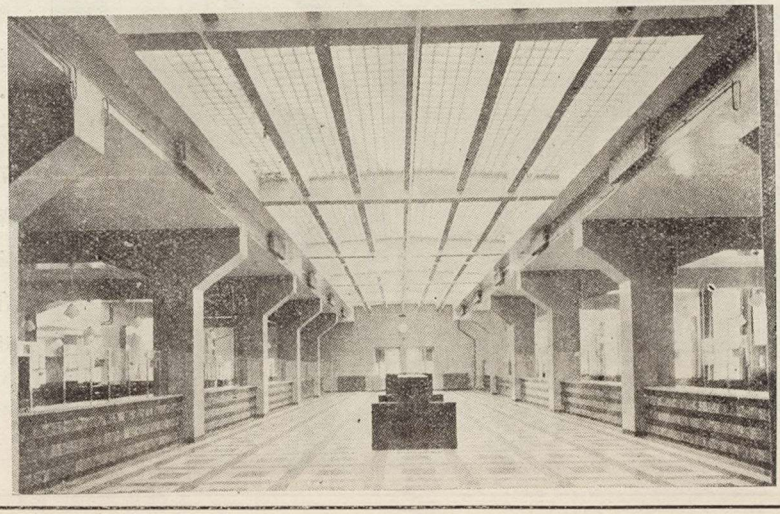
大きな理想の下に營まれつゝある公營住宅ソレが市營であろうと組合の住宅であろうと之を一括して觀察しますのに何れも物足りぬ心地がします。勿論當局者をして言はしむれば夫々皆辯明の辭はありませうが私には『敷地が狹い』といふ一事はドウしても考へられずには居られま



獨逸・病氣保險會社

內部其一

せん。當時天下に評判となつた大阪の市營住宅が都市計畫委員會の技術者によつて調査せられた結果市街地建築法の適用として先以て不適當なものであつたことは都市計畫施行當時の最初のエピソートとして之等の者は今日では賢明なる大阪市役所當局の手によつて十分に修正せられて居らうと思ひますが五千人を滿足せしむる五つのパンとに適當なものとしては市街地建築物法の規定にハマルといふ消極的な丈けでは不足と思はる更らに一段と本誌々上に紹介されたルウミユウル・ボンヌヴエーの簡易住宅ル・カルビユシエの早作り家屋の如き累年發表せらるゝところの時代の精神ダンカン氏の（本年三月入送せし新時代の理想家屋の）據る所を十分に酌みとつて餘り新しくもないエンゲルスあたりの非難に昂然たる誇りを有する吾等の住居を作出するに力めなければならぬと考へます。然し之に就ては當局のみに望んでも駄目である。私は今日の日本の社會事情に照らして寧ろ當局以外の人がヘンリー・フオン・ウエルドと爲り當時のアール・ヌーボー派の如くセセツションの人々の如く民衆の先頭に立つて頂きたい、而して現に當局者である波江悌夫氏が本誌上に『英國に於ける住宅問題の近況』と題して同國の鐵骨住宅の紹介をされたことは大阪市營住宅の將來の爲めに歡びに堪へぬ次第であります。且つ附け加へて申述べて置きたい私の意見として已に書いた如く日本の家屋を一律にすることは無理であるといふことでありますが多くの人は日本一流の日本家屋といふ杓子定規の下に動ともすれば折角苦心して作つた尊い者に冷語を浴せて創造の心をにぶらせ樣とします。然がもシタリ顏に先年來朝した英國の社會主義者が日本の家屋の區々であることが第一印象として話されたからとて何でも彼でも統一をせなければならぬと自らなる絕對西洋崇拜を表白します。又實際に西洋人は多く斯く觀ずるでありませう。ロンドンタイムス日本通信員カプテン・エマ・デー・ケネデーの如き穩健で日本通な人の意見としても其發表したものの中に『外國人は其國に住んで居れの欠點を見出すよりも容易に其國民の欠點を見出す事が出來る故に其友情から日本人の内觀の資料として日本人の欠點を擧ぐる』といふ前置の下に數ケ條の欠點を指摘して其第三に『混沌たる建築』として建築の方向に於て『純粹なる日本の樣式と純粹なる西洋の樣式とは各其範圍内に於てその特色を發揮して居る、そして歌舞伎座の如き建築は最もよく東西を調和して殆んど遺憾がない、されど日本の都會に於て常に觀るところの混沌たる樣式は醜惡にして見るに



獨逸・病氣保險會社

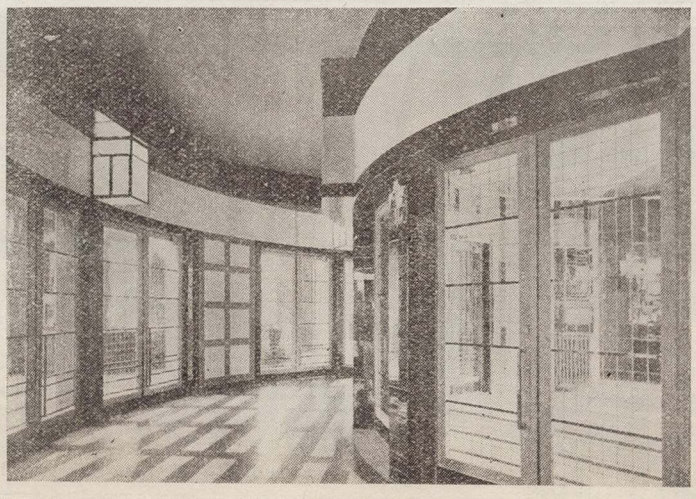
內部其二

耐へないといふて居る如く、外國品と日本品と半分づゝクッ附けて之が『建築で御座い』といふ如き醜惡は誰しも醜惡とするに相異ないが外國人の傾向として我々が和蘭へ行けばタッチの服裝を見ねば納まらぬ如く支那へ行つて散髮洋裝の共和民國人が支那風俗として物足らずに觀ずる如く我國に來る觀光客は此國を世界博覽會の日本人村特設館として見んとすること恰かも私共が上野公園や其他の博覽會場に於てアイヌ土人部落や臺灣の生蕃人を見るが如くに然かも德川末世の頃來國したものや古い案內記によつて得たる日本人を其儘に見んとする心から日本人の近世日本家屋に住はざることが已に一種の不滿足であるが爲めの第一印象としても第二印象としても日本人現在の欠點として直ちにいふ傾きのあるは事實である。コノ淺薄な外國人の感想迄持ち出して兎角創作物をケナス人々の心を退治ることが埃及の王樣や總理大臣の一箸の御肴を其國民に頒たしめて眞に新興國たらしむる意義を見出す如くに第一主義であらうと考ふるのです。

（五）

ナイル河の上流百五十餘里ルクソールの左岸キングスバレーの入口にワタンカーメンの王陵を發き目も綾なる古王者の豪奢と文明を後代に知らしめたカルボン伯の偉業は殊に『土の陵を發くものは必ず死す』の傳說を冒して遂に奇しき運命の死を獲た事を併せ考へてタシヤに偉業に違ひないが私共日本人の今日の急務としてカイロの都に巢喰ふ貧民ナイル河畔の土人の悲慘なる生活より免かれて富有とは勿論いふべくもないが人らしい生活にあるべき其最小限度のもの——公營住宅を完成してカーライルの『唯住むといふことだけなら他の動物も能く爲す』の領域から免るることは建築家てして大ビルヂングを作り大記念堂を作ることゝ何等遜色がない筈である。然るに實際問題として第一に物質の點に於て第二に世間的の稱讃を得る能はざる點に於て遺憾ながら大建築家大天才の建築家を此境涯に沒頭せしめることに無理がある樣であります。

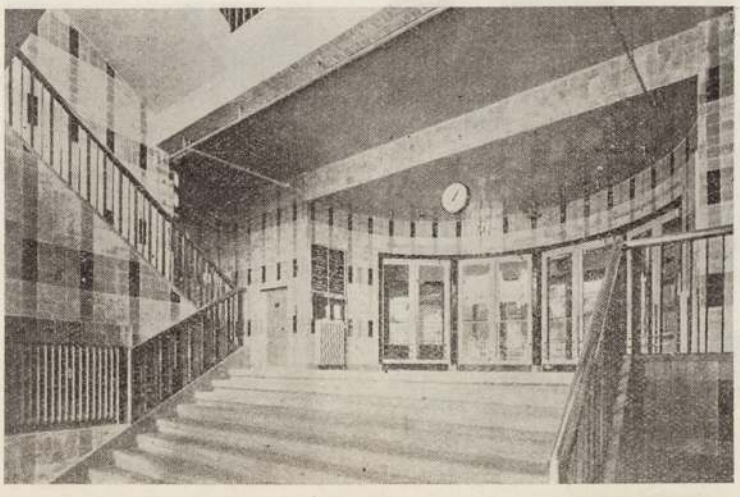
私の住むで居るトコロは田舍も田舍四國でこそ都市として町や村よりは人の聚落として大なるもの、中に入りませうが日本都市としては沖繩縣の首里から算へて尾道の次に最小都市としての第三位である位に小なる者でありますが聯合都市として周圍の衛生的町村を加ふれば人口廿萬を算することが出來之るに近世的都市の設備さへ加はれば理想の都市——人口三萬を中心



獨逸・病氣保險會社
內部其三

に幾つもの地方的小中心を有し何れもが田園に繞らされて居る田園都市として理想のものでありますので他の都市が大都市的施設に汲々として居る時此都市許りは落付いて眞に人間の都らしいものとするべく殊に市營住宅なりと日本人の手に出來た日本人の良い小住宅を得度小住宅の設計を全國的に募集したのであります。審査長たる武田工學博士も今日の世間的實情から優秀な作品を得ることは餘りに大なる期待を有して居られなかつたらうと思はれたに反して之が一等賞として當選したものは傑作でありましたと之に就いて當時本誌も卷末に聊かの紹介の勞を取られ雜誌『都人』は餘り多からざる紙數の雜誌なるにもかゝはらず審査決定の理由書並に當選者の設計を詳しく紹介され又大藏省營繕部長大熊博士は書を寄せられて右一等當選者あ設計圖を同省の管掌せらるゝ小官舍の參考として所望せられた以上の事柄は社會的に見て谷間の姫百合は詩人の同情が寄つたり田圃のサキゴケやイヌフグリに文學者の愛が注がれると同じであつたかも知れぬが公共住宅の設計といふ事は決して小さい仕事ではないといふ固い信念を持たざるを得ませんでした。然かし殘念な事には出來上つたものについて見ると如何にも敷地の狹いことが心苦しいことであります。遂に陷るべき所へ之も亦陷つたと考へざるを得ませんでした

百尺の制限を超えんとする高さと五階七階の大建築の櫛比する大都會にあつては土地の價の高いのは當然である大阪市が公營住宅に於て敷地の狹いのは不得止事情として之を見ることも出來ないこともない。然るに二階建以上には餘り高建築の見られない田舍でありながら狹苦しい敷地に狹苦しい建物を建つることが日本通有といふてよろしい今日の狀態である三方四方田圃で圍らされてた百姓家すら態々狹苦しい建て方をして居るのが當地方の常態である此事は決して輕々に見らるべき事柄でないと思ふのです事實は判らぬですが上杉景勝が碓氷峠を通つた折茶の湯の會を太閤の眞似して其處で催したところ小堀遠洲が參會しての批評に之程の大自然の中で茶をたてながらワザ〳〵狹苦しく仕切つて遣るのは茶の湯の精神に反する、宜しく信濃上野の山々を築山と心得て遣るべきであるといふて笑はれたとか此のワザ〳〵ケチ臭く家、屋敷を仕切るなければ承知出來ぬ國民性は要するに盆栽を弄ぶ國民であり骨董品にあらざれば美術品にあらずと思ふ國民であり、模倣あつて創意のない國民でありアパートメントハウスに一々の玄關を付けなければ承知の出來ぬ國民でありロフトビルヂングは虫の好かぬ國民であり翻

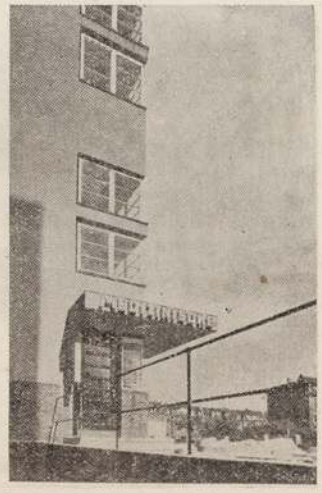


獨逸・病氣保險會社

內部其四

つて私共國民は祖先から生れ祖先から私迄ソコに貰かれたる精神然かもソレが種々の相を以て時代により場所に異つて居るものであることを觀破するの明なく只水中に浮ぶ月影を捉へることが眞であると考へ無益の眞似をせんとする猿猴的國民でもあるからであります。

金持は金が溜る程穢くなること灰吹の如しとかいひますが金持のケチを罵つて自己のケチを知らぬものも可なり世上に多いと思ひます。曾て私は薄給の巡査諸君と机を並べてゐた時その一人が技手君の俸給が其人の約三倍に相當するのを恨み若し自分がコンナ大金を得る身分となつたなれば其二倍に當る部分は皆氣前よく凡ての割前等に『出してやるがナア』と喞つたのを聞いたことがあります。之と同じ事で大都會は土地が高いから住宅の敷地を廣くされぬといふ理屈は田舍の安い土地へ入つても矢張り田舍は田舍丈けに敷地を狹くすることが按分比例的『當り前』として遂に都鄙共に敷地の狹いのを當然事となつたのでありませう、而して強ちいふ如何に安いといふても建築資金に固定さるものは土地である、之を償還するには相當の永年月を要する之が利息も要することせば之等元利金を合して安くはならぬ從つて土地を廣くすることは田舍として假令僅少とはいへ都會の如く容易でないといふのであるが實際上の採算として土地は其利息と公課のみを計算すれば宜いので家屋の如く永久に元本償却或は改修繕の費用を要せぬコトを以て如何に土地の高いことは全國的な日本であるとはいへ田舍は矢張り安いのである、坪五圓と見て百坪か五百坪之が利息は五分四厘の低利とすれば二十七圓、宅地が三十坪で附屬地の田畝は六十坪とする償ける氣さへなければ敷地と建坪と元利と合せ考ふる時決して高いものとなることはない、十分に田舍紳士の體面を保つ丈けのものが安く貸すことが出來る、然かも之を二棟並建とすれば尚更らに敷地の大は決して出來ぬ相談ではない、然るに今日之の出來ぬのはせぬからである其心がないからである『それが有用であることを我々が知らない事物或はそれが美なることを我々が信じない事物は悉く家の中に置くな』の主義信條を以て事に臨むとき私共の光榮ある建築は甦り五千人を五ツのパンと二尾の魚で飽かしめて地上に天國を現出せしむることは不可能でないと信じます。



蜀逸・病氣保險會社



部分二題

地所賣りそこないの記

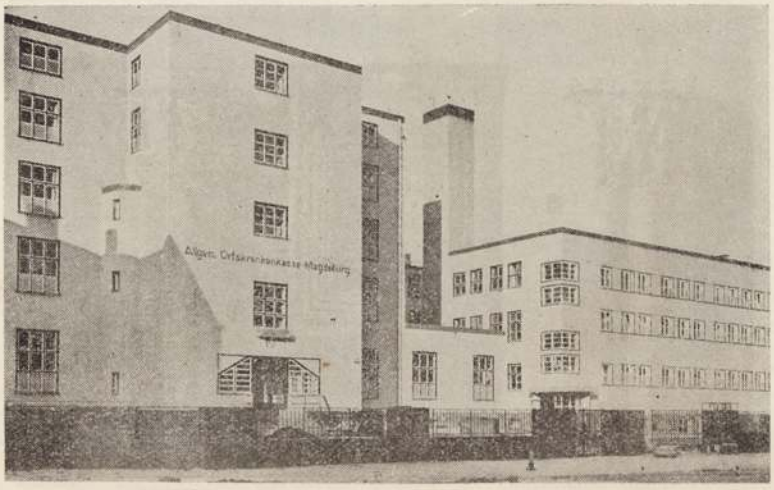
呑鑿生

貸家難に頭を惱ましを知人Aは借金を賣に置いて適當の地所を買入れ自分の地所に假令鷄小屋に近い程度でも己れの巢を造るべく餘儀なく決心をした幸ひ日曜日の朝刊に目を通すと何々家開放地之れは昨今流行の昔買入れた安い地面又は個人〳〵の持合を一纏めにして下水、道路を新らしく造り適當の廣さに區分して他より割合に安いとか附近の便利な點を列べ立て買手の急所を狙ふ新らしい商賣であるAは丁度中野停車場から五分〇〇家開放地三十五圓より七十五圓迄坪數四十坪より百坪迄他より格安下水道路完備何々と御誂へ向きの條件に內心頗る乘氣になり貰い日曜の時日を割愛して先づ目的の場所に出掛けた其の日は小雨降る三月五日の朝、薄いもやは附近の森を墨繪の樣に浮き出して居る開放地の西部は未だ葦の刈り殘した沼地から敷地の中央に巾六尺の小川(實は溝)が流れて可なりの風景であるC番八十坪餘(坪當五十五圓)係員の話しにては此の地所は最も割安何故なれば南と西に無代使用出來る官有地の溝敷が約九坪位ある東は二間道路北は田舍家南は相當に眺望もある隣地の前表通りに面したる分は七十圓既に十五圓の差は係員私共の實際手落との話しで頗る煽動される手附二十金を置き渡された敷地の圖面の印刷物其の他を貰ひ受け電車の中で一人悅に入り歸宅既に自分のものになつた樣な勢ひで早速集の設計に取り掛つた甲案乙案御手のもので出來上るもの十數案但し何れも實行には一得一失其の熟考中に登記も終り目出度Aは鬼も角地面持又は地主の一人者となつた次第である其の得意思ふべしである。

五月に登記が終り建築にあゝでもない、こうでもないと相談中月日は遠慮なく過ぎ去り廻り來り附近の地面には何れも新らしい住居が出來上つた文化式あり日本風あり思ひ〳〵の意匠を凝らし愉快そうに見受けらるゝもAの處は依然

獨逸・病院保險會社

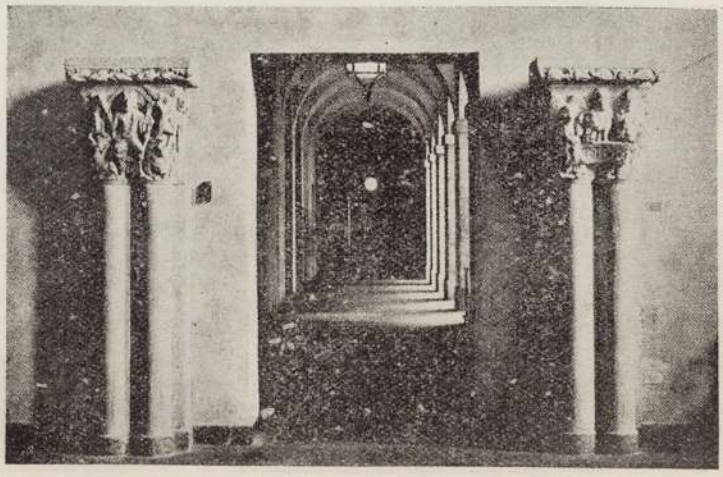
外觀



として草茫々附近の小供の遊び場所や塵芥捨て處になつて其の年も終り到々只一軒丈けの空地となつた。

Aは未だ一向新築の樣子がない其れに種々な理由が出來た折角無理算段をして買ひ求めた地面勿論廣からざるは承知の上なれども隣家の建物は餘りに無遠慮である自分の庭先に便所は云ふに及ばず軒高き二階家南は先づ是れで塞がれて仕舞た、官有地の石垣は大雨で崩れる道路は馬力の運搬で足の踏み處もない迄に毀される隣りは音樂の先生で毎日面白からざる鋸の目立宜敷く音色を遠慮もなくキイ〳〵連發して居るらしい東は癩病患者の餘程進んで居る人が移轉して來たもう一つは敷地が濕氣のある爲め北側の家で脚氣病が絶へない尚ここでもだが文化村の道路は悪いのが多く驛に出る道の數町は霜ぐけには極めてひどい何んと云ふても市内は難有そんなことを考へながら更に氣が進まない處に井戸水がどれも飲用に適せないと云ふ報告之れは一番閉口する最も水の事は田舍でなくては知るまいが持主が地所賣渡しの際水は上等ですと云ふ證言を楯に買受入聯合して訴訟をする騒ぎになつた、そんなこんなにいつそ是れは一と思ひに適當の買手があれば賣飛ばしてしまい度く考へて居る時丁度或る甲の買手が現はれた。之れ殆んど代價が問題にならず斷り、次いで乙が現はれた、此も進行せず丙丁何れも條件不備と世間の不景氣で思ふ樣な買手は更に附かず銀行利子は高まる一方話の始まる毎に大切の時間を潰す丈け損害俗に千三ツ屋とはよく云つたもの、買手の時と賣手の時は主客顚倒水質が悪い、周圍の家が建て過ぎた道路が悪い、驛に餘り近過ぎる濕氣地である、一尺堀れば水が出る溝が臭いなんかと踏み倒す丈け踏み倒そうとする連中が多く眞面目に相談の出來そうな人は更に見當らない、其の内或る會社の課長級の人で相當の人格者らしい人に突當つた八十坪は廣過ぎるこ人で買受けようと云ふ事になり相談進行の結果漸く改め何日に登記を濟ませる計りに漕ぎ付き先づ一安心と喜びながら十日待ち十五日待てども仲介者よりは何んの返事もない是れはおかしいと段々調べて見ると若干でも手附金を受取らざりし爲め之れが當方の落度となりとう〳〵流産に終つた、世の中には不德な人もあるもので甘く瀨戸際で逃げられた譯である、之れは致し方ないとしてどうして一夜の内にかくも相談が纏まらなかつたかを調べて見るこ買人の際Aの取調べが不備の爲め後日の面倒を恐れたのであろう其の譯は

一、官有地の一部を前地主が未知こしてAに賣



ハーバード大學美術館の廊下

渡したることは非常な過失であつて面倒になれば罪になるであろう。

一、Aは前地主の言葉を信んじて未知の官有地を買ひたることは失策であつた。

一、若し轉賣の際は官有地は當然役場に取り上けられ敷地は狹隘となり非常な損失である。

一、最も其の代償は前地主より相當格をAは受取るべき性質のものだが其の談判を開始する必要があるのと同時に可なり時間がかゝる事である。

一、登記濟の地所に官有地喰込み居るを發見したる場合は他人に譲り渡しの時は分筆の手續きをして自己所有の分を明らかにし官有地は更に上地の手續きをせねばならぬ、此れには階所地主の調印が必要であると同時に要する若干の費用と又相當の時日を必要とする、此れ等が破約の眼目であるらしいAの失敗は今更取り返しは附かぬ考慮深き世の人に地面はよく調べずに無暗に買はぬ樣に溝や道路の附近には官有の地面が喰い込んで居る官衙の書類もよく調べてからでないと思はぬ失策をAの樣にする折角買つた自己の地面は狹くなる上に後日面倒が起る其他を恐れて買手なくたまにあれば逃けられ茲にまんまと地所買い損で賣りそこないの記依而如件。

家賃一分間一圓

日本一の大店子―銀座の松屋

正に高い家賃での日本一。第一徴兵保險株式會社がその大家さんな譯で、大家さんは下の七階全部を貸して御自分は八階に納まつて見てゐる震災後この堂々たる偉容を銀座街頭に見出してから既にまる三ケ年

『一日のお客さんはざれ位あります?』

『まあ少い日で五萬人といふところでせう』

『で、使つて居られる人數は』

『三千人』

流石に凄いものである。東京市民を二百五十萬と算定して、一ケ月半と幾日の間に、市民の全部が一度はこゝへ出入りする譯、小さな市の全人口は毎日出入りしてゐるんだから無理もない

×

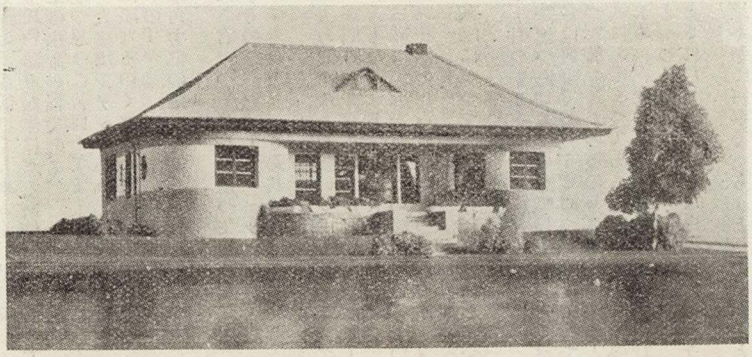
人の家賃の事ながら月五萬圓と聞いては一寸心配する氣になつた、心配したついでにもう少し計算して見ると、一日の家賃が千五百七十五圓强、一時間が六十五圓强、一分間が一圓と十錢足らず、月二十圓の家賃にしたら二千三百九十五戸分――あゝもう止めた、こんな事を苦勞して見たつて始まらない。

×

こゝから少し離れて松坂屋を聞いて見る。家賃年三十萬圓也。大家さんは國光生命。一日のお客さんが約二萬人。店員總數一千名。準店員三百名。『なある程、日本も大したものだなあ―』

歌舞伎座を借りてゐる松竹が年家賃卅六萬圓を拂つてゐるし、まあこの邊が横綱、大關、關脇格だらう。『都會病』、『都會病』――デパートメント萬々歲時代。

型模ノ『莊水の夏』



ジエー、クリユゲル氏の住宅

（伯林市）



テント村

蘇牛作

涼味を追ふて、山に海に、年々增えてゆくのはテント村である。星月夜の薄ら明かりに、木々の梢吹く涼風、其處にはみみつくの啼く音あり、木靈うつ瀧の流れには自然の音樂あり、心澄ませば遠く海邊を傳ふ追分に櫨の音か千鳥啼く音か、音信れても來よふ、早や鳴きの虫の音を聞く夜は在りし日の昔平氏物語りを思はせる詩情豊かに實にテント村の生活は吾等人間生活至上の生命の糧である。

と、言つて聞かすと飛び立つ思ひに苦面してでも行つて見たからうが實はテントンチャラリンの一大騒場でテントあきまへんのや。

▲妻君の前では猫の様に温順なそのくせ至つて女づきのK君
▲自稱天才バイタリユストのT
▲カマキリ事、自稱某大學角力部の選手幹部Gと其の友人A
▲セメン樽事、モガのA
▲足引き事、其の戀人詩人N君いつも足を引摺つて歩く奴
▲ハンモック事、天才哲學者のO、いつもハンモックに乗る奴
▲夜になると赤ん坊を泣かすパパとママさん其他多勢の登場者。

×　×

今晩は平常にない靜かな夜である。八ケ間敷いラヂオも止まつてゐるやれ〳〵此の村へ來てから一週間目だ今夜丈けは靜かに休ませてもらはれば早發性とやらの氣狂ひにでもなつて見る大變だからなと、思ふ間もなく爪彈きの三味に端歌か何んかの聲、勿論K君の聲ではあるが、其れにしても奴は三味線の用意なんか有つただらうか？こいつは少し變だわい……。

其内に例のグループの奴が車座になつて倒々本式にやり出しやがつたらたまらない。

ええい儘よ、ぐるつと毛布に引つくるまつて横になる。

半刻もたつたかと思ふ時分突然つん切る女の悲鳴!!チャン〳〵パラパラの阪妻ならぬ殺陣の一大騒音に何事であらうとぬつと首を出して見ていと、哀れや下山用達に行つた筈のK君の妻のヒス君Kの腦倉とつての荒仕事、TやNが盛んにヒスにあやまつてゐる體にそばに居るのは自首の二三、ハハアンなーる程よめた。我輩は第三者の立場平常妻君の信任厚いのを利用して先づ〳〵とやつてのける……

斯くして夜の幕は切つて落とされた、後は靜かな白河の夜いびきの聲や寢言の一つ二つ……

と又しても聞えて來る女の泣く聲に何事であらうと耳を澄ますとセメン樽のAと足引きのN宵のちわが今頃復興したらしい、セメン樽の奴柄にもない事をやりやがるうるせい事だ……と例によつて赤ん坊が泣き出すパパもママもぐつすり寢込んでゐる。

えゝいゝめ〳〵しい奴等だ。

×　×

山の夜明は町より早い、早東天白けてゆく頃、蘆のにはとり奴きりにアホカイナー〳〵を連發する、くそツいまいましい下山だ〳〵。



此の小文を、七月三日の誕生日に福の神を御送りくだすつた田舎の淋しい姉様に捧ぐ。
SI筆

「ラスキンと建築」

SI生

此の拙文の著想は自分の學窓時代に初まつたものである。學校のひま〳〵に、少しづゝラスキンを學べる自分が、一歩社會に出でゝ、其の波を浴びた時、一層自分の靈魂はラスキンを求めるやうになつた。今日の如き騒がしき世の中にありて、ラスキンを研究する事は濁れる世人の心は自ら清らかに澄み渡つて來るやうな氣がする。若しも建築家たる讀者諸君が毎日の騒がしい現場の一日を過ごされて疲れた身體を自宅に運ばれた後、此の拙文に目を通され、再び元氣よく明日の活動に出でられるならば、自分の悦びは此上もない事であり又『建築と社會』の目的も果されたものであらうと思ふ。

内容

一、ジョン、ラスキン
二、建築に於ける想像力の影響

一、ジョン、ラスキン

藝術家であり、宗教家であり、且つ哲學者たりし、ヸクトリヤ朝最後の偉人ジョン・ラスキンがカニストンの丘に息を引取つてから早や二十八年の歳月が流れて行つた。

全世界が、思想的、政治的、社會的に混沌の中にうごめきつゝありし時

『あけよ帳を大膽に、直面せよ光明に』と世人の明を厭ひて、美と眞理と、愛と正義との光明をさへぎりつゝあると慣慨して大膽に此の帳を押上げて其の外に漲れる光明に直面すべしと

恰もアルプスの山の如く、まさに疲勞し、沮喪し、絶望せんとせる全人類の前に、巨大なる姿をあらわし、激勵し、靈感を與へたる、ジョン・ラスキンは、又忠實なる建築の研究者であつた

『建築は凡ての人の學ぶべき藝術である。萬人皆建築家に成り得る者である。此を知らない者は恰も文章を綴つたり文法の出來ない者と同樣である、人々が將棋や「かるた」を學ぶだけの勞力を使用するならば、ゴジック建築の重な構造の原理は此を學び得るのである』

ラスキン

ラスキンはエヂインバラ市の建築を見て近世建築上の一大誤謬が偶然、窓や破風に表れてゐることを歎じてゐる　此の一大誤謬とは

『近代の建築家がやはり近世の愚な政治家と同じく Equality とか Similatity とか言ふことが大變好きであつて、一つの建築の各部分が凡て他と同樣でなければならないと考へてゐる。所が自然は平等とか類似

ふことは大嫌であつて愚な政治家や愚な建築家とは全く正反對である』との謂である。

彼程自然を愛し、正直を尊べる者はないであらう。自然を離れた美術の堕落を救はんが爲めに奮闘したのであつた。彼は人の力と自然の力の調和を教へた、偉大なる美術家の存在と健全なる社會の實現との同一原理なる事を教へた。人と自然とが共にある時は、人は幸福を得、自然は一層美しくなることであらう。常にそう力説してゐた。

最も有名なる彼の七癖とは即ち『眞、美、力犠牲、服從、勞働、記憶』である。彼は是等の諸觀念の爲めに驚くべき聰明と熱烈と雄辯とを以て、其の文を綴り、想を編んだ。素より其の中には矛盾、詭辯、粗雜なる假設がたくさんにあるけれども彼の論議の根本に横はれる眞理は牢乎として動かなかつた。此の眞に決ぐものは美である、美は自然それ自らの建築に於て求められる。

『建築なるものは之れを建築せし人の生活、風俗、感情及び宗教を披瀝する。一國民の歷史は書籍よりも寧ろ眞實に其の石片の上に記錄せられる。凡て偉大なる建築は國民の德高きを說明するものたると同時に、凡て劣等なる建築は國民の不德と耻辱とを曝露するものなり』と。

彼は口を極めて近代の科學や物質の文明を罵倒した、藝術が道德の發現として始めて、其の眞正の價値を有するものなることを高調したのだつた。

美と道德と經濟とを說ける吾等のジョン・ラスキンの生れたのは一八一九年二月八日のことであつた、その一九〇〇年一月二十日を以て歿するまで八十有餘の生涯を大別する時は、次の三期となる。

第一期　一八六〇年迄　此の間は美術の研究時代

第二期　一八七一年迄　此の間は主として社會問題の研究時代

第三期　社會問題にも力を用ゐたが第一期に立返つた觀がある

ラスキンは家庭的には大變惠まれてゐた、即ち大家のぼつちやんである。其の父は正直なそうして聰明なる商人で世間並な考へ所有者で且つ實務の才に優れた人であつた。ラスキン自ら父の墓碑に次の如く書き附けた『吾が父は全く正直な商人であつた、そうして彼の記憶はそれを持つ凡ての人にとつて懐しい有益なものである、彼が極度迄愛し、且つ眞實を語るやうに教へた彼の息子が以上のことを彼にいふ』と。彼の父は自然を愛し、藝術に對し高遠なる理解を有つてゐた。商用のため、英蘭、蘇格蘭に度々旅行し、其の度毎にラスキンを伴つて行つたのでラスキンの自然に對する趣味は非常に早く發達した。年若き十四歳の頃瑞西に連れて行かれアルプスの山に對して一生忘れ得ざる愛着を感じたといふ、是れ即ちラスキンが大陸旅行の最初であつた。年の重なるに隨がつて自然を愛する心は增大して行くのであつた。

『吾々の快樂は地壞の廊下に鐵道を通じて、其の祭壇を食卓とすることだ、ウイリアム・テルの古跡たるルツエルンの斷崖にトンネルを通じて美しい湖の景色を損じた。英國の如何なる山間にも汽笛の聲が聞へないことはない。英國の詩人が崇敬の愛を捧げてゐたアルプスの山でさへも私共は此を熊の棒登りの曲藝に使用する棒位に考へて自ら此れに登つたり下つたりしては愉快を叫んでゐるではないか、此の樂しみが絶頂に達すると私共は時としては爆烈彈を投げては山の靜寂を破る』と云つてゐる。

美しい自然の神の造れる山嶽は、彼にとつては人類に建てられた學校であり、伽藍であつた。學徒の爲めには麗しい書庫であり、彼の愛した

勞働者の群には粗朴な教訓の溫情を指示し、思索者の爲めには靜かな庵となり信仰深き者には神聖な榮光となつたのである。

彼は山嶽より、美と德と宗教と、そうして經濟の滾々として盡きざる泉を見出した。山の秋は時として憂鬱であり、春は歡喜である。人生の行路も是れと同一である。ラスキンによれば吾々は此の地球と云ふ大きな寺院を決して運動場にしてはならぬと教へたのである。彼の幼き時、ノース、コートに自分の肖像の背景を尋ねられた時直ぐ『山にして下さい』と答へたのであつた。

『私の生涯の安全な時に、無邪氣なる子供の樣な慾を抱いて居た時に、又私の憂苦と云つても、それ程大したものではなかつた頃、私は彼のシヤツフ・アウゼンの段臺を下りた時、私の生涯の運命、凡ての神聖にして有効なる運命が定つたのである。私の感情と信仰の中未だに生存し、私の思想の中に平和と救濟のこもる所のものは凡て此のアルプスを眺めし段臺と、ジュネーブ湖畔に基かないものはないのである』

少年時代のラスキンは山に依つて教へられる所のものが非常に多かつた。山の神秘は唯一の彼の教育者であつた。高く崇高なるアルプスの連山、低けれども靜かに、平和なハイランドの山々は彼にこつて盡きせぬ思ひ出の教養者であつた、ロンドンの大家に生れた坊ちやんは無味單調なる生活の對象として山の美はほんとうに懐しきものであつた。

『私の生涯の一つの事件として記憶することはダーウエント、ウオーター湖畔フエアース、クラーグの岬へ私の乳母に連れられて行つたことである、岩の上から黒い湖を見た時の恐ろしさと喜びの感じは今日も忘れる事が出來ない。又シエープフエルスの山々を驅け上る馬車の中から出して貰つて横切つた時又冬の朝のことであつたが氷柱の降りてゐた時キンクロス近くの、あのグレン、フアーグを過ぎた時の思ひ出である。

此等の旅行の山の脇道や山中の景色の中へ少年の私を連れて行つた記憶は絶へず忘るゝことなく、十八九才迄持續して到底其後に經驗し得なかつた程の愉快を覺へてゐる。頂度、私には心の氣高い、親切な戀人の傍にあつて男の感ずる嘉びの強さであつた。そうして私の說明の出來ない點に於ても全く戀心の感じである』

斯くの如く吾等のラスキンは父に於て人並以上に幸福であつたといへよう。

そうして彼の母は彼の自叙傳 "Praeterita" に明らかなるが如く、几帳面で意志の强固なパイブルクリスチヤンであつた。彼は華やかなるロンドンの都に生れながら一切玩具を與へられなかつた。二三年の間といふものは街上の煉瓦壁より外に景色といふ景色を見た事がなかつた仕方なしに煉瓦の數を數へたり、床に敷かれた毛氈の模樣を檢べたりして時間を過ごしたと云はれてゐる。思ふにラスキンの正確なる觀念の發達せるも以上によりて想像し得る。斯くの如き教育を受け且つ兄弟もなく姉妹もなく、友もなき、只一人の彼は、田舍の子供が感ずることが出來ない驚異の心を以て大自然を眺める樣になり、非常におとなしい、ませた子供に仕立てた。

兩親達は一分間もラスキンを手離す事を忍びず、世の常にある學校へは通はせず、其の道の大家を家庭教師として雇つて教育した、そうして行く〳〵は僧正にしようとして彼の爲めには如何なる支出、勞働をも惜まなかつた。

以上の如くしてラスキンは一人の遊び友達もなく一般の子供の樣に腕白なことは一つも覺へず生ひ立つたが爲め、內氣で、人擦れのしない物に感じ易い人となつた。

十七才の時牛津大學へ入學した、母は心配し

て出懸け宿をとり、時々彼を呼んで會つたと云ふ。最初の中は同窓生からも女々しいといつて一時は馬鹿にされたこともあつた。段々と月日が流れて行くにつれて彼の聰明なる智力は其の眞を表はし出した、先に笑へる者も皆忙然として見てゐるのみであつた。此の年にラスキンにも世の若人の如く一つの問題が起つた、即ち父の友人たる『ドメック』といふ人の娘を戀したのである、然し内氣な彼は打明ける事も出來ず、内に苦しむのみである。其後其の娘が他人と結婚したと知つて大いに心を痛め、其の結果突然喀血して暫く牛津を休學して伊太利へ養生の爲め出發することになつた。

色々な問題を切り抜けた彼は千八百四十二年二十三才にして遂に牛津を卒業した、そうして彼の全力を以て當るべき仕事を模索し初めた。間もなく牛津の一卒業生といふ名義を以て絢爛たる文と獨創の思想とを以て文壇、藝術界を驚倒せしめた。Modern Painter の第一卷が公にせられた。

以上の如くにしてラスキンは暫く世の注視を集める身となつた。引續き同じ思索の道を辿り千八百六十年に近代畫家の最終卷たる第五卷を公にした。斯くて青年美術批評家ラスキンの名聲は今や不惑の年を經て評壇獨歩の感があつた

千八百四十三年より千八百六十年迄十七年間の間に彼は『建築の七燈』『ベニスの石』等を公にした、而して五十六才といふ高齡即ち日本で云へば隱居の仕度をすべき年にありながら尚彼は神聖なる勞働を望み、社會に奉仕せんとする熱心に燃へてゐた。一例を示せば『フレデリックハリスン』が云へるが如く當年の彼の著作の計畫は『十五世紀フローレンス美術史』(五卷)『紀元前五世紀アゼンスの藝術の解剖』(三卷)『十三世紀北歐藝術全史』(十卷)『ウオルタースコット傳』(七卷)等があつた、以上の大計畫の一端を見ても彼が如何に仕事を求めてゐたかを知ることが出來るだらう。

同じく千八百六十年に彼は自分の最大著作を『コーン、ヒル』雜誌に發表した、此れ即ち『アンツー・ジス・ラスト』(Unto this last)である。然し彼の豫期せる如く英國は當時此の偉大なる哲人の思想を入れるには寬大ではなかつた。そうして世人は一齊に惡魔の『ノロシ』の如く反對の火の手を擧げた。此の雜誌の主筆サツカレーは遂に餘りの壓迫に勝ち得ずしてその論文の第四篇限り斷ることになつた。然れ共ラスキンの信念は動かなかつた。社會の反對にも屈せず續篇を友人フルードの主宰せる『フレイザー』雜誌に載せ初めた。然れ共此れも又中途で斷たなければならなかつた。今日の『ムネラプルゞリズ』即ち此れである。

戀を失ひ前途を妨げられしラスキンの信念は依然としてアルプスの如く巨大なる姿を保つてゐた而して其の後の彼は即ち『悔ひ改めよ然らずば滅びむ』と呼ぶ聲即ち一の豫言者的態度であつた。彼の生涯を見るならば誠に感傷的であるべき筈である、然るに彼の失戀といふ背景を以てしても尚現代人の悲哀が餘りに信仰の淺薄なものであることを感じたのである。

ラスキンの眼に映じたる現代は古代や中世紀よりも、もつと悲哀的な時代であつた

そうして彼の悲哀的といふ意義は最も嚴肅に思索の道を辿つた場合に生ずる高尙な意味での悲哀ではなく只茫然と疲勞した場合の意味であつた、現代人の悲哀は誠に倦怠と、智力と過勞と、心身の不快から起るものである。

彼の心の中は藝術の立場から出發せる生活、社會の問題で一杯であつた『時と潮』(即ち勞働者に寄せた手紙の集めしもの)や又『フオルス・クラヸゲラ』に於けるが如く何を論じ、亦何を敎へるも彼は社會經濟の問題を忘れることが出來なかつた。

"Sesame and lilies"『胡麻と百合』は讀書論及婦人論であると共に、社會の裏面を吾等の

肺腑を抉るが如き言葉を以て表はせる社會改良論じある。

千八百六十九年八月、母校たる牛津大學の美術學教授に囑せられ齢七〇年より教壇に立つた而して千八百八十四年に病を得て辭する迄續けられた。

『ラスキンは二重釦のついた短胴衣（チョッキ）に舊式な身體によく合はないフロックコートを着て教授服（ガウン）は折々羽織らずに——少し前跼みに成りながら講義をした、講義といつても無論書いたものを讀むのだが其の講義には彼自身の人物から來る活々した印象が伴つてゐた。即ち彼の雄辯は飽く迄も文學者の雄辯で極めて自然に出ずる人格の發露だつた。彼の額には人生の悲哀を語る樣な皺がもう幾筋もなく刻まれてゐたが長い睫の下から閃めく深碧な其の瞳は大才の火がまだ旺んに其の心に燃へてゐることを示した。彼は折々微笑を湛へつゝ語つたが、其の微笑こそは如何にも慈悲と溫雅との輝き其者で聽衆の心を捉へずには措かなかつた』と彼の講義を聽ける或る人が物語つた。

美術講義でありながら常に社會を忘れることが出來なかつた。即ち其の態度は美術批評家と謂はんよりは寧ろ道學者、詩人、哲學者、立法者、豫言者とでもいふべきであらう。即ち勞働者の唯一の友として不朽の名を殘せし、アーノルド・トインビイを其の門下より出せし一事を見ても推察し得るであらう。

一大岐路に立てるラスキンは嘗てアルプス連山の哀れむべき農業狀態を知つたのである。ラスキンは多くの著書、多くの講義では最早滿足することが出來なくなつた、そうして此の思想は後日聖ジョージ組合の計畫と變じた。

其後十二ヶ年の歲月は夢の如く流れた。然し依然として同志も、醵金も集まらずして遂に悲しくも失敗に終つたのである。

斯くて偉大なりしジョンラスキンには最後の日が近づいた、明敏なりし精神も余りの勞働と苦しみの爲め亂れて行つた。

一九〇〇年！吾等の記念すべき一九〇〇年一月二十日土曜日の夕暮、カニストンの丘に夕照輝き、其の麓の湖水に星影二つ三つ宿れる頃、父より殘されし巨萬の富も無くなり、何れの同志もなく、三十九度の高熱に其の心臟をかされつつ眠るが如く從妹たるセヴーン夫人に侍かれながら息を引取つたのである。

時に山嶽は憂欝である。山嶽を人生の行路になぞらへしラスキンは偉大なる哉、而して彼の一生も憂欝なものであつた。

彼が息を引取る時、自分の墓所は、カニストンの村か、それとも父母の側か、又はアルプスの雪中へと願つたといふ。あらゆる世の壓迫によつて偉人の魂は碎かれたことであらう、そうして嗚咽の聲が胸をふるはせた、それは悲痛の絶叫となつて發しさへもしなかつたであらう。然しそれは靜かになる、敬虔な沈默がそのあとに來る忍耐死する迄緊張せる彼の偉大さに吾々は思はず涙を流すのである。

彼の建築に對する論說は余り空想的、理想的であると言ふ人があるかも知れない、それは其の人々の心が余り物質約に傚らされてゐるからである。

市民の周圍の建築物は市民の趣味から割出されなければならない、いくら澤山の金を出したからといつて決して良建築は得られないのである。市民の美と德と經濟とに對する善良なる了解がなければ又市民の日常の建築に趣味を持ち注意を拂つてゐなければ良建築は建立せられないものであり、良市街は得られないものである世間には自然を捨てゝ下等な人工を愛することが少くない、然し彼の所謂勝れた藝術品とは人が若しも此に注意すれば必ず人を喜ばす力がある。若しも人が此れに依つて喜ばなければ、其の人自身が惡いか、藝術が惡いか二者孰れかである。此れ即ちラスキンの主唱せるものである

ゴシック建築に特有な "Pinnacle" "Turret" "Spier" "Tower" などゝ云ふ言葉は、ラスキンの耳に一種いふべからざる快感を與へるのであつた。

『吾々が美術の爲めに費す金は一錢たりとも他人の精神に對して其の肉體に對するよりも遙に大なる影響を及ぼすものである。美術家や建築家の生活の健全であるや否とは吾々によつて支配されるのである。彼等が自然を眺めて此を愛し考へ、感じ樂しむか或は又彼等が自然に對して、盲目となり、荷を負ふ牛馬の如く機械的な單調な仕事に從事せしむるかは吾々の指揮次第である。

凡ての藝術には絶對的の正邪の標準が有ることを充分呑み込まなければならない、我々は其の正しいものを選擇して此を愛し折々の氣まぐれの嗜好を犧牲として吾々兄弟の爲めを考へなければならない。

一體建築は繪畫と異つて綜合藝術である。一人の人が彫刻をするつもりで一軒の家を建てる、他の隣人が兩々相扶けて今一つの家を建築する、二軒の家が立派な一團をなし一軒宛別々に見たよりも遙に雄大である。況や街全體が、一つの都市體像が相集つて彫刻上の莊麗なハーモニーを形造る時には一層の莊麗ではなからうか。

現代建築墮落の主要な原因は、今日一場所に定住することが出來ないで所々方々に徘徊ひ歩く點にある。今日の社會狀態では已むを得ない次第であらうが此が吾々の禍ひであることを忘れてはならない止められるものであるなら止めたいものである。

吾々が生涯の或る時期に達して一個の家を選定して、其れを自分の生死の場所となし得るならば實に幸福である、其の家に石の上に石を積む必要もない。土地の上に土地を加ふる必要もない。

只選定の時に、自分の凡ゆる望みを充たすことが出來て、又將來又永遠に滿足を與ふることが出來たら誠に幸福である。

吾々は祖先の名譽を求めるよりも子孫の敬愛を求め、名門に生れるよりも名譽ある追慕を受けた方が良いではないか。

美しいことのみが美ではない、模倣を避けて自分に都合の良いものを作るがよい。若し此れが爲めに最良のゴシックが得られなくとも其れはかまわない。

一番强固な、一番大膽な方法で建築し、然る後自分の空想をほしいまゝにして此を裝飾するが宜しい、聖書にも書かれた如く神の最も尊い賜を代表する樣に私共にとつて最もよいものを作らなければならない』

誠にラスキンは淋しい努力の人であつた。彼の熱情は溫かかつたけれど、其の思索の跡は淋しいものである。此の世の常の歷史である絶ゆる時なき政治的詐僞は英國の天地に此所にも彼所にも營まれ、智者は不信實、大經論も大勳位もただ生血に養らるゝ無辜の民にのみ暗き幾多の庵の悲愁の跡を印せしめたのである、斯くの如き英國に生れたラスキンは英國人にのみ敎へたのではなかつたのである。

偉大なる愛の人、淋しい哲學者、高遠なる美術批評家であり、社會批評家たるラスキンは凡ての人々に偉大なる敎へを與へた。

ケジク町のラスキン、リンネル機業組合は彼の爲めに柩衣を送つた。其の裏絹は燃ゆる深紅色であつた 其の面に加へられた縫取模樣は彼が最も好める "Unto this last" であつたといふ、何ういふ意味深き言であらうか。

こゝにケジキ町の一裁縫師は一句を發した。『爰に一人の神よりつかわされたるものあり、而して其の名はジアンなりき』と。

カニストンの丘には夕照輝き、其の麓の湖水に星影二つ三つ宿つてゐた。

『將來はともかくも、私が今日普及せしめたい

と盡力した建築は近代の都市のおろかな贅澤や不體裁な機械や醜惡な裝飾などでは到底調和の出來ないものである、今日の英國に於ては建突的流行が宗教的感情に助けられてだん〳〵顯かになつて來た、時々蒸氣機關の背後や鐵道の腰掛などの背後に一時的の絢やかな怪しい裝飾などがあつたり、煤煙に汚された花飾りなどが辛じて發見たれるのである。私は自分の愛好した美術上の流派がかくも害せられるのを見て、ほんとに責任を感ぜざるを得ない……そこで私は自分の力の此新しい部分が全く無益に費されたことを感ずるのである。是に於て私は鐵道の街衢や玻璃張りの宮殿から逃去つて遂に山嶽の峽や野花に歸つて往くのである』

ラスキン

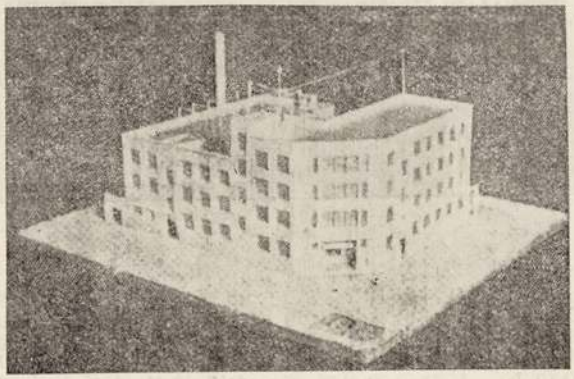
（昭三、七、三）

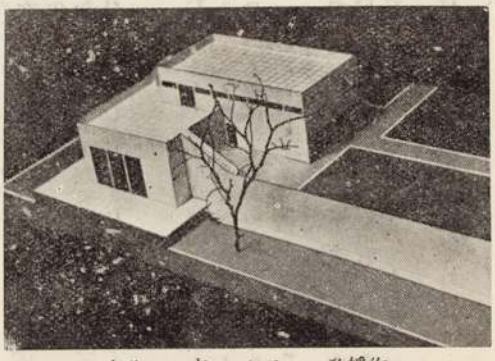
大阪にできる 海員共同宿泊所

市が十五萬圓を投じて 今年末までに竣工

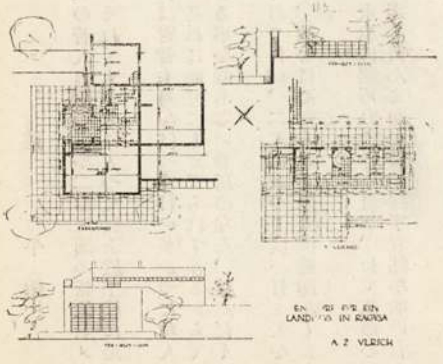
板一枚下は地獄の生活をつゞける船員には港は命の洗濯所であるが、大阪港には彼彼に健全な慰安を與へる設備がない、そこで大阪市では獨身の船員には一夜の安息所を與へ、家族持ちの船員には故郷から妻子を呼びよせて一家團欒の樂しみを味はせるため港區二條通り三丁目に建設費十五萬五千圓で『海員共同宿泊所』を建設する、計畫をたて近く工事に着手する建物は鐵筋コンクリート四階建で延建坪六百八十三坪定員二人の宿泊室が十四室、同四人が三十八室と別に家族室二十室あり、二百人を收容し得る講演室、圖書室、撞球場などの娛樂修養室から食堂、洗濯室まで整つてゐる定員二百人、宿泊料は二人室、三人室が一室一日一圓、家族室が同一圓五十錢、建物は本年末に竣工のはず、このほど海員組合の濱田組合長がこの設計を見て公共團體の施設としては世界の各都市にもこれほど設備の完備したものはないと激賞したよしである

（寫眞は海員ホームの模型）

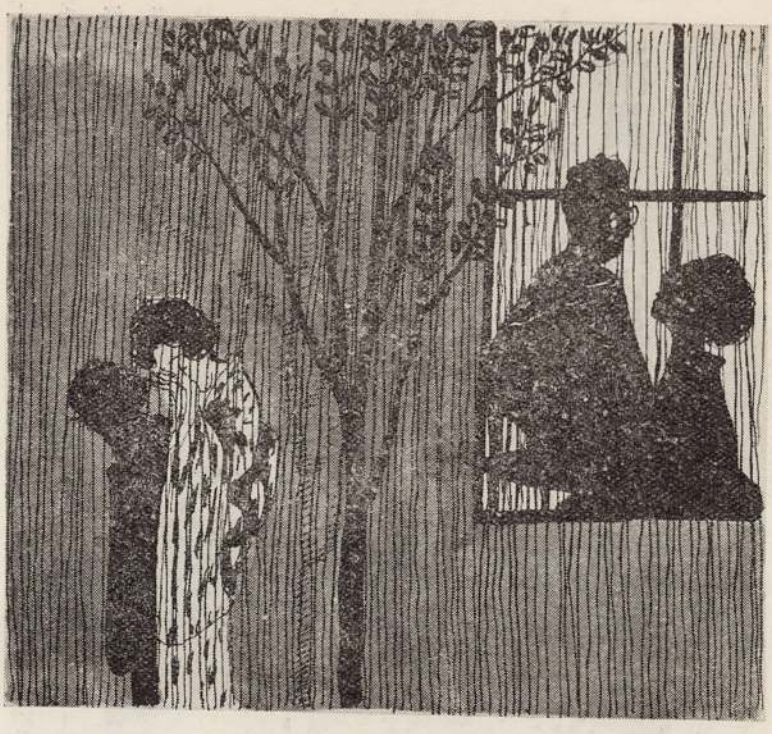




ウヰーン市・ホフマン教授作
ラクサ村に於ける田園小住宅の一例（模型）



平面圖



モボ、タタル

蘇牛作

二人の戀は許された、彼等二人の若人は戀の巢を二拾五圓の新住宅メリケン松の香の高い家に求めた。それでも二人にとつては金殿玉樓に優る戀の殿堂であつた。

みつよりも甘い戀のさゝやきには青背も身をはづす日が多かつた友人達も彼の家を音信る事を恐れた、其れは餘りにも富てられすぎるからであつた。手放しのおのろけは止まる事を知らない春馬のなん、なんだそふであつた。

斯くして月日は過ぎて行くのであつたが、二人に取つては一日も矢をいるが如く早過ぎるそふであつた、彼等は心から月下氷人に感謝をしたそして神に祈つた。

我等永遠に若人たれ二人の戀よ永遠に醒めた青春の血よ、おゝ此の心臟に高鳴る青春の血よ二人をいつ迄も何んとかかとか勝手な熱を吹いたのであつた。

×　×

ある夜彼女は最愛の夫の爲めにブドウ酒を町へ買ひに行つた、そして彼女はいそ〳〵と愛の巢に歸りを急いだのであつた。

そして見てはならぬものを彼女は見ればならなかつたのであつた、其れは自分の室の窓に寫つた二つの影である。

おゝこの二つの影こそは彼女をして絶望のどん底に落し入れる惡魔の影であつた。彼女彼女の心は戰ひた、心臟は破れそふに狂つたどふしたらいゝのだらう?

×　×

自分をあれ程迄に愛してくれた夫のそして世の中の何物よりも信頼してゐたその夫に、自分以外に戀人のあらふ事は知らなかつた。彼女は夫への買物のブドウ酒を抱いてヨヨと悲しみに身も世もあらず泣くのであつた。

泣けよ〳〵その涙の續く限り……

夫「おいお前そこで何にをしてゐるんだい、外で泣くなんざあ—みつともないよ。どふしたと言ふんだい、エ……久し振りで山田君が巴里から歸つて來て尋ねて來てくれたんだヨ。早ふ入つて御ちそふでもしないか

×

よく〳〵見れば斷髮婦人それはモダンボーイの山田さんであつた……

な、な—る程なんの事だい。

建築の實施明細と建坪の比

會員　白石登喜男

目次

一、緒言
二、工事仕様の概要
三、實施明細の諸比率
四、參考諸比率

一、緒言

協會の方より何にか書けとの相談を受けましたが淺學の身何にも之ぞと云ふ考もなく唯だ頁の空間を滿たすのみにて却て皆樣の頭痛の種を蒔く樣に成るや知れないですが

自分の最近に關係せし工事に付て請負者より呈出せし實施明細見積書により各工事項目と建築物の建坪及延坪の比率關係を申述べて何にかの御參考に御示しして責を果したいと思ひます。

よく一つの建物を建設する場合本設計に着手する迄に工事總額の概算書を作製して上司の裁決なんか得る場合に平均各工事項目の建坪及延坪當りの概算より之れの總工費を計上する場合がを〻有り御經驗深き方々には直ちに概算を立て得る事が出來ましよが自分等の樣な經驗の少なきものには其の都度種々の疑問の點なんかに遭遇して常に苦き經驗をなめる樣な場合が時々有りますので最近に阪神間に新築せし某銀行の支店に請負者より呈出せし實施明細見積書により其の建物の延坪と之の比率關係を計上致しました。

然し之れも物價の高低及交通の關係建築の場所等によりて多少の變化の有る事は御承知と存じます。

二、建物仕様の概要

一、神戸市内銀行支店　二、竣成昭和三年一月
三、工事期間十ヶ月　四、總建築面積八三坪〇七九
地階付二階建鐵筋コンクリート造　一棟

内譯

地階面積	七九坪六八五
第一階面積	八三坪〇七九
第二階面積	七三坪二八七
塔屋	四坪九七五
延面積	二四一坪〇二六

一階新地盤線より胴蛇腹上端迄　一二尺四寸
二階家軒高新地盤線よりパラペット上端迄　三三尺六寸
塔屋軒高新地盤線より　四二尺一寸

建築物は鐵筋コンクリート造にてセメントは淺野セメント使用硅藻土入コンクリート機械練り鐵筋は丸鋼の柔軟なるものにして使用材

料は何れも建築取締規定に據るものを使用せり。

一、煉瓦及タイル部　地階エリヤ壁及同防水押へ淨化槽周圍各バラペット防水押へ地階煖房汽罐床、石炭焚殻置場各排水溝等には燒過ぎ二等品を使用

大屋根上端に空箇煉瓦石燒過B型を使用及煖房汽罐室用煙突下部十尺は耐火煉瓦使用

正面昇降口風除内は陶器製モザイツクタイル張り客溜床は田中タイリング商會一寸二分角セメントモザイツクタイル張り

地隔倉庫腰及便所腰タイル張は藥掛白色五寸角笠異型もの使用

一、外部仕上　外部軒蛇腹及平壁一階正面窓楣二階窓『但し建物の三面のみ』中材式グラニツト張付

其他グラニツト以外の個所平壁は小口形化粧煉瓦張とす

一、石材　正面昇降口廻り額緣及蛇腹正面側石共平壁五段上部紐石各昇降口階段及地覆石等は北木産の花崗石使用

一、大理石　一階正面昇降口風除内部腰羽目營業室取引臺下客溜羽目下中木應接室及營業室入口段石一階二階窓膳板小便所隔板等は大理石使用

一、防水工事　地階防水工事を施工する面及周圍壁化粧煉瓦貼及グラニツト貼の面及屋根防水工事の面全體にセメントモルタル塗り後『コンクリートプライマー』TM印塗り地下防水及淨化槽及屋根防水第一層はTMウオーターブルーフングセメント、第二層はフレキストンニ『プライ』張付第三層は前記同樣セメントアスファルト第四層TM印スタンダード防水布第五層セメントアスファルト二プライを張付けたるものを使用す

一、屋内仕上　室内壁、天井共淺田セメントプラスター塗仕上とし地階倉庫物置各室床及腰セメントモルタル塗り

一、内外普通セメント塗　地階汽罐室腰石炭庫及壁天井『エリヤ』床及石炭庫床セメントモルタル塗り

一、内部人造石塗　地階部下脫衣帽子室第一倉庫金庫室各床及巾木下階段及金庫室階段踏面蹴上彫桁手摺地階より屋階迄二階便所巾木及踏段地階窓膳板湯沸場床巾木等に大理石粉末入人造石研出塗り

一、外部洗出人造石塗　外部壁にして前記石材及化粧タイル貼付グラニツトセメントモルタール塗の部分を除きたる面及エリヤ壁及床、通用門及袖塀、西側防火塀腰及笠石煙筒窓及入口だき、窓臺等は人造石洗出塗りとす

一、防火塀　鐵骨ラス張りセメントモルタル塗りの上に人造石洗出塗りとす

一、木材工事　小使室宿直室軸組及見え隱れ場所用材は米松材使用し化粧材は米檜材使用

金庫室昇降階段手摺チーク材一階便所廻り化粧材は米檜材營業台甲板及客溜腰チーク材其他軸組は米松材使用す各出入口窓枠額緣は米檜材使用す

正面入口風除廻りはチーク材使用營業室側及應接室腰羽目はラワン材使用し各室巾木はラワン材を使用

廻廊下手摺出納棚及電話ボクス共ラワン材使用す

一、木製建具　地下室廻は米檜材使用し一部米松材も使用せり一階二階廻りはチーク材使用

一、鐵製建具　外廻り窓及出入口は東京建鐵株式會社製防火シヤツター箱付及鐵扉取付地階一階二階塔屋各側窓は東京建鐵製特許上下サッシュSN0.6額緣共取付け

取引台上金物棚砲金黑磨き仕上げとなし取引口は上下げの構造とす

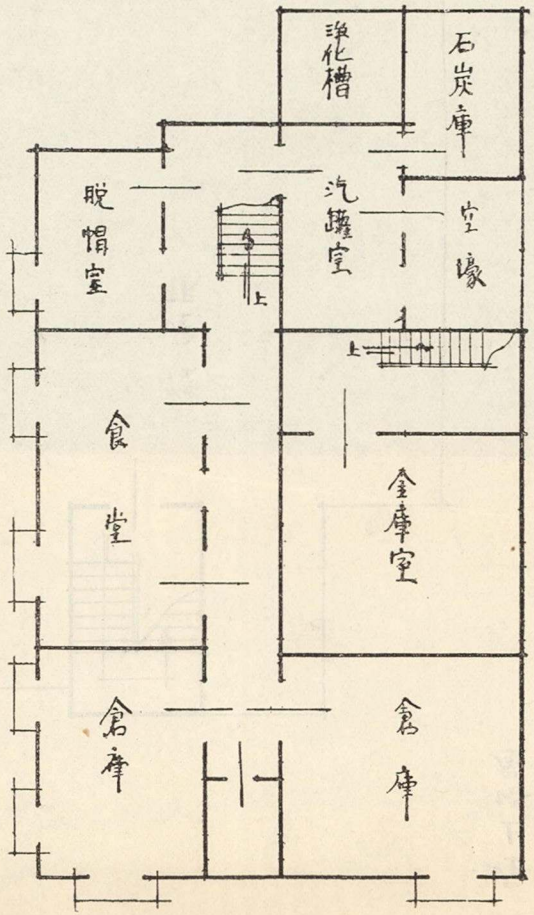
一、建具金物　は砲金製内地品を使用し箱錠はコルビンNo.1864を使用し其他内地製の必要建具金物を使用す

一、塗師工事　室内チーク材はラック塗仕上とし其他木部はワニス塗仕上げとす

室内鐵部ペンキ塗とし一部木目入りワニス込ペンキ塗り仕上とす

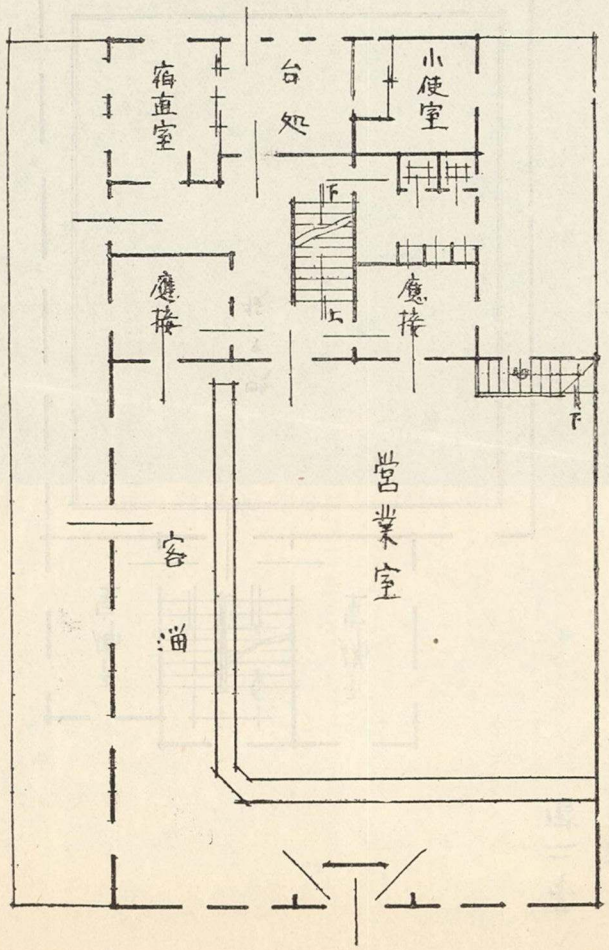
一、硝子工事　正面昇降口廻りペレートグラス字二分もの使用し他はシイトグラスとし一部ダイヤモンドグラス使用

地下室

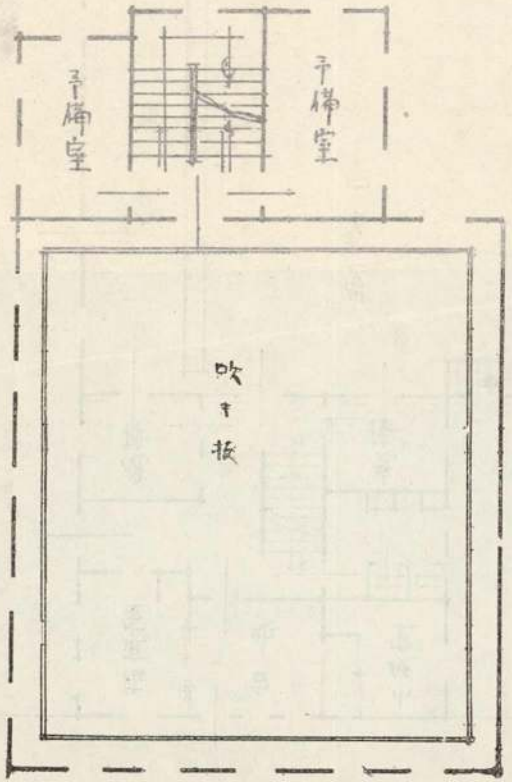


縮尺二百分ノ一

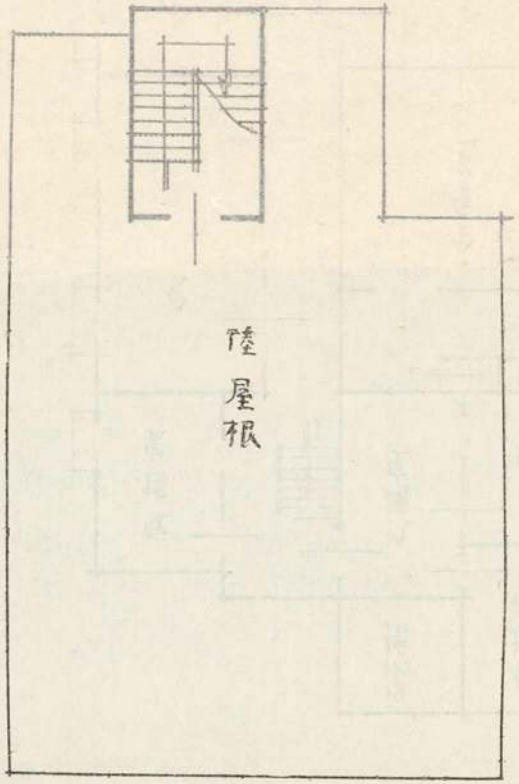
第一階



第二階



屋上塔屋



三　實施明細の比率

	円		坪		円	
建築總工費	119,638.41	建築延坪數	241.026	延一坪當り建築費	492.00	
内　譯						
本館建築費	98,990.50	一坪當に對する本館建築費	円 410.75	建築總工費119638圓41に對する比率	0.827	
附帶工事費	20,647.10	延一坪當に對する附帶工事費	85.68	同	0.173	
各工事項目別内譯						
假設工事費	9,570.00	延一坪當に對し	39.71	建築總工費119638圓41に對する比率	0.08	
土工工事費	5,147.50	同	21.36	同	0.043	
コンクリート工事費	27,837.60	同	115.51	同	0.233	鐵筋及鐵筋加工費共
石材工事費	3,496.50	同	14.51	同	0.029	
大理石工事費	1,174.15	同	4.87	同	0.01	
煉瓦工事費	3,343.25	同	13.00	同	0.028	
中村式アラニット工事費	4,041.45	同	16.76	同	0.034	
タイル工事費	858.15	同	3.57	同	0.007	
防水工事費	7,151.95	同	29.68	同	0.051	
左官工事費	4,834.40	同	20.06	同	0.04	
内部漆喰塗工事費	3,547.50	同	14.72	同	0.03	
木材工事費	2,783.05	同	11.54	同	0.023	
木製造具費	1,228.60	同	5.09	同	0.01	
鐵製建具費	10,030.01	同	41.61	同	0.084	
鋼鐵工事費	4,502.35	同	18.68	同	0.038	
塗師工事費	993.62	同	4.12	同	0.008	
硝子工事費	433.20	同	1.79	同	0.004	
雜工事費	661.05	同	2.74	同	0.005	
諸手間工事費	4,105.31	同	17.03	同	0.0343	
通用門防火塀	2,375.76	同	9.85	同	0.02	
排水工事費	875.10	同	3.63	同	0.007	
附帶工事費内譯						
電燈配線器具費共	2,460.21	同	10.20	同	0.021	
電話工事費	515.52	同	2.14	同	0.004	
暖房工事費	3,088.00	同	12.81	同	0.026	
水道消火及衛生工事費	1,784.25	同	7.40	同	0.015	
汚水淨化槽費	1,208.00	同	5.01	同	0.01	
瓦斯工事費	140.00	同	58	同	0.001	
金庫室鐵扉	5,340.00	同	22.20	同	0.045	
家具及裝飾費	2,720.90	同	11.29	同	0.023	雜工事費の多きは『リフト』及金庫の移轉其他井戸堀等を含む
雜工事費	3,391.13	同	14.07	同	0.028	

四　參考諸比率

名稱	工費	各單位に付て	單價	各比例項目に付て	價	各項目比率に付て	各比率
	圓		圓		圓		
敷地々均し水盛遣形費	50.00	建坪一坪當り	.60				
山留及土圍費（損料手間共）	1,200.00	建物延一坪當り	4.98	堀方1立坪當り(247立坪)	4.84	假設工事費(9570圓00)に對する比率	0.124
足代棧橋周圍簀張り損料	1,020.00	建物延一坪當り	4.23			同	0.106
假設場下小屋設置費	600.00	同	2.49			同	0.062
各鐵筋コンクリート堰板損料手間共	4,500.00	同	18.67	コンクリート 1立坪當りに對して(156立坪)	28.84	コンクリート費(18.161圓60)に對し堰板損料平間費の比率	0.248
工事中各養生費	400.00	同	1.66			假設工事費(9570圓00)に對する比率	0.041
基礎工事水替費	300.00	同	1.24	堀方 1立坪當りに對し	1.21	同	0.031
器具器械及動力損料及水道費	1,500.00	同	6.22	コンクリート 1立坪當りに對して	9.60	同	0.156
基礎粟石搗固費	360.00	粟石の立坪當りに對し(30立坪)	12.00			粟石費に對し搗固め費の比率	0.48
同目潰し砂利	175.00	同	5.71			粟石費に對し目潰砂利費の比率	0.233
鐵筋コンクリート費	18,161.60	建物延一坪當り	75.36			建築總工費に對しての比率	0.151
鐵筋材工作手間共	9,676.00	同	4.15	コンクリート 1立坪に對して鐵筋の費用	62.00	コンクリート費に對して鐵筋費の比率	0.53
石材用モルタル費	22.00	石材一切當り付モルタルの費用(397)切	0.056			石材費に對し（モルタル）費の比率	0.0066
石材用化粧目地及水洗費	100.00	石材一切當り付費用	0.25			石材費に對し化粧目地及水洗費の比率	0.03
大理石据付用モルタル費 230平方尺に對し	7.15	大理石一平方尺に對して	0.031			大理石費に對して据付用モルタル費の比率	0.007
外部貼付用化粧タイル費	858.00	建物延一坪當り	3.40				
同上用モルタル費	22.00	貼付坪一坪當りに付費用	0.54			貼付タイル費に對してモルタル費ノ比率	0.026
同上瓦搓へ張付手間共費	234.00	同	6.00			貼タイル費に對して瓦搓及張付手間費の比率	0.273
各東京形燒過煉瓦積費	828.00	建物延一坪當り	3.45				
同上用モルタル費	275.00	煉瓦千平に對しモルタルの費用	8.00			煉瓦積費に對しモルタル費の比率	0.332
同上積手間及手元手間費	190.00	煉瓦千本に對しての費用	5.50			煉瓦費に對し手間費用の比率	0.23

中村式ゲラニツト貲に對し貼付用モルタル貲	49.50					中村式ゲラニツト材料貲に對し『モルタル』貲の比率	0.015
同貼付工貲	480.00					同　に對貼付貲の比率	0.13
床及腰タイル張り材料手間貲	825.00	建物延一坪當り	3.45				
同モルタル貲	32.25	タイル張り1面坪當り貲用	1.04			タイル材料貲及手間貲に對して『モルタル』貲の比率	0.039
木材工事に對して大工手間貲	3,500.00	建物延一坪當り	14.53			木材工事貲(2783圓00)に對し大工手間貲の比率	1.26
同手元手傳貲	605.00	同	2.51			同　手元手傳貲の比率	0.217



大阪都市協會發行
第二次大大阪都市計畫地圖
（定價壹圓貳十錢）

◇……本圖は本年五月廿一日官報を以て公告された第二次大阪都市計畫を大阪市土木部で編纂したもので從來一般に發賣されてゐるものとは内容に於て趣を異にすることは勿論である。

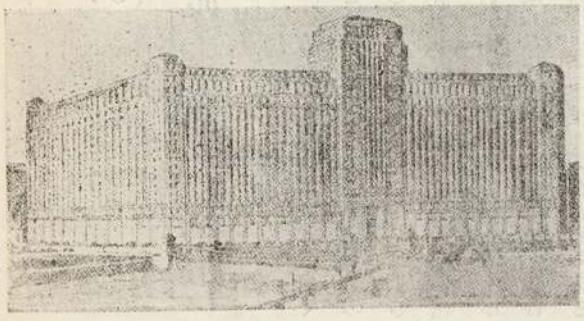
◇……即ち、街路、公園、墓地、下水道及びこれに關連して必要な區劃整理、築港擴張計畫など新市編入以來大大阪としての綜合的都市計畫をこゝに包含したものである。

◇……本圖は九色刷で各計畫をハッキリ色分けし、それに豫算關係、施行年度まで一々詳細な説明書を添へてあるので頗る明瞭且つ便利である。苟も大阪市民たる限り是非一本は備へる必要がある。

修理工事成り
保存される北跳橋
千代田城以來の由緒深き古い橋

宮内省では昨年來宮城内外に殘る昔の遺物が過半數破損したのでこれは豫算外としても保存する方針として彼の櫻田門をはじめ御物見櫓等はことごとく修繕し實に十萬圓をかけたが尚御漆をめぐる各橋梁は皆千代田城以來の由緒あるものでこれらも追ひ〳〵修理して工事を進めてゐたところ、今回德川時代から御水丸へ通ずるもつとも重要な橋として秘密とされてゐた、竹橋御門内の北跳橋は、御奥の人々が御通過の際は漆の上にかけられて御通過後は絶體に跳ね上げ式となつて通行を許さぬものとなつてゐたが大震災で大破損しそのまゝとなつてゐたのを宮内省内匠寮では橋梁修繕費二萬圓を投じて保存方法を行ひ廿一日スッカリ工事も完成し德川三百年以來の北跳本丸への床しい橋でグレート東京中でのもつとも古い橋がこれで出來上つたのである。

世界第一の商業的建物
新築されるシカゴの商品市場



今度アメリカの商業市シカゴに建つ商品市場の建物は、約二町四方の地所を占め、廿三階建てであるが、これは營業用の建物の廣さとしては世界一のもので工事費三千萬ドルを要するといふ。目下基礎工事中であるが。明年竣成の曉にはシカゴ商業會議所、アメリカ第一の百貨店マーシャル・フイルドの卸製造部、シカゴ商業クラブ等がこゝに引越して來て、一大商業王國の觀を呈するであらう。

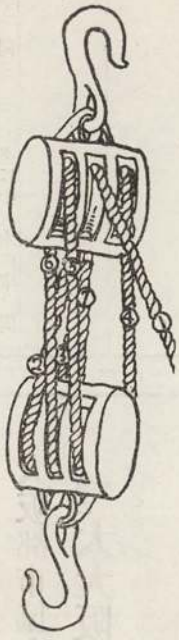
建築工事實施方法

大林組工務監督 渡部圭吾

三 工事器具と機械 其二（前承）

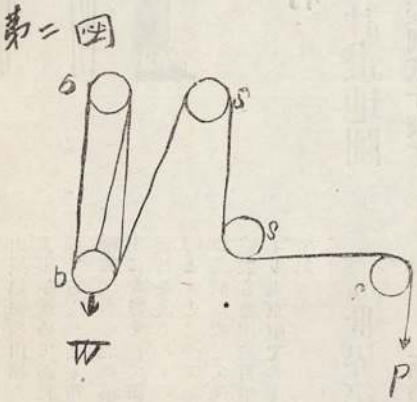
索具の構成　第一圖に示せる一組の索具の中上部にありて固定するものを定滑車 Fixed block と稱し、下部にありて直接重量物を釣り其の位置の變化するもの動滑車 Moving block と呼ぶ。索具を構成するに當りて二車の場合にありて索線の掛け方につきて特に注意を拂ふ必要もないが多車の場合にありてはその掛方には一定の方式に從つてなすべきものである、一例としては第一圖に示せる通りである、要は荷重の索具の中心軸に對し一直線であり、偏心荷重となりて索具を破壞するが如き內力の起らざるやうに然も索線の縺れることなきやうな掛方とせねばならぬのである。

第一圖



索具の能力　もし滑車軸に摩擦がなく、索線の屈曲に對する抵抗がなく、索線及滑車の間に滑り等がないならば、荷重は索線の數（但し荷重の方向と同一の方向に索具の最終線は働く場合はこの線をバートの數に加へず又この場合に最終の滑車は索線の方向轉換用の滑車と考ふべきものである）にて除せる索引力にて引き上ぐることが出來る筈である、けれども滑車軸の摩擦抵抗や索線の屈曲抵抗を除去するに云ふことは出來ない、而して是等の抵抗率も滑車の大小良否索線の大小種類によりて一定しないが鋼線索及麻索の場合は 0.9 乃至 0.94 とし鎖の場合には 0.94 乃至 0.96 とするのが普通である、尚スナッチブロックや導滑車の場合には 0.9 乃至 0.88 とすることが多いようである、又索の大小によりてもこの係數を異にするものであることを注意せねばならぬ、是等の索具計算式は次の通りである。

第二圖



W = 引揚げんとする荷重

P = 荷重を引揚ぐる爲めに索具に加ふべき索引力

C = タックルブロック滑車の効率

C_1 = 導滑車の効率

m = 導滑車(スナッチ　ブロック)の數

n = タックルブロックの滑車の數

K = 荷重と索引力との比

$W = c_1{}^m(P + Pc + Pc^2 + \cdots\cdots + Pc^n) = PK$

$W = PK \quad K = \dfrac{W}{P}$

第一表はタックルブロックの効率係數を0.94とし導滑車の効率係數を0.9として算出したものである。尙例を擧げてその使用法を說明すれば

例　引揚げらるべき荷重は六萬封度、捲揚器械の索線索引力九千二百封度導滑車二個を使用する場合に何車幾パートの索具を使用すべきか。

解答　$P = 9{,}200^{lbs}$　$W = 60{,}000^{lbs}$

$$K = \frac{W}{P} = \frac{60{,}000}{9{,}200} = 6.52$$

となるを以て表に於て導滑車二個の部を縱に下り六、六六なるKの値を發見し左方に折れて十一パート及滑車十個即五車の『ダクルブロック』一組を使用すれば安全に引揚ぐることを得べしとの解答が得らるゝのである。尙この場合に索線は十一線でなければならぬからスナッチブロックは定滑車の位置にこらねばならぬ、この手數を省くためには定滑車を六車とし動滑車を五車としスナッチブロック一個を用うれば前同樣の結果を得らるゝのである。

尙次に米國橋梁會社にて實驗の結果を參考として作られたる索具の効率表を次に示す。

この實驗表より見るにタックルブロックの滑車の効率係數は〇、九二乃至〇、九三にして導滑車の効率係數は〇、八七乃至〇、八三なることを發見することが出來る、又その他の効率係數に於ても公式による計算よりも幾分小なるを知るを以て實際に當りては幾分手心をすれば尤も適確に算出することが出來る。

鎖 Chain 及鎖ブロック Chain block.

第　一　表

索線の數 No of Parts	タックルブロックの滑車の數=n	K ノ 値 導滑車スナッチブロックノ數=m 0	1	2	3	4	cn $c=0.94$
1	0	1.00	.90	.81	.73	.66	1.00
2	1	1.94	1.75	1.57	1.42	1.28	.94
3	2	2.82	2.54	2.28	2.06	1.86	.88
4	3	3.65	3.28	2.96	2.66	2.40	.83
5	4	4.43	3.99	3.59	2.24	2.92	.78
6	5	5.17	4.65	4.18	3.77	3.40	.73
7	6	5.86	5.28	4.75	4.28	3.86	.69
8	7	6.51	5.86	5.28	4.75	4.30	65
9	8	7.12	6.40	5.76	5.18	4.70	.61
10	9	7.69	6.92	6.23	5.60	5.07	.57
11	10	8.23	7.40	6.66	6.00	5.43	.54
12	11	8.73	7.86	7.77	6.36	5.76	.51
13	12	9.21	8.29	7.36	6.72	6.08	.48
14	13	9.66	8.64	7.77	7.00	6.33	.45
15	14	10.03	9.08	8.07	7.36	6.66	.42
16	15	10.47	9.43	8.49	7.64	6.91	.40

第　二　表

荷重と索引力の比　K の値

索線の径	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	マニラ麻索									
1/2″	0.86	1.93	2.73	3.48	4.12	4.71	5.23	5.71	6.12	6.50
7/8″	0.83	1.92	2.68	3.37	3.95	4.48	4.92	5.32	5.66	5.96
1″	0.87	1.93	2.74	3.50	4.16	4.77	5.30	5.80	6.23	6.63
1 1/2″	0.83	1.92	2.63	3.37	3.95	4.48	4.92	5.32	5.65	5.96
	鋼線索									
1/2″	0.86	1.93	2.73	3.47	4.11	4.70	5.20	5.68	6.03	6.46

この表に於てパート 1 なる時は單に導滑車として働きたるものにして之れをスナツチブロツクの係數として使用するも差支なし

鎖には圓鋼鎖 Rod link chain 平鋼鎖 Flat link chain の二種類がある、圓鋼鎖には開鎖 Open link chain と棧鎖 Stud link chain との二種類がある開鎖は練鐵又は鋼鐵の圓鋼の兩端を切り特種の器械により橢圓形に造り完全に形成したる後隣接を挿入し然る後に端末を鍛接 Weld し次第に連續延長したるものである、この開鎖の小なるものを豆鎖 Short link chain と稱し石工事鐵骨工事又はチエンブロックの部分品として使用せらるゝことが多い、良質の柔軟鋼を以て製作せる耐力は次の通りである。

第　三　表

豆鎖の安全耐力

直径	安全耐力	重量 尺	重量 ポンド
吋	噸		
1/4	.75		5 1/2
5/16	1.17		9 1/4
3/8	1.69		14 1/2
7/16	2.25		19 1/2
1/2	3.00		23 3/4
7/16	3.80		27 1/2
5/8	4.69		37 1/2
11/16	5.67		48
3/4	6.75		53 1/2
7/8	9.19		74 1/2
1″	12.00		96 1/2
1 1/8	15.18		120.00
1 1/4	18.75		145.00

第　三　圖



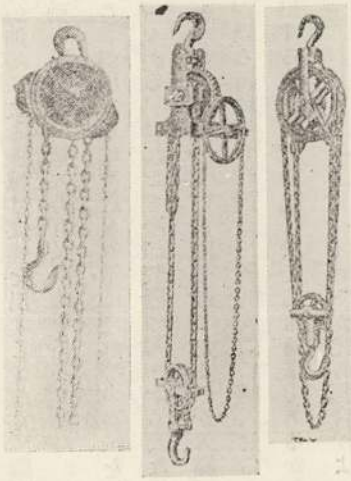
棧鎖は建築工事に於て用ゐらる、こと少なきを以て省略す。

平鋼鎖は薄い平鐵板を短く切りて一定の間隔を置きピン Pin を兩端に挿入して製作したもので同一張度の圓鋼鎖に比して重量化價共に大であるが運動確實で急に激動を生じない利益がある、平鋼鎖は索具として使用せらる、こと少なく機械の部分品として使用せらる、こと が多い、普通に製作せられてをるこの種類の鎖はローラー鎖 Bush roller chain サイレント鎖 Silent chain リンクチエン Detachable link chain 等である、重量品を引揚ぐるに鎖を使用するは甚だ便利な都合のよい特質を持つてをるものであるが、氣溫の變化によりてその強度を減少するものであるから之れに對して始終注意を拂はなければならぬ、殊に寒中に屋外に放置しをく時は著しくその強度を減少するものである、この場合には直ちに燒直しAnnea て鋼質の脆弱になる

ここを防がねばならぬ、重要工事に使用する鎖はアンニールの時日を明記し使用前に點檢することは災害防止の上からも肝要なことである

チエンブロックには普通その重要なる部分が差働滑車 Defferential pulley の働によるものと螺旋及歯輪 Worm と gear の働によるものと歯輪 Gear の噛合のみの働きによるものと三種類であるが何れも小なる力手力を以て大なる荷重を引き揚ぐるに役立つものである、チエンブロックの名稱は近來種々様々であるが大體以上三種の何れかであり或いは之れに多少の考案を施したる程度のものである、最も普通坊間に販賣せらるゝものは第四圖に示せるものでAはウエーストン式(Weston's chain pulley block)にして差働滑車の働きによるものであるBは螺旋及歯輪の働きによるものでウオーム式チエンブロック Worm screw pulley block と稱するものである。

第四圖



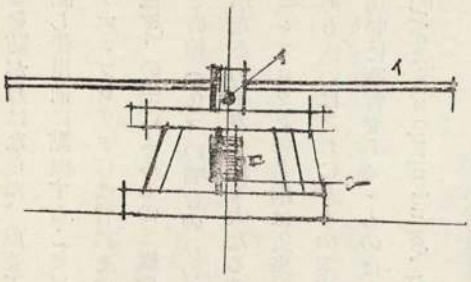
Cは歯輪の噛合によりて力を増加し重量物を引揚ぐるものでバルガンハイスピートチエンブロック Valcan high speed block であるこの外にエール式スパーギヤートチエンブロック "Yale" spar-geared chain block と稱するものあるがその大なるものは手力を以てよく十二噸の重量物を引き揚ぐることを得るものである普通耐力小なるものは半噸より大なるものは十噸に及ぶものでその引揚ぐる高さは八尺より十五尺程度のものであるが二十一尺に及ぶものもある。

捲揚器械 Crab. winch or hoist

廻轉する胴 Drum の周邊に索又は鎖を捲き付け荷物を索引又は引揚ぐる裝置を捲揚機械と稱するもので手力によるもの動力によるものを問はず建築工事上に於て尤も重要なる器械の一つである、近來はその分類を使用場所又は胴の數等によりて區別してをる、捲揚器械の中で獨立して臺及枠に組立てられたるものをウィンチ又はホイストと稱し起重機等に附屬して取付けられ之れ等の器械に沿ふて動し得るものをクラブと稱するようである、吾が國に於て古くから使用せられてをる神樂棧の如きも一つの捲揚機である、一般に捲揚機は扛棹、曲柄調帶、又は歯輪等により傳働せられたる運動を直接又は一段、二段、三段の歯輪噛合を經て胴に及ぼす、其の周邊に索又は鎖を捲付くるもので機械としての効率を考へない場合即ち中間に摩擦抵抗のないものとせば最初に加へたる力とその器械の出力との比は最初の加へたる力の速度とその器械の出す最後の力の速度の比に反比例するもので、この速度の比を知る時は之れに途中種々の抵抗により減損せらる器械の効率係數を掛くることにより容易に加へたる力によりこの器械の出力を算出することが出來るものである、最も簡單なる捲揚器械は神樂機であつて扛棹により堅木にて造られたる一個の胴を廻轉しその目的を達するものであるが、複雜なるものは力の傳働方法も數段の後に始めて胴に達するのである、捲揚器械は人力によるものと動力によるものとがあり、動力は蒸汽機關、石油機關、電動機等の原動機により又近來は壓搾空氣によるものもある、普通人力によるものはその胴に捲付

くる索線の索引力が三噸位迄に限られ動力によるものは各種の調帶類又は摩擦車により傳動せられ普通建築工事に使用せらるゝものはその索線の單索引力は三四噸程度のもの迄である、原動力の蒸汽機關によるものは移動起重機、杭打機等の如く全く獨立してその位置を變じ得る場合に最も適當せるもので調汽弁及制動機の取扱によりて種々の荷重に對し任意の操縱をなすことが出來る點が利益とするところである石油、揮發油等による機械は煤煙を出すことなく清潔であり、安全であり、運動の開始が迅速であり又汽罐を必要とせぬから著しく場所を節約することが出來るので近來次第に之れ等の器械を使用することが多くなりつゝある、けれども冷却裝置の關係から大なる馬力ものが少なく普通三十馬力程度のものに限られてをるのが欠點である。吾が國では電力が到る所に得られ近來比較的安價に購入せらるゝを以て恰ど之れを使用するのが凡ての點に於て尤も適當であるから電力によるホイストが尤も都合がよいことになるのである、外國では壓搾空氣によるホイストが盛に使用せられてをるようであるが吾が國では未だ使用せられてをるとゝ云ふ話を聞かない。

第五圖

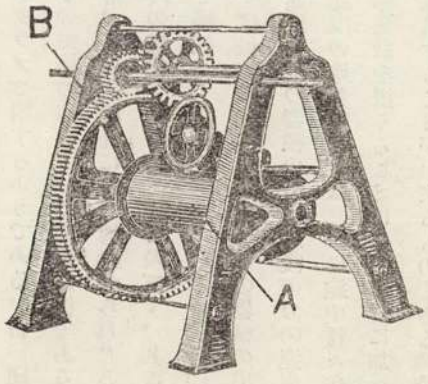


神樂棧　第一圖は吾國古來から使用せる捲揚器械で人力による扛棹を以て胴を廻轉し之れに索線を捲き付くる裝置である。

圖中(イ)は扛棹(ロ)は索線を捲き付くる胴である。實際の力を加ふべき扛棹の吋を五十吋とし胴の半徑を五吋とし器械の効力を〇、九とすれば加ふる力の九倍の索引力を出さしむることが出來る、人力を六十封度とし四人掛りにて百尺進むとすれば二千百六十封度索引力と一分間約十尺の速度となるのである。

手働捲揚機　第六圖は二段噛合の複働式捲揚器械で主要なる部分は索又は鎖を巻き付くる胴(A)人力を加ふべき曲柄、曲柄に加へたる力を胴に傳働する齒輪(B)逆廻轉を防ぐ爲めの齒止裝置、又は製動裝置及此等を固定する爲めの枠及臺等である。

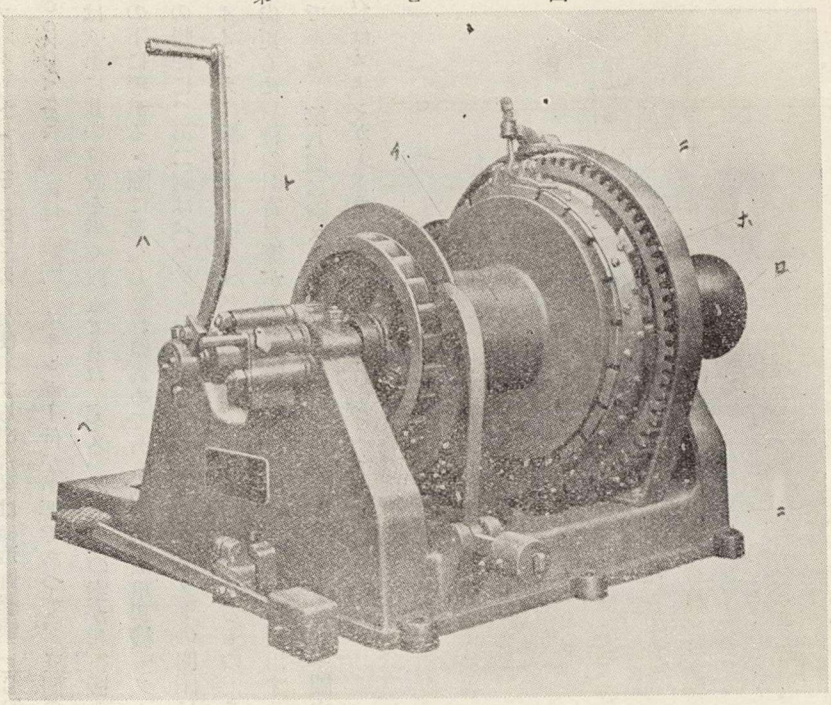
第六圖



普通一段噛合のものは胴の索線に働く索引力四分の一噸から半噸まで二段噛合のものは半噸から二噸まで三段噛合のものが二噸乃至三噸である。

動力捲揚器械　普通建築工事に使用する動力捲揚器械は曲柄、齒輪等により直接連結せるものと及調帶鎖帶等により傳働するものとの二種類である、その主要部分は胴(イ) Drum ドラム (ロ) pool or winch-head 摩擦聯動裝置 Friction clutch 及同梃 (ハ)摩擦撓屈帶 Friction band brake (ホ)及同梃(ヘ)逆轉防止裝置 Speer gear 及之れ等を支持すべき枠及臺 Frame and bace 等である。第七圖は單胴スプール付捲揚機で杭打、混凝土昇降塔用、材料引揚用等に使用するものである、胴は此の器械中尤も重要なる部分で杭打の場合ならば

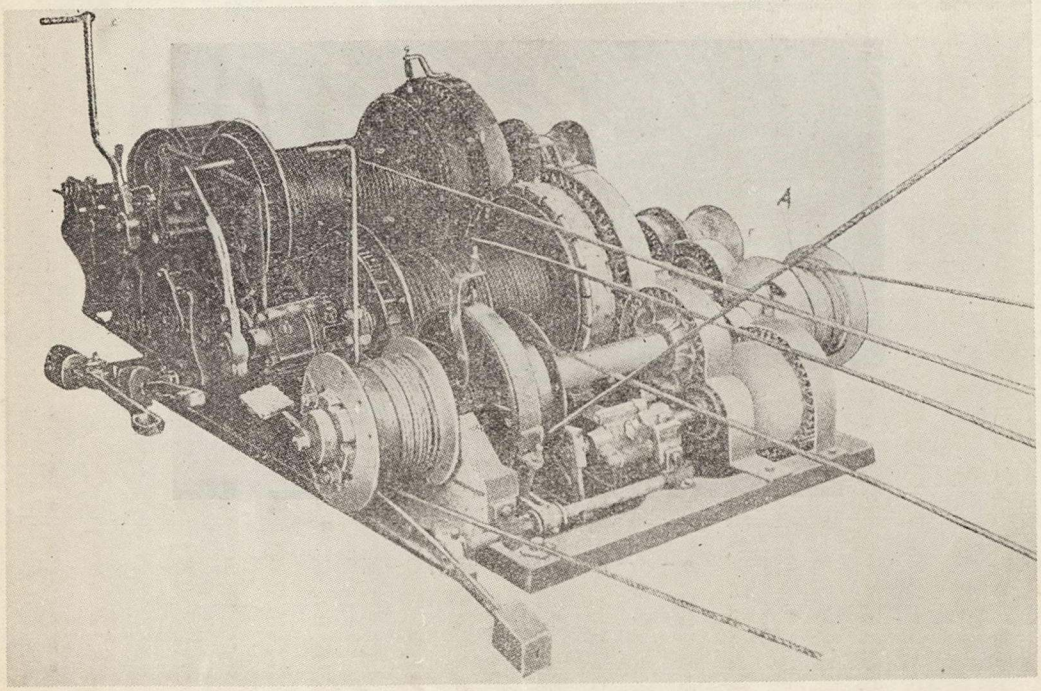
第七圖



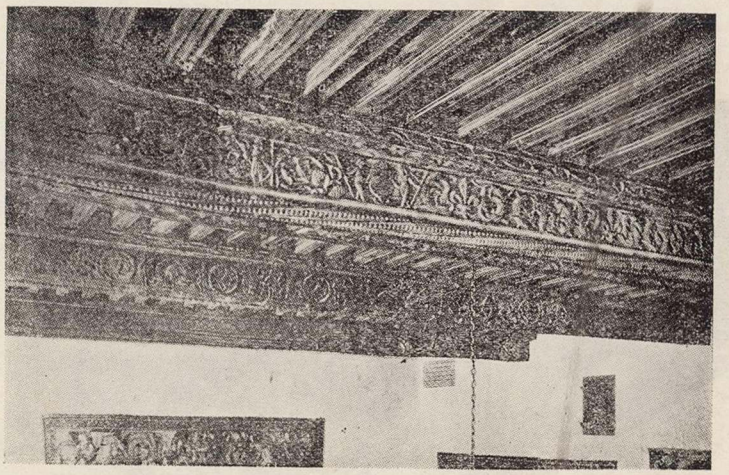
錘の引揚に使用することは已に知れる所で『スプール』は之れと同時に杭の引寄せに使用するに役立つものである、其の他聯動裝置逆轉防止裝置制動裝置等は種々異れる裝置をなせるものあり、何れも特質あるものなれば研究を要する事項である。

ホイストには二個以上の胴を有するものあり、夫々二胴ホイスト三

第八圖



胴ホイストと呼ぶところのものである。尚更らに起重機の廻轉運動をなさしむる爲めにスキンガー胴 Swinger drum を備ふるものあり、之れ等は何れも使用場所によりて製造するものである、長杭打には二胴ホイスト及一胴スプール付のものが適當であり、ガイデリック二胴又は二胴スキンガードラム付ホイストが適當である、起重機によりグラブバケット Grab backet を使用する場合又は掻取掘鑿機 Dragino excavator 等には三胴、スキンガー付が必要であつて、三個の胴は次第に其の位置を低く設置せられてをる、即ち凡の索が起重機の柱の下に導かるゝ際に混雜し縺れぬ爲めである第一胴は重起機のブームの揚卸に、第二胴はバケットの揚卸しにC胴はBバケットの開閉にスキインガー胴は起重機のマスト及ブームの廻轉に使用するものである尚更らに材料の引寄せ等が必要の場合は各胴のスプールを使用するのである。第八圖二胴スキンガー付のホイストを示したもので圖中(A)はスキンガードラムである。以上　七、二二、(續く)



ハーバート大學美術館の天井の一部

京都ホテル新築工事概要

位置　京都市河原町通御池角

敷地面積約　一千坪

本館總延坪　一千九百十一坪二合二勺

内譯　但し壁眞々に於て

地階　二八七坪七五
一階　三二三坪〇〇
二階　一〇七坪九七
三階　二二七坪五〇
四階　二二七坪五〇
五階　二二七坪五〇
六階　二二七坪五〇
七階　二三七坪五〇
屋階　四三坪七五
塔屋　一一坪二五

附屬家延坪　一百五十八坪一合六勺

本館各室配置

地階　バー、グリルルーム、理髪室、料理場、パントリー、皿洗室、日本料理室、冷藏裝置室、冷藏庫、暖房汽罐室、石炭庫、換氣裝置室、スキッチ室、從業員食堂、リンネン室、外套室、鞄預室、下足室、書庫、印刷室、洗面所、便所、從業員浴室

一階　車寄、正面玄關、テレス、側面玄關、會計室、事務室、帳場、帽子外套室、大廣間、バー、賣店、化粧室、階段室、大食堂、配膳室、グリル出入口

二階　大食堂上部、大廣間上部、奏樂所、商品陳列室、讀書室、待合室、電話交換室、配膳室、階段室、三階　露臺、廣間、第一中食堂、第二中食堂、第一待合室、第二待合室、日本間、配膳室、化粧室、便所、社長室、專務室、寢室、階段室

四階　日本室、寢室、給仕室、階段室

五階　貴賓室、日本室、寢室、給仕室、階段室

六階　日本室、寢室、給仕室、階段室

七階　日本室、寢室、浴室、化粧室、便所、社交室、餘興場兼食堂、倶樂部事務室、階段室

屋階　涼臺、ファウンテン、エレベーターホール、配膳室、化粧室、便所、物置、階段室、屋上庭園

塔屋　昇降機械室、タンク室

附屬家各室配置

自動車庫、運轉手控室、人力車庫、車夫控室、蓄電池室、變電室、冷風裝置室、洗濯室、從業員用臺所汲淨化槽ポンプ室、家具倉庫、從業員更衣室、食料品倉庫、汚水淨化槽

建物高位

地盤線より一般軒高まで　八十一尺
地盤線より屋階軒高まで　八十九尺七寸
地盤線より塔屋軒高まで　一百尺

本館工事期間　起工昭和二年二月十一日　竣工昭和三年二月十日　滿一個年

附屬家工事期間　起工晒和　年　月　竣工昭和三年三月

本館構造概要

鐵骨鐵筋コンクリート造にして耐震耐火構造とす

附屬家構造概要

自動車庫、淨化槽、防火壁等鐵筋コンクリート造とし他は木造準耐火構造となす

外部仕上げ概要

レネツサンス式にして地階龍山石張り一二階擬石仕上げとなし二階以上の壁面は化粧タイル貼りとし軒蛇腹擬石仕上げとなす、車寄は鐵骨硝子屋根葺きとし手摺廻りには人造グラニットを使用せり

内部仕上げ概要

正面玄關　床及段石萬成石水磨きとなし壁面は伊太利産大理石を張り詰め天井は石膏彫刻を以て裝飾せり

大廣間　床モザイックタイル張りとし壁面及柱には櫻山石を使用し天井及柱の上部は彫刻的手法を以て近世式に裝飾を施せり

大食堂　床寄木張りとし腰には成い七尺五寸腰羽目を以て裝飾し、梁及柱には石膏彫刻を施しペンキ塗仕上げとなし一部に奏樂所を設け近世式裝飾手法を施せり

第一中食堂　準桃山式手法を以て裝飾す、床寄木張りとし柱及梁其他諸造作は臺檜材を使用し壁面布張りとし天井は格組み銀モミ紙張りとなす

第二中食堂　レネツサンス式手法を以て裝飾す、床寄木張りとし柱及梁其他壁面の一部天井中央部には石膏彫刻を施しペンキ塗り仕上げとなす

一、一、一

床南洋材縁子板張りとし壁面壁紙張り天井ペンキ塗り仕上げとなし一部に彫刻を施す

第二待合室　床南洋材縁子板張りとし腰高さ七尺五寸腰羽目を設けパネル内には壁紙張りとなす、天井は一部彫刻を施しペンキ塗り仕上げとなす

バルコニー　床及腰には特種化粧タイルを使用し壁面の一部に石膏彫刻を施しペンキ塗り仕上げとなす

寝室　主として壁紙張りとなし寝臺は總べて米國シモス會社製品を使用し七階の一部を除く他全部浴室付きとなす

日本間　外人客用に備ふる爲め日本風寝室を設け次の間付きとなし浴室を具備す

貴賓室　東山に面して二室の貴賓室を設け之れに接して寝室を設け大理石張りの浴室を具備せしむ

涼臺　屋上階は陸屋根とし化粧敷タイルを張り詰め中央部にフエウンテンを設く、市街東山西山の連山一望の中に容められ春秋の眺め夏期の納涼美に絶佳なり

電氣設備

電燈電力配線及豫備燈設備大要次の如し

受、配電方式

		ボルト	サイクル
受電々壓	三相交流	三〇〇〇	五〇
電燈幹線	單相交流	二〇〇	三線式
電燈分岐回路單相交流		一〇〇	二線式
動力回路	三相交流	二〇〇	三線式
豫備燈回路	直流	一〇〇	二線式

受電回路

供給線を高壓地下ケーブルに依り附屬變電室に引込み、引込口ヂスコンネクチングスウヰツチに至らしむ

受電盤

高壓受電盤は電燈受電盤及動力受電盤の二基を設備す、而して各受電盤には三極油入遮斷器（ツリツプコイル付）電流計、電壓計、積算電力計等受電に必要なる一切の設備を完備す

主配電盤

低壓配電盤は電燈主配電盤及動力主配電盤の二基を設備す而して各主配電盤には地階スウヰツチ室に至る幹線スウヰツチ、電流計、電壓計等配電に必要なる一切の設備を完備す

變壓機

		ボルト	サイクル
電燈用	單相	三〇〇〇—一〇〇	五〇
		五〇K・V・A 四基	
		（一基豫備）	
動力用	單相	三〇〇〇—二〇〇	五〇
		二五K・V・A 四基	
		（一基豫備）	

避雷裝置

高壓受電回路にチヨーキングコイル、マルチギヤツプアレスター等の避雷裝置を施す

配電幹線

供給幹線は變電室低壓主配電盤より地階スウヰツチ室に至る地下ケーブルとす

分電方式

本館地階スウヰツチ室内に配電盤を設置し是より絨斗巻ケーブルにより各階分電盤に立ち上ゲ分電盤より各所要位置に至る、而して分電回路は總て遞信省電氣工作物規定に依る金屬管隱蔽工事とす、分電々壓次の如し

電燈幹線　單相　二〇〇ボルト　三線式

分岐線　單相　一〇〇ボルト　二線式

動力幹線分岐線共　三相　二〇〇ボルト　五〇サイクル三線式

豫備燈

受給交流電壓停電の際家内電燈の一部を自働切替へ繼電器により蓄電池より直流電壓を供給し點燈するものとす

電話設備

二階交換室に共電式交換臺（將來對自働局交換臺となし得）を設け容量總計私設百回線、局線廿回線、（三座席）となす、而して蓄電池は二十四ボルト六十アンペアのもの二組を設備す

充放電盤は交流及直流各二極ナイフスウヰツチ切替スウヰツチ、オーバーチヤーヂリレー交流アンメター及ボルトメター、パイロツトランプ及直流供給線用ヒユーズ等を設備す

二階交換室一隅に長距離電話室を設備し直通となす

其他料理用電話及話管等の設備をなす

各室に配置されたる位置より事務室表示器に至る電鈴設備をなし、電話用ゴ

電鈴設備

ム線を金線管内に納め配線し電源蓄電池十二ボルトを使用せり

電氣時計設備

本設備は會計室に親時計を設け廣間、食堂、待合室等に小時計を配置せり

避雷針設備

本館塔屋に各一基及煙突に各一基計四基の避雷針を設備す

煖房設備

要　項

本裝置は强制循環式煖房裝置にして地階汽罐室に設置する溫水罐より出でたる溫水主管はヘッダーに入り地階天井下及配膳室及ダクト内にて立ち上げ各階放熱器に連絡し還水管は溫水管と併行に配管し循環喞筒により溫水罐に復歸せしむ

溫　度

室内溫度冬期外氣の溫度華氏三十度なる時玄關、廣間、廊下、洗面所は華氏六十度各バスルームは同七十度其他各室は同六十五度を保たしむ

溫水罐

は米國アメリカンラヂエーター會社アイデアルスモークレスボイラーW—三六一二—Sを使用す

放熱器

放熱器は獨逸ナショナルラヂエーター會社製クラシック型六柱式を使用せり

膨脹水槽

本膨脹水槽は徑三呎高さ五呎の鐵板製厚四分の一吋にて製作し屋上階タンク室に設置せり

喞筒

本循環喞筒は電動機直結センドリフユーガル喞筒にして口徑二吋半水量十二立方呎全揚程二十呎回轉數一八〇〇所要馬力一馬力とす、電動機は三相交流誘導電動機にして二百ボルト六〇サイクルを使用す

配電盤

交流電流計（零より十五アンペア迄讀み得るもの）　一個

三極開閉器（ヒューズ金具共十アンペアー用）　一個

パイロットランプ　一個

本裝置は料理室毎時十回、大食堂毎時三回の換氣をなす目的を以て地階換氣室に甲乙二臺の送風機を置き地階配膳廊下及料理室の天井に配したる風管及二本の立上り風管により大食堂の空氣を吸ひ込み、乙送風機は料理室窓側天井下に配したる風管により料理臺及料理室の吸氣をなす

而して甲乙二臺の送風機より吐出したる排氣は共に換氣室内にて一本の風管に集め表階段裏立上りダクトを以て屋上塔屋に至り排出せしむ

換氣設備

送風機

送風機は内地製シロッコファンを用ふ

	甲	乙
送風機		
風量　毎分	七二二五	二八四五
水　吋	一	四分ノ三
回轉數毎分	四一〇	六一八
電動機馬力	三	一

甲乙二臺の送風機に用ふる電動機（三相三線式二〇〇ボルト、六〇サイクル）を使用し電流計、パイロットランプ、開閉器等一切の設備をなす

バスルーム換氣裝置

毎時二回以上換氣する目的を以て送風機竇屋上塔屋内に設置せり、送風機型式は米國アメリカンブラワー會社製シロッコ型と同型同社スタンダードアレンヂメントに據るものとし調帶を以て運轉す、扇車徑十五吋、排氣容量一六〇〇立方呎以上（スタチックプレシュアー四分の三吋の時）回轉數七一六、實馬力四八八

右送風機用電動機は芝浦製作所製三相交通二〇〇ボルト六〇サイクル一馬力開放型誘導電動機とす

昇降設備

煖房設置

昇降機二臺を設備す、該昇降機は米國オーティスエレベーター會社製品にして積載量千六百封度、速度毎分二百呎とす

サービス、エレベーターは日本エレベーター株式會社製品にして積載量五百封度、速度毎分百呎とし自動式を併用すダムウエイターは日本エレベーター株式會社製品にして、積載量三百封度速度毎分八十呎とし全自動押釦式とす

强制循環式溫水煖房裝置

にして、地階煖房機關室に米國アメリカン、ラヂエーター會社製品の鑄鐵製組合せ式無煙溫水罐二臺を設置し各階各室には獨逸ナショナル、ラヂエター會社製品のクラシック型の放熱器を設備し、前記汽罐よりの溫水を電動機直結循環喞筒に依り循環させ、配管はホテル部と一般部との二系統に分割せり

料理室、大饗宴場、各バスルームには排

氣孔を設け、電動排氣裝置に依り、鐵枚製ダクトを通じ屋上に排氣せり

消火設備

各階に消火栓箱二ケ宛を設け、各箱内のスウキツチに依り地階ポンプ室に設備する消火用ポンプを自働的に起動せしめ、更に消防署自動車喞筒より建物正面に設備せるサイアミーズ、コンネクションを通じ館内消火栓に送水し得る設備をなせり、尚は押釦により一階事務室へ消火栓使用報知をなすものとせり

給水設備

市水道線より分岐して屋内に引込み屋上階水槽室内の清水タンクに給水し、之より各階所要の個所に給水す

尚は地階料理室及各階配膳室及『ドリンキング、フアウンテン』には市水道直結給水とす、屋外各出入口には特別給水栓に依る撒水用兼靴洗用給水線を設備す

給湯設備

地階ボイラー室、温水罐及『ストレージタンク』を設置し絶えず温水を循環なさしめ各階洗面器、浴槽、流しへ給湯せり

衛生排水設備

便所は總て水洗式とし汚水は汚水浄化槽に導入し各バス床洗滌水の排水は直接市下水へ放流せり

各器具は東洋陶器株式會社製品及米國スタンダード會社製品とし、各カラン類及附屬品は和製高級品及舶來品を使用せり

汚水浄化裝置

地下室便所汚水は之を分離槽に導入し更に汚水浄化槽に導入し、一階以上各階便所汚水は之を汚水浄化槽に導入し自然排水にて市下水へ放流せり

メールシユート設備

各階昇降機脇に米國カトラー、メールシユート會社製品一臺を設備し『メール、ボツクス』を地階に設く

冷房設備

大饗宴場に送氣孔を設け附屬屋に冷藏機械を設備し、電動送風裝置により夏期冷房をなせり

冷藏設備

本冷藏裝置は米國ユナイテツド、アイアンウオークス會社製品の『スターリング』製永機を地階に設備し常温華氏四十八度以下とし地階料理室、パントリー及グリル室の使用に供するものなり

以上

設計施工

合資會社清水組

工事關係者

理事　内山熊八郎

設計部

設計主任技師　小笹德藏

附帶設備主任技師　松田畔造

製圖技師　千草謙

家具裝飾主任技師　武間主一

製圖　櫻井博

同　深尾研吉

計算　小林力雄

家具裝飾　江野操

製圖　相模五郎

同　田口戊光

同　山下龍一

附帶設備　高井邦光

同　吉井鹿二

製圖　松三郎

同　田村竹二郎

構造製圖　山本樹

同　伊藤誠

同　久保田光

影塑　黒田豊二

工事部

支店長　内山熊八郎

支店次長　赤松重一

前支店長　鍋田鍵三郎

工事擔任者　赤松重一

現場擔當者　岡本松太郎

同　小崎修

現場係員　岡四郎吉

同　五井野康二

同　植松與右工門

同　田中正治

同　帳佐秀隆

同　田中正年

同　坂井傘一

同　小城與一

同　中村尚三

附帶工事請負人

電燈電力工事　みよし組工業所

電話電鈴工事　日本電氣株式會社

電氣時計工事　大澤商會

同　増田時計店

煖房換氣工事　三菱商事株式會社

同　東亞鐵工所

衛生工事　須賀商會

汚水浄化裝置　西原衛生工業所

冷藏裝置　南國産業株式會社

客用昇降器　オーテイスエレベーター

昇降器及リフト　日本エレベーター株式會社
メールシユート　内田商事株式會社
窓　掛　川島織物所裝飾部
同　大丸吳服店大阪支店裝飾部
同　高島屋吳服店裝飾部
電燈器具　みよし組工業所
同　大阪電機商會
同　三輪電氣工業社
同　銀座高田商會
同　三交商會
同　丸山事務所
家具　大丸吳服店裝飾部
同　三越大阪支店裝飾部
同　高島屋吳服店裝飾部
同　長岡和三郎商店
同　日本樂器株式會社
同　朝倉善八製作所
同　大澤商會大阪支店
同　日本工藝株式會社
同　杉本商店
同　河瀨商店

工事下請人

土工方　阿部組
大工方　酒井紋之助
鐵骨　駒井喜兵衛
セメント　大阪窯業株式會社
白セメントタイル　山内房次郎
同　大阪窯業株式會社
同　山中窯業商店
同　中尾窯業商店
同　佐治タイル合資會社
同　宇野賢治
裝飾タイル　石工　杉本專次郎
同　ゲラニツト　旭商會
同　櫻山石　東京美石
同　大理石　矢橋大理石店
同　安藤角次
同　砂利砂　近畿バラスト株式會社
同　菅本組
鐵階段　阿部門次郎
筋鐵　藤木市太郎
同　大阪窯業株式會社
同　京近煉瓦株式會社
木材　中村爲次郎
同　東京建鐵株式會社大阪支店
同　渡邊久雄商店
同　竹内榮一
同　ラバロイド商會
床板　南湖礦業株式會社
寄木張　石川重太郎
彫刻物　杉浦喜代次郎
挽サッシュ　辰巳吉之助
榮進社　齋藤留五郎
建具　中井辰次郎
同　内外土木株式會社
經師　政正合資會社
同　尾張屋本店
畳　山路壁紙製造所
襖　大澤商會大阪支店
毀工　睦屋商店
同　ヨシムラ建築材料店
茶室爐　川島襖店
植木職　市川商店
鐵骨及諸金物　生田源次郎
林七郎兵衛
福田萬吉
内山善吉
森本安之助
青木已之助
北村合資會社
山本藤助商店
大鍛地全部
杉本治郎助
京都工作場
大阪工作場
大鍛金次郎
杉原龜吉
藤原彌三郎
中久保昇二郎
大阪伊丹商會
葵商
保田宗太郎
宇佐美德藏
京都工作場
鈴木增次郎
片岡瀧藏
今井太三郎
戸田和三郎
今井太三郎
千波千太郎
高崎定松
吉田宗兵衛
中井熊吉

本誌定價表

本紙	冊數	定價	郵稅
	一冊	七拾五錢	貳錢
	十二冊	九圓	貳拾四錢

（毎月壹回一日發行）

昭和三年七月廿九日印刷
昭和三年八月一日發行

發行兼編輯人　兵庫縣武庫郡本山村字北畑　薦田夏次郎
兼印刷人　大阪市東區內淡路町一丁目七番地
印刷所　大阪活版所
大阪市西區土佐堀通一ノ一大同ビルヂング
發行所　法人　日本建協會
電話土四二六五番
振替口座大阪三九九七五

特約販賣店
大阪市西區京町堀羽子板橋北
柳々堂書店
電話土佐堀二四四〇番
振替口座二二〇八四番

御購讀の向は本會直接又は特約店へ振替又は爲替にて前金御拂込被下度候

社團法人日本建築協會會報

○常　務　會

昭和三年七月十日自後五時半至同六時半

出席者

片岡君　野村君　横濱君　坪井君
吉井君　岡部君　八木君　本間君
木村君

報　告

一、展覽會實行委員會經過報告
坪井幹事より詳細報告

二、防空演習に關する委員會經過報告
横濱委員より詳細報告

三、六月分會計報告
岡部主計より詳細報告ありて承認

決議事項

一、七月例會に關する件
納涼會開催のことに決定

二、八月例會の件
例年の通休會のことに決定

三、第一部委員會分科委員囑託の件
左記の諸君夫々頭書の委員囑託のことに決定
第三分科委員　富士岡重一君
第四分科委員　田中　美一君

四、會員退會の件
別項記載の通決定

委　員　會

○第一部委員會總會

昭和三年六月二十六日自午後五時半至同九時

出席者

今林君

第一分科
小川君　林　君　加藤君　推原君

第二分科
高木君　池田谷君　井原君　古橋君

第三分科
村野君

第四分科
德政君　高田君　島田君

記　事

一、各分科主査より其部の經過報告あり其報告に基いて意見討議ありたり

○第一部第一分科會

昭和三年七月九日自後五時半至同九時

出席者

小川君　川口君　推原君　加藤君
池田君　今林君

○第一部第二分科會

昭和三年七月十七日自後四時半至同八時十分

出席者

高木君　落藤君　三浦君　竹中君
井原君　古橋君　池田君

○第一部第三分科會

昭和三年六月十九日自後五時半至同八時四十分

出席者

津田君　池田君　阪井君　樋口君

○第一部第四分科會

昭和三年七月五日自後五時半至同八時

出席者

德政君　高田君　南　君　島田君
須川君

○第二部委員會總會

昭和三年七月十六日自後五時半至同八時十分

出席者

松室君

第一分科
大澤君　谷口君　高田君　中村君

第二分科
高松君　福澤君

第三分科
須川君

第四分科
下浦君

第五分科
糸永君

第六分科
須賀君

第七分科
谷　君　中川君

○第三部第一分科會

昭和三年七月二日自後五時半至同八時半

出席者

大澤君　谷口君　長屋君　池田君
中村君　高田君　中村義君

○第四部委員會

昭和三年七月九日自後五時半至同九時

出席者

光安君　池田君　篠原君　谷田君
攝路君

○展覽會幹事會

昭和三年七月三日自後五時半至同八時半

出席者

宗　君　坪井君　須川君　池田君
岡部君　小笠原君　横濱君

○展覽會幹事會

昭和三年七月十日自後六時至同九時

出席者

宗　君　坪井君　須川君　池田君
小笠原君　德政君　岡部君

○展覽會幹事會

昭和三年七月十七日自後五時半至同八時

出席者

宗　君　坪井君　須川君　池田君
小笠原君　谷　君　岡部君

○展覽會第一部委員會

昭和三年六月二十八日自後五時半至同八時半

出席者

加藤君　姫野君　酒井君　增山君
高林君

○展覽會第二部委員會

昭和三年四月二十七日自後五時半至同八時

出席者

坪井君　須川君　吉井君

○展覽會第二部委員會

昭和三年六月八日自後五時半至同八時半

出席者

坪井君　須川君

○展覽會第二部委員會

昭和三年六月十二日自後五時半同九時

出席者

坪井君　須川君

○展覽會第二部委員會

昭和三年六月十六日自後五時半至同八時半

出席者

坪井君　須川君　木村君

○展覽會第二部委員會

昭和三年六月二十九日自後五時半至同九時

出席者

坪井君　須川君　森本君

○展覽會第二部委員會

昭和三年七月四日自後五時半至同八時半

出席者

坪井君　須川君　森本君

○展覽會第二部委員會

昭和三年七月十四日自後五時半至同九時

出席者

坪井君　須川君　森本君　西松君

刀禰君

○展覽會第二部出品者打合會

昭和三年七月十九日自後五時半至同九時

出席者

出品者側

日本エレベーター株式會社

大阪換氣商會

三機工業株式會社大阪支店

内田商事株式會社大阪支店

須賀商會

大阪電氣株式會社

西原衛生工業所

城口研究所

日本水道衛生工事株式會社

沖商會

オキナ南會

みよし組

島田硝子製造所

日本電氣株式會社

大阪コルク工業株式會社

巴商會

淺野物産株式會社大阪支店

島貿易株式會社

委員側

宗　君　坪井君　須川君　木村君

吉井君　森本君　阪口君　西松君

丹羽君　刀禰君

○展覽會第三部委員會

昭和三年六月九日自後五時至同六時

出席者

池田君　中島君　楠瀬君

○展覽會第三部委員會

昭和三年六月二十九日自後五時半至同八時半

出席者

池田君　中島君　八木君　塘路君

楠瀬君

○展覽會第三部委員會

昭和三年七月十三日自後五時半至同八時半

出席者

池田君　塘路君　八木君　西松君

刀禰君

○展覽會第三部出品者打合會

昭和三年七月十六日自前十一時至後一時

出席者

出品者側

汎建製作所

三井物産株式會社大阪支店

三機工業株式會社大阪支店

東京鐵鐵株式會社大阪支店

日本トラスコン鋼材株式會社

淺野スレート株式會社

日本ペイント株式會社

鈴木深商店

日本水道衛生工事株式會社

須賀南會

委員側

宗　君　池田君　中島君　塘路君

○展覽會第四部招待會

昭和三年六月二十七日自後五時半至同八時

出席者

五日會側

池田組　大林組　大阪橋本組

竹中工務店　松村組　鴻池組

安藤組　清水組　錢高組

協會側

片岡君　宗　君　坪井君　小笠原君

德政君　松本君　小川君　樋口君

○展覽會第四部委員會

昭和三年七月十三日自正午至後二時

出席者

五日會側

山脇君

委員側

小笠原君　德政君　小川君　松本君

樋口君

○展覽會第四部招待會

昭和三年七月十六日自後六時至同八時

出席者

辻村君　椎原君　橋本君

委員側

小笠原君　德政君　小川君　松本君

樋口君

○展覽會第五部委員會

昭和三年七月十四日自後五時半至同八時半

出席者

岡部君　久保田君

○展覽會宣傳部委員會

昭和三年七月十一日自後五時半至同八時

出席者

横濱君　糸永君　籠田君　山脇君

妹尾君　須賀君　宗　君　坪井君

○防空演習に關する委員會

昭和三年六月二十五日自後五時半至同八

時
出席者
野村君　横濱君　中島君　黒田君
塩路君　篠原君

○防空演習に關する委員會

昭和三年六月二十八日自後六時至同七時半
出席者
野村君　中島君　黒田君　横濱君
鹽路君

○防空演習に關する委員會

昭和三年七月五日自後五時半至同七時半
出席者
野村君　中島君　横濱君　鹽路君
篠原君

會合

○六月例會

昭和三年六月二十日自後六時半至同八時半
出席者
早箕君　佐藤君　八木君　武井君
木村君　松下君　中村君　岡部君
波江君　片岡君　光安君　古宇田君
横濱君　能村君　櫻田君　池田君
須川君　林君　浦君　大澤君
下浦君　小西君　坪井君　村上君
大原君　吉井君　和田君　本間君
坂井君　久保田君

記事

一、『新建築の傾向に就て』

右記問題に付討論をなす詳細に亘りては本文記事にて發表の筈

退會者

△會員
池田豊三君
△普通會員
岩田篤吉君　古田傳吉君

渡歐

會員設樂貞三君は七月上旬歐米建築界視察の爲神戸出帆渡歐の由にて歸朝は本年末の豫定

住所不明者

左記所在不明に付現住所御承知の御方は本會事務所まで御通知を乞ふ
普通會員　與惣次君

轉勤轉居

△名譽會員
阪本　森一君　西成區千本通一ノ七（電話天下茶屋二〇七一）
清水　熙君　兵庫縣武庫郡本庄村深江八四八ノ三
△會員
塩川　鐵藏君　府下三島郡吹田金田新道
池田　實君　住吉區上住吉町一七四
藤村　武君　東京府荏原郡松澤村松原一七七二
松浦　完二君　滋賀縣滋賀郡堅田町昭和レーヨン堅田工場
住友　榮逸君　東區京橋三大林組
船本　晉君　西區川口町住友倉庫建築場大林組川口出張所
堀本　義雄君　港區小林町七五藤木工務店
朝香　茂君　東京市丸ノ内仲通三菱二八號館大林組東京支店
泉谷　千秋君　臺灣高雄港町三ノ一八
山田　重藏君　和歌山縣海草郡大野村
吉龍　信二君　東成區深江町一一一九
青柳和貴男君（勤先横濱市中區北方町小港三ライジング石油會社技術部）
兒玉廣太郎君　東京市日本橋區通三ノ二
五百旗頭俊次君　天王寺區大阪美術館建築場
中西　十一君　東京府荏原郡入新井町新井宿西沼六九六
樋口　彦弐君　奉天地方事務所建築係
德永　義治君（東京府荏原郡馬込町谷井道一〇八六勤先片岡石本建築事務所）
△普通會員
高橋　義隆君　堺市甲斐町大道三十四銀行建築場竹中工務店出張所
日方　悦次君　大阪鐵道局京都保線區工事掛
末本　豐吉君　福井市手寄上町一〇盛巍方
岡崎　與一君　西淀川區浦江町四一〇
北岡　俊次君　東京市外戸塚町下戸塚三五五
佐野房二郎君　京都市下京區紫樂廻西町一八六ノ四二八
渥美　梧君　京都市上京區大將軍鷹司町一
寺西政一郎君　港區池島町一ノ三一
樋渡　純良君　京都市上京區河原町三條上ル惠比須町大林組姉小路出張所

寄贈雜誌

電氣評論　每號　其社
都市人　每號　其社
學士會月報　每號　學士會
建築世界　每號　其社
朝鮮と建築　每號　朝鮮建築會
セメント界彙報　每號　日本ポートランドセメント同業會
住宅　每號　住宅改良會
建築雜誌　每號　建築學會
工政　每號　其會
經濟資料　每號　東亞經濟調査局
土木建築　每號　其社
建築新潮　每號　洪洋社
大阪工業倶樂部　每號　其部
通俗衛生　每號　大阪府衛生會
帝國鐵道協會報　每號　其會
工業評論　每號　其社

電氣學會雜誌　毎號　其　會
鐵道軌道經營資料　毎號　鐵道同志會
趣味ノ園藝　毎號　關西園藝會
土木建築之日本　毎號　其　社
工業ト社會　毎號　東京工業會
工　業　毎號　大阪工業會
滿州建築協會雜誌　毎號　其　協會
庭園と風景　毎號　日本庭園協會
圖書室月報　毎號　東京市政調査會
大阪工業倶樂部　毎號　其　部
エンヂニヤリング　毎號　其　社
工業要錄　毎號　其　發行所
名古屋工業會々報　毎號　其　會
大　大阪　毎號　大阪都市協會
都市問題　毎號　東京市政調査會
新　建　築　毎號　其　社
京都の實業　毎號　京都商工會議所
都市創作　毎號　其　會
木材彙報　毎號　大阪木材協會
建築學研究　毎號　其　會
大阪土木建築業組合報　毎號　其　組合
木材新聞　毎號　關西木材商報社
工業新聞　毎號　其　社
日本建材新聞　毎號　其　社
日本建築士　毎號　其　會
東洋建材時報　毎號　其　社
朝鮮鐵道協會會誌　毎號　其　協會
住　毎號　其　研究社
超　科　學　毎號　大阪網島工業會
建築業協會々報　毎號　其　協會
建築書報　毎號　其　社
土木建築工事畫報　毎號　其　社
工業之大日本　毎號　其　社
動力之節約　毎號　工場能率增進研究會

役員

會長　理事　片岡安
副會長　理事　宗兵藏
副會長　理事　野村一郎
監事　池田實
監事　松本禹象
主記　常務　横濱勉
同　常務　坪井誠一
同　常務　和田貞治郎
主計　常務　浦英之助
同　常務　吉井長七
同　常務　岡部顯則
編輯　常務　本間乙彥
同　常務　波江悌夫
同　常務　八木幸次郎
同　常務　木村寛一



國産

アスファルト

陸屋根防水用 ブローン
電氣絶縁用 アスフルト

地下室防水用
道路鋪裝用 アスファルト

御報參上
カタログ進呈

日本石油株式會社

大阪市西区江戸堀通三丁目
東京本社 下関 小樽

建築事務所案内

（次第不同）

池田建築事務所

所長

建築士 工學士 **池田實**

所＝大阪市西區西道頓堀住友ビル
電話櫻川1144・3724
宅＝大阪市住吉區上住吉町174

大阪建築所

建築設計竝監督

大阪市北區中之島七丁目十七番地
河野ビルデング
電話土佐堀（特長二二八〇番
六一〇三番

メナエロアー・オフ・サイエンス
カリホルニヤ州公認建築士
建築士 伊藤文四郎
建築士 熊澤榮太郎

橋本建築事務所

大阪市西區土佐堀通一丁目
大同生命ビルディング第八階

建築士 工學士 橋本勉

電話土佐堀九三八番

建築設計監督 小笠原建築事務所

大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルディング第四十一號
電話北二一五五、二一五六番

建築士 小笠原鉞（マスミ）

住所 大阪市此花區酉島町北港住宅二一〇號
電話土佐堀三二〇四番

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市西區靱南通二丁目
ユタカビルデイング三階K室

岡部建築事務所

建築士　岡部顯則（アキノリ）

電話土佐堀五三二三番

大阪市北區中之島宗是町一〇
中之島ビルデイング

和田建築事務所

建築士　和田貞治郎

電話土佐堀七三二三番

東京市丸ノ内郵船ビルヂング六階
電話丸ノ内23二九八一番
大阪市北區堂島大毎ビルヂング五階
電話北四〇六四番

片岡石本建築事務所

工學博士　片岡安
工學士　石本喜久治

大阪市東區高麗橋三丁目二八
千代田生命保險建物三階
電話本局二九六四番

横河工務所

工學博士　横河民輔
工學士　松井貴太郎
田中綱

建築事務所案内

（次第不同）

大阪市東區北濱四丁目五〇
電話本局三一三一番

宗建築事務所

建築士 工學士 宗 兵藏
建築士 須川廉太郎
工學士 大倉三郎

大阪市西區本田町通リ一丁目四九ノ七
住友銀行川口ビルヂング四階十六號室
電話長西三四三三番

國枝工務所

工學士 國枝博

大阪市東區高麗橋筋二丁目
高麗橋野村ビルヂング六階

安井建築事務所

電話本局二〇七二番

建築士 工學士 安井武雄

建築事務所案内

（次第不同）

鐵筋コンクリート建築

設計監督計算

大阪市東區瓦町山口ビルヂング

増田建築事務所

工學士 増田 清

電話本局 {2673 / 3176}

東京市本郷區本郷三丁目八番地

建築土木設計監督

眞水工務所

電話小石川三九六三番

建築士 工學士 眞水英夫

工學士 野田六次

大阪市北區眞砂町四十一番地

眞水三橋建築事務所

電話北二〇四一番

早大工學士 松下由藏

太田正之

神戸市下山手通六丁目七六

電話元町二六七一番

設樂建築事務所

建築士 設樂貞雄

工學士 設樂貞三

支配人 木村梅次郎

國産優良品

パイロット衛生器具

西原式 汚水淨化裝置

專賣特許 第四二五九二號 新案特許 第四三三二一號 第六一三五四號 第六一四二三號 第六六〇七二號

弊所が本邦に於ける斯業の先驅者として大小數百ケ所に施工したる多年の經驗と研究の結果漸次改良を加へたもので構造の堅牢、工費の低廉、成績の良好、地積を要する點なきこと等あらゆる特色を具備せるものであります。



CW 50 — A

洗面器、手洗器、流し類、和洋大小便器、浴槽等各種、

（御申越次第カタログ進呈）

我國にて始めて發賣せる組合せ衛生器具にて『持ち送り』『木捻』の類に至るまで全部取揃へ一組になつて居りますが金具類はすべて

合資會社ヤンソン製作所

また陶器類は

東洋陶器株式會社

の特製品で兩々相まつて外國製に劣らぬ優良品を皆樣に御奬め致します、續々御愛用のほど願ひ上げます。

本店 東京

西原衛生工業所

大阪市北區中之島五丁目三十番地

電話土佐堀 三七八一番

大阪支店

京都市下京區萬壽寺通不明門東入

電話下 一三四五番

京都出張店

營業所 名古屋

建築請負業者案内

（次第不同）

池田勘藏

大阪市北區曾根崎新地三丁目拾三番
電話 長北一一五七番

大阪市東區農人橋二丁目十二番地
合名會社 **大阪橋本組**
代表者 橋本政吉
電話 東一五八〇番 長東一五八一番 東一七五三番

福岡縣小倉市大阪町十丁目百廿二番地
九州支店
電話 長四三〇番

東京市日本橋區本石町四丁目一番地
大阪橋本組東京支店
電話日本橋(24)三四六〇番 三四六一番

大阪市東區北濱一丁目野村ビル六階
大倉土木株式會社
大阪出張所
電話 自本二七一〇番 至本二七一三番

建築請負業者案内

（次第不同）

ペンキ塗請負業

龜谷開作

大阪市北區鶴之町三十六番地
電話北六五四五番

足代（假設）
材料損料
鳶方（手傳）
工事負請業

中新

中川辰藏

大阪市北區曾根崎上一丁目
電話北局一五三番

東京出張所
東京市神田區猿樂町
貳丁目壹番地
電話神田（25）三〇五番

合名會社

竹中工務店

本店　大阪區堂島、堂ビル　北長八一〇
支店　東京市丸ノ内郵船ビル　丸ノ内（23）長一二五〇
神戸市熊内町六丁目　葺合　八〇六
名古屋市西區幾原町二丁目　長一八四二
京都市坊城通三條下ル　中二三八六
橫濱市花咲町十一丁目　一八八九

製作所　大阪市港區南境川町　西長八〇四
東京市深川區西平井町　大手二〇四六

上西組

上西磯之丞

大阪市東區內本町一丁目一八
電話長東一八八番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **佐伯組**

本店 大阪市港區市岡町夕凪橋畔
電話特長西一〇九〇番

出張所
福岡市外馬出上町 電話長二二四二番
大分市南新地 電話長三七〇番
熊本市相撲町 電話長三九四番
小倉市中島町 電話長六一〇〇番
宮崎市宮田町 電話長四〇六番
東京市京橋區木挽町九丁目三地

久保田組

久保田種吉

大阪市東區神崎町五〇
電話東長三一八七番
三八五三番

白陽工務店

藤田辰三

大阪市北區曾根崎上三丁目三〇番地
電話北一五六二
一五六三

諸石材販賣彫刻請負業

黄龍石（人造石用）石粉各種
幷ニ
一手販賣 高島産錆色（人造石用）石粉各種
黄龍石材各種

通名石佐事

熊取谷熊次郎

本店 大阪市東區材木町七九
電話長東一六二六番
出張所 東京市下谷區上根岸四九
電話下谷一三二九番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **松村組**

大阪市東區大手通一丁目二十六番地
電話東（長）三一一七一番 三一一七二番 三五三三番

東京本社
東京市丸ノ内仲十四號館十二號
電話丸の内（代表）二五五一番 二五五二番 二五五三番 二五五四番

藤木工務店

藤木正一

大阪市西區小林町七十五番地
電話局櫻川一五五八番

合資會社 **清水組大阪支店**

大阪市西區土佐堀通二丁目二番地
電話局土佐堀（六六六番 六六七番

（本店）東京
（支店）横濱、名古屋、京都、博多、京城、大連

特許ＯＲＣ式
鐵筋混凝土煙突 水槽 工事 設計 施工

合名會社 **大阪鐵筋混凝土工務所**

大阪市港區小林町一六三
電話櫻川局一〇八六・二六二二
神戸出張所 電兵庫一四六九
名古屋出張所 電南局一五九八

建築請負業者案内

（次第不同）

鑿井工事請負業

日本鑿泉合資會社

大阪出張所　大阪市北區曾根崎町太平ビルヂング
電話北三七七八番

本社　東京市丸ノ内中通三號
電話丸ノ内（二三）長一八六三番

名古屋代理店　名古屋市東區東新町萬歲生命ビルヂング四三號
電話東一四七一番

大阪市西區土佐堀通三丁目二四

合資會社　**錢高組**

電話土佐堀（三四）一一七
（三四）一一八

東京市京橋區木挽町四丁目四

東京支店

電話銀座（四二九二番）
（長四二九三番）
（長一三四七番）

名古屋市中區新榮町三丁目二九

名古屋出張所

電話東三五一八番

横濱市高島町六丁目一二

横濱出張所

電話本局三〇七六番

大阪市東區京橋三丁目七十五番地

株式會社　**大林組**

支店　東京、横濱、名古屋、小倉
營業所　京都、神戸、
工作所　大阪、東京、

大阪市東區横堀四丁目四十三番地

電話本町八三四（本店）
櫻川一六七（工場）

石川屋

岡本工務店

岡本武藏
岡本新次郎
山中茂一

建築請負業者案内

有山組

大阪府東淀川區十三東之町
電話 自宅用 北二〇五〇
事務所用 三〇五一

大理石
鐵平石
萬成磨
工事及設計請負

大阪市此花區吉野町二丁目一六
合資會社 **山田大理石製作所**
電話土佐堀四三四二番
長尾新太郎
池上喜三信

御用ノ節ハ電話ニテ御一報次第御伺仕可候

使用。輕便、簡易工事節約多大金銀塗箔ゴールド、エナメル從來のエナメル金銀ト異ナリ箔張同樣出來、且延ビヨキ爲メ、價格安價驚ク外ナシ是非御試用ヲ乞フ。用途電線ヲ塗レバ金屬ガ表面ニ張付ラルル故電力ガ少シモ失セバ且ツ防水腐蝕トナリ猶美麗ノ點モアル實ニ經濟品ナリ鐵骨、暖房管、其他裝飾用トシテ各、色物モアル

（御申越次第說明書送附）

商入出輸直造製料塗
吉住和一郎商店

一三目丁五町勞博區東市阪大
番八九七六六阪大替振 番九二〇四壜舶話電
登錄濟 內地受信ピクトリイ海外受信VICTORY
電略（ヨワ）又ハ（ヨ） 取引銀行 加島銀行南支店

淺沼組

本店 奈良縣郡山町字今井
電郡山二五番
工作所 奈良縣郡山町字高田
電郡山二四一番
大阪支店 大阪市東成區東小橋町六ノ一四
電南二七九〇番
大阪出張所 大阪市港區鶴町四丁目一八二
電櫻川二九〇七番
製材部 大阪市港區小林町一九五番地
電櫻川二四五六番

建築請負業者案内

（次第不同）

株式會社 **鴻池組**

本店 大阪市西淀川區傳法町北三丁目五一
電話土佐堀長（二六二番
（二六三番

支店 東京市京橋區三十間堀三丁目三
電話銀座（一九九〇番
（長一九九一番

製材所 大阪市港區池島町二丁目五五
電話西長一五二三番

鐵骨橋梁鐵塔
建築金物請負

合資會社 **駒井喜商店鐵工部**

大阪市港區泉尾町七二番地
電話櫻川（六五八番
（二八八六番

安藤組大阪出張所

大阪市北區堂島濱通
一丁目八五番地
電話長北四八四番

森本建築社

東京支店
東京市芝區白金三光町二五番地
電話高輪八一六七番

大阪市南區高津三番丁三番地
電話長戎二八一〇番



（佐久間建材工業所千住工場）　（佐久間建材工業所高田工場）

佐久間式マルエス印便利瓦

製造法式　特許第七四四七七號
製造法式　特許第七五六二七號

陸屋根地下室防水材料

御用命

三菱地所部殿
東京府庁殿
東京市役所殿
大蔵省営繕管財局殿
文部省建築課殿
鉄道省経理局殿
陸軍省軍需局殿
警視庁庁舎殿

久原鑛業株式會社殿
藤田鑛業株式會社殿
帝國ホテル殿
藤倉電線株式會社殿
富士製紙株式會社殿
慶應大學殿
南滿州鐵道株式會社殿

清水組殿
大林組殿
大倉組殿
安藤組殿
高組殿
橋本組殿
戸田組殿
竹中工務所殿
藤本組殿
（其他土木建築界各方面）



佐久間式マルエス印

コンパウンド
パーマネントルーフイング
畳下用紙
建築用紙
フエルト
C印フエルト
ルーフイング

國産として優秀なる

佐久間建材工業所

所主　佐久間榮吉

東京府千住町三ノ三七〇番地　營業所　電淺草五〇六番
千住工場　電千住四〇〇二番
東京府高田町八〇四番地　高田工場　電淺草二五六番

東京工業試験所報告

品名	抗張力 縦	抗張力 横	水壓力 氣壓	加曲試驗 丸棒直徑	加曲試驗 廻轉度	加曲試驗 龜裂	試驗時期
佐久間式マルエス印中號ルーフイング	瓩 70·5	瓩 42·9	1.4	糎 0·5	° 180	生ゼス	大正十四年十二月二十六日
某舶來一流(イ)ブライルーフイング	瓲 53.7	瓲 21.8	1.2	糎 1.3	° 180	生ゼリ	同上
佐久間式マルエス印中號ルーフイング	瓲 74.4	瓲 55.9	1.7	糎 0.5	° 180	生ゼス	大正十五年二月十日
某舶來一流(イ)ブライルーフイング	瓲 80.3	瓲 39.3	1.2	回 1.0	° 180	生ゼリ	同上

（見本カタログは御申込み次第贈呈）

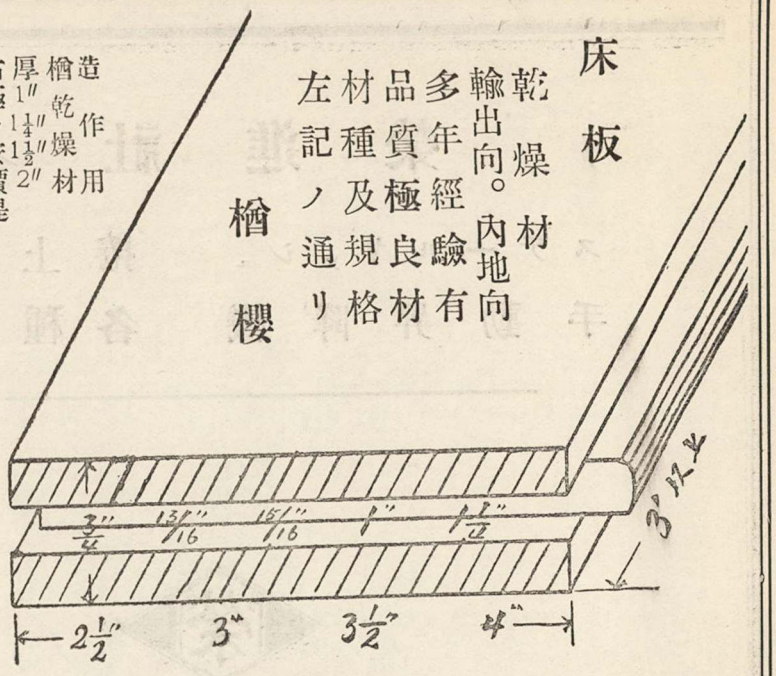
床板

乾燥材輸出向。内地向多年經驗有品質極良材材種及規格左記ノ通リ

檜　櫻

造作用
檜乾燥材
厚1″ 1¼″ 1½″ 2″

右極々安價提供是非當店へ御引合願上候



福原工場大阪販賣店

港區泉尾梅ノ町四丁目
電話櫻川一六七番

福原床板製造工場

小樽市入舟町二丁目三十四番地
電話二七三、一二三
振口小樽二五六七

大理石工事請負

合資會社

矢橋大理石商店

本店　岐阜縣不破郡赤阪町
電話五

出張所

東京市麹町區八重洲町一丁目九ノ内十號館五號
電話丸ノ内四六三九番

大阪市東區北濱四丁目二十二番地
電話本局㊄五三一九

京城府光化門通一九〇

榮進ノ社

防火戸　上捲シャッターステール
各種鐵戸　昇降機動手



營業所　東京市京橋區南紺屋町十二番地
實業ビルデング三階
電話京橋(56)一、〇六三番
二、二二九番

出張所　横濱市山下町一八四　岩井ビル
電話本局(2)二、七一四番
神戸市平野下祇園町二三一番地
電話元町二、七〇九番

合資會社　榮進社

第一工場　東京府日暮里町日暮里三八番地
電話下谷(83)長一、〇二七番

第二工場　東京府日暮里町大字谷中本二五六番地

製品販賣　工事請負

東洋コンクリート合資會社

鐵筋コンクリート工事
特殊ブロック建築
ブロックタイル
煙突

安價　土管
迅速　ブロック
電纜埋設用トラフ
其他各種製品應御注文

カタログ進呈

大阪市西淀川區海老江町
（阪神電車・淀川停留所脇）
電話佐堀三八三四番

建築衛生設備設計施工

營業種目

▼水道▲ 公私水道、**ポンプ**、屋外給水裝置。
▼防火▲ 防火栓裝置、**スプリンクラーシステム**、消防用器具、**サイヤーミンスコンネクションコン**、**ミニマツクス**消火器。
▼衛生▲ 洋和風浴室、洗面場、臺所、便所、下水道、汚水淨化裝置、塵埃處理裝置。
▼暖房▲ 蒸汽暖房裝置、溫水暖房裝置、熱氣暖房裝置。
▼換氣▲ 自然換氣、機械換氣、冷風換氣、空氣洗滌裝置。
▼冷藏▲ **リフリゼレーター**。
▼眞空式掃除裝置▲ **セントラル**、**バキユーム**、**クリーニングシステム**。
▼右設計工事請負及同機械器具材料製造並ニ輸入販賣

米國**スタンダード**衛生器具製造會社
米國**スローンバルブ**製造會社日本總代理店
米國**シカゴポンプ**製造會社

米國**スペンサークリーナー**會社
米國**ベージボイラー**製造會社日本總代理店
獨國**ミニマツクス**消火器會社

〔創業明治三十四年〕

宮內省御用達

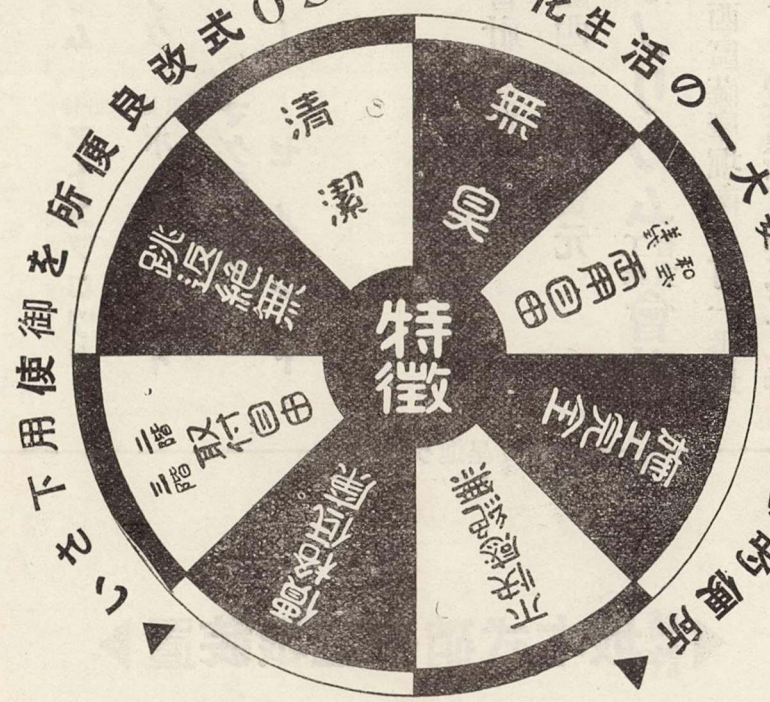
株式會社 **須賀商會**

大阪東區高麗橋五丁目
電話本局（一一八九三番 一一八八九四五番）

支店	
東京	
名古屋	
京都	

支店	
吉住	
戸神	
多博	

改良 特許 便所



設備費　金七拾五圓　（大便所ノミ）
　　金九拾五圓　（大小便所共設ノ場合）

大阪市東區高麗橋五丁目
株式會社　須賀商會　内

OS商會

電話本局　三四五　九九九　八八八　一一一　番

◀工施ニ並賣販▶

耐火リノリウム　特許ストンプロツク
セメントプロツク　特許ポーラスライ
ドロマイト　マグネシヤセメント
㊫プラスター

葛生石灰株式會社發賣
㊫プラスター關西一手販賣元
大阪耐火リノリウム工業合資會社
大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番

カタログ進呈

◀特許坂本式硝子屋根裝置▶

諸官衙・工場・倉庫・撮影所・病院・溫室等・屋
根及ビ一般建築物天窓ニ廣ク御利用ヲ乞フ

坂本商會大阪出張所

大阪市西區薩摩堀南ノ町一番地
電話新町四三五九番



各省諸官衙指定工場

株式会社 内外エレベーター

エレベーター
コンベアー
ホイスト
リフト
一般輸送機械
設計製作販売

神戸市下沢通三丁目
電話本局一七一・一七〇七

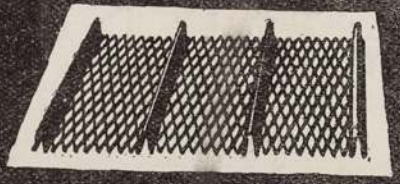
東京営業所神田区旭町
電話神田三七〇・六〇七

Nippon
DIAMOND RIB LATH.

呈進本見書明說

國產の權益を驅逐し輸入品

御存じですか？

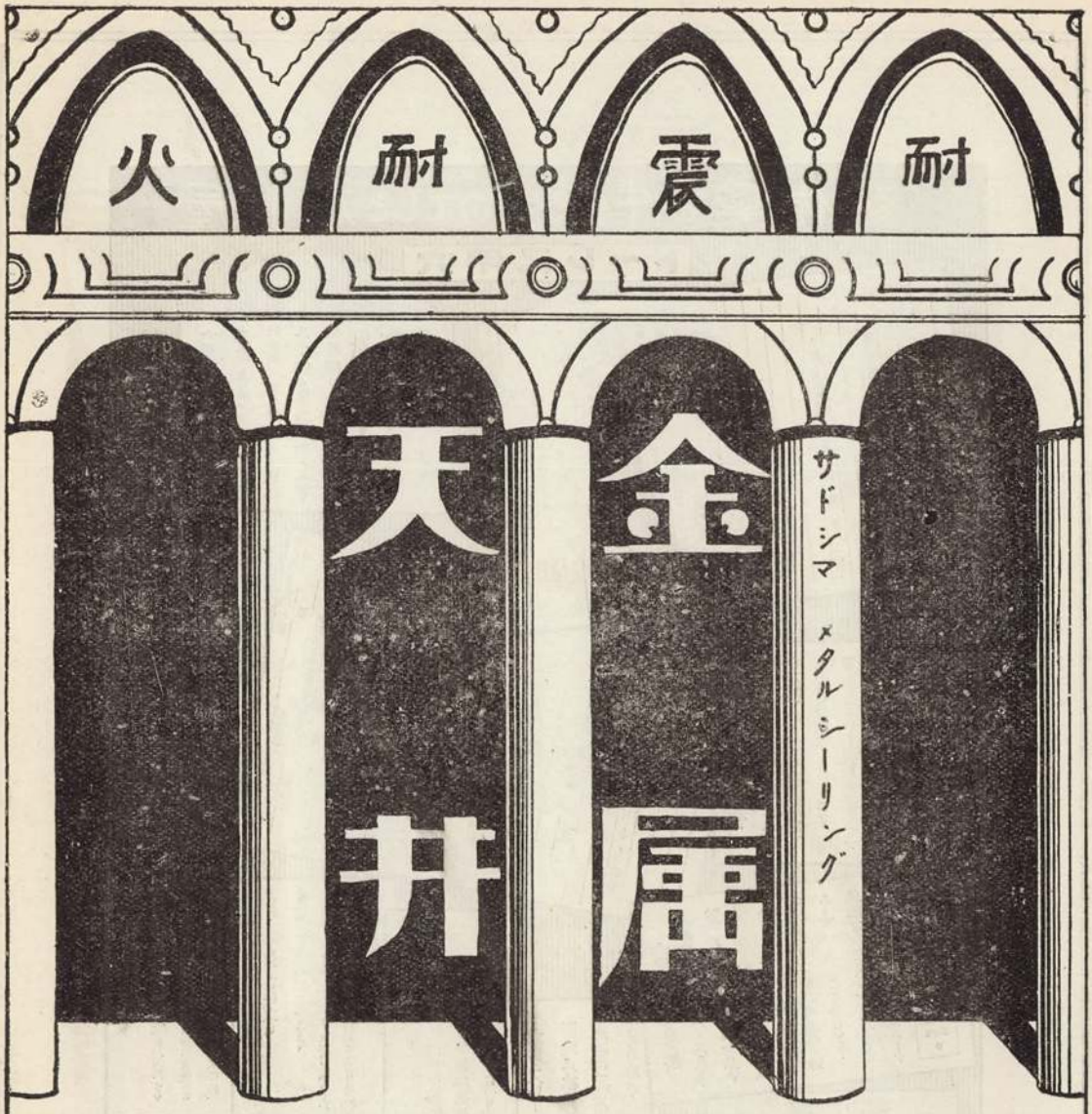


日本
ダイヤモンドリブラス

僕も日本ダイヤモンドリブラスを使用する事に合流した

元賣發造製
大阪市此花區四貫島町旭
日進製作所
電話土佐堀{二三一二四八}

販賣店
大阪市北區中ノ島六丁目
奥村重兵衛商店
電話土佐堀一六四



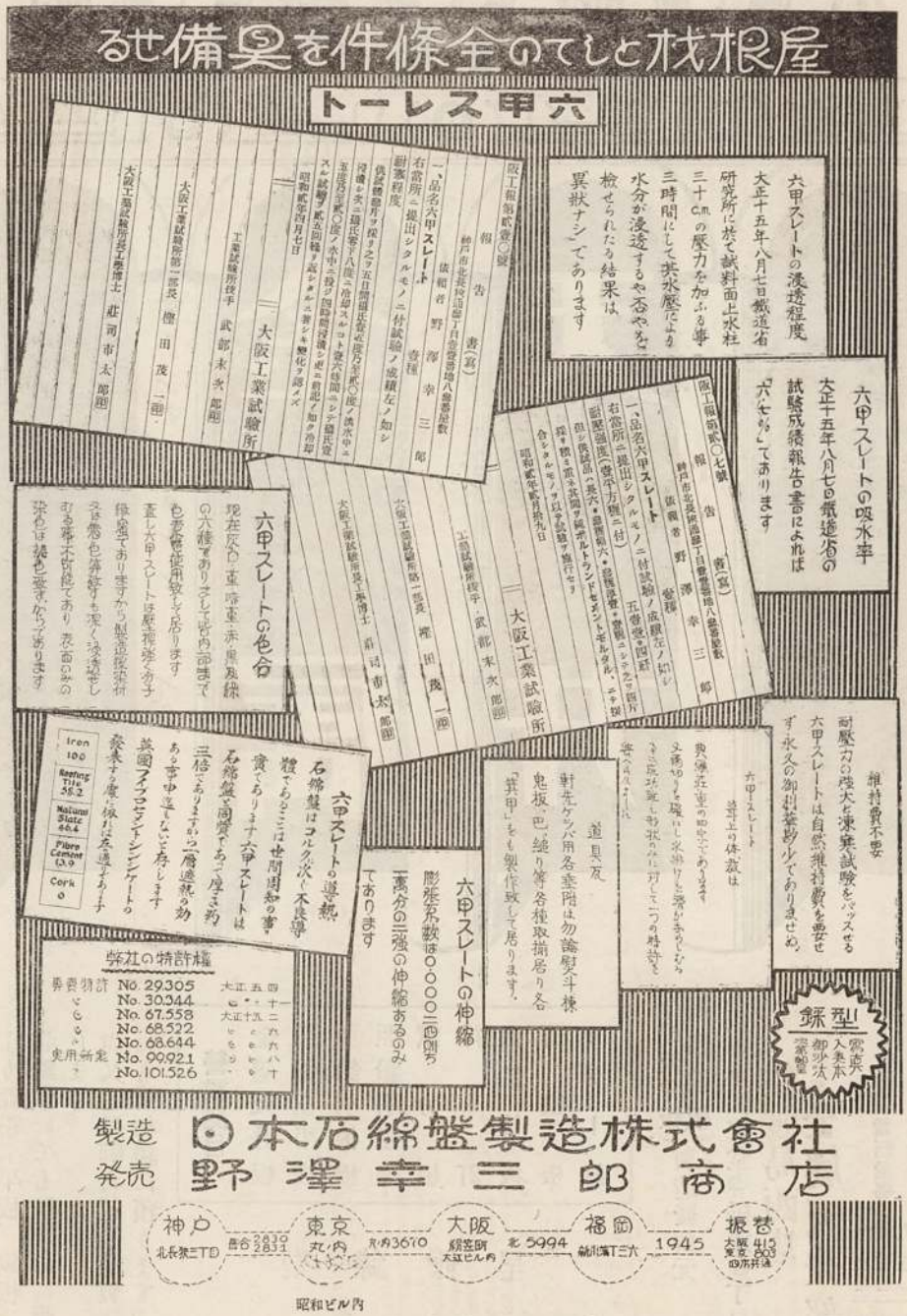
御希望に
より亞鉛引平板。銅板。
亞鉛板にても御用命に應じます。
尚又特殊御希望模様製作にも御相談に預ります。

營業品目

金屬天井板
亞鉛引平板
亞鉛引浪板
亞鉛引鐵線
鐵力板
洋釘
泪目浪板
薄鐵板
セラー釘

型錄贈呈

金屬天井板羽目浪板製造發賣元
大阪市南區安堂寺橋通り三丁目
佐渡島西店
金屬天井部
電話船場 九二二番 九三二番
薩摩堀倉庫用新町九五七番
振替口座大阪三二七三八番


屋根材としての全條件を具備せる
六甲スレート
六甲スレートの浸透程度
大正十五年八月七日鐵道省
研究所に於て試料面上水柱
三十㎝の壓力を加ふる事
三時間にして其水壓により
水分が浸透するや否やを
檢せられたる結果は
異狀ナシ」であります
六甲スレートの吸水率
大正十五年八月七日鐵道省の
試驗成績報告書によれば
「六七%」であります
六甲スレートの色合
現在屋根に葺き用ひられてゐる
石綿製品の中で最も多く用ひられ
ますのは赤色及綠色の二種であり
ますが此の外に黒色、灰色、茶色
等の種類があります
六甲スレートの導熱
石綿製はコルク次ぐ不良導體であります
六甲スレートは石綿盤と同質であつて厚さ約三倍
ありますから、層通熱の如き事甚だしくないと存じます
英國アスコンデンシングケートの發表する處に依れば左通りであります
維持費不要
耐壓力の強大な凍寒試驗をパスせる六甲スレートは自然維持費を要せず永久の御利益多少でありませぬ
六甲スレートの伸縮
膨張係數は〇〇〇〇二四圓ち一萬分の二強の伸縮あるのみであります
道具屋
軒先ケラバ用各種附は勿論鬼瓦棟鬼板、巴、繰り等各種取揃居り各「異形」をも製作致して居ります
弊社の特許權
No. 29305
No. 30344
No. 67558
No. 68522
No. 68644
No. 99921
No. 101526
錄型
日本石綿盤製造株式會社
製造
野澤幸三郎商店
發売
神戸
東京
大阪
福岡
振替

コルクタイル

最新の機械と製法を發明せる我社は品質優良
と價格低廉なる点に於て他社の追從を許さず

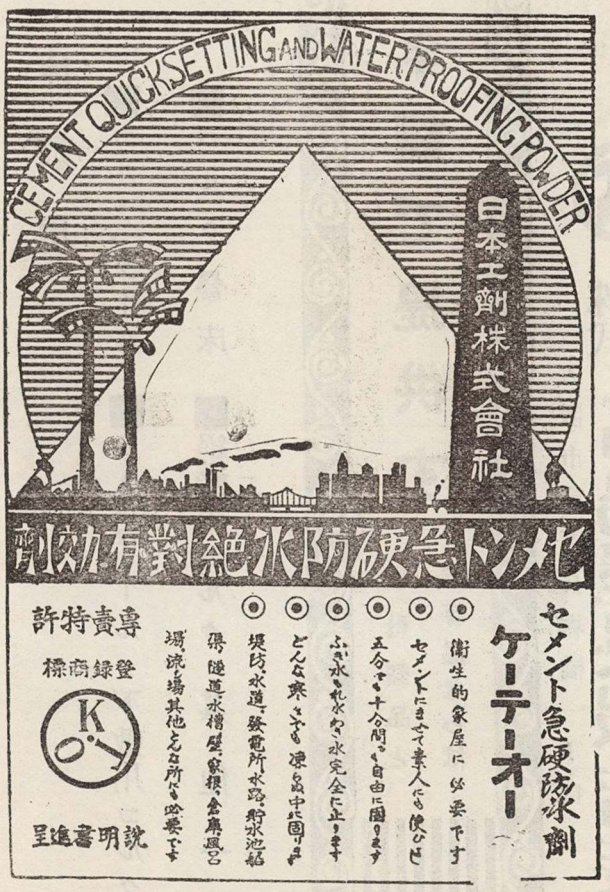
床敷用
■コルク、タイル　■リノ、タイル下敷用コルク板
■コルク疊床　■絶縁用コルク其他一般

半額で提供す
他社製品と同等品ならば

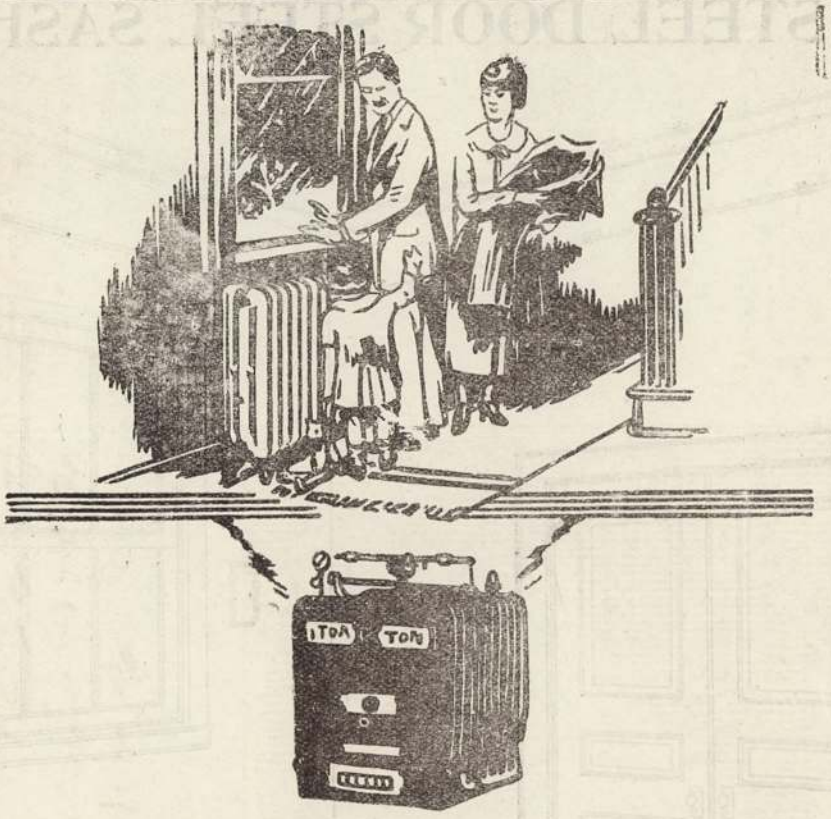
製造所
大阪市東成區中濱町三九四番地
大阪コルク工業合資會社
電話東(三二三六番)五七六九番

株式會社高島屋呉服店裝飾部
大阪市南區長堀橋一丁目
電話南(三一一、三一二、三三、長三四、三五、三八三三)六三二〇、六三一一、六三二二、七八八二、七八八三

セメントを早く固めて
水もれとめ
ケーテーオー



東京市芝區愛宕下町一ノ四　電話芝一五一二番



合資會社
東亞鐵工所
大阪市此花區西九條濱通一〇
電話土佐堀(一一三七番
(三九六七番

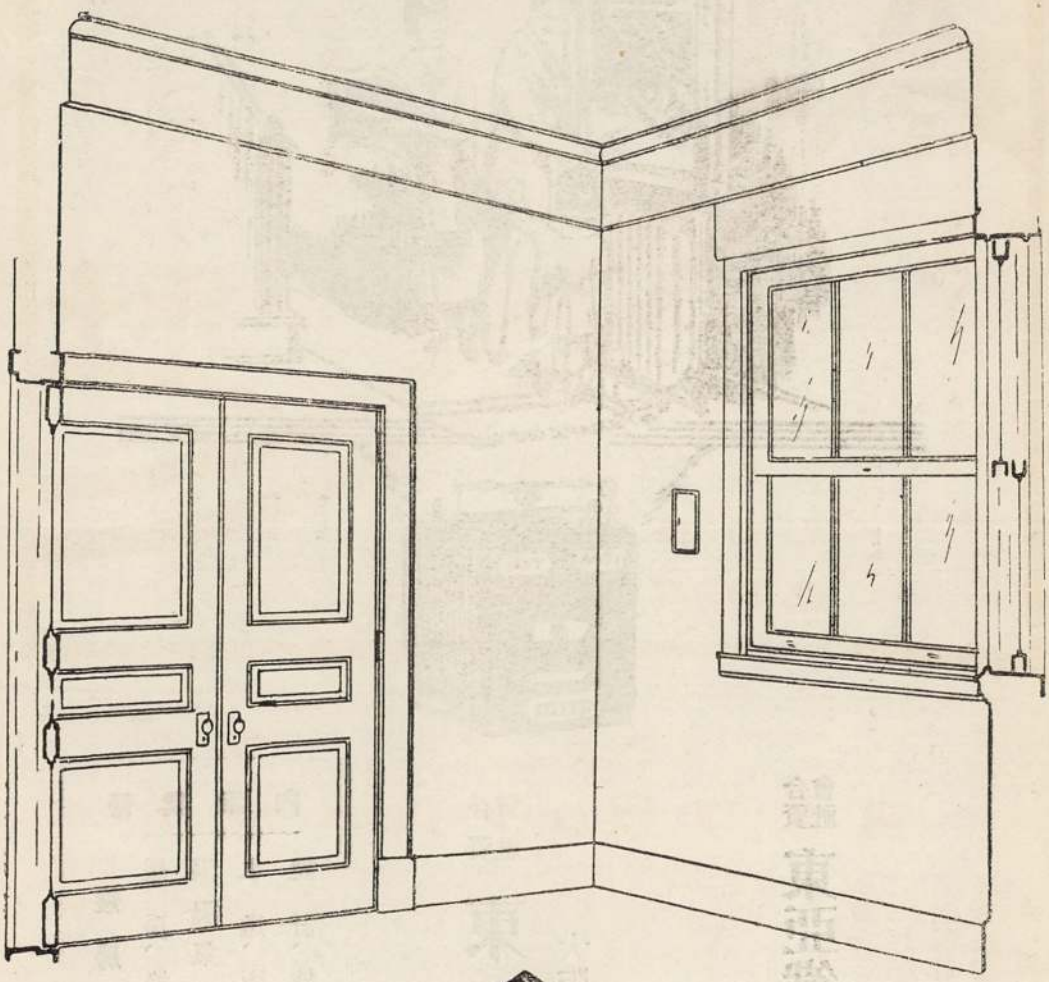
合資會社
東亞鐵工所東京出張所
東京市麹町區丸ノ内ビル八七五
電話丸ノ内(23)一七九六番

營業案内

煖房部
煖房、換氣
温濕氣調整
水道、衛生
設計、施工

製作部
各種放熱器
工作用高級機械
汽罐、鑄鐵品
コンベーヤー、リフト、ケーブルカー

STEEL DOOR STEEL SASH



營業種目

其他諸建築金物一式
エレベーター裝置
鐵骨鐵筋工事
鐵階段及手摺

營業種目

窓鐵格子
各種金庫扉
スチイールサツシユ
スチイールドアー

寺西鐵工所

大阪市港區池島町一丁目
電話西五四一番

玲光社

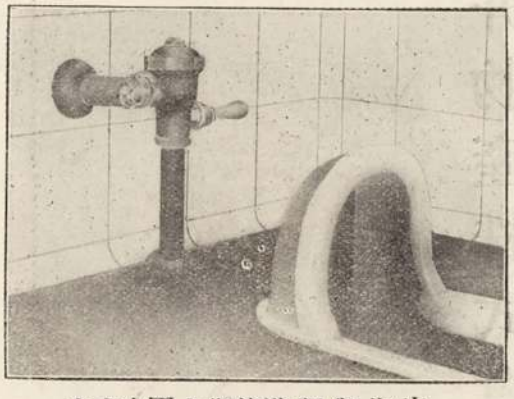
ステインドグラス
模細工
プリヅム
各種色硝子

大阪市天王寺區南河堀町
電話 天王寺 七九四
東京澁谷青山南町七ノ二
電話 青山 一八八〇

耶太耶
三太
太彌邦
眞内崎
木三廣

辦滌洗所便洗水

ヨネ.フラッシュ.バルブ



定指御課繕營學大國帝京東
可認御所役市都京•阪大•京東

製造發賣元 米本商店

二目三丁町幸區四市阪大
番〇八八三川櫻話電

重なる納入先

東京帝國大學　京町堀ビルデング
正金銀行東京支店　太平ビルデング
日本大學　大阪市電氣局
大阪ビルデング　大軌電鐵會社
船場ビルデング　新京阪電鐵會社

大阪造幣局　大寶小學校
灘萬食料品店　八幡屋劇場
三越呉服店別館　兵庫縣立女學校
大阪府知事官舍　名古屋共濟ビル
大阪商船紅丸　京都明治ビル
芦原小學校　滿鐵病院

最も進歩せる使い易いプラスター

スタッコ、マンチュリヤ

主なる特長

一、布海苔を要せず、其儘水にて練り塗工す
一、硬度適當なれば音響を反射せず
一、輕くして剝落、龜裂の憂なし
一、純白美麗、顏料にて着色任意、褪色せず
一、施行後水洗ひしても表面を損傷せず
一、價格低廉、御試用を乞ふ

耐火床張リグノイド
工場床張リグコッタ
美術床張マグコルク床
防火防水壁ロックスタッコ
水硬性防火防水壁リソイド
水硬性防音内壁エラスコ
マグネシアセメント

型錄進呈

一手販賣店元

三井物産株式會社

製造元

大阪市港區北境川町二丁目三十五番地

南滿鑛業株式會社

大阪出張所

電話長西三四八九番



淺野理化學工業所製

アサノソリヂットタイル
アサノソリヂット安全壁
アサノソリヂットスタイル
アサノリノリユーム鋪床料

ユニオンアスファルト
小倉アスファルト
内外各種ルーフ井ングス
大連ドロマイト
大明式スカイライト
米國ミシシッピ會社製ガラス一切
網入波形グラス
米國GF會社各種ラス
セロテックス
内外各種ペンキ
其他橋梁材料並ニ請負

（型錄進呈）

一手販賣元

淺野物産株式會社大阪支店

建築材料部

建築ノ耐久 保健ト衛生

專賣特許 セメント液防水劑 マノール

建築に濕氣は大敵なり



日本は世界一雨量の多い國
日本は世界一濕氣の多い國
日本は世界一蒸し暑い國
日本は世界一病菌の發生する國
日本は世界一建築の腐朽する國
日本は世界一地震の多い國
日本は世界一建築の難しい國

雨や温氣の爲に害菌の損害を被り易い事が世界に比類ない日本では建築物の耐久と保健衛生上完全な防水劑を使用して木材壁材、鐵材等の腐蝕腐朽を防ぎ床屋壁等の氣孔中に發生する恐ろしい病菌を防止せなければなりません、特許マノール防水劑を御使用になれば、セメント石灰の鹽類と黴菌より受ける損害を完安に防止して耐久と衛生を兼た美しい建物が出來上ります。

腐蝕も病菌も濕氣から



特許マノールは屋壁等に使用せらるゝばかりでなく地下室、貯水池、隧道等水壓の加るモルタル、コンクリートの防水防濕用として今や全國的に應用されて居ます

用途

◎地下室の防水
◎壁屋根の防水
◎床井戸側の防水
◎炊事浴室の防水
◎地下鐵道の防水
◎水道貯水池の防水
◎船底船渠の防水
◎便所糞池の防水
◎高架鐵道の防水
◎水力工事の防水
◎醬油タンクの防水
◎其他衛生的工事

製造元 油脂化工社

特約店 建築材料合資會社
大阪市西區西道頓堀通二ノ六
電話長堀川二五六九番
振替大阪七四八〇七番

木下謹三商店
大阪市西區江戸堀北通五ノ三五
電話土佐堀二一六六番

◉防火宣傳◉

阿部式スティールサッシュ製作
阿部式スティールドーアー製作
自働捲上防火シャッター製作

鐵骨建築及附屬金物一式
鐵塔橋梁其他構造物一式
エレベーターリフテイング一式
鐵扉、鐵柵類一式

A 合資會社 **阿部鐵工所**

大阪市西淀川區浦江町三五四ノ一
電話土佐堀（長一八一四番 三一一一番 八〇〇八四番）
振替口座大阪四八〇五一番
受信略電（オウサカアヘテツ）

飛行機印



アスファルトフエルト
便利瓦
アスファルト各種
電氣絶縁材料

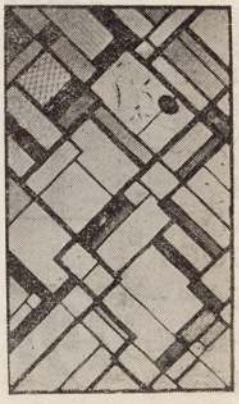
大阪市此花區大開町三丁目九番地

梶田豊治

電話長土佐堀五六〇一番

ステインドグラス
グラスモザイク

VENUS STUDIO



大阪市東區谷町二丁目五　電東四二二〇

出張所　東京　　代理店　京城

ベニス工房

日本的表現の異ルーフレス新材



淺野スレート
日本石綿盤
朝日スレート
金剛スレート

品質堅牢
体裁優美

日本スレート販賣株式會社大阪支店

大阪市西區江戸堀南通一丁目廿一番地
電話土佐堀㊦3468番・3469番
本社東京市京橋區三十間堀三丁目
電話銀座㊦684・841(專用) 1860・1861・1862番(接續)
支店 横濱市常盤町5丁目81番地電話本長者町(3)5207番
門司市東本町四丁目 電話㊦548番
出張所 名古屋・仙臺・京城

陸屋根地下室用防水布



専賣特許
富士印 クロースルーフ井ング

本品は純麻織物を主要材料とし無酸乾燥性天然アスファルトを應用し強度仲度滲透壓に於て同種品中最高の記錄を有する合理的にして最も進歩せる

クロースルーフ井ング製造所

工場　大阪住吉
大阪市東區平野町四丁目五八　電話本局五四〇七番

!! 除風器界の權威 !!

！學理と實際に基き製作したる最新式除風吸揚器！

營業科目

- ◉和洋式建築金物
- ◉ブロンズ眞鍮製建具裝飾金具
- ◉窓金手摺鐵柵鐵扉類
- ◉釘針金平浪板諸材料
- ◉鋼鐵自働防火シヤッター

＝製作＝
＝請負＝
＝直輸入＝

保健！衛生！ 田中式除風吸揚器
（新案特許第一一四四八六號）
實用新案（第一一四四八六號）



田中式ベンチレーター

ユニオン印
建築金物製作發賣元

合名會社 **西孫商店 建築金物部**

直輸出入部

大阪市南區順慶町二丁目
電話船一九六・一九七番
三〇二九番

大阪市北區南森町五四番地
南森町交叉點二筋南ノ辻西入天神小橋筋

スチールドアー各種

安價に

迅速に

叮嚀に

大阪市西淀川區傳法町南二丁目

大阪鐵扉製作所

電話土佐堀五九二〇番

東京丸ノ内時事新報社四階

大阪鐵扉製作所東京出張所

電話丸ノ内三六二七番

家具と室内装飾

笹岡家具装飾店

弊店は
眞面目がモットー
皆様方の使用人

營業所
工場　大阪市西淀川區海老町
一四八五番地

電話土佐堀　二九六九番
福ク　ロク　祿

振替口座大阪七九七三三番

S.S ルイタル品

最近當社獨特の
新製品嶄新なる
高級マット

奕秋（エキシユウ）タイルの出現

各種タイル販賣

大阪市西區靭北通一丁目二六
品川白煉瓦株式會社大阪支店

タイル販賣所

電話土佐堀七一一番

便所之改善

專賣特許第三二七九八號

大正便所

特長

臭氣、蛆、蠅の發生
跳返、盜難の憂　絕對皆無
現在汲取式の理想的便所

株式會社 城口研究所大阪支店

專賣特許第三六七一五號

城口式汚水自然淨化裝置

水洗便所必須 清潔、完全、簡易の下水に放流裝置

一般給水衛生工事

大阪市北區曾根崎中壹丁目五十七番地

電話北 特長 二三 一九 一五 八六番

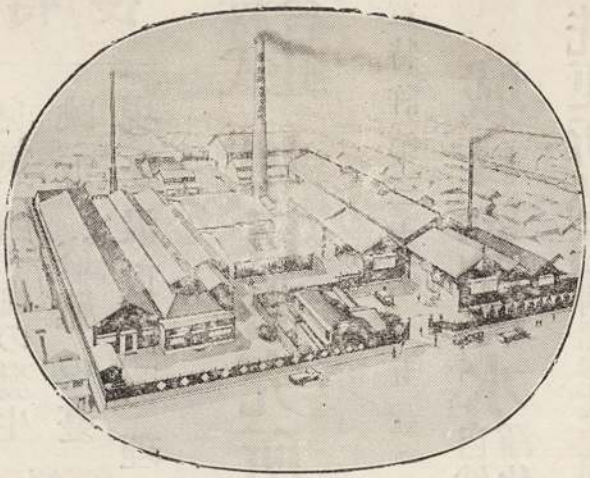
本店　東京市神田區千代田町十八番地　電話神田 特長 二五二三番 二五二二番
出張所　名古屋市西區本町三丁目五番地　電話東 二三七〇番
同　京都市大和大路前佛町　下 四七二四番
同　神戸市三宮町一丁目百七十番地　三宮 一六九八番
同　横濱市常盤町五丁目八十一番地
同　廣島市竹屋町百三十五番地　電話 二八〇八番

辨柄

登録商標

誇るべき弊社製品の特長

成分含有量の的確　分子微細にして一定不變
色澤鮮麗にして純新　大量製産にして安價提供



用途

塗料用　ペイント用　染色用　陶磁器用　漆器用　建築用　皮革用　防水布用

製紙用　リノリューム用　燐寸用　ゴム製造配合用　電線被覆用　印刷インキ用　印刷製版用　スレート用

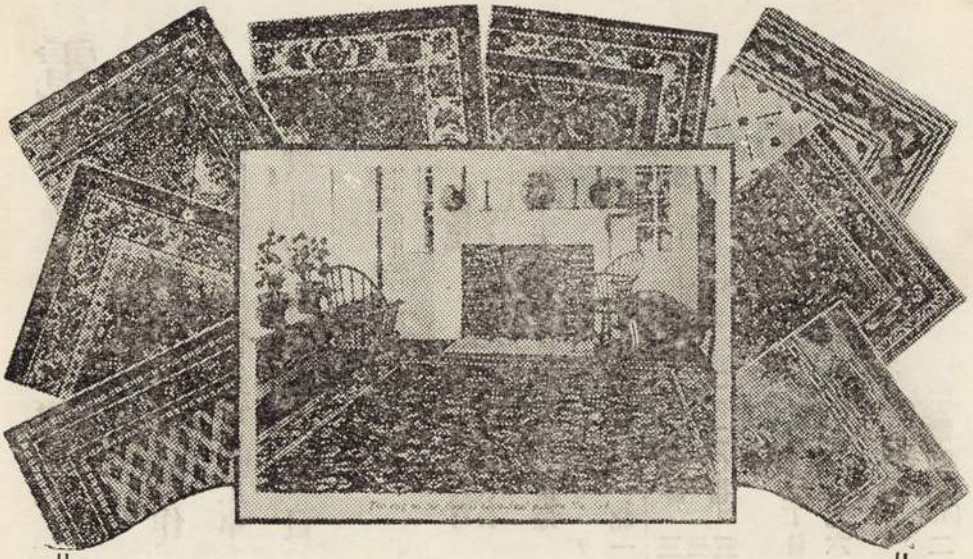
製品種目

富士印	金鳳印	白鳳印	朱雀印	金鶏印
丹頂印	四十鳥印	隼印	鴫印	椋鳥印
鵙印				

（見本進呈）

發賣元　合資會社　大平工業所
大阪市西成區長橋通四丁目
電話櫻川二六三八番
振替大阪六三九二五番
發信略號（オヒラ）又ハ（オ）

代理店　藤澤友吉商店
大阪市東區道修町二丁目
支店　東京市日本橋區本町
支店　京城府西小門町四二



大小色々

模様色合各種

山中支那緞通

寸法並ニ模様
特別御註文ニ應ズ

大阪市東區高麗橋一丁目

山中商會

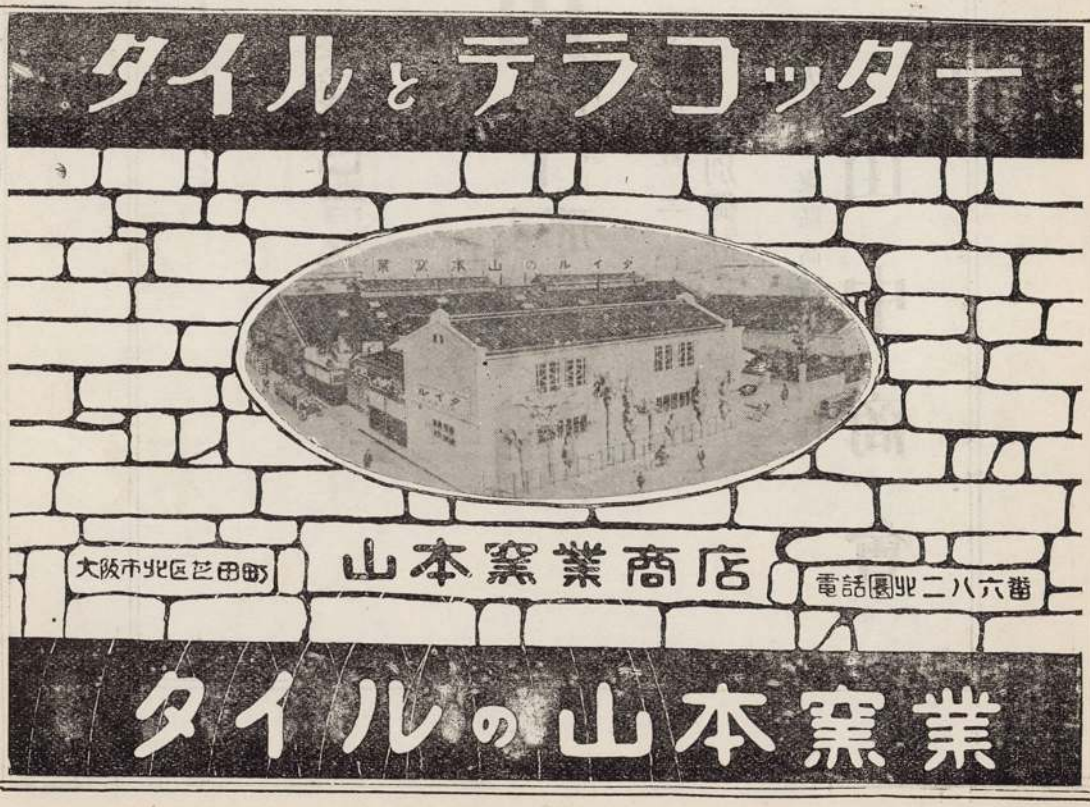
電力ト電燈

美術裝飾電燈器具製作
電燈電熱避雷針電話工事
設計監督工事請負

淺海商店

營業所　大阪市北區絹笠町九番地
　　大江ビルヂング三階
電話直通　北一五七六番
交換北一二一五番　三一九六番
　　二六二〇番　三一九五番
　　三一九七番

工事部　大阪市北區曾根崎上三丁目卅六番地
　　北六六四二番
東京支店　東京市芝區田村町七番地
　　電話芝(43)二九七〇番



三熊製疊所

創業明治四十四年　神戸市東尻池町五丁目　電話兵庫一四六九番

▲本品は現　我國屈指の建築技師及技術家を始め別荘住宅各官廳及重要會社の設計指定疊として多大の御用命を蒙りつゝあり

特長

製品優秀　技術超絶
納期正確　在庫豊富
價格至廉　確實叮嚀

當所ハ各種疊製品ヲ製造納入スルノミナラズ疊一切ノ材料例ヘバ疊床疊表疊縁地等ノ如キハ各種全部取揃申居候間疊一切ノ御入用品ハ多少ニ係ラズ御下命御願上候也

販路―關西關東ヲ始メ全國各地一圓現場納入

▼御設計又は御見積の上に於て疊一切の事に付御不審の點は御相談下され候はば委細御説明申上候

價格表御一報次第送呈仕候

出張所々在地　大阪　京都

檜實剝繼手付
櫻 床板
同上羽目板
同上本寄木

特許第六六〇八九號
伊丹式バーケットリー（簡易寄木）
特許第六五八九一號
伊丹式フローリングブロック
（コンクリート床板上直接張込床材）
三菱合資會社營業課製
南洋產セラヤ材天井板
青森特產檜材根太土臺其他

大阪 伊丹商店

大阪營業所
大阪市西區靭中通一丁目二〇番地（市電信濃橋停留場北へ一丁東側）
電話長土佐堀二四一七番

名古屋營業所
名古屋市西區南外堀町四丁目一番地
電話長本局四五九六番



建築ノ耐久ト美觀ハ屋根材料ノ撰定

KS式陸屋根地下室防水工事
太陽印アスファルトルーフキング
マルソイドルーフキング
テキサスルーフキング
各種アスファルトフエルト
耐酸性アスファルト工事
セメント防水劑マノール

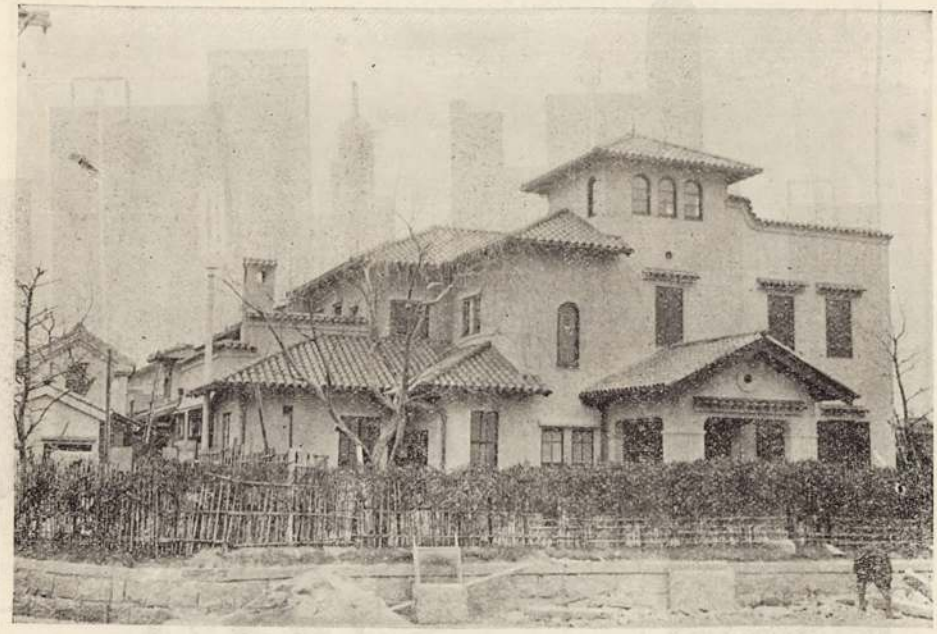
見本型錄呈上

本店 大阪市西區江戸堀南通五丁目
電話土佐堀(二一六六番
(二一五四番

木下謹三商店

支店 東京市日本橋區濱町三丁目三番地
電話浪花二二五二番

石綿スレート(石綿盤)
天然スレート(石盤葺)
獨逸式セメント瓦
エキスパンデットメタルラス
淺野波形スレート
其他各種建築材料
販賣並ニ工事請負



佛蘭西式洋瓦

◎綠色洋瓦　◎黑褐色洋瓦
◎赤色洋瓦　◎各種日本瓦

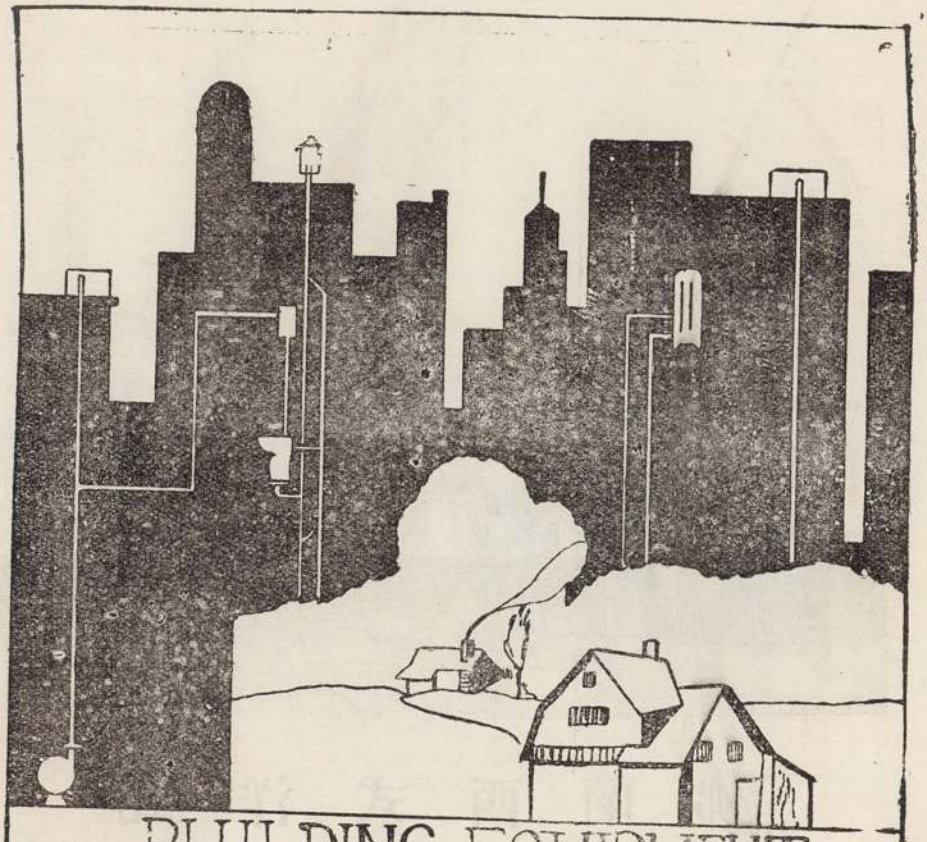
各種洋瓦の製造販賣
屋根工事の請負

十大特長

實質堅牢　形態合理
色彩優美　重量最輕
葺土無用　凍害絶無
葺方簡易　吸水殆無
製品統一　雪止不要
セメント製瓦にあらず
申込次第カタログ進呈

日本洋瓦株式會社 大阪出張所

大阪市北區曾根崎中二丁目
第一曾根崎ビルヂング内
電話北(二一一五五)六番



都市水道
衛生給水
煖房換氣
防火裝置
特許汚水處理
病院設備

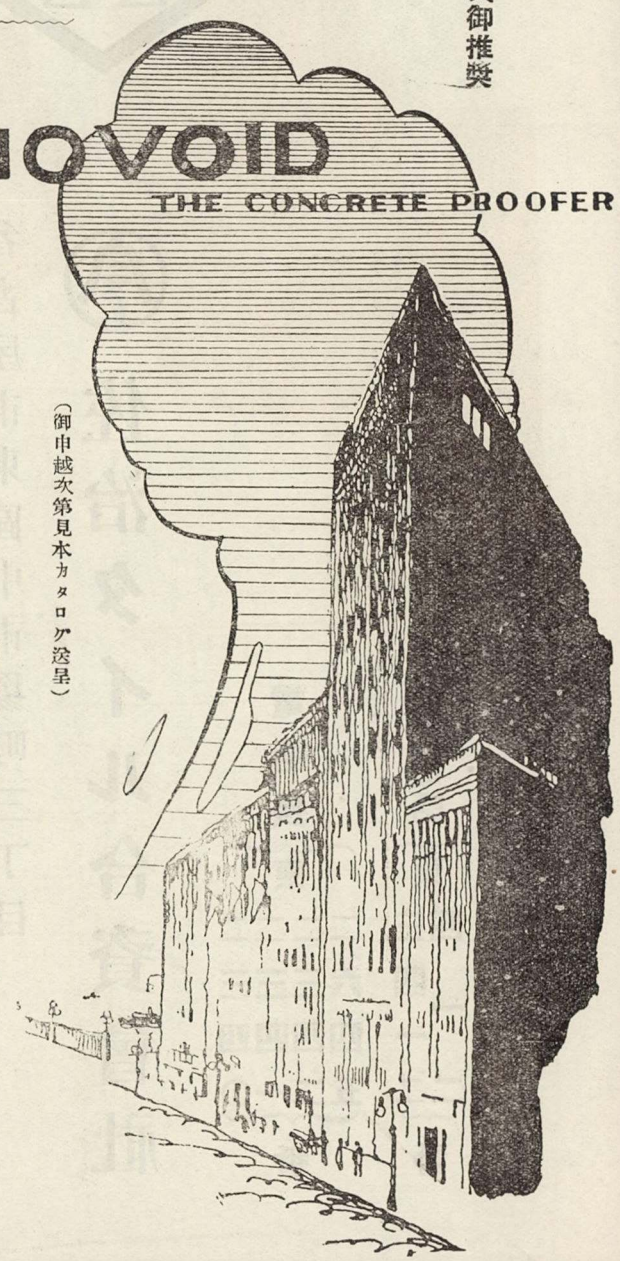
桐田商會

大阪市北區木幡町八二
電話北二七五一番

東京市芝區田村町十五
電話青山五三七五番

土木界の權威
工學博士
吉本龜三郎氏御推奨

幾多防水劑中永遠ニ効果ヲ顯ハスモノ皆無ナル中ニ「ノーボイド」ハ吉本博士ノ詳細ナル調査ノ末大正十年輸入ヲ試ミ博士管掌ニ係ル總ユル工事ニ用ヒテ出色ノ價値アルコトヲ認メラレタル防水劑ニシテ本品ヲ得タルハ斯界ノ大福音ナリトノ御賞讃ヲ博セリ。



（御申越次第見本カタログ呈呈）

英國倫敦ビリターストリート
トーベー、アンド、ダート、ペイント會社
製造元

日、鮮、滿、一手販賣元
兵庫縣明石市王子
日本工具製作株式會社
電話 明石四五〇番
振替口座 大阪五四〇五六番

大阪出張所
大阪市南區安堂寺橋通一ノ二六
電話 大阪船場七七三

トンボ印（スコツブ、ショベル）
（建築金物、土工用具）製造元

新新ナル理想的
セメント補強劑
防水、耐火、耐酸、防油。

セメント

英國政府　專賣特許　第一四一一三號
日本政府　專賣特許　第四五二四九號

TRADE MARK

高級藥掛タイル
專門工場

名古屋市東區中市場町三丁目

㊫ 佐治タイル合資會社

電話長 東 二二三四 二二三四 四四一〇 番

工場電話 東 三四一二 四一二二 番

優良國産屋根材の權威



見本進呈

大阪鐵道局新廳舍御採用

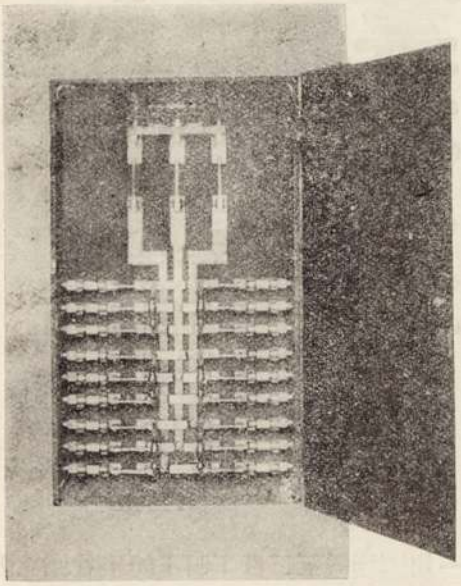
純國産品

優美。堅牢。低廉。

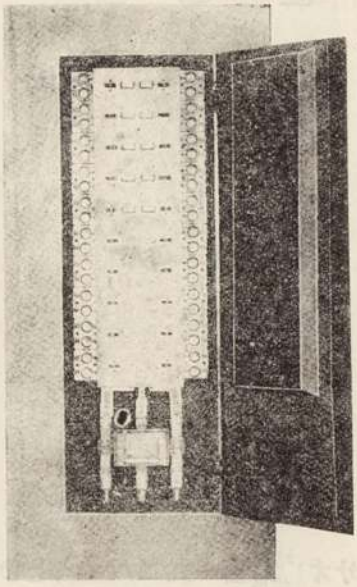
優良なる舶來に

高低壓配電盤並附屬器具

各種キヤビネツトボツクス



動力用(キヤビネツトボツクス)分電盤



電燈用(キヤビネツトボツクス)分電盤

大阪市南區賑町二番地

高村電氣製作所

電話東一二七一番

HEATING. VENTILATION AND PLUMBING.

大和工業株式會社

營業科目

各種煖房裝置　換氣裝置
給水給湯裝置　衛生工事
汚水淨化裝置　蒸氣諸裝置
宮崎式ペーチカ

溫濕度調整裝置　冷房裝置
製氷及び冷藏裝置　除塵裝置
空氣輸送裝置　眞空掃除裝置

以上の設計、監督、工事請負竝ニ材料販賣

本社　大阪北區曾根崎上四丁目三番地　電話北一〇七八・六二九一番　略受語電（ワイダカサオ）
支店　東京市京橋區南傳馬町三丁目五番地（第一相互館二〇八）　電話京橋三二三七番　略受語電（ワイダイケウト）



塗裝工事請負
計設ニ並
賣販料材

松本商店

店主 松本壽美

大阪市北區宗是町十番地中島ビルヂング内
電話土佐堀二三九一・二一二五・三五〇九番

Certain-teed

世界建築大家指定品

サーテンティード便利瓦（ルーフイング）

サーテンティード製品ニテ施工ノ屋根



東京丸之内　郵船會社ビルヂング

品質優秀
價格至廉



主なる御使用先

丸之内ビルヂング	三菱地所部
日本郵船ビルヂング	三菱鑛業會社
有樂館	久原鑛業會社
東京帝國大學	横濱ユーナイテッド倶樂部
駒場農科大學	横濱スタンダード會社
同潤會柳島アパートメント	横濱ライジングサン會社
東北帝國大學	清水組
早稲田大學講堂	大林組
上野松坂屋本舗	竹中工務店
三越呉服店	戸田組
東京女子大學	安藤組
アメリカン、スクール	大倉土木會社

サーテンティード リノリユーム

本品ハ質ニ於テ和製品ヲ凌駕スルコト數等價又タ至テ廉ナリ

日本總代理店

合資會社 **デゥエット商會**

東京市麹町區内幸町一丁目大阪ビル
電話銀座一〇八一番

大阪市東區今橋一丁目帝國ビル
電話本局三七四四番

テラコッタ　伊賀窯業株式會社
　　販賣　關西一手

當社製作販賣
ユニス石
アシラーグ
ドルトン
サツチール
ーチール
スス復興

政正合資會社

本　社　大阪市西淀川區大仁町九十二番地
電話土佐堀一九四九番　振替大阪四五六七六
名古屋出張所　名古屋市中區新柳町六丁目住友ビルヂング
電話（代表）本局六〇六〇番

營業品目

鋼製組立家屋
鐵骨鐵筋
鋼製窓枠
鋼製扉
メタルラス及附屬品
道路鋪裝諸鋼材
鐵骨及コンクリート用塗用
其他

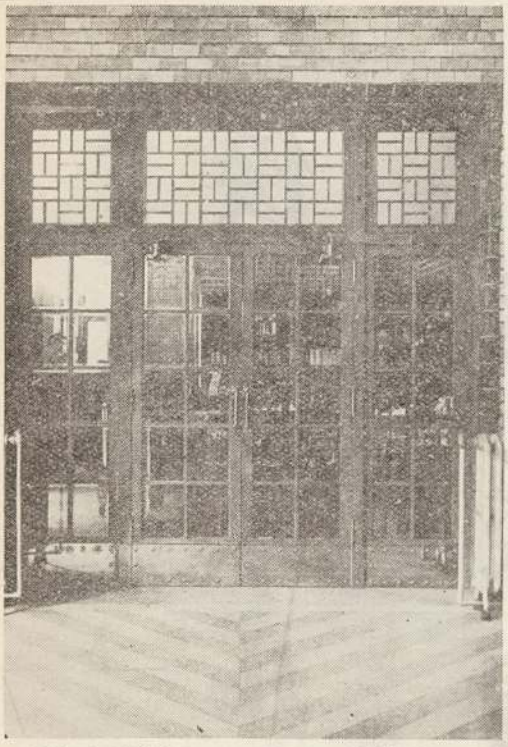
本社　神奈川縣川崎市田島町
工場　神奈川縣川崎市田島町
東京支店　東京市丸の内三菱廿一號館
横濱支店　横濱市太田町二丁目十五ビルデイング

大阪市西區土佐堀通一丁目
大同生命ビルデイング

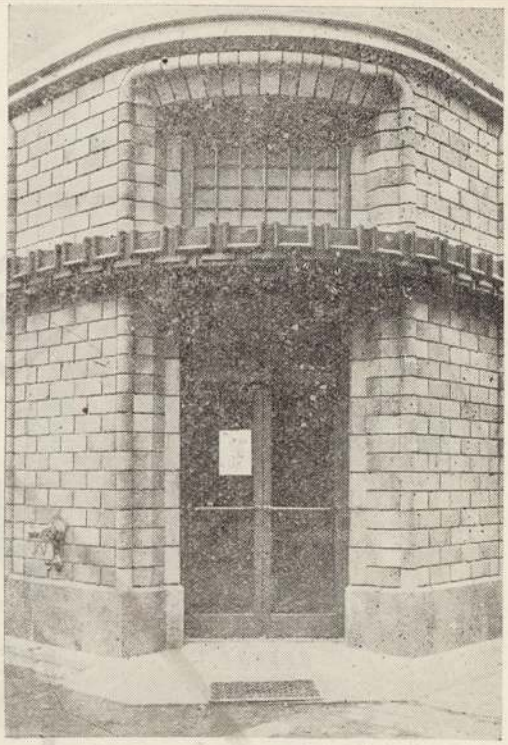
日本トラスコン鋼材株式會社

電話土佐堀一七七六・三一〇三番

名古屋支店　名古屋市東區東新町萬歳ビルデイング
神戸支店　神戸市榮町通二丁目山口ビルデイング
廣島支店　廣島市紙屋町藝備ビルデイング
福岡支店　福岡市博多上呉服町太平ビルデイング



大阪高麗橋野村ビルデイング　玄關内スクリーン
工施所作製弊　資生堂森永ショーウインド製作工事



大阪高麗橋ビルデイング　南丸隅資生堂出入口
工施所作製弊

安井建築事務所御設計
株式會社大林組本店請負

◉建築ノ進歩ト防火ノ設備◉

請負

特許壽崎式スチール、シヤツター
特許壽崎式スチールドウワー
特許壽崎式上ケ下ケスチールサツシユ
鋼鐵製書架類
鋼鐵製ショーウインドー
鋼鐵製スクリーン並ニ造作
鋼鐵製コンクリートドウワー
一般建築製飾金物製作

設計

東京鋼鐵扉製作所

本社　東京府下南千住町南千住433. 434番地

全關西營業所

大阪市東區上本町一丁目六番地
電話東局 1309. 1310番

營業代表者　米山淺治
工場代表者　壽崎源太郎

◉東京横濱大阪ヲ主トシテ全國都市百卅數個所ニ御使用先ヲ有ス◉

製産高東洋一

優秀タイル窯元

DK

淡陶株式會社

本社　兵庫縣三原郡北阿萬村　電話本社一〇

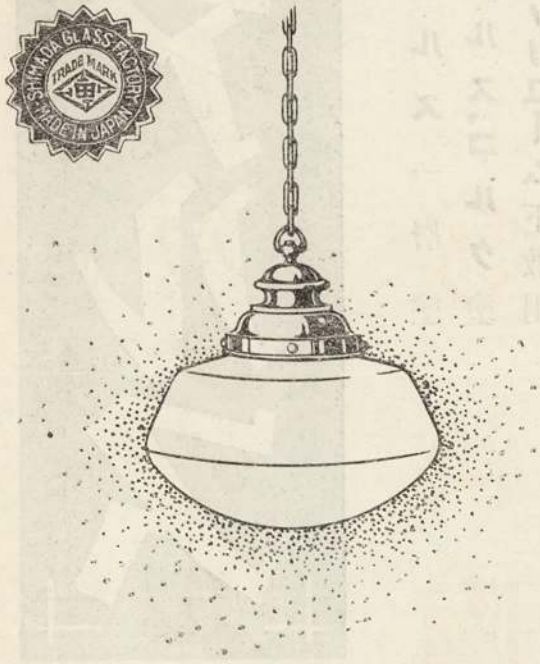
福良工場　同縣三原郡福良町　電話福良一九

大阪支店　大阪市西區阿波座中通一丁目　電話（新町㈡四五二）（新町二四八三）

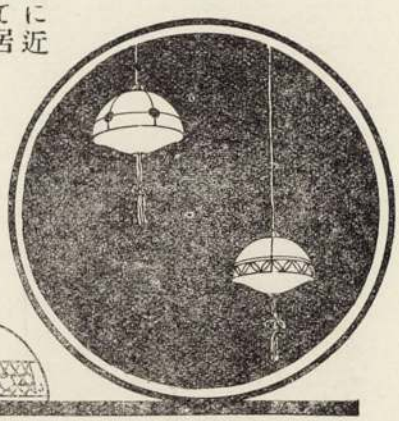
東京支店　東京市日本橋區濱町二丁目　電話長浪花六三〇五

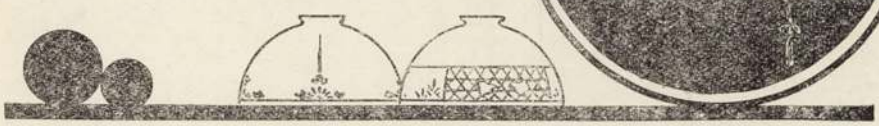
多大の研究と犠牲とを拂ひ新しく生れた

シマダのセレストガラス（晝光色硝子）



本照明用硝子は電灯等に依る通常の人工光線に相等
含んでゐます短紫外線の大部分を硝子に
吸收し硝子を通過致します
光は太陽光線に近
き性質を有して居
ります故に
セレストガラス（晝光色硝子）と
命名し衛生的であり且つ眼に
好感を與ふるのみならず色の
辯別に最も好都合でありまして
實に理想的照明用硝子で
御座います





株式會社島田硝子製造所

大阪市内販賣所　大阪市東區南本町二丁目
名古屋販賣所　名古屋市東區錦日町二丁目
東京支店　東京市京橋區銀座二丁目

床張の權威



アルス一層塗
アルス、コルク塗
リノリユーム下敷用
外壁用スタッコ
塗込式スクールボート

大阪市西區江戸堀北通一丁目
製造發賣元 日米商事合資會社
アルス工業部
電話土佐堀長(一九五番
〜七三〇五番

都市商店住宅 高級電氣工事設計請負

塚本電氣工業所

東京市芝區南佐久間町一ノ三
（電話芝二四六九番）

目下帝都模範的ナル白木屋呉服店
新築電氣工事請負工事中

新案

平安瓦發賣元

瓦

佐村木勝吉

品目

各國屋根瓦
各種色瓦
北國瓦
日本洋瓦

營業

土管各種
窯、便器類
葺上及販賣
淺野煙突

大阪市東區材木町五十一番地
（入へ北詰東橋寺寶久）
電話東三六一〇番

建築鋼鐵物 加工材料一般

鋼鐵製建具各種
鋼鐵製捲揚鐵扉
金庫及書庫鐵扉
製作仕上鐵物各種
青銅製裝飾金物各種
建具用金物各種
設計、施工、請負

營業所　東京市日本橋區北島町一丁目一番地
電話茅場町(66)一〇八八番

柴田建鐵工材所

工場　東京市外寺島一九九七番地
一九九八番
曳船驛前

御挨拶

弊所は元リソヂット工業所として製品は日本化學産業會社より三井物産會社に一手販賣を托し居候處今回都合により前社と解約し淺野物産株式會社に直接一手販賣を托し同時に製品の改善を期し價格を低廉に一般御需用家の御滿足を得申度舊に倍し御引立御愛用之程希上候　敬白

尙所名を淺野化學工業所と改稱仕候

國產リソヂチット應用
建築材料の出現

「型錄進呈」

アサノリソヂチット タイル（一名アサノ、タイル）
陶器ノ追從シ得ザル色彩ト雅味ヲ有シ頗ル堅牢ニシテ而モ價格低廉ナリ
用途、室內及外裝用

アサノリソヂチット安全壁（一名アサノ、安全壁）
日本壁及西洋壁ノ上塗料トシテ吸水尠ク頗ル強靱、色彩自由ナリ
用途、外裝及室內水場用

アサノリソヂチットスタイン（一名アサノ、スタイン）
外裝用トシテ獨逸「リシン」ニ比シ吸水絕無體裁佳良、價格亦極メテ低廉ナリ

アサノリユーム（舊名ヒノデリユーム）**鋪床料**
床張用トシテ「リノリユーム」ニ比シ低廉、品質在來品ト異ナリ絕體ニ龜裂無ク且ツ濕分ヲ生ゼズ用途應接室廊下及一般床敷用

「特約販賣店募集」

內外一手販賣元
淺野特產株式會社

製造元
淺野理化學工業所

大阪市港區三先町四丁目五〇番
電話西長四〇六一番

電電
熱燈
配線工事

器具製作請負

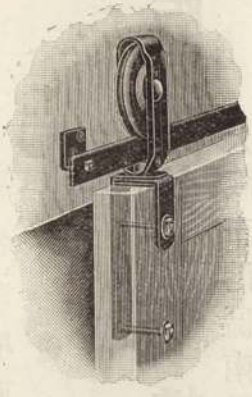
大阪市北區相生町一〇一番地

波根田電氣商會

電話東一六九五番

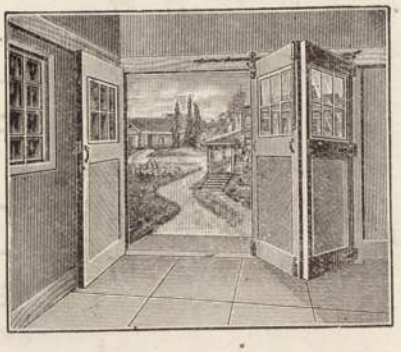
（設計見積ノ御用命ハ當店へ）

スタンレー式ハンガー車



1. レールを外れること絶對に無し
2. 鋼鐵製にて耐久力大なり
3. 使用中注油自在
4. 上下の調節自由
5. 首廻り式なるを以て下の如き戸の釣り方に好適

（カタログ進呈）



ゼ。スタンレーウオークス

大阪市北區中ノ島四丁目三二番地

電話土佐堀二一四五番



大阪窯業セメント株式會社本店

大阪市北區堂島濱通二丁目十四番地

電北（長一一一〇一一一三）

出張所

東京市神田區表猿樂町　電神田（一一四四〇〇三）

京都市二條驛前　電西陣三四六五

名古屋市中區老松町　電東四六九

大阪窯業セメント株式會社工場

大阪市港區南恩加島町一番地

電櫻川（一一七七二六〇九）

一般電氣工事設計
監督請負

高級裝飾照明器具設計
製作並輸出入販賣

みよし組電氣工業所

營業所
大阪市東區味原町九九
電話南一〇三七・五貳二九
神戸・東京・福岡

製作所
大阪市東區味原町九九

電燈と電力
照明器具
水道と暖房
機械と汽罐

設計製作
据付諸工事

特約 インターナショナル石油發動機
のぐち式A1型渦巻ポンプ

深井戸用各種ポンプ・ベリル
グライングウィール・マグネットニナイール

..TRADE MARK..

商號 大木商店

大阪東区今橋貳丁目一三地

代表社員 小川繁太郎

電話本局 一三三八九
五九三二番
振替大阪二〇六一一番

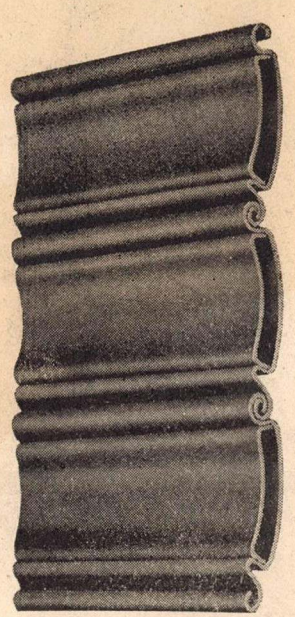
SUDZKI'S PAT. **HOLLOW SHUTTER** PAT. AP'L'D TO THE U.S.A.

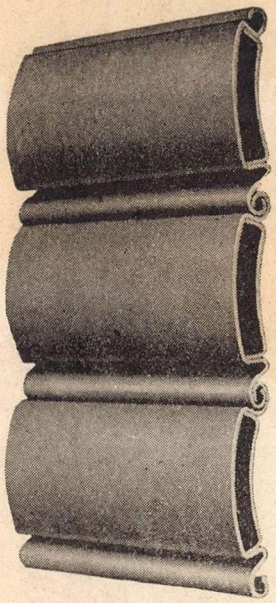
米國特許出願

日特
英許

鈴木式ホロー・シヤター

（最新式シヤッター）





大正十五年英國政府へ特許出願中の處昭和二年二月十七日第二六五八七三號を以て特許々可せらる

ホロー式の特徴

1 ホロー式は權威ある火熱注水試驗の結果熱の傳導の遲いのか著しい特徴であつた。
2 ホロー式は高尚優美、堅牢無比、强盜、暴漢をして意氣銷沈せしむ。
3 ホロー式を DREADNOUGHT SHUTTER と英國人は評した。
4 ホロー式は卷徑が少さく素直に繰れて下る。
5 講鐵は特許鈴木式二重底レールを附屬せしむ。
6 錆止ペンキは浸漬式を用ゆ。
7 機械は精巧、函蓋は、美麗周圍と調和す。

ホロー式取付實例

◉取付場所及時日
◉名古屋市御器所町
南消防署
◉昭和貳年參月廿五日
1 ホローシヤタア三號型鎖引
2 巾 二十二尺 高 十二尺出來上り寸法
3 シヤタア重量二百貫、シヤフト壹百貫 合計三百貫
4 錆止ペンキ浸漬式を用ゆ
5 上下時間 輕く手繰て廿秒
◉取付けの結果◉
丈夫で、輕くて、工合のよいので皆な驚歎してゐる

建築金物商會

東京 巢鴨町宮下一五四五—一五五五
支店 京都市東山通月見町二